HONDA
The Power of Dreams

# 取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

エクストラサイズメモリーナビコンポ

# VXM-135VFNi
# VXM-135VFN

ナビゲーション・オーディオ編

Honda Access

Honda Access

**このたびは、Honda純正用品を**
**お買いあげいただき、ありがとうございます。**
**この取扱説明書は、**
**ご使用まえによくお読みいただき**
**大切に保管してください。**

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

**■お客様のプライバシー保護のために…**

・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

**■著作権保護のために…**

・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

**■個人情報のお取り扱いについて**

・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。

http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

**保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は**
**お買い求めのHonda販売店へご相談ください。**

**事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。**

# 本書の見かた



本書では代表としてVXM-135VFNiのイラスト／画像を記載しています。
本書では、用途別に下記のマークを使用しています。
下記表に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

| | |
|---|---|
| アドバイス | ● お車や本機のために守っていただきたいこと。<br>守らないとお車や本機の破損につながる恐れや正規性能を確保できないことがあります。<br>● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。<br>知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。 |
| A-1 | アルファベットは章、数字は章のページを表します。 |
| お願い | お車のために守っていただきたいことを表しています。 |
| ☞ | 参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表しています。 |
| MENU | 本体に常に表示されている標準キー*を表します。 |
| 目的地 | タッチパネル部のボタンを表します。 |
| | 画面上でタッチパネル操作を表します。 |
| ： | 操作を行なった結果を説明します。 |
| ■／□ | 操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。 |

**使用上の注意事項等**

- **エクストラサイズメモリーナビコンポの操作**
  - ・運転中の操作は避け、停車して行なってください。
  - ・運転中に画面を注視しないでください。
- **本機の故障、誤動作または不具合によりSDカードやUSB機器内などの保存データの消失等については補償できません。**

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。

＊印…標準キーについては、☞ B-2、H-2をご覧ください。

| 型式 | 機能 |
|---|---|
| VXM-135VFNi | VICS MAPCODE DVD VIDEO SD HC COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT gracenote SRS CS Auto DOLBY DIGITAL dts 2.0 Channel 地デジ DIGITAL 1SEG MP3 WMA AAC Bluetooth Made for iPod iPhone internavi LINC Premium Club |
| VXM-135VFN | VICS MAPCODE DVD VIDEO SD HC COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT gracenote SRS CS Auto DOLBY DIGITAL dts 2.0 Channel 地デジ DIGITAL 1SEG MP3 WMA AAC Bluetooth Made for iPod iPhone |

● *Bluetooth*® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

T A12-0052005
R 005-100043

ACCESS™ NetFront®

● ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。☆
● 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。☆

☆印…VXM-135VFNiの場合

# もくじ



本書の見かた……1
もくじ……3

## はじめに A–1

安全上のご注意……A–2
お願い……A–5
主な特長……A–10
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について……A–16
本機で再生できるディスク……A–17
ディスクの取り扱いかた……A–20
SDカード／USB機器（USBフラッシュメモリ）について……A–21
SDカードの取り扱いかた……A–23
GPS衛星の電波受信と測位……A–24
GPS(Global Positioning System)について……A–24
受信しにくい場所について……A–24
受信するまでの時間について……A–24
自律航法とマップマッチング……A–25
現在地の誤差について……A–25
自律航法＆マップマッチング……A–25
学習度と現在地……A–25
音声案内について……A–26
パソコン連携（いつもNAVI）★……A–28
パソコン連携（いつもNAVI）の流れについて……A–28
会員ログインについて……A–29
会員登録ID・パスワードを忘れた場合……A–29
その他・お問い合わせ……A–29

## おぼえておきたい基本操作 B–1

各部の名称とはたらき……B–2
CLOSE状態……B–2
OPEN状態……B–2
ディスクを入れる／取り出す……B–3
SDカードを入れる／取り出す……B–4
地図を表示する……B–5
現在地表示について……B–6
現在地を表示する……B–7
表示された現在地が実際の現在地と違う場合……B–7
地図画面の見かた……B–8
タッチパネル部について……B–8
画面の表示内容について……B–8
地図表示（方位）を切り替える……B–10
地図スクロール（地図を動かす）……B–11
地図スクロール……B–11
微調整をする……B–13
地図を拡大／縮小する……B–14
NAVI MENU画面について……B–15
MENU画面を表示させる……B–15
各MENU項目について……B–16
設定を終える……B–17
ページの送り／戻しについて……B–18
Quick MENUを表示する……B–19
Quick MENUの設定をする……B–20
Quick機能について……B–21
道路切替ボタンの機能について……B–21
自宅を登録する……B–23
地点を登録する……B–26
登録地点について……B–27
クイック ルート探索をする……B–28
現在地から目的地までのルートを探索する……B–28
現在地から自宅までのルートを探索する……B–29
右画面に地図／情報を表示する……B–30
全画面表示に戻す……B–32
右画面の方位／縮尺スケールを変える……B–33
目的地を設定してルート探索をする……B–34
文字／数字の入力方法について……B–35
ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する……B–35
数字を入力する……B–36
文字／数字を訂正する……B–37

## 目的地を探す C–1

名称で地点を探す（名称50音）……C–2
順番を並び替えて表示する……C–4
電話番号で地点を探す……C–6
個人宅の電話番号を入力した場合……C–7
住所で地点を探す……C–8
施設のジャンルから地点を探す……C–12
道路名から地点を探す……C–16
自宅周辺の地図を表示する……C–17
周辺にある施設から地点を探す……C–18
表示できる施設……C–21
登録地点で地点を探す……C–24
登録地点の並び替えをする……C–25
目的地履歴の中から地点を探す……C–26
目的地履歴を削除する……C–27
地名から地点を探す……C–29
郵便番号で地点を探す……C–31
緯度・経度で地点を探す……C–32
マップコードで地点を探す……C–33
地図から地点を探す……C–34
SDカードで地点を探す★……C–35

★印…VXM-135VFNの場合

## ルート探索をする D-1


ルート設定について……D-2
ルート探索について……D-3
細街路探索について……D-4
ルート設定の流れ……D-4
通常(簡易設定)……D-4
詳細設定……D-4
1ルート探索をする……D-6
複数ルートを探索する……D-9
ルートを変更する……D-10
出発地／目的地の変更……D-10
目的地の追加……D-12
経由地の追加……D-13
経由地の変更／削除……D-15
経由地／目的地など地点の入れ替え……D-15
経由地を使って上手にルートを作る……D-16
探索条件の変更……D-17
ルート案内をストップ／スタートする……D-18
再探索をする……D-19
迂回探索をする……D-20
現在の全ルートを表示する……D-21
デモ走行をする……D-22
経由地をスキップする……D-23
現在のルートを保存する……D-24
現在のルートを削除する……D-25
保存したルートの呼び出しをする……D-26
保存したルートの削除をする……D-27
渋滞予測ルート探索をする……D-28
SDカードからルート探索をする★……D-30
渋滞地点を確認する……D-32


## 情報を見る E-1


渋滞予測地図を見る……E-2
ETC情報を見る……E-4
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について……E-6
交通情報(VICS情報)について……E-7
VICS情報の更新に伴う表示変更について……E-8
交通情報(VICS情報)とは……E-9
表示について……E-9
マーク一覧表……E-11
VICS放送局……E-11
一般情報について……E-12
一般情報とは……E-12
表示について……E-12
一般情報の内容(番組)について……E-12
一般情報放送局……E-12
交通情報／一般情報の操作の流れ……E-13
情報の消去について……E-13
受信する情報を選ぶ……E-14
交通情報(文字情報)／一般情報を見る……E-15
交通情報(図形情報)を見る……E-17
緊急情報を見る……E-18
緊急情報について……E-19
交通情報／一般情報を選局する……E-20
自動選局……E-20
自動選局を止める……E-21
手動選局……E-22
エリア選局……E-23
プリセット(保存)する……E-24
プリセット(保存)呼び出しをする……E-25
プリセット(保存)の上書きをする……E-26
エコドライブ情報を設定する……E-27
エコドライブ設定をする……E-29
評価履歴を見る……E-30
グラフ表示で見る……E-30
評価履歴を削除する……E-31
internavi情報／internaviドライブ情報について☆……E-33
本体情報を見る……E-34


## ナビゲーションの設定 F-1


メイン画面／右画面の設定をする……F-2
3D表示の角度を調整する……F-4
地図の色を設定する……F-5
表示項目の設定をする……F-6
ルート案内画面の設定をする……F-10
ランドマーク表示の設定をする……F-23
自車マークの種類を設定する……F-25
現在地(自車)の位置を変更する……F-26
ルート探索条件の設定をする……F-28
VICS表示の設定をする……F-32
情報表示を止める……F-33
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について……F-33
音声案内の音量調整／詳細設定をする……F-34
平均時速を設定する……F-37
登録地点の編集……F-38
登録地点を並び替える……F-43
自宅／登録地点の地図を呼び出す……F-45
自宅／登録地点を削除する……F-46
SDカードから地点を登録する……F-48
パーソナルHPと同期について☆……F-50
軌跡を使う……F-51
internavi設定について☆……F-53


☆印…VXM-135VFNiの場合　★印…VXM-135VFNの場合

## 各種設定をする G–1


携帯電話について……G–2
オプションボタンの設定をする……G–3
メンテナンス情報を設定する★……G–4
設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する……G–8
ETCの各機能を設定する……G–9
ETCについて……G–12
ETCを利用する……G–13
ETCの基本操作……G–13
料金所通過表示について……G–13
予告案内／警告表示について……G–14
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには……G–15
フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする……G–15
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには……G–17
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する場合……G–17
フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する……G–18
コーナーカメラガイドを表示する……G–19
コーナーカメラガイドの見かた……G–19
カメラの映像について……G–20
リアカメラ映像を設定する……G–21
リアカメラ映像を表示する……G–21
ビューの切り替えをする……G–21
リアカメラガイドを表示する……G–22
警告文の位置を下げる……G–23
リアカメラガイドの見かた……G–24
カメラの映像について……G–25
リアカメラの次回表示ビュー設定（リアワイドカメラ接続時のみ）……G–26
キー操作音の設定をする……G–27
データを初期化（消去）する……G–28


## オーディオ／共通 H–1


各部の名称とはたらき……H–2
CLOSE状態……H–2
OPEN状態……H–2
基本操作……H–4
各モードを選択する……H–4
映像の表示について……H–6
ディスクを入れる／取り出す……H–6
SDカードを入れる／取り出す……H–7
miniB-CASカードを入れる／取り出す……H–8
オーディオをOFFする……H–9
設定の保持について……H–9
ページのスクロールについて……H–9
AV MENU画面について……H–10
AV SOURCE画面のモードボタンについて……H–11
標準キーのボタンで選曲する……H–12
早戻し／早送りをする……H–13
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生……H–14
時計を表示する……H–18
音量を調整する……H–19
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する……H–20
動作モード（音楽／画像）を切り替える……H–21
画像ファイルを表示させる……H–22
スライドショーを表示する……H–22
画像を回転させる……H–23
リストより画像を選択する……H–23
音場の設定をする……H–24
イコライザー（音質）の設定をする……H–27
イコライザーの値を初期値に戻す……H–28
スピーカーの設定をする……H–29
フェード・バランスの調整をする……H–31
車速連動音量を設定する……H–33


## 録音設定／データ管理 I–1


録音設定／データ管理について……I–2
再生可能メディアについて……I–3
CDの録音方法（自動／手動）を選択する……I–4
CDを録音する……I–6
録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する……I–6
Music Rackの機能／構成について……I–8
Music Rackへ録音時の注意点について……I–9
Music Rackの使用容量を確認する……I–10
音楽データを修復する……I–11
音楽データを初期化する……I–12
ローカル／カスタムアップデートについて……I–13
タイトル情報更新の流れについて……I–13
ローカルアップデート／カスタムアップデートをする……I–15
Gracenoteデータベースのデータを初期化する……I–20


## FM／AMを聞く J–1


各部の名称とはたらき……J–2
表示部について……J–3
FM／AM放送を切り替える……J–4
選局する……J–4


★印…VXM-135VFNの場合

プリセット(メモリー)する……J-8
交通情報を受信する……J-10
道路交通情報を聞く……J-10
道路交通情報の受信を止める……J-11

## CD／MP3／WMAを聞く K-1

MP3／WMAファイルについて……K-2
各部の名称とはたらき……K-8
表示部(再生画面)について……K-9
未録音CDを挿入すると・・・……K-10
好きなフォルダを選ぶ……K-10
トラックリストより好きなトラックを選ぶ……K-11

## Music Rackを使う L-1

各部の名称とはたらき……L-2
表示部(再生画面)について……L-3
リスト表示より好きなトラックまたは
アルバムを選ぶ……L-4
選曲モードより選ぶ……L-6
アルバムリストの編集(曲管理)……L-14
アルバム編集をする……L-14
再生選択をする……L-19
お気に入り登録をする……L-20
ジャケット写真を登録する……L-21
削除する……L-22
トラックリストの編集(曲管理)……L-23
トラック編集をする……L-23
再生選択をする……L-26
お気に入り登録をする……L-27
削除する……L-27
お気に入りを管理する……L-28
再生中の曲をお気に入り登録する……L-30
再生中の曲のジャンルと
ミュージックエスコートを設定する……L-32

## USB機器を使う(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®) M-1

USB機器について……M-2
ウォークマン®について……M-3
対応可能なウォークマン®……M-4
USB機器を接続する……M-5
USB機器を本機に接続する……M-5
USB機器の接続をやめる……M-5
各部の名称とはたらき……M-6
音楽再生(音楽ファイルモード)について……M-6
音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部
(再生画面)について……M-7
画像再生(画像ファイルモード)について……M-8
画像再生(画像ファイルモード)の表示部について……M-8
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ……M-9
選曲モードより選ぶ……M-13

## iPodを使う N-1

iPodについて……N-2
iPodとは……N-2
使用上のご注意……N-2
対応可能なiPod……N-3
iPodを本機に接続する……N-4
各部の名称とはたらき……N-5
表示部(再生画面)について……N-6
トラックリストより好きなトラックを選ぶ……N-7
選曲モードより選ぶ……N-8
再生を一時停止する……N-13
映像データを再生させる……N-14

## SD(SDカード)を使う O-1

SDカードについて……O-2
再生可能なデータについて……O-4
音楽ファイルのデータについて……O-4
画像ファイルのデータについて……O-5
各部の名称とはたらき……O-6
音楽再生(音楽ファイルモード)について……O-6
音楽再生(音楽ファイルモード)の
表示部(再生画面)について……O-7
画像再生(画像ファイルモード)について……O-8
画像再生(画像ファイルモード)の
表示部について……O-8
リスト表示より好きなトラックまたは
フォルダを選ぶ……O-9
選曲モードより選ぶ……O-11

## DVDを見る P-1

DVDビデオについて……P-2
ディスクに表示されているマークについて……P-2
VRモードで作成したディスクについて……P-3
ディスクの構成について……P-3
各部の名称とはたらき……P-4
DVDプレーヤーを使う……P-6
再生を停止する……P-7
再生を一時停止(静止)する……P-8
再生中にチャプターを戻す／進める……P-8
コマ戻し／コマ送り／スロー戻し／
スロー送りをする……P-9

タイトルメニュー／DVDメニューを使う……P-10
好きな所から再生する（サーチ選択）……P-12
音声言語／字幕言語を切り替える……P-14
時間の表示を替える……P-15
リピート（繰り返し）再生する……P-16
アングル（角度）を切り替える……P-17
VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる……P-18
**DVDの初期設定について……P-20**
初期設定を変更する……P-20

## Digital TV（12セグ／ワンセグ）を見る Q-1

**テレビについて……Q-2**
地上デジタルテレビ放送について……Q-2
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更（リパック）について……Q-2
地上デジタルテレビ放送の番組受信について……Q-3
**miniB-CASカードについて……Q-4**
**miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について……Q-5**
**各部の名称とはたらき……Q-6**
DTVメニューについて……Q-9
バナー表示について……Q-10
**Digital TV〔12セグ／ワンセグ〕を見る……Q-12**
Digital TVモードにすると……Q-12
**中継・系列局サーチをする……Q-13**
**視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする……Q-14**
**番組表を見る……Q-16**
**スキャンする……Q-18**
初期スキャン／再スキャンをする……Q-18
**選局する……Q-20**
手動選局で放送局を選ぶ……Q-20
自動選局で放送局を選ぶ……Q-20
プリセットで放送局を選ぶ……Q-21
リストで放送局を選ぶ……Q-22
**プリセットボタンにメモリーする……Q-24**
エリア呼出／プリセット呼出について……Q-25
**チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする……Q-26**
**設定をする……Q-28**
映像を切り替える……Q-28
音声を切り替える……Q-29
郵便番号設定……Q-30
自動切替（12セグ・ワンセグ）の設定をする……Q-31
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする……Q-32
サービスの設定をする……Q-33
チャンネル設定……Q-34
時計表示設定……Q-36
文字スーパーを切り替える……Q-37
字幕表示を切り替える……Q-38
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する……Q-40
**miniB-CASカードのテストをする……Q-42**
**放送局からの情報を見る……Q-43**
**設定を初期化する……Q-44**
**データ放送を利用する……Q-45**
**リレーサービスの番組を見る……Q-48**
**臨時サービスの番組を見る……Q-48**
**緊急放送を見る……Q-49**
受信中に緊急放送が始まると……Q-49
**エラーコードについて……Q-50**

## VTRを使う R-1

**各部の名称とはたらき……R-2**
**接続する……R-3**

## ハンズフリーを使う S-1

**ハンズフリーについて……S-2**
*Bluetooth*とは……S-2
ハンズフリーとは……S-2
音声について……S-2
安全上のご注意……S-2
使用上のご注意……S-3
**初期登録設定……S-5**
携帯電話を登録する……S-5
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する……S-8
携帯電話の割り当てを切り替える……S-10
登録した携帯電話の自動接続を設定する……S-11
登録した携帯電話の優先接続の設定をする……S-13
車載機（本機）の*Bluetooth*情報を見る……S-14
ハンズフリーの通話設定をする……S-15
デバイス名／パスキーを変更する……S-16
携帯電話のメモリを本機に登録する……S-18
**電話を受ける……S-20**
着信音量を調整する……S-20
電話に出る……S-20
保留にする……S-21
通話を拒否（終了）する……S-22
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする（ミュート）……S-22
通話を携帯電話に切り替える……S-23
トーン入力する……S-24
**電話をかける……S-25**
電話番号から……S-25
リダイヤルから……S-27

履歴から……S-28
アドレス帳から……S-32
**発着履歴を削除する……S-34**
**通話中に地図画面を表示する……S-35**
**QQコールを利用する……S-36**
QQコールとは……S-36
QQコールを利用するまでの流れ……S-36
**QQコールを表示する……S-36**

## その他 T-1

**画質調整のしかた……T-2**
ディスプレイ選択……T-4
昼夜切替をする……T-4
画質調整を初期値に戻す……T-5
**音声はそのままで画面を消す……T-6**
**標準キーの照明について……T-7**
**初期設定一覧……T-8**
**個人情報の取り扱いについて……T-11**
**リア席モニターについて……T-12**
**画像ファイル(JPEG)について……T-13**
**データベースについて……T-14**
**オーディオ リモコン スイッチ……T-16**
**Digital TVのチャンネル一覧……T-18**
**地図ソフトについて……T-20**
**出発地・経由地・目的地の設定について……T-24**
経由地、目的地の設定の注意点……T-24
**ルート案内時の注意点……T-26**
**地図に表示される記号……T-30**
**市街地図(10m/25m/50m/100mスケール)の収録エリア……T-32**
**VICSについてのお問い合わせ……T-36**
VICSの概要……T-36
VICS情報有料放送サービス契約約款……T-38
VICS削除リンクに関する告知……T-39
**故障かな?と思ったら……T-40**
**メッセージ表示について……T-59**
**用語説明……T-65**
**構成内容……T-70**
**主な仕様……T-71**
**別売品(システムアップ)について……T-72**
**保証/アフターサービスについて……T-73**

## さくいん U-1

**さくいん……U-2**

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件などにより実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

# A はじめに

安全上のご注意……A-2
お願い……A-5
主な特長……A-10
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について…A-16
本機で再生できるディスク……A-17
ディスクの取り扱いかた……A-20
SDカード／USB機器
（USBフラッシュメモリ）について……A-21
SDカードの取り扱いかた……A-23
GPS衛星の電波受信と測位……A-24
GPS(Global Positioning System)について…A-24
受信しにくい場所について……A-24
受信するまでの時間について……A-24
自律航法とマップマッチング……A-25
現在地の誤差について……A-25
自律航法＆マップマッチング……A-25
学習度と現在地……A-25
音声案内について……A-26
パソコン連携（いつもNAVI）……A-28
パソコン連携（いつもNAVI）の流れについて……A-28
会員ログインについて……A-29
会員登録ID・パスワードを忘れた場合……A-29
その他・お問い合わせ……A-29

# A-2 安全上のご注意

● 安全に関する表示

**「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。**

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの |
| ⚠注意 | 指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの |

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

：⚠は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描いてあります。

：⃠は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描いてあるものもあります。

：●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な指示）が描いてあります。

## ⚠ 警 告

**テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない。**

車内屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

**実際の交通規制に従って走行する。**

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制、道路標識に従って走行してください。

**リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する。**

後退時には直接後方の安全確認をしながら運転してください。

**フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用する。**

直接目視による安全確認をしながら運転してください。

**当商品を分解したり、改造しない。**

分解禁止

故障の原因となります。

**ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

# ⚠ 警告

**故障や異常な状態のまま使用しない。**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

**安全のため運転者は、走行中に操作しない、また、走行中画面を見るときは、必要最小限にする。**
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する。**
テレビは安全のため走行中は表示されません。

禁止
**SDカードは乳幼児の手の届くところに置かない。**
誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください。

禁止
**機器内部に、水や異物を入れない。**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

## ⚠ 注 意

**音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない。**
火災の原因となることがあります。

**ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従って走行する。**
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

**液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない。**
液晶パネルのガラスが割れて、ケガの原因となることがあります。

**取り付け(取り外し)や配線は、Honda販売店に依頼する。**
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。

**長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカード／miniB-CASカードを取り出す。**
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカード／miniB-CASカードを傷める原因となることがあります。

# お願い



## 温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

## 結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、Honda販売店にご相談ください。

## 画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

## 振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。
強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

## ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

## 地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
  ・車のセレクトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
  ・細街路を走行しているときの現在地表示画面
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
  ※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

## 車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

## お手入れについて

**＜ディスプレイ部の清掃＞**

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔かく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。（汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。）濡れたぞうきん・有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

**＜本体の清掃＞**

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

## GPSアンテナについて

- GPSアンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布などをかぶせたりしないでください。GPS衛星の電波を受信できなくなります。

- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

## フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ（車内側）のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。（汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布で拭いてください。）有機溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってからまれに気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

## パネルについて

本機のパネル面は黒光沢仕様のため、傷が付くと目立ちやすくなりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

## 免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

## その他について

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミなど異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行なってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ラジオやテレビ、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行なってください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げのHonda販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。

- 操作パネルや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- 飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。

## 外部接続機器(USB機器／iPod／VTR機器／携帯電話)について

- USB機器／iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器／iPodが接続されているときに、USB機器／iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- 接続するVTR機器／携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

## Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

## 著作権について

本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

## 地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

## 以下の点にご注意ください。

■本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要であり、ロヴィコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

■本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いては、ライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

■本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

■ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

■本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

■本製品には、以下のMozilla Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれています。
・以下のオリジナルコードからの派生コード
　js-1.5.tar.gz
・上記オリジナルコードの初期開発者
　Netscape Communications Corporation
お客様は、以下のホームページに掲載されるMozilla Public License の条件に従い、上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利があります。上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、以下のホームページをご覧ください。
　http://panasonic.jp/car/cus/info/license/Mozilla/
なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
また、上記以外の当社が所有権を有するソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

| ホームページに掲載されるファイル情報 | |
|---|---|
| ・修正内容(2011年6月20日公開) | diff.pdf |
| ・修正されたソースコード(2011年6月20日公開) | JS.zip |
| ・Mozilla Public License(2011年6月20日公開) | Mozilla Public License.pdf |

■本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ナビゲーション

## 目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。
また、あらかじめ自宅を登録しておくと、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。
☞「目的地を探す」C–1／☞「自宅を登録する」B–23

## 簡単な目的地探索

### 電話番号や住所から目的地を検索

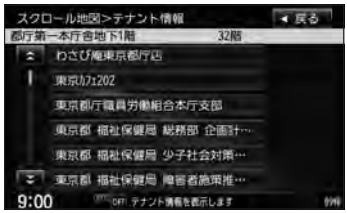
電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探すことができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約800万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人情報約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。
※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。
※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。
☞「電話番号で地点を探す」C–6／☞「住所で地点を探す」C–8

### ハイブリッド検索

名称で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「ジャンル」「名称」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。
☞「名称で地点を探す(名称50音)」C–2

### ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(10 m／25 m／50 m／100 m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。
施設(物件)にカーソル(–¦–)を合わせると、地図画面上にビル名が表示されます。 設定 をタッチして、設定MENUを表示させ、 テナント情報 をタッチするとテナント情報を見ることができます。
☞「Quick機能について」B–21




※データが収録されていない施設(物件)はカーソル(–¦–)を合わせても名称は表示されません。
※ビル名のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。

ナビゲーション

## 目的地到着までのルートを表示してくれる

### 目的地に着くまでルート表示(細街路探索)

細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行ないます。

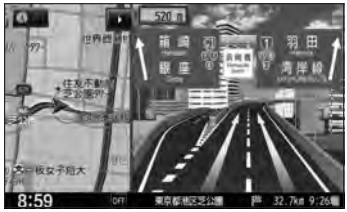
### 的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT(ジャンクション)、渋滞／規制情報などを音声で案内します。

### 高速道路のJCTを拡大表示する(JCTビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

「■ JCTビューの表示を設定する場合」F-15




### 行き方の候補を５種類表示(複数ルート探索)

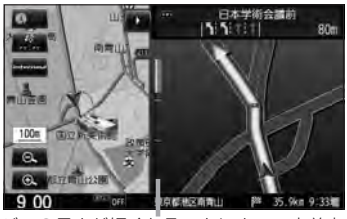
目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。推奨のルートを探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の５種類の条件で一度に探索します。

「複数ルートを探索する」D-9

### 進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを黄色で表示させることができます。

「■ 交差点拡大図の表示を設定する場合」F-16




※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

### 交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを黄色で表示し、交差点情報を表示させることができます。

「■ 交差点情報の表示を設定する場合」F-11

ナビゲーション

### 案内標識を表示(方面看板)

ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

「■ 方面看板の表示を設定する場合」F-18

※すべての交差点において収録されているわけではありません。

### リアル3D交差点を表示

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)に案内します。

「■ リアル3Dの表示を設定する場合」F-17

※札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。

※すべての交差点において収録されているわけではありません。

## 詳しい交通情報を教えてくれる

### VICS対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

「交通情報(VICS情報)/一般情報の受信について」E-6

## 一方通行規制カ所がわかる

### 一方通行表示

縮尺スケールが10 m/25 m/50 mの市街地図表示のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

## パソコン連携(いつもNAVI)★

パソコンの指定ホームページ(いつもNAVI)を使用して、SDカードに保存した地点を確認したり、パソコンから保存したルートを本機で再探索することができます。またSDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

本機に同梱のパソコン連携(いつもNAVI)用IDとパスワードの無料使用有効期限は2014年3月31日です。

「パソコン連携(いつもNAVI)」A-28

## 町並みをリアルに表示してくれる

### 遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を3D表示します。

「地図表示(方位)を切り替える」B-10

★印…VXM-135VFNの場合

ナビゲーション

### 見やすい地図表示

好みや利用シーンに適した地図の表示ができます。
「ノーマル」「道路メイン」「レトロ」の３種類から選べます。
☞「地図の色を設定する」F-5

### 自律航法＊1＆マップマッチング＊2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。
＊１印…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
＊２印…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

### その他の機能

#### エコドライブ

GPSの信号や車速情報をもとに、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを５段階評価したり、グラフで表示することもできます。☞「エコドライブ情報を設定する」E-27

#### メンテナンス機能★

日付・距離を設定すると、車のオイルや消耗品の交換、あるいは記念日などがきたことをナビゲーションの画面と音でお知らせします。
☞「メンテナンス情報を設定する」G-4

#### 盗難多発地点案内

設定した目的地が盗難多発地点のとき、ルート案内開始時に表示と音声で案内します。
※自宅に登録された地点は案内しません。
※盗難多発地点の情報は地図更新時に更新されます。
☞「■ 盗難多発地点案内を設定する場合」F-21

#### 右画面AV表示機能

画面を２分割して左にナビ画面、右にオーディオ画面を同時に表示することができます。
☞「■ 右画面にオーディオ画面を表示する場合」B-31

インターナビ☆

☞インターナビ・リンク プレミアムクラブ編（別冊）

#### インターナビ機能☆

インターナビ・データ通信USBを使用して、渋滞予測情報やVICS情報を利用したルート案内や天気情報やドライブ情報などのインターナビサービスを利用できます。
※インターナビを利用するには、別途サービスのお申し込みが必要になります。

☆印…VXM-135VFNiの場合
★印…VXM-135VFNの場合

AV機能

## Music Rack機能

大容量の内蔵メモリを搭載し、音楽CDを再生と同時に録音できます。Gracenoteデータベース収録によりタイトル情報を自動付加できます。編集機能によりタイトル名の変更も可能です。お気に入り登録によりあなただけのプライベートアルバムも作成できます。また、録音したCDは自動で(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)選曲モードに振り分けられるため、絞り込んだ検索ができ便利です。

☞「Music Rackを使う」L-1

## ハンズフリー機能

携帯電話をバッグやポケットに入れたままで通話することができます。

※この機能を使用するには*Bluetooth*対応の携帯電話を接続する必要があります。

☞「ハンズフリーを使う」S-1

## 地上デジタルテレビ放送とワンセグ

本機に内蔵の地上デジタルテレビ放送用チューナーで、地上デジタルテレビ放送を受信できます。ドライブ先の天気予報や交通情報などのデータ放送を表示できます。また、携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」も見ることができます。

### 12セグ／ワンセグ自動切替機能

お車の受信状況によって12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えることができます。

☞「自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする」Q-31

## SD

SDカードに入れた音楽データを再生し、聞くことができます。

☞「SD(SDカード)を使う」O-1

## DVD

☞「DVDを見る」P-1

### CPRM対応

本機では、DVD-R／RWのビデオレコーディングモード(VRモード)で録画されたディスクを再生できます。さらに、デジタル放送を録画したCPRM対応のDVD-R／RWのディスクが再生できます。

## iPod

別売のUSB接続ジャック／別売のVTRコード／別売のiPod接続コードをお手持ちのiPod／iPhoneに接続して音楽や映像データを再生することができます。☞「iPodを使う」N-1

※別売のUSB接続ジャック／別売のVTRコード／iPod接続コードについては☞N-4をご覧ください。

## USB機器(フラッシュメモリ)対応

別売のUSB接続ジャックと別売のUSBメモリーデバイスコードをUSB機器(USBフラッシュメモリ)に接続して音楽データを聞くことができます。☞「USB機器を使う」M-1

※別売のUSB接続ジャックとUSBメモリーデバイスコードについては☞M-5をご覧ください。

その他

### QQコール機能

画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時に付近の病院の案内などの情報を受けたりすることができます。
※QQコール機能を利用するには、Honda販売店での入会手続きが必要になります。
「QQコールを利用する」S-36

### ETC対応

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続するとETC車載器(ナビ連動タイプ)の出力データをナビゲーション画面に表示することができます。
「ETCの各機能を設定する」G-9

### オーディオ リモコン スイッチ対応

車両標準装備または別売のスイッチを接続すれば運転中にハンドルについているスイッチでオーディオの操作をすることができます。
「オーディオ リモコン スイッチ」T-16

### リア席モニター対応

別売のリア席モニターに接続し、DVDなどの映像を映すことができます。
「リア席モニターについて」T-12

### リアカメラ対応

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。
「リアカメラ映像を設定する」G-21

### フロントカメラ対応

別売のフロントカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をフロントカメラ映像にすることができます。
「フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには」G-15

### コーナーカメラ対応

別売のコーナーカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をコーナーカメラ映像にすることができます。
「フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには」G-15

### ビデオ入力対応

別売のVTRコードまたはAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器を接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。
「VTRを使う」R-1

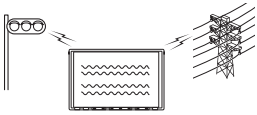
### オプションボタン選択機能

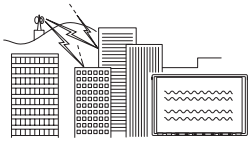
本機の [⚙] (オプション)によく使う機能を設定することができます。
※別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合は使用できません。
「オプションボタンの設定をする」G-3

# A-16 オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。

- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。





・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
・トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
・本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
・携帯受信（ワンセグ）などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
・ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

# 本機で再生できるディスク



| | | | |
|---|---|---|---|
| DVD VIDEO | DVD+R<br>DVD-R | DVD+RW<br>DVD-RW | DVD+R DL<br>DVD-R DL |
| COMPACT disc DIGITAL AUDIO | COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT | CD-R | CD-RW |

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋などまたは車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

⚠注意 すでにディスクが挿入されている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

**●下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。**

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD

**●DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。**

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

**●CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。**

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3／WMAにつきましては☞「MP3／WMAファイルについて」K-2をご覧ください。

### DVDモードのファイナライズについて

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

### ●DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り可能です。

**※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。**
**DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。**

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

### ●8 cmディスクについて

本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

### ●コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

**ディスクレーベル面(印刷面)に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。**

パソコンなどで複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

### ●Dual Discについて

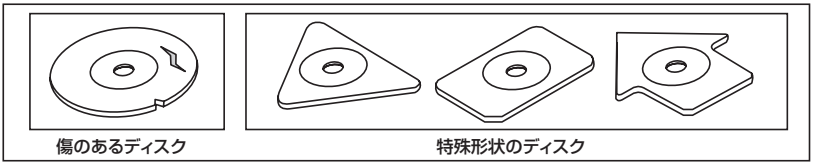
Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

**本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。**

| | |
|---|---|
| ● Rovi | 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。 |
| ● ドルビーデジタル | 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。 |
| ● dts<br>dts 2.0 Channel | Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS 2.0 Channel is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved. |

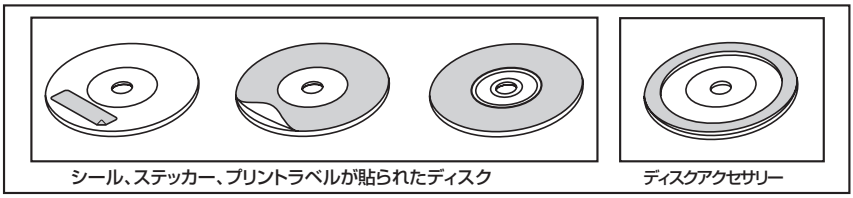
## ●特殊形状のディスクについて

特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。
本機に使用しますと故障の原因になります。



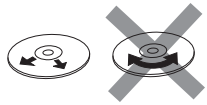

## ●ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー(ディスクリング、保護シール)はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクが反り、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

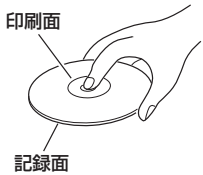


# ディスクの取り扱いかた

- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

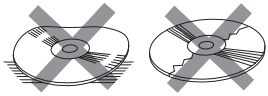


- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。
- 印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。




- 車のエンジンスイッチを0（ロック）時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
- セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク、また、はがれかけのラベル類、付箋などの紙類が貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、はがれた紙類が製品内部に残ってしまい、本機が故障する原因となります。

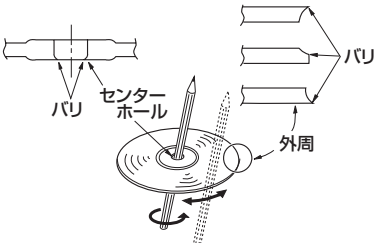
- ディスクは使用中、高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。



- 反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。




- 取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
  ※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。

- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。

# SDカード／USB機器(USBフラッシュメモリ)について



●本書では“SDメモリーカード・SDHCメモリーカード”のことをSDカードと記載しています。

●SDHCロゴは商標です。

●SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

●お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録された“SDカード／USB機器”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

●本機にはSDカード、USB機器は付属していません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

●本機でお使いいただけるSDカードは以下の通りです。
- SDカード
- SDHCカード
- miniSDカード*
- microSDカード*

＊印…専用アダプターが必要です。
- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

●32 GBまでの容量の“SDカード／USB機器”に対応しています。

●USB接続のカードリーダーには対応していません。
※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。

●本機はSDXCカードには対応していません。

●本機はUHS-Ⅰには対応していません。

●フォーマット(初期化)について
- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。パソコンでのフォーマット(初期化)はSDカードの性能が十分に出せなくなる場合や正しく動作しない場合があります。また、SDHCメモリーカード以外のSDカードを本機以外の機器からFAT32でフォーマット(初期化)すると、本機では認識できず、フォーマット(初期化)もできなくなる場合があります。その場合は、パソコンで一度FAT16でフォーマット(初期化)した後、本機でフォーマット(初期化)をお願いします。
☞「データを初期化(消去)する」G-28
※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。
- USB機器のフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

●“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

●miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。

## SDカード／USB機器(USBフラッシュメモリ)について

- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSB機器を破損する原因になります。
- SDカードのデータ読み込み中はカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたるおそれのある場所に、SDカードやUSB機器を放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージに従って操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
  - ・「SDカードで地点を探す」★ ☞ C-35
  - ・「SDカードからルート探索をする」★ ☞ D-30
  - ・「SDカードから地点を登録する」☞ F-48
  - ・「SD(SDカード)を使う」☞ O-1
  - ・Gracenoteデータベースのアップデート
    ☞「ローカルアップデート／カスタムアップデートをする」I-15
  - ・音楽・画像再生☞「SD(SDカード)を使う」O-1

  ※対応可能なSDカードと再生につきましては「SDカードについて」O-2を参照してください。
- 本機はUSB機器を使用して下記機能を使用することができます。
  - ・「USB機器を使う(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)」☞ M-1
- SDカード、USB機器内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSB機器が温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USB機器が不良の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの最適化は行なわないでください。
- 読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- SDカード内のデータは圧縮しないでください。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

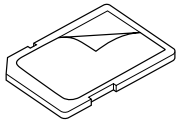
★印…VXM-135VFNの場合

# SDカードの取り扱いかた

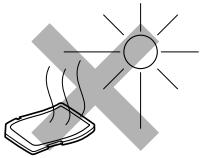


- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。

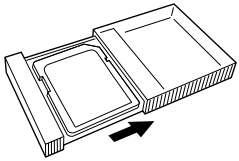
- 変形したSDカードやラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



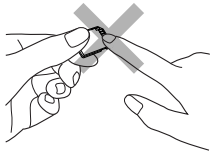
- 直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。SDカードが使用できなくなる場合があります。



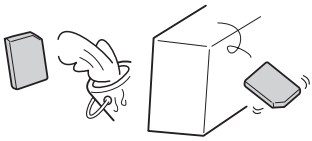
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。

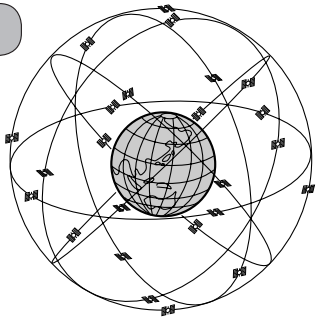


- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。



# GPS衛星の電波受信と測位

## GPS(Global Positioning System)について



地球の周り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

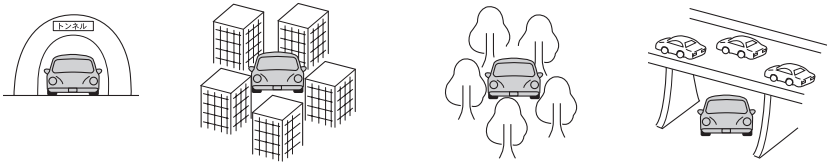
※本機では高度は表示しません。

アドバイス GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

## 受信しにくい場所について

**GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。**
**GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。**
**受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。**

- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など




※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。
- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

## 受信するまでの時間について

**必ず見晴らしのよい場所で行なってください。**
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。
**本機を取り付け後または車のバッテリーなど交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。**(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。**現在地を表示するまでは移動しないでください。**)通常は電源を入れてから数分で表示します。

# 自律航法とマップマッチング



## 現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

## 自律航法＊1＆マップマッチング＊2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

＊1印…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

＊2印…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

## 学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。
これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位（左右方向の回転）」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行が必要ですので、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

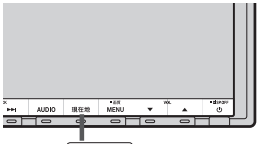
# 音声案内について

## 音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 細街路に進入すると「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地１付近です”と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

アドバイス

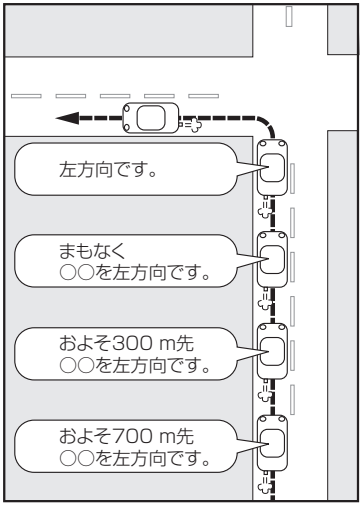
- 音声案内の音量を調整する場合は「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-34をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などに従ってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 現在地 をタッチすると、もう一度音声案内を聞くことができます。
  「■ 音声案内を止める場合 」F-34で 消音 を選択している場合は、現在地 をタッチしても音声案内を聞くことはできません。




現在地 ボタン

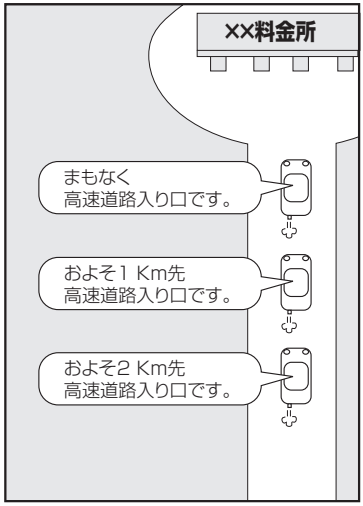
目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

一般道の交差点*1

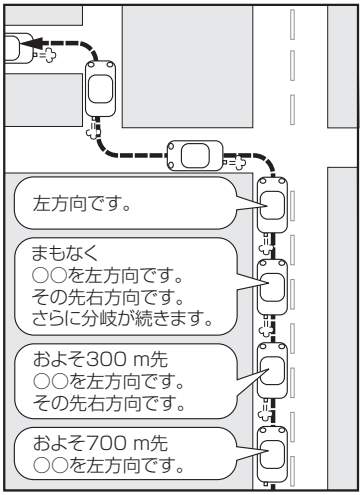



＊1印…交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

高速道路入口

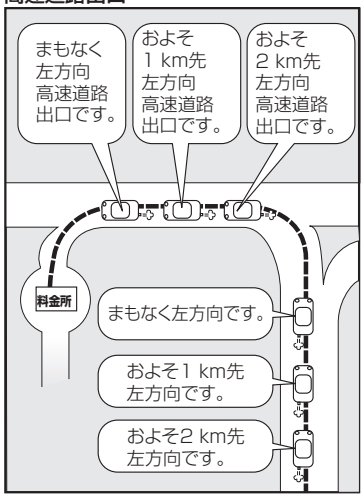



一般道の連続した交差点*2




＊2印…連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

高速道路出口



# パソコン連携(いつもNAVI)

VXM-135VFNのみ

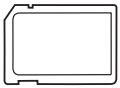
パソコンで指定のホームページ(いつもNAVI)を利用して地点情報やルート探索した結果をSDカードに保存すると、本機で確認またはルートを再探索したり、本機に地点を保存することができます。いつもNAVIを利用するには、ユーザー登録を行なう必要があります。

## パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて

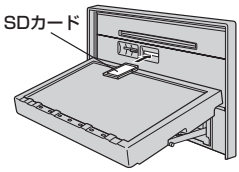
**1.** 指定のホームページ(いつもNAVI)にアクセスして、別紙に貼り付けられているIDとパスワードを入力し、会員ログインします。

※初回ログイン時のみニックネームとメールアドレスを登録する会員登録画面が表示されます。必要事項を入力し、登録を完了すると、いつもNAVIの“Myページ”へ進めます。

**2.** ★ホームページ上で地点を選択したり、ルート探索をします。登録地点、登録ルートをSDカードを介してナビに保存できます。ホームページの使い方についてはホームページのヘルプをご覧ください。



**3.** パソコンのSDカードリーダーにSDカードを差し込み、登録地点、登録ルートを保存します。




「カーナビへ送る」ファイルの作成

①SDカード内に半角で“DRIVE”という名前のフォルダを作成する。

②★ホームページの操作にしたがい、保存先とファイル名を確認し保存する。

③SDカード内に作成した“DRIVE”フォルダ内にファイルを保存する。

**4.** SDカードを本機に差し込み、情報を確認または保存する。

☞「SDカードで地点を探す」C-35
☞「SDカードからルート探索をする」D-30
☞「SDカードから地点を登録する」F-48

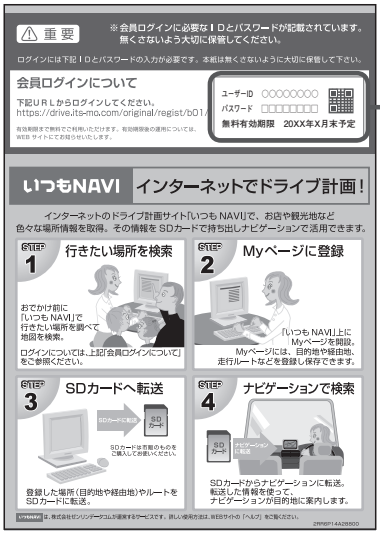
アドバイス

- ★印…詳しい操作方法は、いつもNAVIホームページの「ヘルプ」をご覧ください。
- SDカードを使用する前に☞「SDカードについて」0-2をご覧ください。
- SDカードに保存しているルートを本機で確認する場合、本機に設定している探索条件をもとにルート探索を行なうため、いつもNAVI上でのルート探索結果と異なります。
  ☞「SDカードからルート探索をする」D-30
  ☞「ルート探索条件の設定をする」F-28
- いつもNAVIで出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(いつもNAVIで指定した出発地にはなりません。)
- いつもNAVIは、株式会社ゼンリンデータコムが運営するサービスです。画面は変更されることがありますのでご了承ください。
- ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

## 会員ログインについて

- ログインは下記のURLから行なってください。
  URL：https://drive.its-mo.com/original/regist/b01/
- ログインには別紙に貼り付けられているIDとパスワードの入力が必要です。
  有効期限まで無料でご利用いただけます。
  本機に同梱のIDとパスワードの有効期限は2014年9月末予定です。
  有効期限後の運用については、ホームページにてお知らせします。
- ID、パスワードの再発行や追加発行はできません。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。




## 会員登録ID・パスワードを忘れた場合

いつもNAVI ホームページの会員ログイン画面にあるリンクをご利用ください。
いつもNAVI ホームページ
URL：https://www.its-mo.com/login_drive-plan/passreminder.htm

## その他・お問い合わせ

詳しい操作方法は、いつもNAVI ホームページの「ヘルプ」をご覧ください。
いつもNAVI ホームページに関するご質問・お問い合わせは、株式会社ゼンリンデータコムまでお願いします。お問い合わせ方法は、いつもNAVI ホームページの会員ログイン画面にあるリンクをご利用ください。
いつもNAVI ホームページ
URL：https://drive.its-mo.com/original/regist/b01/

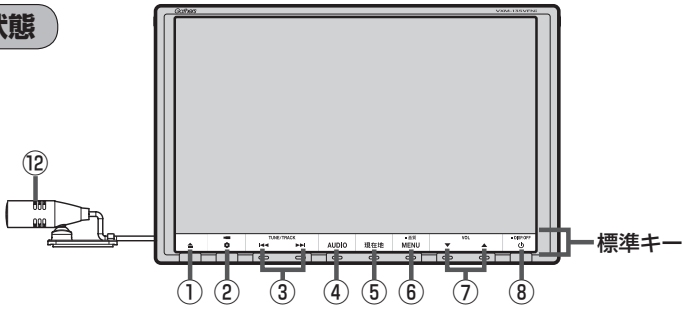
# B

# おぼえておきたい基本操作

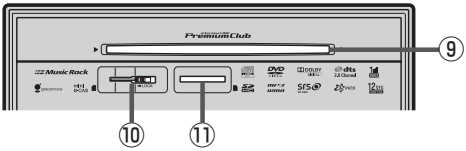

**各部の名称とはたらき……B-2**
CLOSE状態……B-2
OPEN状態……B-2
**ディスクを入れる／取り出す……B-3**
**SDカードを入れる／取り出す……B-4**
**地図を表示する……B-5**
現在地表示について……B-6
**現在地を表示する……B-7**
表示された現在地が実際の現在地と違う場合……B-7
**地図画面の見かた……B-8**
タッチパネル部について……B-8
画面の表示内容について……B-8
**地図表示(方位)を切り替える……B-10**
**地図スクロール(地図を動かす)……B-11**
地図スクロール……B-11
微調整をする……B-13
**地図を拡大／縮小する……B-14**
**NAVI MENU画面について……B-15**
MENU画面を表示させる……B-15
各MENU項目について……B-16
設定を終える……B-17
**ページの送り／戻しについて……B-18**
**Quick MENUを表示する……B-19**
**Quick MENUの設定をする……B-20**
**Quick機能について……B-21**
道路切替ボタンの機能について……B-21
**自宅を登録する……B-23**
**地点を登録する……B-26**
登録地点について……B-27
**クイック ルート探索をする……B-28**
現在地から目的地までのルートを探索する……B-28
現在地から自宅までのルートを探索する……B-29
**右画面に地図／情報を表示する……B-30**
全画面表示に戻す……B-32
右画面の方位／縮尺スケールを変える……B-33
**目的地を設定してルート探索をする……B-34**
**文字／数字の入力方法について……B-35**
ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する……B-35
数字を入力する……B-36
文字／数字を訂正する……B-37

# 各部の名称とはたらき

## CLOSE状態




## OPEN状態




① ▲ ボタン(OPEN／EJECT)
パネルをオープンさせてディスク／SDカード／miniB-CASを出し入れをするとき使用します。
☞ B-3、B-4、H-8

② ⚙ ／ ▬ ボタン(オプション／カメラ)
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。☞ G-3
- 別売のフロントカメラ／コーナーカメラ映像画面を表示します。☞ G-15

③ ⏮ ／ ⏭ ボタン
- 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。
  - ・CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／USB／iPod ☞ H-12
  - ・FM／AM ☞ J-4
  - ・Digital TV ☞ Q-20
  - ・DVD ☞ P-8
- タッチする長さによって早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
  - ・CD／MP3／WMA／Music Rack／DVD／SD／USB／iPod ☞ H-13
  - ・FM／AM ☞ J-4
  - ・Digital TV ☞ Q-20
- 一時停止中にコマ戻し／コマ送りを行ないます。
  - ・DVD ☞ P-9
- 一時停止中に1.5秒以上タッチし続けると、スロー戻し／スロー送りを行ないます。
  - ・DVD ☞ P-9

④ AUDIO ボタン
AV SOURCE画面または、選択中のオーディオ画面を表示します。☞ H-5

⑤ 現在地 ボタン
現在地の地図を表示します。☞ B-7

⑥ MENU ボタン
- 地図画面表示時やFM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SD／Digital TV／VTRモード時にタッチすると、MENU画面を表示します。☞ B-15、H-10
- DVDモード時にタッチすると、操作ボタン1を表示します。☞ P-6
- 2秒以上タッチすると画面調整画面または画質調整画面を表示します。☞ T-2

⑦ ▼ ／ ▲ ボタン(VOL)
オーディオの音量を調整します。☞ H-19

⑧ ⏻ ボタン
- オーディオ操作をON／OFFするときに使います。☞ H-9
- 2秒以上タッチで画面を消します。☞ T-6

⑨ ディスク挿入口
☞ B-3

⑩ miniB-CASカード挿入口
☞ H-8

⑪ SDカード挿入口
☞ B-4

⑫ マイク
ハンズフリー通話で使用します。☞ S-1

# ディスクを入れる／取り出す



ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。ケガの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意
- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬケガをするおそれがあります。
- ディスクを出し入れするときには、安全のため、セレクトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。

## 1 [▲](OPEN／EJECT)をタッチする。

：OPEN／EJECT画面が表示されます。

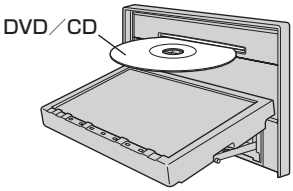
## 2 ■ ディスクを入れる場合

① OPEN をタッチする。

：ディスプレイ部が開きます。

② ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。




■ ディスクを取り出す場合

① DISC EJECT をタッチする。

：ディスプレイ部が開き、ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

※ディスプレイ部を閉じるときは[▲](OPEN／EJECT)をタッチしてください。

アドバイス
- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- ディスプレイ部を開いたまま、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合は、自動でディスプレイ部が閉じます。
- ディスクを取り出すとき、[▲](OPEN／EJECT)を長押しすると、DISC EJECT をタッチすることなく自動でディスクが押し出されます。
- 長時間DVD／CDを挿入していると、DVD／CDが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。
- CDを挿入すると自動で録音を開始する初期設定になっています。設定を変更するには☞ I-4をご覧ください。
- ＊印･･･ディスクが入っていないときは"NO-DISC"と表示され、ディスクが入っているときは"DISC-IN"と表示されます。

# B-4 SDカードを入れる／取り出す

ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。ケガの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬケガをするおそれがあります。
- SDカードを出し入れするときには、安全のため、セレクトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むとminiSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり機器の故障の原因になります。

## 1 ▲(OPEN／EJECT)をタッチする。

：OPEN／EJECT画面が表示されます。

## 2 OPEN をタッチする。

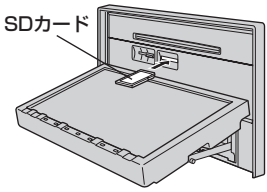
：ディスプレイ部が開きます。

## 3

### ■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。




※ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

### ■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

※ディスプレイ部を閉じるときは▲(OPEN／EJECT)をタッチしてください。

アドバイス

- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- ディスプレイ部を開いたまま、車のエンジンスイッチを0(ロック)にした場合は、自動でディスプレイ部が閉じます。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

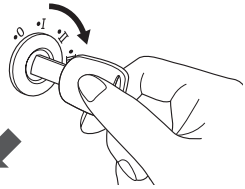
# 地図を表示する



## 1 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)に入れる。

：起動初期画面を表示した後、しばらくすると現在地の地図画面が表示されます。

※エンジンスイッチをⅢ(始動)にし、手をはなすと自動的にⅡ(ON)に戻ります。



VXM-135VFNi起動初期画面

測位計算中

VXM-135VFN起動初期画画面

測位計算中

**GPS受信表示**

"GPS" 文字色 青色・方位表示の周りの色 青色

：現在地の測位ができている。

"GPS" 文字色 灰色・方位表示の周りの色 灰色

：現在地の測位ができていない、または測位計算中。

現在地表示画面

自車マーク

現在地表示画面

自車マーク

**「あれ？画面がちがう…」**

起動初期画面を表示した後は、前回車のエンジンスイッチを0(ロック)にする前に表示していたモードの画面になります。地図画面を表示しなかった場合は、現在地をタッチしてオーディオ画面からナビゲーション画面モードに切り替えてください。

アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。「画質調整のしかた」T-2
- 現在地表示画面の見かたにつきましては、「現在地を表示する」B-7をご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、「GPS衛星の電波受信と測位」A-24をご覧ください。
- 地図画面に表示される各種設定内容は、お客様の設定によって変わります。

## 現在地表示について

- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。
  **実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。**
  ☞「GPS衛星の電波受信と測位」A-24
  ☞「現在地を表示する」B-7
- "GPS"の文字色または方位表示の周りの色で現在の測位の状態がわかります。"GPS"の文字色が灰色で、方位表示の周りの色も灰色の場合は、☞「GPS衛星の電波受信と測位」A-24に従って、電波を受信してください。
- **お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業(株)本社付近を表示します。**

# 現在地を表示する



**本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。**

## 1 現在地 をタッチする。

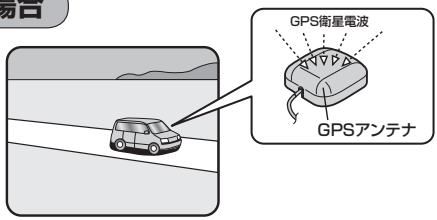
：現在地の地図画面が表示されます。

（例）現在地表示画面

アドバイス　地図画面の表示内容につきましては 「地図画面の見かた」B-8 を参考にしてください。

## 表示された現在地が実際の現在地と違う場合

GPS受信表示が青色の状態（GPS衛星電波を受信した状態）で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。




アドバイス

- 自車マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 自車マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。
  「現在地（自車）の位置を変更する」F-26
  ※GPSを受信すると、受信した位置を表示します。

# 地図画面の見かた

ナビゲーションシステムでは、操作するためのタッチボタンやいろいろな情報を地図画面に表示しています。

## タッチパネル部について

現在地画面(例)

スクロール画面(例)

① **方位** ボタン
地図表示(方位)を切り替えることができます。
☞ B-10

② **VICSタイムスタンプ** ボタン
- VICS情報が提供された時刻を表示します。
☞ E-10
- 渋滞／規制地点を表示します。☞ D-32

③ **internavi** ボタン☆
☞ 別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編

④ **🔍** ／ **🔍** ボタン
地図のスケールを変更します。☞ B-14

☆印…VXM-135VFNiの場合

⑤ **Quick** ボタン
Quick MENUを表示します。
☞ B-19、B-20、B-21

⑥ **戻る** ボタン

⑦ **微調整** ボタン
スクロールの微調整をします。(平面地図のみ)
☞ B-13

⑧ **設定** ボタン
設定MENUを表示します。☞ B-22

## 画面の表示内容について

平面地図画面(例)

3D地図画面(例)

### ①GPS受信表示

現在地の測位の状態を色で示します。
青色：現在地の測位ができている。
灰色：現在地の測位ができていない、
　　または測位計算中。
☞ B-5

> アドバイス　測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3～4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

### ②縮尺スケール

地図のスケールを表示します。
☞ B-14

### ③現在の時刻

### ④各種マーク表示

ECO：エコドライブを開始したときに表示されます。
☞ E-27

ETC：別売のETC車載器を接続し、ETCカードを挿入すると表示されます。☞ G-9

：別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続すると表示されます。☞ G-15

：本機に*Bluetooth*対応の携帯電話を登録し、接続すると表示されます。

FM、AM、CD、DVD、MR、USB、iPod、SD、DTV、VTR
：オーディオの各モード(FM／AM、CD／MP3／WMA、DVD、Music Rack、USB、iPod、SD、Digital TV、VTR)がONのときに表示されます。

OFF：オーディオの各モード(FM／AM、CD／MP3／WMA、DVD、Music Rack、USB、iPod、SD、Digital TV、VTR)がOFFのときに表示されます。

### ⑤周辺の住所(または道路名)・AUDIO情報

☞ F-6

### ⑥目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への残距離と到着予想時刻を示します。

### ⑦情報バー

### ⑧自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。
※設定により自車マークを変更することができます。
☞ F-25

### ⑨道路

道路の種類を色で区別しています。
青　色：高速道路、有料道路
赤　色：国道
緑　色：主要地方道、県道
灰色(太線)：一般道、細街路
灰色(細線)：細街路
青色(点線)：フェリー航路
※灰色(破線)はルート探索できません。
※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

> アドバイス　道路色は“地図切り替え”で選択したボタンによって変わります。上記の色は ノーマル を選択したときの色を記載しています。
> ☞「地図の色を設定する」F-5

### ⑩設定ルート

ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめルート)がピンクまたはイエロー(設定による)で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。
☞ F-11

### ⑪交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を矢印で表示します。
※お客様の設定によっては表示されません。
☞ F-11

### ⑫盗難多発地点表示

盗難が多発している地点を色で区別し表示します。最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険が高い場合は黄色、盗難の危険が低い場合は青色で表示しています。(各府県によって基準は異なります。)
☞ F-21
※初期設定は表示しない設定になっています。

### ⑬立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。

# B-10 地図表示(方位)を切り替える

**地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。**
**画面には、“北方向を上”、“進行方向を上”、“3D表示”の３種類があります。**
「メイン画面／右画面の設定をする」F-2

## 1 地図画面の 方位 をタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

### 北方向を上

地図の動きが気になるときは、北方向を上に固定できます。

### 進行方向を上

進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。走行に合わせて地図が回転します。

### 3D表示

進行方向は常に画面の上方向になります。

アドバイス

- 地図表示(方位)は、メイン画面または右画面の設定画面からでも設定することができます。
  「メイン画面／右画面の設定をする」F-2

**平面地図画面とは**

真上から地上を見たときのように表した地図画面です。

**3D表示とは**

上空から前方の地上を見たときのように表した地図画面です。

**3D表示について**

- 3D表示のときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3D表示の角度調整をすることができます。「3D表示の角度を調整する」F-4
- 文字と建物が見えにくくなる場合があります。

# 地図スクロール(地図を動かす)



停車中、見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

## 地図スクロール

例 平面地図画面で現在地の地図をスクロールする場合

**1** 画面をタッチする。

：画面にカーソル(−¦−)が表示されます。

**2** 地図をスクロールする。

■ 地図画面を低速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(−¦−)近くを動かしたい方向にタッチし続ける。

：低速でスクロールします。

■ 地図画面を高速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(−¦−)から離れた位置を動かしたい方向にタッチし続ける。

：高速でスクロールします。

アドバイス

- 現在地に戻るときは、 現在地 か 戻る をタッチします。
- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。
- ＊印…赤い直線でスクロール先から現在地の方向を表示します。

# 地図スクロール(地図を動かす)

例 3D表示画面で地図を動かす場合

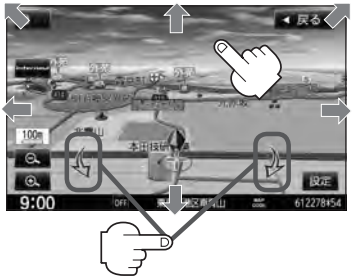
## 1 画面をタッチする。

：が表示されます。

## 2 動かしたい方向の地図画面、または／をタッチする。

：カーソル(−¦−)を中心に右回転(時計まわり)します。

：カーソル(−¦−)を中心に左回転(反時計まわり)します。




アドバイス

- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
- カーソル(−¦−)に近い部分をタッチすると低速で動き、カーソル(−¦−)より遠くなると高速で動きます。
- 3D表示画面で地図を動かした場合の自車マークはになります。

アドバイス

- 地図画面を切り替えるには「地図表示(方位)を切り替える」B-10をご覧ください。
- 3D表示の角度調整をするには「3D表示の角度を調整する」F-4ご覧ください。

## 微調整をする

**微調整は平面地図画面のみ行なうことができます。**

※3D表示画面の場合は、平面地図画面にしてください。

「地図表示(方位)を切り替える」B-10

※走行中 微調整 は選択できません。

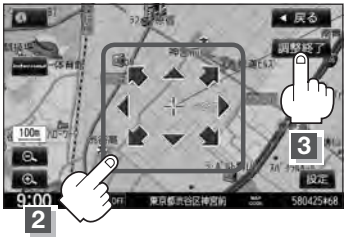
### 1 画面をタッチし、 微調整 をタッチする。

：画面に が表示されます。

### 2 動かしたい方向の矢印をタッチする。

：動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。

> アドバイス
> 以外をタッチしてもスクロールはしません。
> 地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。




### 3 調整終了 をタッチする。

：スクロール画面に戻ります。

> アドバイス
> ● 地図は矢印をタッチした方向に動かすことができます。
> ● 現在地に戻るときは、 現在地 か 戻る をタッチします。

# 地図を拡大／縮小する

## 1 地図画面で ⊖ ／ ⊕ をタッチする。

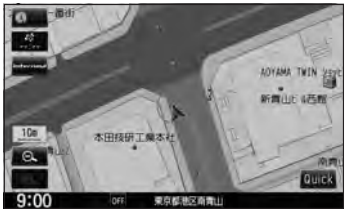
：⊖ ／ ⊕ をタッチするたびにスケールが変わります。

※右画面に地図を表示しているとき、
右画面の地図を拡大／縮小する場合も、
同じように操作してください。

「■ 右画面地図を拡大／縮小する場合」B-33

タッチすると選択したスケールで表示します。

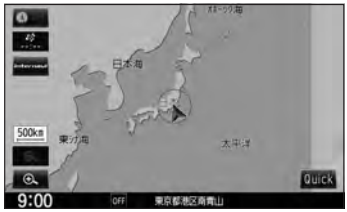
拡大（詳細地図）




⊖ をタッチ

⊕ をタッチ

縮小（広域地図）




---

アドバイス

- 指定の縮尺の地図がないときは、メッセージが表示され、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、⊖ ／ ⊕ をタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺レベルで止まります。
- 市街地図データの収録エリアは、T-32をご覧ください。
- 市街地図（10 m／25 m／50 m／100 m）表示のスケールの背景色は薄い橙色、それ以外は白色で表示されます。
- 市街地図（10 m／25 m／50 m／100 m）から、ビルの中のテナント情報を見ることができます。施設（物件）にカーソル（┼）を合わせると、地図画面上にビル名が表示されます。 設定 をタッチし設定MENUを表示させ、 テナント情報 をタッチすると、テナント情報を見ることができます。（ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報を確認することができます。）
  ※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。
  ※電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。 電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。（この機能を使用するには*Bluetooth*対応の携帯電話を接続する必要があります。携帯電話を接続していない場合、 電話する は選択できません。（ボタンは暗くなります）

# NAVI MENU画面について



## MENU画面を表示させる

ナビゲーションの操作のほとんどは、MENUを使って行ないます。
本書では、画面下に配置している標準キーを ボタン 、画面に表示されるボタンを ボタン と表記して操作説明をしています。

### 例 目的地画面を表示させる

**1** MENU をタッチする。

：MENU画面が表示されます。

**2** 目的地 をタッチする。

：目的地MENU画面が表示されます。

アドバイス

VXM-135VFNiとVXM-135VFNではMENU画面が異なるものもあります。本書では代表としてVXM-135VFNiのMENU画面を使用して説明しています。

(例)VXM-135VFNi
情報画面

(例)VXM-135VFN
情報画面

操作できない項目は暗くなり、選択できません。

## 各MENU項目について

ナビゲーションの操作のほとんどは、MENUを使って行ないます。

**1** MENU をタッチし、実行したい項目をタッチする。

**2** 各MENU項目の中から実行したい項目をタッチする。

■ VXM-135VFNiの場合

□ 目的地 をタッチしたとき ☞ C-1

目的地MENU

次へ をタッチ

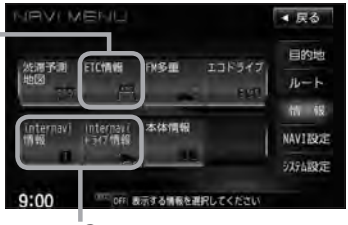
前へ をタッチ

□ ルート をタッチしたとき ☞ D-1

ルートMENU

□ 情報 をタッチしたとき ☞ E-1

情報MENU




□ NAVI設定 をタッチしたとき

☞ F-1

NAVI設定MENU

□ システム設定 をタッチしたとき

☞ G-1

システム設定MENU

■ VXM-135VFNの場合

□ 目的地 をタッチしたとき ☞ C-1

目的地MENU

次へ をタッチ

前へ をタッチ

□ ルート をタッチしたとき ☞ D-1

ルートMENU

□ 情報 をタッチしたとき ☞ E-1

＊1

情報MENU

□ NAVI設定 をタッチしたとき

☞ F-1

NAVI設定MENU

□ システム設定 をタッチしたとき

☞ G-1

＊1

システム設定MENU

＊3 ＊4

＊1印… ETC情報 ／ ETC は、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に選択できます。

＊2印… internavi情報 ／ internavi ドライブ情報 はHonda販売店にて、入会手続きとセットアップが完了した場合に選択／設定をすることができます。☞ E-33、F-53

＊3印… フロントカメラ設定 ／ コーナーカメラ設定 は、別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時に表示されます。☞ G-15

＊4印… リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続時に表示されます。☞ G-26

## 設定を終える

**設定を終えるには下記操作を行ないます。**

**1** **戻る ／ 現在地 ／ MENU をタッチする。**

：戻る をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。現在地 をタッチすると、現在地画面に戻ります。MENU をタッチすると、MENU画面に戻ります。

アドバイス

設定を変更するときに 決定 が表示される場合は 決定 をタッチして設定を保存してください。決定 をタッチしないで、現在地 ／ MENU ／ 戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

# B-18 ページの送り／戻しについて

リストや情報画面などのページを送り／戻しすることができます。

**1** ⏬または⏫をタッチする。

⏬：ページを送ります。

⏫：ページを戻します。

アドバイス　走行中は規制がかかり、ページの送り／戻しはできません。

# Quick MENUを表示する



## 1 現在地表示時に Quick をタッチする。

：設定した項目が表示されます。

※走行中操作できないボタンまたは利用できない場合は暗くなります。

※地図をスクロールすると 設定 に変わります。☞ B-22

アドバイス

Quick MENUについては☞「Quick MENUの設定をする」B-20、「Quick機能について」B-21もあわせてご覧ください。

# Quick MENUの設定をする

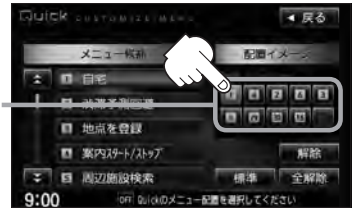
よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

## 1 現在地表示時に Quick ➡ Quick設定 をタッチする。

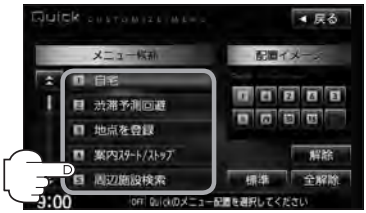
：Quick MENU設定画面が表示されます。

## 2 右側の配置イメージより配置したい場所を選んでタッチする。

現在設定されているメニューの配置イメージが表示されています。




## 3 左側のメニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。




## 4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 解除 をタッチすると設定されているQuick MENUを解除します。
- 全解除 をタッチすると設定されているQuick MENUを全て解除します。
- Quick MENUの設定をお買いあげ時の状態に戻す場合は 標準 をタッチします。

### Quick MENUに追加できる機能

1 自宅（自宅へ帰る）
2 渋滞予測回避
3 地点を登録
4 案内スタート／ストップ
5 周辺施設検索（周辺施設）
6 再探索
7 住所検索（住所）
8 電話番号検索（電話番号）
9 ジャンル検索（ジャンル）
10 登録地点検索（登録地点）
11 目的地履歴検索（目的地履歴）
12 郵便番号検索（郵便番号）
13 ルート編集
14 全ルート表示（全ルート）
15 登録ルート
16 道路切替 ☞ B-21
17 VICS表示設定
18 受信番組設定（受信番組）
19 VICS文字情報（文字情報）
20 VICS図形情報（図形情報）
21 渋滞地点
22 ETC情報
23 登録地点編集
24 地図表示設定
25 ルート案内設定（ルート案内）
26 カーマーク設定（カーマーク）
27 エコドライブ情報（エコドライブ）
28 音声案内
29 右画面設定（右画面表示）
30 昼夜切替

（　　）内はQuick MENU表示時のボタン名

# Quick機能について

操作できないボタンは暗くなり選択できません。



**本機では、主な操作を簡単にするため、Quick機能(Quick MENU／設定MENU)を設けています。(地図画面右下に表示されます。)**
**QuickMENUを表示させるには Quick (現在地表示時)、設定MENUを表示させるには 設定 (地図スクロール時)をタッチします。**「Quick MENUを表示する」B-19

## Quick をタッチ(現在地表示時)

- **自宅へ帰る**
  自宅までのルートを探索します。「現在地から自宅までのルートを探索する」B-29
  ※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。「自宅を登録する」B-23
- **案内ストップ** ／ **案内スタート**
  タッチするたびに、ルート案内ストップ⟷スタートが切り替わります。
  「ルート案内をストップ／スタートする」D-18
  ※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)
- **渋滞予測回避**
  過去のVICS渋滞統計データをもとに日時を指定してルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をします。
  「渋滞予測ルート探索をする」D-28
  ※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)
- **再探索**
  探索条件を変えて、再探索することができます。
  「再探索をする」D-19
  ※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)
- **地点を登録**
  地点の登録を行ないます。「地点を登録する」B-26
- **周辺施設**
  現在地の周辺施設を検索することができます。「周辺にある施設から地点を探す」C-18
- **右画面表示**
  右画面に表示する情報画面を選択します。(選択時表示点灯)「右画面に地図／情報を表示する」B-30
- **昼夜切替**
  画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。「昼夜切替をする」T-4
- **道路切替**
  一般または有料道の切り替えをします。「道路切替ボタンの機能について」下記

アドバイス
よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに設定することができます。
「Quick MENUの設定をする」B-20

## 道路切替ボタンの機能について

**一般道または有料道を走行中に、本機が実際の走行道路と違う道路を走行していた場合に 道路切替 をタッチすると強制的に他の道路へと切り替わります。**
※強制的に道路変更できるのは、一般道と有料道が近くにある場合のみです。必ず、ご希望の道路に切り替わるとは限りません。

アドバイス
有料道に切り替えた場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

## 設定 をタッチ(地図スクロール時)

- **目的地セット**
  目的地を登録し、ルートを探索します。「現在地から目的地までのルートを探索する」B-28

- **出発地セット** *
  出発地を登録し、ルート探索します。「出発地／目的地の変更」D-10
  ※ルート編集画面で出発地の変更を行なう場合に表示されます。

- **経由地セット** *
  経由地を登録し、ルート探索します。「経由地の追加」D-13／「経由地の変更／削除」D-15
  ※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。

- **複数探索**
  複数ルート探索を行ないます。「複数ルートを探索する」D-9

- **自宅セット** *
  自宅を登録します。「自宅を登録する」B-23
  ※自宅の登録を行なう場合に表示されます。すでに自宅が登録されている場合は表示されません。

- **テナント情報**
  テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。
  ※市街地図(10m／25m／50m／100m縮尺スケール)でテナント情報のある物件にカーソル(−¦−)をあわせます。

- **地点登録**
  地点の登録を行ないます。「地点を登録する」B-26

- **地点編集**
  登録地点の編集や並び替え、削除ができます。「登録地点の編集」F-38／「登録地点を並び替える」F-43／「自宅／登録地点を削除する」F-46
  ※登録地点マークにカーソル(−¦−)をあわせます。

- **周辺検索**
  スクロール先の周辺施設を検索することができます。「周辺にある施設から地点を探す」C-18

- **施設詳細**
  施設の詳細がある場合にのみ情報が表示されます。

＊印…地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

# 自宅を登録する



自宅を登録しておくと、自宅までの参考ルートを探索することができます。

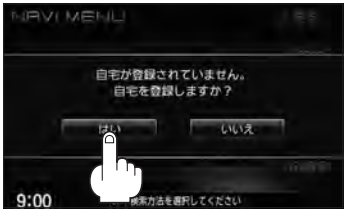
**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 自宅 をタッチする。

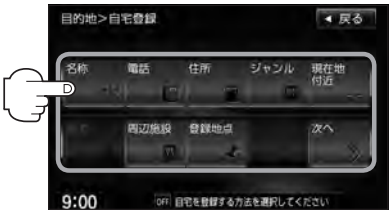
：自宅を登録するメッセージが表示されます。

**3** はい をタッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。




**4** 登録方法を選び、タッチする。




- 名称 ☞ C-2
- 電話 ☞ C-6
- 住所 ☞ C-8
- ジャンル ☞ C-12
- 周辺施設 ☞ C-18
- 登録地点 ☞ C-24
- 履歴 ☞ C-26
- 地名 ☞ C-29
- 郵便番号 ☞ C-31
- 緯度経度 ☞ C-32
- マップコード ☞ C-33
- 地図から ：この画面に入る前の地図を表示
- SD ★ ☞ C-35
- 現在地付近 ：現在地付近の地図を表示
- 出発地付近 ：出発地付近の地図を表示
- 目的地付近 ：目的地付近の地図を表示

★印…VXM-135VFNの場合

**例** 住所から自宅を探し登録する

① **住所** をタッチする。

② リストから画面に従って“都道府県名”“市区町村名”“町名”“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”を順次選びタッチしていく。

：自宅周辺の地図と設定MENUが表示されます。
（**地図から** ／ **現在地付近** ／ **出発地付近** ／ **目的地付近** で探索した場合は、地図のみ表示されます。）

検索方法は☞「住所で地点を探す」C–8の手順 **3** 、 **4** を参考にしてください。

アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。（選択できない文字は暗くなります。）

＊印…頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

- **地名入力** をタッチすると地名入力検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。☞「■ **地名を入力して探す場合** 」C–10
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 選択したい番地が収録されていない場合は、その付近に近い番地を選択すると、その付近の地図が表示されます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、 **戻る** をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

## 5 自宅を登録する。

■ 表示された位置で良い場合

① **自宅セット** をタッチする。

■ 地図のみ表示された場合

① **設定** をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

② **自宅セット** をタッチする。

■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

① 閉じる または地図画面をタッチする。

：設定MENUを閉じます。

② カーソル(–¦–)を自宅に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

④ 自宅セット をタッチする。

：自宅が登録され、自宅までのルート探索をするかメッセージが表示されます。 はい をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。 いいえ をタッチすると、地図が表示されます。
登録した位置を確認したい場合は MENU ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 ➡ 自宅編集 ➡ 地図表示 をタッチすると地図を表示します。(地図上には マークが表示されます。)

アドバイス

- 自動的にマークは になります。マークを変更したい場合は F-41 をご覧ください。
- 登録地点を表示“しない”に設定している場合は、地点を登録しても、地図上にマークは表示されません。
  「表示項目の設定をする」F-6
- 自宅を変更したい場合は登録した自宅を削除してから再登録してください。 F-46

# 地点を登録する

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。（最大300カ所・自宅は含まれません）

## 1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル( -¦- )を合わせ、 設定 をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

## 2 地点登録 をタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。

## 3 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 地図画面をスクロールさせるには「地図スクロール（地図を動かす）」B-11をご覧ください。
- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、上記手順 2 の 地点登録 をタッチした後に登録地点かカメラ地点のどちらで登録するかメッセージが表示されます。カメラ地点で登録する場合は「フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する」G-18をご覧ください。
- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は「SDカードから地点を登録する」F-48をご覧ください。

## 登録地点について

登録地点の名称、フォルダ、メモ、TEL、マーク、アラーム、カメラ(別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時)は変更／登録することができます。

「登録地点の編集」F-38

登録地点の地図を呼び出すことができます。
登録地点の表示方法は全表示とフォルダの２種類の表示方法があります。

「登録地点で地点を探す」C-24

また、「自宅／登録地点の地図を呼び出す」F-45でも呼び出せます。

登録地点の地図は、ルート編集で出発地／経由地／目的地を設定するときに、すばやく設定できます。

「ルートを変更する」D-10

経由地登録時

地図上の登録地点マークの表示をやめることができます。

「表示項目の設定をする」F-6

自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索(現在地から自宅までの参考ルートを探索すること)ができます。また、自宅の情報画面を表示することもできます。

「Quick 機能について」B-21

「自宅を登録する」B-23

「現在地から自宅までのルートを探索する」B-29

「登録地点の編集」F-38

# クイック ルート探索をする

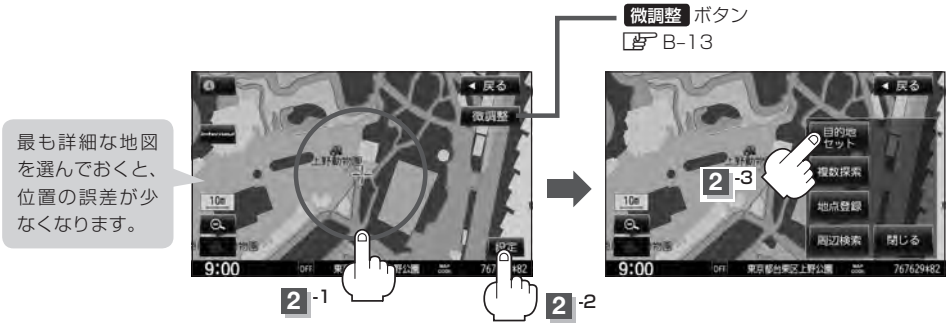
現在地から目的地までの参考ルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

## 現在地から目的地までのルートを探索する

**1** 画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図画面を表示する。

「地図スクロール(地図を動かす)」B-11　「地図を拡大／縮小する」B-14

**2** カーソル(–¦–)を目的地に合わせ、 設定 ➡ 目的地セット をタッチする。

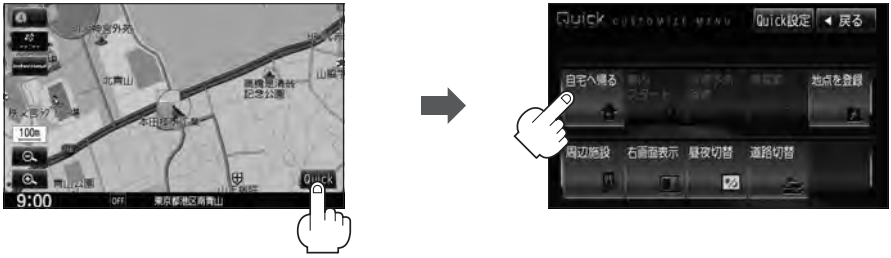



：参考ルートの探索を始めます。探索完了後ルート全表示画面になります。
(全ルートを表示しない設定(F-10)にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。)
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
D-8

有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 をタッチしてください。

## 現在地から自宅までのルートを探索する

**1** 現在地表示中に Quick をタッチしてQuick MENUを表示させ、 自宅へ帰る をタッチする。




：参考ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
（全ルートを表示しない設定（☞ F-10）にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。）
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
☞ D-8

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルート探索を開始します。

---

アドバイス

- （オプション）に“自宅”機能を設定している場合は、（オプション）をタッチすると自宅までのルート探索をします。☞「オプションボタンの設定をする」G-3
- 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ、自宅を登録しておく必要があります。上記手順 1 で自宅が登録されていない場合、自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、 はい をタッチすると自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。
  ☞「自宅を登録する」B-23
- 新たにルート探索すると、前回探索した参考ルートは消えます。
- 参考ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。
- Quick ／ 設定 （Quick MENU）の詳しい内容は☞「Quick機能について」B-21 をご覧ください。

**お願い**

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制に従って走行してください。

# 右画面に地図／情報を表示する

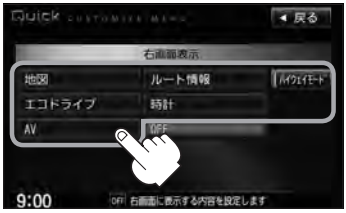
現在地表示時、画面を２つに分けてルート情報やエコドライブ情報などの情報画面を表示させることができます。

## 1 現在地表示時に、 Quick ➡ 右画面表示 をタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。

## 2 表示したい情報( 地図 ／ エコドライブ ／ AV ／ ルート情報 ／ ハイウェイモード ／ 時計 )を選択し、タッチする。

：左画面には現在の地図画面、右画面には選択した情報が表示されます。




### ■ 地図画面を表示する場合

① 地図 ➡ OK をタッチする。

：右画面に地図を表示することができます。

（例）

アドバイス

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示は設定からも表示させることができます。
☞「メイン画面／右画面の設定をする」F–2

### ■ エコドライブ画面を表示する場合

① エコドライブ ➡ OK をタッチする。

：右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケーターまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。

（ 表示切替 をタッチで表示の切り替え）

（例）

アドバイス

- ルート案内中は交差点拡大図などを表示する設定にしている場合、交差点拡大図などを優先して表示します。
- ２画面表示したエコドライブ画面につきましては☞ E–32をご覧ください。

## ■ 右画面にオーディオ画面を表示する場合

① AV ➡ OK をタッチする。

：右画面にオーディオ画面が表示されます。

（例）

アドバイス
- 右画面にオーディオ画面を表示するには、オーディオをONの状態にしてください。
- 右画面にオーディオ画面表示はNAVI設定で設定することもできます。
  「表示項目の設定をする」F-6
  ※表示内容については F-8をご覧ください。

## ■ ルート情報を表示する場合

① ルート情報 ➡ OK をタッチする。

：ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離などを表示します。

（例）

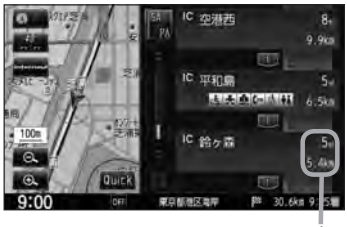
アドバイス
ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示できます。ルート情報は、NAVI設定からも設定することができます。
「■ ルート情報の表示を設定する場合」F-13
＊印…経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示します。

## ■ ハイウェイモードの表示切り替えをする場合

① ハイウェイモード をタッチする。

：表示灯が点灯の時はハイウェイモード（高速道路／一般有料道路の情報）を表示する設定になります。消灯の時は表示しない設定になります。

（例）




アドバイス
- ハイウェイモードはルート案内時とデモ走行時に表示されます。
- ハイウェイモードはNAVI設定からも設定することができます。
  「■ ハイウェイモードの表示を設定する場合」F-13
- 「■ ルート情報を表示する場合」（上記）で ルート情報 を選択または、「■ ルート情報の表示を設定する場合」F-13で“ルート情報の表示”を する を選択すると高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、 ハイウェイモード を選択できなくなります。
- ハイウェイモードを選択している場合、他の項目を選択していてもハイウェイモードを優先して表示します。
- ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。

＊印…経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示します。

■ 時計を表示する場合

① 時計 ➡ OK をタッチする。

：右画面に日付と時間が表示されます。

（例）時計画面

## 全画面表示に戻す

**1** B-30手順 1 に従って操作し、
OFF ➡ OK をタッチする。

## 右画面の方位／縮尺スケールを変える

### 1 右画面地図の方位／縮尺スケールを変える。

■ 右画面地図の方位を切り替える場合

① 方位 をタッチする。

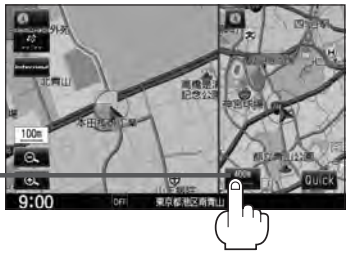
：タッチするたびに方位と画面が切り替わります。

方位 ボタン
☞ B-10

■ 右画面地図を拡大／縮小する場合

① 地図画面で 縮尺スケール をタッチする。

：画面に ⊖ ／ ⊕ が表示されます。




縮尺スケール ボタン

② ⊖ ／ ⊕ をタッチする。

⊖ ：広域（縮小）な地図を表示します。

⊕ ：詳細（拡大）な地図を表示します。

スケール表示を
タッチすると選択した
スケールで表示します。

アドバイス

- 右画面表示時に地図のスクロールをすると全画面表示に切り替わります。
  現在地 または 戻る をタッチすると、右画面表示に戻ります。
- 右画面地図表示は設定MENU画面から表示することもできます。
  ☞「メイン画面／右画面の設定をする」F-2
- 右画面地図をフリーズームさせたいときは、スケール表示が出ているときに ⊖ ／ ⊕ をタッチし続けます。お好みの縮尺レベルになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺スケールで止まります。

# 目的地を設定してルート探索をする

目的地を検索して、ルートを探索することができます。

## 1 MENU をタッチする。

：MENU画面が表示されます。

## 2 目的地 をタッチする。

：目的地MENU画面が表示されます。

## 3 検索方法を選択する。

☞検索方法につきましてはC-2～C-36をご覧ください。

次へ をタッチ

前へ をタッチ

※VXM-135VFNの場合、上記画面で SD が表示されます。

## 4 目的地セット をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後、全ルート表示画面になります。
（全ルートを表示しない設定（☞F-10）にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。）

※設定MENU画面が表示されていない場合は、設定 をタッチして表示させてください。

## 5 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

# 文字／数字の入力方法について

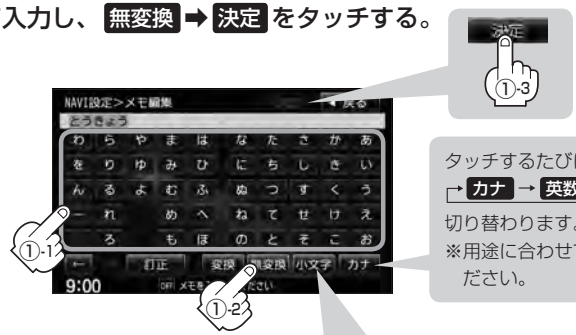


目的地を施設の名称や電話番号などで探すときや、登録地点の編集などをするときに、文字や数字を入力します。

## ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する

### ■ ひらがなを入力する場合

① 文字をタッチして入力し、 無変換 ➡ 決定 をタッチする。




タッチするたびに
→ カナ → 英数 → かな → と
切り替わります。
※用途に合わせて切り替えてください。

小文字に変換したい場合
小文字 をタッチする。
：パレットが変換可能な文字のみ小文字に変わります。
※ 小文字 ⟷ 大文字 をタッチするたびに、パレットが小文字または大文字に切り替わります。

アドバイス
上記の説明は登録地点編集（☞ F-38）をする場合の編集画面です。目的地検索でひらがな入力をする場合、表示されるボタンが異なります。

### ■ 漢字を入力する場合

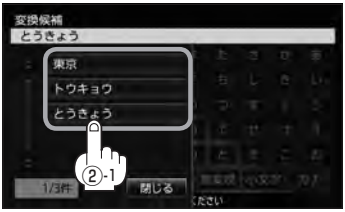
ひらがなを漢字に変換します。

① 文字をタッチして入力し、 変換 をタッチする。

：変換候補画面が表示されます。

アドバイス
- 漢字変換しない場合は 無変換 をタッチしてください。
- ← ／ → をタッチして変換する文字の範囲を選択することができます。
- ■ をタッチすると１文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。

② 変換したい漢字をタッチし、 決定 をタッチする。



■ カタカナ／英数を入力する場合

① カナ ／ 英数 をタッチする。

：パレットがカタカナ／英数表示になります。

② 文字をタッチして入力し、 決定 をタッチする。

小文字に変換したい場合
小文字 をタッチする。
：パレットが変換可能な文字のみ小文字に変わります。
※ 小文字 ⟷ 大文字 をタッチするたびに、パレットが小文字または大文字に切り替わります。

タッチするたびに
カナ → 英数 → かな と
切り替わります。
※用途に合わせて切り替えてください。

## 数字を入力する

**1** 数字をタッチして入力し、 決定 をタッチする。

アドバイス
設定を変更するときに 決定 が表示される場合は 決定 をタッチして設定を保存してください。 決定 をタッチしないで、 現在地 ／ MENU ／ 戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

## 文字／数字を訂正する

■ 最後の文字を訂正する場合

① 訂正 をタッチする。

■ 全ての文字を訂正する場合

① 訂正 を 1.5 秒以上タッチする。

■ 途中の文字を訂正する場合

① ← ／ → をタッチし、訂正したい場所へカーソルを移動する。

② 訂正 をタッチする。

# C

# 目的地を探す



名称で地点を探す（名称50音）……C-2
順番を並び替えて表示する……C-4
電話番号で地点を探す……C-6
個人宅の電話番号を入力した場合……C-7
住所で地点を探す……C-8
施設のジャンルから地点を探す……C-12
道路名から地点を探す……C-16
自宅周辺の地図を表示する……C-17
周辺にある施設から地点を探す……C-18
表示できる施設……C-21
登録地点で地点を探す……C-24
登録地点の並び替えをする……C-25
目的地履歴の中から地点を探す……C-26
目的地履歴を削除する……C-27
地名から地点を探す……C-29
郵便番号で地点を探す……C-31
緯度・経度で地点を探す……C-32
マップコードで地点を探す……C-33
地図から地点を探す……C-34
SDカードで地点を探す……C-35

# C-2 名称で地点を探す（名称50音）

**主な施設の名称を入力して探すことができます。行きたい施設の名前がわかっているときに便利です。また、ハイブリッド検索*で探すことができます。**

＊印…施設の候補が多い場合に候補を絞り込んで探すこと。

## 1

MENU をタッチする。

## 2

**目的地 ➡ 名称 をタッチする。**

：施設名入力画面が表示されます。

## 3

**文字をタッチして、施設名を入力し、検索 をタッチする。**

☞ 入力方法はB-35を参考にしてください。

：施設リスト画面が表示されます。

※検索施設が10,000件より多い場合 検索 は選択できません。10,000件以下になるよう入力してください。

例 “ほてる”と入力→10,000件より多い場合は検索できません。
“ほてるこ”と入力→10,000件以下で検索可能。
↑次の文字を入力

アドバイス
- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点、長音符（ー）の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

## 4 検索方法を選択する。

■ リストから施設名を選択する場合

① リストから施設名を選択し、タッチする。

：左画面に選択した施設の周辺地図が表示されます。

② ここを をタッチする。

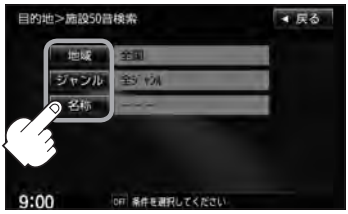
：施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選択し、 ここを をタッチしてください。

■ ハイブリッド検索で施設を選択する場合

① 絞込み をタッチする。

：条件選択画面が表示されます。

② 条件（ 地域 ／ ジャンル ／ 名称 ）を選択し、タッチする。




□ 地域 をタッチしたとき

：検索リスト画面が表示されます。

1. “都道府県名”“市区町村名”の順に選択する。

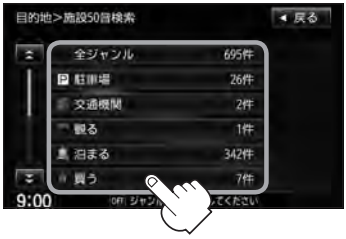
検索方法は「住所で地点を探す」C-8 手順 3 を参考にしてください。

＊印…頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストが繰り返し表示されます。

□ ジャンル をタッチしたとき

：検索リスト画面が表示されます。

1. 施設のジャンルを選択し、さらに細かく分類された施設の種類を選択してタッチしていく。



□ 名称 をタッチしたとき

：名称50音検索入力画面が表示されます。

**1. 文字をタッチして、施設名を入力する。**

☞ 入力方法はB-35を参考にしてください。

**2. 決定 をタッチする。**

**③リストから“施設名”を選択し、ここを をタッチする。**

：施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選択してください。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

アドバイス

- 検索施設の件数が多くなるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- 手順②(C-3)で 地域 を選択した場合のリスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。（選択できない文字は暗くなります。）
- 名称がはっきりわからない場合や、病院・学校などを検索する場合は、周辺施設またはジャンルで検索してください。
  ☞「周辺にある施設から地点を探す」C-18／☞「施設のジャンルから地点を探す」C-12
- ハイブリッド検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせて絞り込むことができます。
- 手順②(C-3)で ジャンル を選択した場合、検索リスト画面には、選択したジャンルに従い、入力した名称に該当する施設が表示されます。
- 指定した条件を変更したい場合は、手順②(C-3)の条件選択画面で変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。（施設名がスクロールし続けます。）

## 順番を並び替えて表示する

**表示させたい方法( 50音順 ／ 距離順 )を選択し、タッチする。**

50音順 …50音順に表示

距離順 …地図上の直線距離で現在地から近い順に表示

（例）距離順で表示

## 5 地図を見る、または詳細情報を見る。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

### ■ 周辺の地図を見る場合

① 閉じる または地図画面をタッチする。

：設定MENUを閉じ、周辺の地図が表示されます。

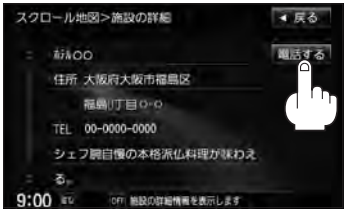
### ■ 施設の詳細情報を見る場合

① 施設詳細 をタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

※ 施設詳細 は、情報がある場合しか表示されません。

※電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。 電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。（この機能を使用するには*Bluetooth*対応の携帯電話を接続する必要があります。☞S-5）携帯電話を接続していない場合、 電話する は選択できません。（ボタンは暗くなります）




アドバイス 詳細情報画面で 電話する をタッチして電話をかけるとハンズフリーの発信履歴に電話番号のみ登録されます。

## 6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# C-6 電話番号で地点を探す

電話番号から、その地域の地図を表示することができます。電話番号を入力して地点を探すことができます。本機には、NTTタウンページの情報の一部(約800万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報約3,000万件)が収録されています。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 電話 をタッチする。

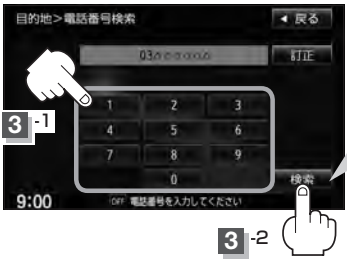
：電話番号入力画面が表示されます。

**3** 数字をタッチして、電話番号を入力し、 検索 をタッチする。

※電話番号は市外・市内局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。

入力方法はB-36を参考にしてください。

：周辺の地図が表示されます。




**入力途中で 検索 をタッチした場合**
市内局番からの周辺の地図が表示されます。

※個人宅の電話番号を入力した場合は、個人宅入力画面が表示されます。

「(個人宅の電話番号を入力した場合)」C-7

※入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選択すると地図が表示されます。

アドバイス

該当する電話番号が収録されていない場合は、メッセージが表示されたあとに、周辺の地図が表示されます。入力し直す場合は、 戻る ➡ 訂正 をタッチして番号を確認のうえ、もう一度入力してください。また、ピンポイント検索できない場合があります。

**4** 地図を見るまたは詳細情報を見る。

操作方法につきましてはC-5を参考にしてください。

※ルート探索する場合は、「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、現在地をタッチする。

## 個人宅の電話番号を入力した場合

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

**1** C-6手順3で検索をタッチする。

：個人宅入力画面が表示されます。

**2** 登録者名の名字を入力後、検索をタッチする。

個人宅入力画面

：入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。入力した名字が間違っている場合は、メッセージが表示されます。

※該当するデータが収録されていない場合、地図は表示されません。入力した名字を確認のうえ、もう一度入力してください。

アドバイス

- 入力方法は、ひらがなのみとなります。
- 登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
- 個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合または、ピンポイント検索ができない場合があります。
- 電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

# C-8 住所で地点を探す

住所を入力して地点を探すことができます。地図ソフトには、約3,500万件のデータが収録されています。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 住所 をタッチする。

：住所検索リスト画面が表示されます。

アドバイス

**検索リスト画面について**

リスト

ここをタッチして地名から検索することもできます。

「■ 地名を入力して探す場合」C-10

頭文字選択ボタン

※タッチするたびに頭文字の行の文字を表示します。

※選択できない文字は暗くなり、選択できません。

リスト

番地入力ボタン

※選択できない数字は暗くなり、選択できません。

## 3 リストから選択または地名を入力して探す。

※郡は表示(選択または入力)できません。町村から選択または入力をしてください。

### ■ リストから探す場合

**例** 東京都新宿区西新宿2-8-1を探す

① た ➡ と 東京都 をタッチする。

② さ ➡ し 新宿区 をタッチする。

③ な ➡ ▼ ➡ に 西新宿 をタッチする。

④ 2 ➡ − ➡ 8 ➡ − ➡ 1 をタッチする。

リストをタッチして選択することもできます。

⑤ 2丁目−8−1 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

## ■ 地名を入力して探す場合

※市町村名で検索できます。

① **地名入力 をタッチする。**

：地名入力検索画面が表示されます。

② **文字をタッチして地名を入力し、検索 をタッチする。**

：リストが表示されます。

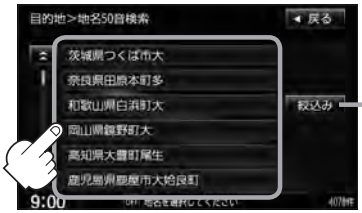
☞ 入力方法はB–35を参考にしてください。
入力はひらがなのみです。

アドバイス

地名50音検索入力画面には、“地名の一部でも検索できます”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチした文字が表示されます。

③ **リストから“地名”を選択しタッチする。**

都道府県に複数の地名がある場合は 絞込み が表示されます。 絞込み をタッチすると都道府県を絞り込むことができます。




④ **丁目、番地を入力する。**

検索方法は☞「■ リストから探す場合 」C–9 手順④、⑤を参照してください。

：周辺の地図が表示されます。

## 4 地図を見る。

※ 閉じる または地図画面をタッチすると設定MENUを閉じることができます。再度設定MENUを表示させるときは 設定 をタッチしてください。
☞「Quick機能について」B-21

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

## 5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。（選択できない文字は暗くなります。）
- 入力した住所を訂正したい場合は、 戻る をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- 番地など住所の詳細が分からないときは“都道府県名”“市区町村名”“町名”を選択したあと 代表地点 をタッチすると、選択した場所の代表地点の地図が表示されます。

# C-12 施設のジャンルから地点を探す

施設のジャンルや都道府県を指定して、該当する施設の名称リストを表示させ、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。検索できる施設の種類については、☞「表示できる施設」C-21をご覧ください。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ ジャンル をタッチする。

：検索リスト画面が表示されます。

**3** 検索方法を選択する。

■ リストを選択して探す場合

① 探している施設のジャンルを選択し、さらに細かく分類された施設の種類を選択してタッチしていく。

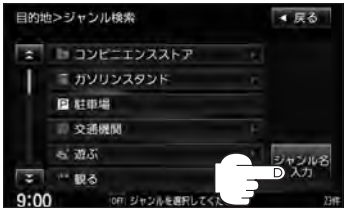
：ジャンル検索条件選択画面が表示されます。

細かい分類がある場合は▶マークが表示されます。

■ ジャンル名を入力して探す場合

① ジャンル名入力 をタッチする。

：ジャンル名入力画面が表示されます。




② 文字をタッチしてジャンル名を入力し、検索 をタッチする。

：ジャンル検索リスト画面が表示されます。

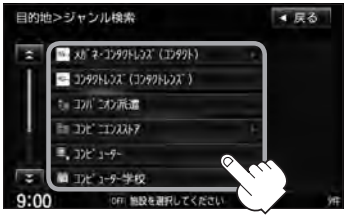
☞入力方法につきましてはB-35を参考にしてください。

※候補が100件より多い場合は検索できません。

③ ジャンル検索リストから該当する“ジャンル”を選択しタッチする。

：ジャンル検索条件選択画面が表示されます。

※ジャンル検索リストがさらに続く場合はリストより選択してタッチしてください。




## 4 さらに検索する条件を選択する。

■ 現在地またはスクロール先周辺にある施設を検索する場合

① 地図周辺 をタッチする。

■ 目的地周辺にある施設を検索する場合

① 目的地周辺 をタッチする。

■ ルート沿いにある施設を検索する場合

① ルート周辺 をタッチする。

■ 都道府県で検索する場合

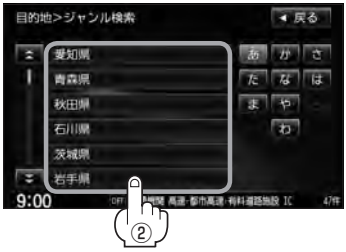
① 都道府県 をタッチする。

② リストから“都道府県名”を選択し、タッチする。

※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。

：施設名リストが表示されます。

リスト画面

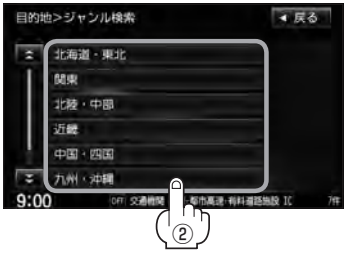



■ 地域／路線で検索する場合

① 地域／路線 をタッチする。

② リストから地域を選択し、タッチする。

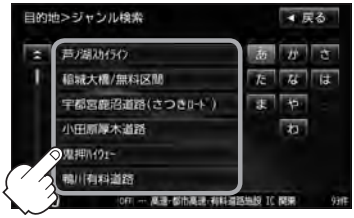
地域選択画面




※ 地域／路線 は、手順 3 (☞ C-12)で 交通機関 ➡ 高速・都市高速・有料道路施設 ➡ IC ／ SA ／ PA を選択したときのみボタンをタッチすることができます。

③ リストから路線を選択し、タッチする。

路線選択画面




アドバイス

- ルート案内をしていない場合は 目的地周辺 ／ ルート周辺 は選択できません。(ボタンが暗くなります。)
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先周辺から半径10km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート周辺にある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって10km以内で、ルートの左右約100m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- 地図周辺 ／ 目的地周辺 ／ ルート周辺 では、リストに表示される施設は異なります。
- 入力したジャンルを訂正したい場合は、 戻る をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。
- “都道府県名”を選んだあと 全市区町村 をタッチすると、選んだ場所の全施設名がリストに表示されます。

## 5 リストから“施設名”を選択する。

■ C-13手順 4 で 地図周辺 ／ 目的地周辺 ／ ルート周辺 を選択した場合

① リストから“施設名”を選択し、タッチする。

：左画面に選択した施設の周辺地図が表示されます。

施設までの距離

② ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選択し、 ここを をタッチしてください。

コンビニエンスストア、ファーストフード、ファミリーレストランの場合、選択した施設に情報があるときは、アイコンが表示されます。(駐車場(P)、ATM、酒、タバコ、ドライブスルーの有無や営業時間(24h)が表示されます。)

■ C-13手順 4 で 都道府県 を選択した場合

① リストから“施設名”を選択し、タッチする。

※左画面に選択した施設の周辺地図が表示されます。

② ここを をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選択し、 ここを をタッチしてください。

※現在地から近い順にリスト表示したい場合は 距離順 をタッチして表示灯を点灯させてください。

■ C-13手順 4 で 地域／路線 を選択した場合

① リストから施設名を選択し、タッチする。

：左画面に選択した施設の周辺地図が表示されます。

② ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

アドバイス リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。（施設名がスクロールし続けます。）

## 6 地図を見る、または詳細情報を見る。

操作方法につきましてはC-5を参考にしてください。

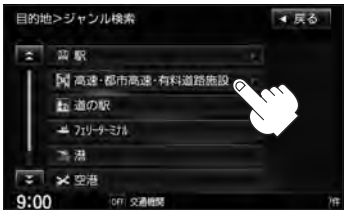
※ルート探索する場合は、「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

## 7 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

## 道路名から地点を探す

**1** C-12手順 1 、 2 に従って操作し、
交通機関 ➡ 高速・都市高速・有料道路施設 をタッチする。

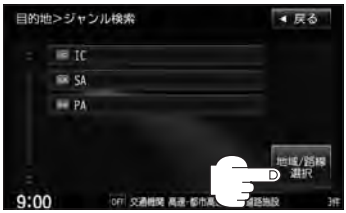
：リスト画面が表示されます。




**2** 地域／路線選択 をタッチする。

：地域選択画面が表示されます。

※さらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。




**3** リストから“表示させたい地点”をタッチし、
ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

# 自宅周辺の地図を表示する

自宅周辺の地図を表示します。

アドバイス
この機能を使うには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。
☞「自宅を登録する」B–23

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 自宅 をタッチする。

：自宅周辺の地図が表示されます。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B–34ご覧ください。

※ 閉じる または地図画面をタッチして設定MENUを閉じることができます。再度設定MENUを表示させるときは 設定 をタッチしてください。
☞「Quick機能について」B–21

**3** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# 周辺にある施設から地点を探す

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から地点を探すことができます。施設までの距離と施設の位置も確認でき、近くのコンビニエンスストアなどを探したいときなどに便利です。検索できる施設の種類については、☞「表示できる施設」C-21 をご覧ください。

## 1

■ **現在地周辺の施設を検索する場合**

下記手順 **2** へ進んでください。

■ **スクロール先周辺の施設を検索する場合**

地図上のカーソル(–¦–)を検索したい施設の場所に合わせる。

## 2

**MENU をタッチする。**

## 3

**目的地 ➡ 周辺施設 をタッチする。**

：検索リスト画面が表示されます。

## 4

**検索方法を選択する。**

■ **地図周辺 をタッチした場合**

：現在地またはスクロール先周辺にある施設を検索します。

■ **ルート沿い をタッチした場合**

：ルート沿いにある施設を検索します。

■ **目的地周辺 をタッチした場合**

：目的地周辺にある施設を検索します。

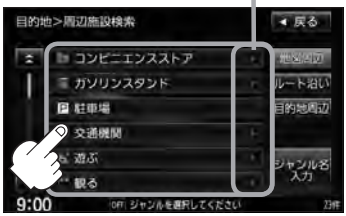
ジャンル名を入力して探すこともできます。☞ C-12

アドバイス

- ルート案内をしていない場合は ルート沿い ／ 目的地周辺 は選択できません。(ボタンが暗くなります。)
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地から半径 10 km以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって 10 km以内で、ルートの左右約 100 m以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- 地図周辺 ／ ルート沿い ／ 目的地周辺 では、リストに表示される施設は異なります。
- 訂正したい場合は、 戻る をタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

## 5 探している施設のジャンルを選択し、タッチする。

細かい分類がある場合
▶マークが表示されます。




■ **施設の種類が表示された場合**

下記手順 6 へ進んでください。

■ **施設名が表示された場合**

下記手順 7 へ進んでください。

## 6 探したい施設の種類を選択し、 検索 をタッチする。

※リスト横に ▶ が表示された場合はタッチすると、さらに細かくリストを選択することができます。

：選択した施設にマーク(✔印)が付きます。
全選択 をタッチすると、すべてにマーク(✔印)が付きます。

※選択をやめたい場合は再度ボタンをタッチしてマーク(✔印)を消します。 全解除 をタッチすると、リストに付いているマーク(✔印)が全て消えます。

## 7 リストから“施設名”をタッチし、ここを をタッチする。

コンビニエンスストア、ファーストフード、ファミリーレストランの場合、選択した施設に情報があるときは、アイコンが表示されます。(駐車場(P)、ATM、酒、タバコ、ドライブスルーの有無や営業時間(24ｈ)が表示されます。)

：周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選択してください。

※リストに表示された6カ所施設が、地図にアイコン表示されます。

アドバイス

- C-18手順 4 で 地図周辺 を選択した場合、施設名の横に施設から現在地またはスクロール先への距離を表示します。また、左画面の地図に現在地またはスクロール先から施設の方向を赤い線で表示します。
- C-18手順 4 で ルート沿い を選択した場合、現在地からの距離と地図にルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。また、左画面の地図に現在地またはスクロール先から施設の方向を赤い線で表示します。
- C-18手順 4 で 目的地周辺 を選択した場合、右画面リストに目的地からの距離を表示します。
- リストから施設を選択しタッチすると左側の地図に選択した施設の周辺地図が表示されます。
- ⊖ ／ ⊕ をタッチして地図を見やすく表示させることができます。( 方位 は選択することができません。)
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。(施設名がスクロールし続けます。)

## 8 地図を見る、または詳細情報を見る。

☞ 操作方法につきましてはC-5を参考にしてください。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

## 9 現在地の地図画面に戻るときは、現在地をタッチする。

# 表示できる施設



**交通機関**

駅、高速・都市高速・有料道路施設、道の駅、フェリーターミナル、港、空港、タクシー

**公共施設**

役所、警察署・交番、消防署、図書館、裁判所、税務署、年金事務所、保健所、法務局、
運転免許試験場

**銀行**

都市銀行、地方銀行、その他銀行

**駐車場**

駐車場

**学校・教育施設**

大学、高校、中学校、小学校、短大、高専、中等教育学校、幼稚園、保育園、
特別支援学校、自動車学校、各種専門学校、予備校、その他学校・教育施設

**病院**

病院

**冠婚葬祭**

冠婚葬祭場、結婚式場、霊園・墓地、造花・装飾・花環

**スポーツ施設**

ゴルフ、スキー・スケート、マリンスポーツ、野球場、競技場、プール、モータースポーツ、
自転車、テニスコート、体育館、武道館、スポーツクラブ、バッティングセンター、
公営スポーツ施設、その他スポーツ施設

**神社・仏閣・教会・巡礼**

神社、仏閣・寺、教会、全国著名巡礼名所

**遊ぶ**

遊園地(テーマパーク)、レジャー公園･牧場、その他レジャー施設、海洋･海浜公園、サファリパーク、
海水浴場、川くだり、果物狩り、遊覧船、遊覧飛行機、リフト・ロープウェイ、釣り、キャンプ場、
公営ギャンブル、パチンコ、麻雀、ゲームセンター、ビリヤード、ボウリング場、カラオケボックス、
マンガ喫茶、インターネットカフェ、アニメ・ゲームグッズ、プラネタリウム、
クラブ・ライブハウス、マリーナ、待ち合わせ場所、趣味・娯楽・教養

## 表示できる施設

### 観る

動物園、植物園、水族館、美術館、博物館、資料館、文化施設、ホール会館、劇場、映画館、
城・城跡、史跡、名所・観光地等、イベント、ビューポイント、住宅展示場

### 泊まる

ホテル、ビジネスホテル、旅館、ペンション、公共の宿、ファッションホテル、カプセルホテル、
家族旅行村、国民休暇村、民宿、その他宿泊施設

### 食べる

ファミリーレストラン、ファーストフード、ラーメン、うどん・そば、日本料理、中華、
イタリア料理、寿司屋、回転すし、フランス料理、カレーハウス、焼肉・ホルモン、韓国料理、
お好み焼き、とんかつ、持ち帰り弁当、喫茶、酒場、うなぎ料理店、おでん屋、海鮮料理店、
懐石料理、割烹・料亭、スパゲティ専門店、ステーキハウス、てんぷら料理店、鳥料理店、
ピザハウス、アイスクリーム、その他和風飲食店、その他洋風・中華飲食店

### 買う

カー用品、ホームセンター、ディスカウント、スーパー、デパート、複合大型商業施設、
アウトレットモール、家電、本、ファッション、衣服・呉服・小物、シューズ、バッグ・コート・毛皮、
その他繊維製品、スポーツ、雑貨、ドラッグストア、100円ショップ、その他日用品・雑貨・文具、
チケット売買・プレイガイド、携帯電話ショップ、リサイクルショップ、おもちゃ屋、酒屋、食材、
パン・お菓子、花屋、園芸店、家具店、インテリア用品店、メガネ・コンタクトレンズ、釣具店、
アウトドア用品店、CDレコード店、中古CDレコード店、レンタルビデオ・CD、化粧品・装飾品・
民工芸品、オーディオ・パソコン・OA、金物店・刃物店、ガラス・陶磁器、その他小売店

### 生活施設

郵便、理容・美容、クリーニング、温泉、銭湯、サウナ・健康センター、クアハウス・スパ、
教養施設・福祉施設、写真・写真館、組合、人材紹介・代行サービス、録音スタジオ、
クレジット・質屋・買取、宅配便・運輸、リース・レンタル・修理

### トイレ

トイレ

### Honda Cars店

Honda Cars店

### カーディーラー

Honda Cars店、スズキ、スバル、ダイハツ、トヨタ、日産、マツダ、三菱、レクサス、
アウディ、アルファロメオ、クライスラー、シトロエン、ジャガー、GM、GMDAT、BMW、
フィアット、フェラーリ、フォルクスワーゲン、フォード、プジョー、ベントレー、ポルシェ、
ボルボ、マセラティ、MINI、メルセデス・ベンツ、ヤナセ、ランドローバー、ランボルギーニ、ルノー、
ロータス、ロールスロイス、いすゞ、日野、三菱ふそう、UDトラックス、その他カーディーラー

**自動車関連**

| |
|---|
| 自動車整備工場、中古車販売、レッカーサービス、ロードサービス、レンタカー、レンタルバイク、その他自動車・オートバイ・自転車 |

**コンビニエンスストア**

| |
|---|
| コンビニエンスストア |

**ガソリンスタンド**

| |
|---|
| ガソリンスタンド |

**エコステーション**

| |
|---|
| エコステーション |

**その他ジャンル**

| |
|---|
| 大使館・領事館、マスメディア、旅行・観光業、ペット、製造・卸売業、農園・果樹園 |

# C-24 登録地点で地点を探す

あらかじめ登録しておいた場所の中から地点を探すことができます。よく利用する場所を登録しておくと、簡単に目的地として設定することができます。

アドバイス
この機能を使うには、あらかじめ地点を登録しておく必要があります。「地点を登録する」B-26

## 1 MENU をタッチする。

## 2 目的地 ➡ 登録地点 をタッチする。

：登録地点検索リスト画面が表示されます。

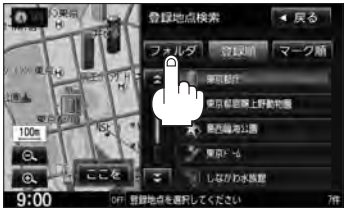
## 3 登録地点の表示方法を選択しタッチする。

※初期状態の表示方法は「全表示」で表示されています。

### ■ フォルダごとに表示する場合

① フォルダ をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。




② 表示させたい登録地点が入っているフォルダ（ フォルダ指定なし ～ フォルダ20 ）をタッチする。

：選択したフォルダ内の登録地点リストが表示されます。

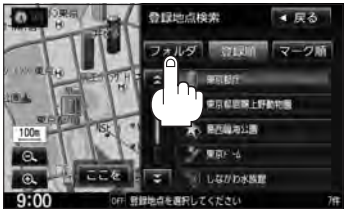
※登録地点が入っていないフォルダは選択することができません。

※登録地点を編集するときに、フォルダ変更やフォルダ名編集をすることができます。
「登録地点の編集」F-38

■ 登録地点を全て表示する場合

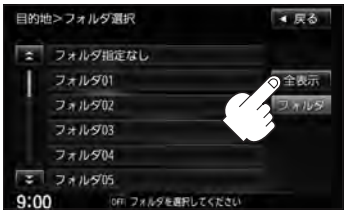
① フォルダ をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。




② 全表示 をタッチする。

：登録されているすべての登録地点リストが表示されます。（自宅は除く）




**4** リストから登録地点を選択し、ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

※ 閉じる または地図画面をタッチすると、設定MENUを閉じることができます。
再度設定MENUを表示させるときは 設定 をタッチしてください。
☞「Quick機能について」B-21

登録順で表示（例）

## 登録地点の並び替えをする

**登録地点検索リストに表示される地点の並び順を替えることができます。**

表示させたい順（登録順 ／ マーク順 ）をタッチする。

：リストに表示されている並び順が替わります。

登録順 ……地点が登録された順（古いものから）に表示します。

マーク順 …同じマークのもの同士をまとめて表示します。

登録順で表示（例）

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# C-26 目的地履歴の中から地点を探す

最近設定した目的地周辺の地図を表示することができます。
一度設定した目的地に、また行きたいときに便利です。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

**3** 履歴 をタッチする。

：目的地履歴検索リスト画面が表示されます。

**4** 履歴検索リストより見たい履歴を選択し、ここを タッチする。

：選択した地点付近の地図画面を表示します。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

アドバイス
設定した目的地は、最新のものから順に20カ所まで自動的に登録されます。
登録件数が20件を超えると古いものから順に消去されます。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 をタッチする。

# 目的地履歴を削除する

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

**3** 履歴 をタッチする。

：目的地履歴検索リスト画面が表示されます。

**4** 目的地履歴を削除する。

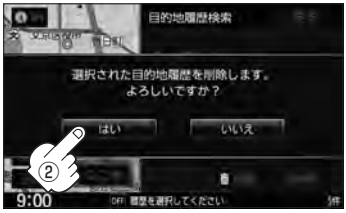
■ 目的地履歴を削除する場合

① リストから削除したい目的地履歴を選択し、削除 をタッチする。

② 選択した目的地履歴を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。

：選択した履歴を削除し、リスト画面に戻ります。

※他にリストに履歴がない場合は目的地MENU画面に戻ります。



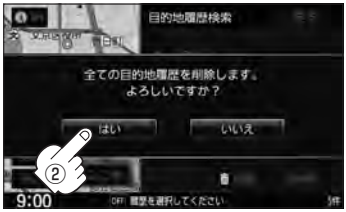
# 目的地履歴を削除する

■ 目的地履歴を全削除する場合

① 全削除 をタッチする。

② 全ての目的地履歴を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。

：全ての目的地履歴を削除し、目的地MENU画面に戻ります。




**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# 地名から地点を探す

地名を入力して地点を探すことができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

**3** 地名 をタッチする。

：地名入力画面が表示されます。

**4** 文字をタッチして、地名を入力し、
検索 をタッチする。

入力方法につきましてはB–35を参考にしてください。

：地名リスト画面が表示されます。

アドバイス

- 地名入力画面には、“地名の一部でも検索できます”と表示されていますが、入力したいボタンをタッチすると、タッチした文字が表示されます。
- 入力は、ひらがなのみです。
- 濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。例えば「ちゆうおう」や「ちよた」と入力するだけでも検索できますが、名前を正確に入力した方が、リストに表示する地名を絞り込むことができます。
- 入力できない文字は暗くなります。

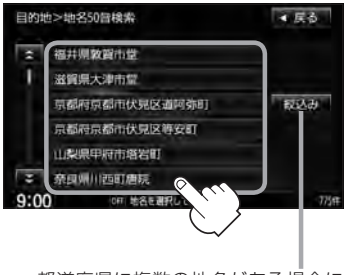
## 5 リストから“地名”を選びタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”と続く場合は画面に従ってタッチしていってください。
検索方法は☞「住所で地点を探す」C-9の手順 3 を参考にしてください。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

※ 閉じる または地図画面をタッチして設定MENUを閉じることができます。
再度設定MENUを表示させるには 設定 をタッチしてください。




都道府県に複数の地名がある場合に 絞込み が表示されます。
絞込み をタッチすると都道府県名を絞り込むことができます。

## 6 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 をタッチする。

# 郵便番号で地点を探す

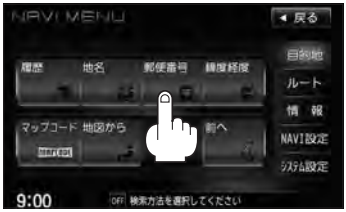
郵便番号簿(ポスタルガイド)などに掲載されている郵便番号から、周辺の地図を表示することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

**3** 郵便番号 をタッチする。

：郵便番号入力画面が表示されます。



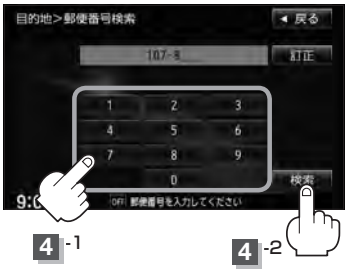

**4** 数字をタッチして、郵便番号を入力し、検索 をタッチする。

☞ 入力方法につきましてはB-36を参考にしてください。

※4桁以上の入力が必要です。

：周辺の地図画面が表示されます。

※入力途中で 検索 をタッチした場合、検索リストが表示されます。リストから選択して ここを をタッチすると周辺の地図を表示します。




※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

※ 閉じる または地図画面をタッチすると設定MENUを閉じることができます。再度設定MENUを表示させるには 設定 をタッチしてください。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

# C-32 緯度・経度で地点を探す

見たい場所の緯度と経度(日本測地系)を入力して地点を探すことができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

**3** 緯度経度 をタッチする。

：緯度・経度(日本測地系)入力画面が表示されます。

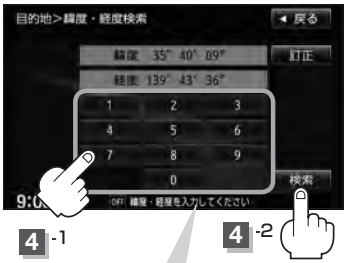
**4** 数字をタッチして、緯度・経度(日本測地系)〔緯度(北緯)と経度(東経)〕を入力し、検索 をタッチする。

☞ 入力方法につきましてはB-36を参考にしてください。

：周辺の地図が表示されます。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

※ 閉じる または地図画面をタッチすると設定MENUを閉じることができます。再度設定MENUを表示させるには、 設定 をタッチしてください。




数字入力時、選べない数字は暗くなります。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、“指定座標の地図が収録されていません。”と表示され入力画面に戻ります。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると異なる場所を表示する場合があります。

# マップコードで地点を探す

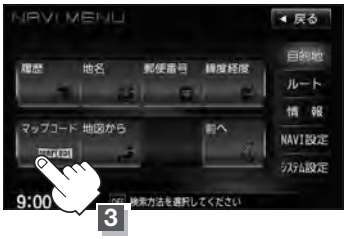
ガイドブックなどに掲載されているマップコードから、周辺付近の地図を表示することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

**3** マップコード をタッチする。

：マップコード入力画面が表示されます。




**4** 数字をタッチして、マップコードを入力し、検索 をタッチする。

入力方法につきましてはB-36を参考にしてください。

：周辺の地図が表示されます。

※ルート探索する場合は、「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

※ 閉じる または地図画面をタッチすると設定MENUを閉じることができます。再度設定MENUを表示させるには、 設定 をタッチしてください。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

● MAPCODE™ およびマップコードは株式会社デンソーの登録商標です。

**マップコードについて**

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。
  ※マップコードを掲載したガイドブックは、株式会社JTBパブリッシング社などから出版されています。（平成24年3月現在）全てのガイドブックにマップコードが掲載されているわけではありません。ガイドブックをお買い上げの際に、ご確認ください。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、“該当するマップコードが収録されていません。”と表示され入力画面に戻ります。

**＊ について**

マップコード入力後、 ＊ をタッチし2ケタの数字を追加(入力)することで、さらに細かく地点を探すことができます。

# C-34 地図から地点を探す

表示中の地図から地点を探すことができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

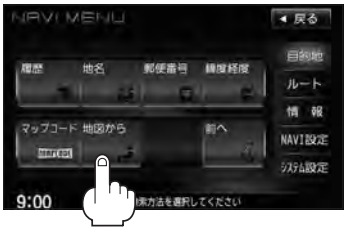
2-2

**3** 地図から をタッチする。

：この画面に入る前の地図を表示します。

※設定MENUを表示させるには 設定 をタッチしてください。

※ルート探索する場合は、☞「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。




**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# SDカードで地点を探す

**パソコンを使用してSDカードに保存した地点情報の周辺地図を表示します。**

「パソコン連携(いつもNAVI)」A-28

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

※SDカードに保存した地点情報は本機に登録することができます。(最大300カ所)

「SDカードから地点を登録する」F-48

## 1 ▲ ➡ OPEN をタッチする。

：ディスプレイ部が開きます。

## 2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

「SDカードを入れる／取り出す」B-4をご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

## 3 MENU をタッチする。

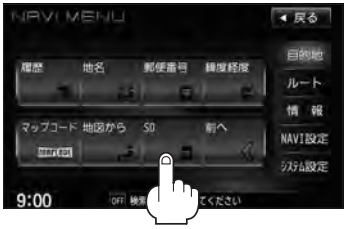
## 4 目的地 ➡ 次へ をタッチする。

## 5 SD をタッチする。

：SDカードに保存した地点のファイルリスト画面が表示されます。

※SDカード内に保存した地点ファイルリストが1つの場合は、下記手順 6-2 (フォルダリスト画面)へ進んでください。

※SDカードに“DRIVE”フォルダがない場合、SDカード内に“DRIVE”フォルダの作成をうながすメッセージが表示されます。メッセージを確認し、 はい ／ いいえ を選択してください。




## 6 確認したい地点が保存されているファイルをタッチし、フォルダをタッチする。

：SDカード内に保存した地点リスト画面が表示されます。

ファイルリスト画面

6-1 ➡

フォルダリスト画面

## 7 リストから地点を選択して、ここを をタッチする。

※詳細情報を見たい場合は 詳細 をタッチしてください。

：周辺の地図が表示されます。

※ルート探索する場合は、「目的地を設定してルート探索をする」B-34をご覧ください。

※ 閉じる または地図画面をタッチすると、設定MENUを閉じることができます。再度設定MENUを表示させるには、 設定 をタッチしてください。

## 8 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- SDカードを挿入していない場合は、SDカードを挿入してください。
- 指定のホームページ(いつもNAVI)からダウンロードした位置情報ファイルはSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内に位置情報ファイルを入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内に位置情報ファイルがない場合は手順 5 (☞ C-35)でSDカードを挿入またはSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されていること／DRIVEフォルダ内に位置情報ファイルがあることを確認してください。
  ☞「パソコン連携(いつもNAVI)」A-28
- 指定のホームページからルート探索したデータを本機で探索する場合は☞「SDカードからルート探索をする」D-30をご覧ください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

# D

# ルート探索をする

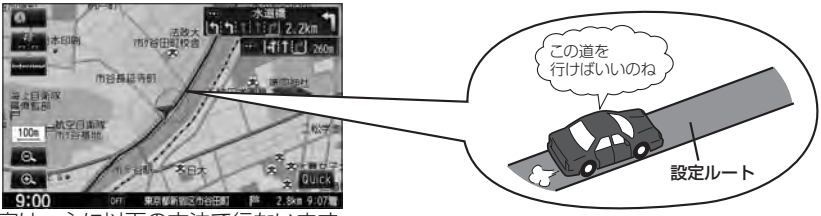


ルート設定について……D-2
ルート探索について……D-3
細街路探索について……D-4
ルート設定の流れ……D-4
通常（簡易設定）……D-4
詳細設定……D-4
1ルート探索をする……D-6
複数ルートを探索する……D-9
ルートを変更する……D-10
出発地／目的地の変更……D-10
目的地の追加……D-12
経由地の追加……D-13
経由地の変更／削除……D-15
経由地／目的地など地点の入れ替え……D-15
経由地を使って上手にルートを作る……D-16
探索条件の変更……D-17
ルート案内をストップ／スタートする……D-18
再探索をする……D-19
迂回探索をする……D-20
現在の全ルートを表示する……D-21
デモ走行をする……D-22
経由地をスキップする……D-23
現在のルートを保存する……D-24
現在のルートを削除する……D-25
保存したルートの呼び出しをする……D-26
保存したルートの削除をする……D-27
渋滞予測ルート探索をする……D-28
SDカードからルート探索をする……D-30
渋滞地点を確認する……D-32

# D-2 ルート設定について

**ルート設定をすると、本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までの参考ルートを探索し、地図上に表示します。（この画面をルート案内画面と呼びます。）**
**この参考ルート上を走ることによって、目的地に到着します。**

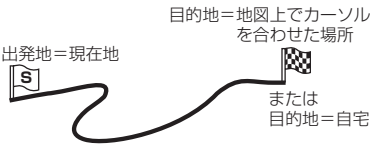
ルート案内画面




ルート設定は、主に以下の方法で行ないます。

## クイックルート（Quick機能）探索 ☞ B-28

- カーソルを目的地に合わせ 設定 をタッチし、設定MENUを表示させ 目的地セット をタッチすると、現在地から目的地までの参考ルートが表示されます。
  ☞「現在地から目的地までのルートを探索する」B-28
- 現在地表示時に、 Quick をタッチし、Quick MENUを表示させ 自宅へ帰る をタッチすると、現在地から自宅までの参考ルートが表示されます。
  ☞「Quick機能について」B-21
  ☞「現在地から自宅までのルートを探索する」B-29
  自宅の登録が必要です。☞「自宅を登録する」B-23

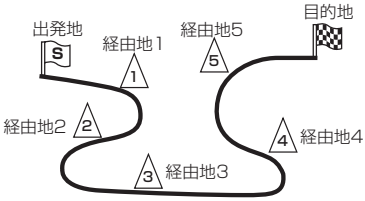



## ルート から１ルート探索／複数ルート探索

☞ D-6、D-9

- ルート編集 から好きな場所を出発地にできます。
- 複数探索を選ぶと、５通りの参考ルートを同時に探索します。
  表示されたルートを見て、好きなルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として登録できます。
  （５カ所まで）

※経由地を設定すると複数探索はできません。




## 目的地 から探索方法を選択してルート探索 ☞ C-1

名称／電話／住所／ジャンルなど、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探索します。

## NAVI設定 から探索条件を設定

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。
☞「ルート探索条件の設定をする」F-28
※ルート案内中に探索条件を変更した場合、自動で再探索します。

アドバイス
参考ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

**お願い**

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制に従って走行してください。

## ルート探索について

画面の流れ （例）ルート ➡ ルート編集 から探索した場合

探索中

（例）全ルート表示画面

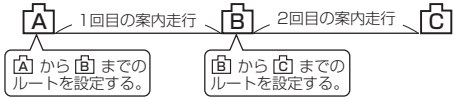
（例）探索完了画面

- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、１ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎて、ルート探索ができない場合は、“ルート探索ができません。”などと表示し、探索を中止します。この場合は、設定内容（出発地／経由地／目的地）を変更して、出発地と目的地との距離を短くしてください。

**例えば、Ａ地点からＣ地点に行く場合、**

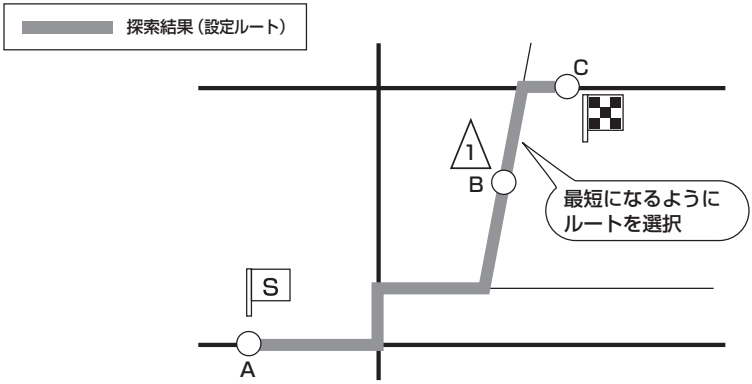
①Ａ地点からＢ地点までのルートを設定して、Ｂ地点まで行く。

②Ｂ地点からＣ地点までのルートを設定して、Ｃ地点まで行く。




というのも、１つの方法です。

- ルート探索は地図ソフトに収められている探索データをもとに行ないますが、地図上の全ての道路（場所）にこのデータがあるわけではありません。
  出発地（S）／経由地（1）／目的地（🏁）を登録した地点から直線距離で一番近い探索データのある地点がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。
  ただし規制などがあって道路が通れない場合、出発地（S）／経由地（1）／目的地（🏁）を登録した道路を通るルートになるとは限りません。




※有料道路（高速道路、都市高速道路を含む。）と一般道路が隣接している地点に設定した場合は、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。

- 地図ソフトの更新によって収められている探索データが異なり、出発地／経由地／目的地や探索条件が同じであっても、参考ルートが異なる場合があります。
- ルート探索中に車のエンジンスイッチを0(ロック)に入れると、ルート探索を中断します。この後に車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると前回探索途中のルートは中止(削除)されています。

### 細街路探索について

- 細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行なうことができます。
- 細街路の時間規制は考慮されない場合があります。
  ※市街地図の収録エリアにつきましては、☞ T-32をご覧ください。

**お願い**

狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。
運転の際は現地の状況に従ってください。

# ルート設定の流れ

### 通常(簡易設定)

目的地を登録する
↓
探索実行
↓
ルート案内開始

探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探索します。

※ルート案内を止める場合は☞「ルート案内をストップ／スタートする」D-18に従って操作してください。

### 詳細設定

目的地を登録する
↓
出発地を登録する
経由地を登録する
↓

現在地以外の場所を出発地にする場合は、登録が必要です。

途中に寄りたい場所や通りたい場所(道)がある場合に登録します。(5カ所まで)

**探索条件を選ぶ**

- 推奨 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 のどれか１つを選択する。
- 軽自動車 ／ 普通車 ／ 中型車 のどれか１つを選択する。
- 自動再探索／フェリーを優先／季節規制考慮／時間規制道路を考慮／スマートICを利用／ルート学習結果を利用／VICS自動再探索／VICS情報を考慮★／internavi交通情報を考慮☆／統計交通情報を考慮する場合は する を選択する。
  「ルート探索条件の設定をする」F-28
- 探索開始 (参考ルートを１つ探索する)か
  複数探索 (参考ルートを５つ探索して、好きなルートを選ぶ)
  のどちらかを選択する。
  ※経由地が設定されている場合は 複数探索 は選択できません。

**探索実行**

設定した内容(目的地・出発地・経由地)、探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機が参考ルートを探索します。

**ルート案内開始**

※ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」D-18に従って操作してください。

アドバイス

- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- ルート探索後、高速道路／フェリー／スマートICを通るルートが設定された場合、音声でお知らせします。設定されたルートを確認し、良い場合は 案内スタート をタッチしてください。変更したい場合は「ルートを変更する」D-10または「ルート探索条件の設定をする」F-28を参考に変更してください。
- 有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)と一般道路が接近している地点に、出発地／経由地／目的地を登録すると、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。目的地登録時のみ 現在地 でキャンセルできます。有料道路上に設定する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 を選び、タッチしてください。
- ジャンルから高速ICの出入口を選択した場合は出入口が反映された地点が表示されます。その地点を登録し、登録地点から表示させルート探索をすると出入口情報は反映されません。画面にメッセージが表示されるので 有料道路 ／ 一般道路 を選択してください。
- 参考ルートは、必ずしも最短ルートが選ばれるわけではありません。

**スマートICとは**

SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジで、ETCを搭載していない車両は通行できません。通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

**ルート学習結果について**

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。

**お願い**

交通規制の変更などにより、実際には参考ルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制に従って走行してください。

☆印…VXM-135VFNiの場合
★印…VXM-135VFNの場合

# 1 ルート探索をする

## 1 MENU をタッチする。

## 2 目的地 または ルート を選択する。

### ■ 目的地画面から選択する場合

① 目的地 をタッチし、検索方法を選択してタッチする。

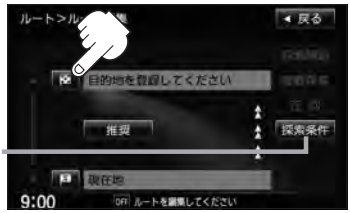
### ■ ルートから選択する場合

① ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

② をタッチする。

探索条件を変更する場合はここをタッチ
☞ F-28




この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示させます。

- 目的地付近 ：目的地の地図を表示
- 出発地付近 ：出発地の地図を表示
- 経由地付近 ：経由地の地図を表示
- 現在地付近 ：現在地の地図を表示
- 名称 ☞ C-2
- 電話 ☞ C-6
- 住所 ☞ C-8
- ジャンル ☞ C-12
- 自宅 ☞ C-17
- 周辺施設 ☞ C-18
- 登録地点 ☞ C-24
- 履歴 ☞ C-26
- 地名 ☞ C-29
- 郵便番号 ☞ C-31
- 緯度経度 ☞ C-32
- マップコード ☞ C-33
- 地図から ☞ C-34
- SD ★☞ C-35

★印…VXM-135VFNの場合

## 3 目的地を設定する。

■ 表示された目的地で良い場合

① 設定 をタッチし、設定MENUを表示させ 目的地セット をタッチする。

■ 設定MENUと共に表示された目的地で良い場合

① 目的地セット をタッチする。

■ 設定MENUが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定MENUを閉じる。

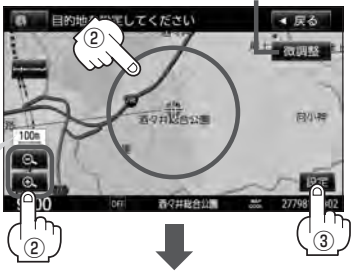
② カーソル(–¦–)を目的地に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

微調整 ボタン
☞ B-13




④ 目的地セット をタッチする。

：● 目的地 から探索した場合、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。

● ルート から探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。探索開始 をタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。

アドバイス

全ルートを表示しない設定(☞ F-10)にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。

## 4 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

アドバイス

- 到着予想時刻は走行速度の設定によって異なります。「平均時速を設定する」F-37
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- ルート案内を止める場合は「ルート案内をストップ／スタートする」D-18に従って操作してください。
- ルート案内の設定で“全ルートを表示”を する に設定している場合、上記手順 4 で 別ルート が表示されます。（ルート探索方法によって 別ルート が表示されない場合もあります。）別ルート をタッチすると、複数ルート探索を開始します。経由地を設定している場合は、 別ルート は、暗くなります。
  「■ 全ルートの表示を設定する場合」F-10
- 探索条件を変更する場合は、「（探索条件の変更）」D-17／「ルート探索条件の設定をする」F-28をご覧ください。

# 複数ルートを探索する

**ルート設定した後、表示されたルートの中から(“推奨”“有料優先”“一般優先”“距離優先”“道幅優先”)お好みのルート案内を開始することができます。**
※複数ルート探索はMENUの ルート より操作します。

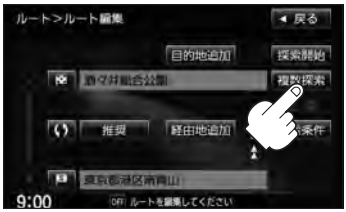
**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

**3** 複数探索 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。




アドバイス 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。経由地を設定した場合、“複数探索”はできません。

**4** 探索条件( 推奨 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 )をタッチしてルートを確認する。

：有料道路は青、一般道路はピンク／イエローで表示されます。

出発時刻と到着予想時刻、目的地までの距離と所要時間、料金(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)を表示します。

**5** 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

このボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
☞「現在の全ルートを表示する」D-21

アドバイス
- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  ☞「地図スクロール(地図を動かす)」B-11
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。☞「平均時速を設定する」F-37
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。
- 有料道路を優先する設定にしていても、有料道路を使用しないルート探索をすることもあります。
- 出発地(現在地)または目的地の変更や出発地と目的地の入れ替えなどは上記手順 3 で“複数探索”をタッチする前に設定できます。☞「ルートを変更する」D-10
- 探索条件については☞「(探索条件の変更)」D-17／「ルート探索条件の設定をする」F-28をご覧ください。

# D-10 ルートを変更する

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。
出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。変更前のルートは自動的に削除されます。変更前のルートが必要な場合には、保存しておいてください。☞「現在のルートを保存する」D-24

**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

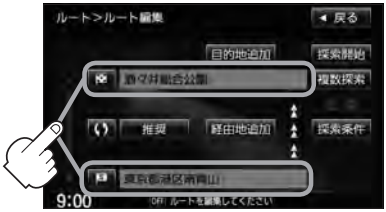
：ルート編集画面が表示されます。

## 出発地／目的地の変更

出発地や目的地を変更することができます。

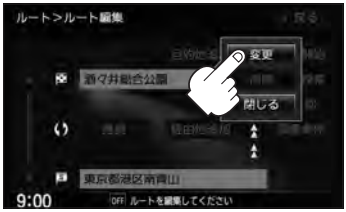
**3** S または ⚑ をタッチする。

：吹き出しが表示されます。




**4** 変更 をタッチする。

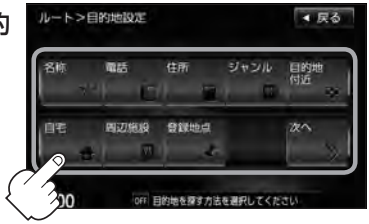
：出発地または目的地設定画面が表示されます。




**5** 表示されたMENUの中から、出発地または目的地を探す方法を選択してタッチする。

☞ D-6

：探索した地図を表示します。



## 6 出発地または目的地を設定する。

■ 表示された出発地または目的地で良い場合

① 設定 をタッチし、設定MENUを表示させ 出発地セット ／ 目的地セット をタッチする。

■ 設定MENUと共に表示された出発地または目的地で良い場合

① 出発地セット ／ 目的地セット をタッチする。

■ 設定MENUが表示されている場合に、出発地または目的地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定MENUを閉じる。

設定MENUの 周辺検索 をタッチして出発地や目的地を探すこともできます。☞ C-18

② カーソル(–¦–)を目的地に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

微調整 ボタン
☞ B-13

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

④ 出発地セット ／ 目的地セット をタッチする。

：ルート編集画面に戻ります。

## 7 ルート探索を開始する場合は、 探索開始 ／ 複数探索 を選択しタッチする。

■ 探索開始 を選択した場合

：ルート探索が完了し、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※ルート案内設定で、全ルート表示の設定を しない にしている場合はルート探索が完了すると、ルート案内を開始します。
「ルート案内画面の設定をする」F-10

■ 複数探索 を選択した場合

：ルート探索が完了すると、５つのルートの選択画面になります。好きなルートを選択し、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

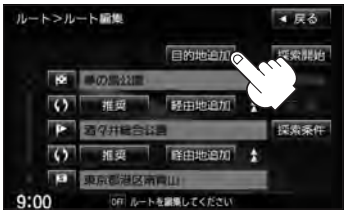
アドバイス
- 複数ルート探索は１ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、 複数探索 は暗くなり選択できません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。「平均時速を設定する」F-37
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。

---

## 目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定されている目的地を経由地にすることができます。

### 1 D-10手順 1 、 2 に従って操作し、 目的地追加 をタッチする。

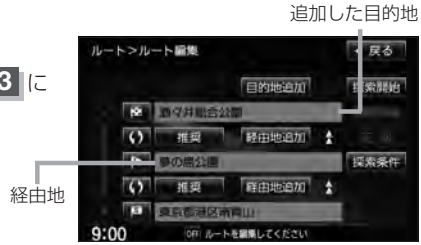



---

### 2 新しい目的地を設定する。

新しい目的地の設定のしかたはD-6手順 2 、 3 に従って操作を行ってください。

：目的地を追加し、ルート編集画面に戻ります。



## 経由地の追加

経由地を追加することができます。追加方法は、ルート編集画面、目的地画面またはスクロール画面から設定できます。

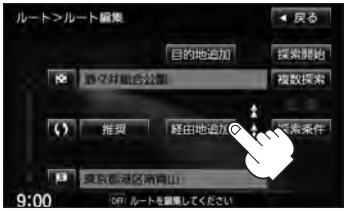
### 1 追加方法を選択する。

■ ルート編集画面から追加する場合

① D-10手順 1 、 2 に従って操作し、追加する場所の 経由地追加 をタッチする。

：経由地設定画面が表示されます。

出発地と目的地の間に追加する場合




② 表示されたMENUの中から、経由地を探す方法を選択し、タッチする。

☞ D-6

：探索した地図を表示します。

■ ルート案内中に目的地画面から追加する場合

① MENU をタッチする。

：MENU画面が表示されます。

② 目的地 をタッチし、表示されたMENUの中から検索方法を選択し、タッチする。

☞ D-6

■ ルート案内中に地図画面から追加する場合

① ルート案内中に地図をスクロールさせて、経由地にしたい場所にカーソル(–¦–)を合わせる。

※経由地の位置を調整する場合は、地図をスクロールさせて経由地の地図を表示させてください。

☞「地図スクロール(地図を動かす)」B-11

## 2 経由地を設定する。

■ 表示された、または、カーソル(−¦−)を合わせた経由地で良い場合

① 設定 をタッチし設定MENUを表示させ、 経由地セット をタッチする。

■ 設定MENUと共に表示された経由地で良い場合

① 経由地セット をタッチする。

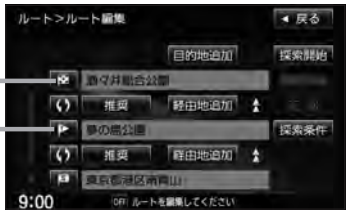
■ 設定MENUが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定MENUを閉じる。
カーソルを経由地に合わせたら 設定 をタッチし設定MENUを表示させ、
経由地セット をタッチする。

：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

※ルート編集画面が表示された場合はD-12手順 7 へ、経由地追加画面が表示された場合はD-14手順 3 へ進んでください。

(例)ルート編集画面




## 3 追加する場所の 追加 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。ルート探索が完了し、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※ルート案内設定で、全ルート表示の設定を しない にしている場合はルート探索が完了すると、ルート案内を開始します。

「ルート案内画面の設定をする」F-10

## 4 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

アドバイス

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- 経由地は5カ所まで登録できます。また、すでに通過した区間には経由地を登録することはできません。
- 地図画面または 目的地 から経由地を追加する場合、ルート案内を停止していると 経由地セット は表示されません。

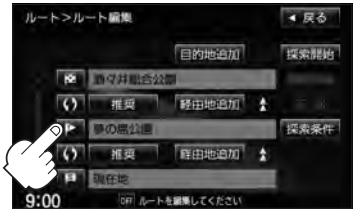
## 経由地の変更／削除

経由地を変更または削除することができます。

**1** D-10手順 1 、 2 に従って操作し、
変更／削除する経由地の ▶ をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地１を選んだ場合

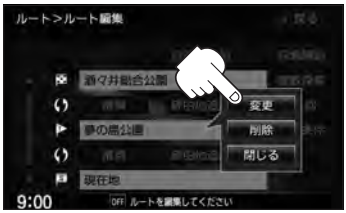



**2** 変更または削除する。

■ 変更する場合

① 変更 をタッチし、新しい経由地を設定する。

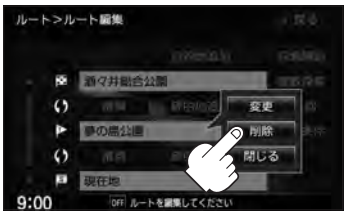
設定方法につきましては、「経由地の追加」D-13を参考にしてください。




■ 削除する場合

① 削除 をタッチする。

：地点を削除し、ルート編集画面に戻ります。




アドバイス 変更または削除の操作を中止する場合は、 閉じる をタッチしてください。

## 経由地／目的地など地点の入れ替え

地点の入れ替えをすることができます。

**1** D-10手順 1 、 2 に従って操作し、
入れ替えしたい場所の ⟲ をタッチする。

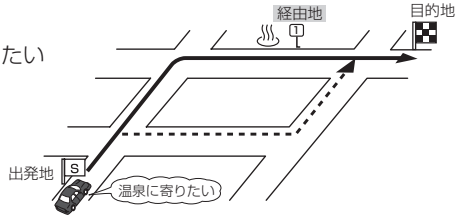
アドバイス すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

経由地１と目的地を入れ替える場合

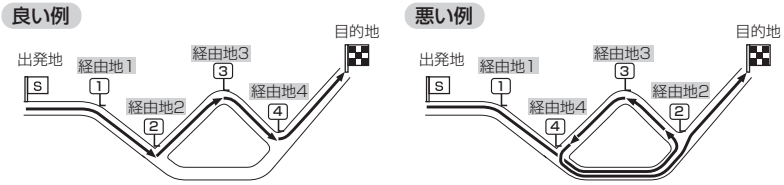
## 経由地を使って上手にルートを作る

例)ルートの途中に立ち寄りたい場所があるとき

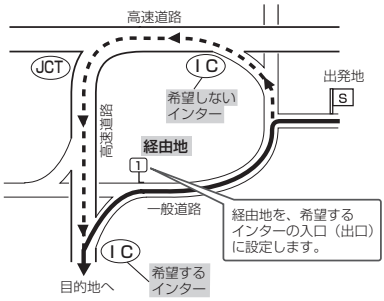
経由地を設定しない場合、立ち寄りたい場所を通らないルート(- - - - ▶)を作ることがあります。




例)経由地は出発地(現在地)から近い順に、1、2、3…と、設定してください。




例)希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合




希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(- - - - ▶)を選ぶことがあります。

## 探索条件の変更

探索条件を変更することができます。

**1** D-10手順 1 、 2 に従って操作し、変更する場所の 推奨 をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

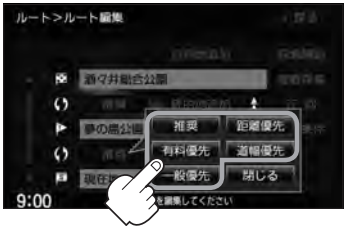
経由地１までの探索条件を変更する場合

探索条件 をタッチして探索条件の変更をすることもできます。

「ルート探索条件の設定をする」F-28

**2** 探索条件( 推奨 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 )を選択し、タッチする。

※探索条件の変更を中止する場合は、 閉じる をタッチしてください。




### 設定できる探索条件

- 推奨 ：高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索します。
- 有料優先 ：高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索します。
- 一般優先 ：国道や県道などを通るルートを優先的に探索します。
- 距離優先 ：走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索します。
- 道幅優先 ：なるべく道幅が広いところを優先的に探索します。

アドバイス

- 距離優先 を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- 距離優先 で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。

# D-18 ルート案内をストップ／スタートする

**よく知っている道など案内が必要ないときは、音声案内と画面表示を一時的に止めたり、設定したルートの案内を再び開始させることができます。**

※一度もルート探索をしていない場合やルートを削除した場合は選択できません。

☞ D-6、D-9

## 1 MENU をタッチする。

## 2 ルート をタッチし、ルート案内を停止または開始する。

■ ルート案内を止める場合

① 案内ストップ をタッチする。

：ルート案内を停止し、地図画面が表示されます。

■ ルート案内を開始する場合

① 案内スタート をタッチする。

：前回ルート探索したルート案内を開始します。

アドバイス

- 現在地表示時に Quick ➡ 案内ストップ ／ 案内スタート をタッチして案内をストップ／スタートすることができます。☞「Quick機能について」B-21
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは保存されています。

# 再探索をする

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索するように初期設定されていますが(☞ F-28)、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順(手動)で、現在地から目的地までの参考ルートを再探索することができます。再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。

## 1 現在地表示画面で、 Quick をタッチする。

：Quick MENUが表示されます。

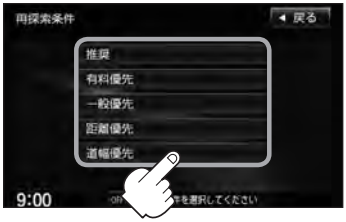
## 2 再探索 をタッチする。

：再探索条件選択画面が表示されます。

## 3 探索条件( 推奨 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 )を選択し、タッチする。

：再探索後、ルート案内画面が表示されます。

※探索を中止する場合は、 戻る をタッチしてください。




アドバイス

- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を登録している場合、選択した探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行なってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

# D-20 迂回探索をする

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

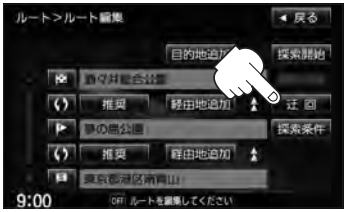
**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

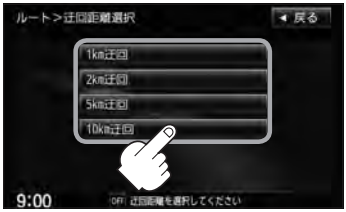
**3** 迂回 をタッチする。

：迂回距離選択画面が表示されます。




**4** 迂回距離( 1km迂回 ／ 2km迂回 ／ 5km迂回 ／ 10km迂回 )を選択し、タッチする。

：選択した距離の迂回ルートを再探索します。




アドバイス

- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く。）

# 現在の全ルートを表示する

設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ 全ルート表示 をタッチする。

：全ルート画面が表示されます。

「入口」は最初に乗るICの名称、「出口」は目的地から一番近いICの名称を表示し(高速道路を走行しない場合は「－－－」と表示されます。)、現在地から目的地までのおおよその距離を表示します。(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。

目的地　設定ルート

戻る をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

出発地

詳細情報 をタッチすると、設定したルートの道路の種類や案内区間の距離を確認することができます。

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
☞ D-8



アドバイス

- 地図表示が3D表示のときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- ルートの一部が画面内に入りきらない場合があります。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  ☞「地図スクロール(地図を動かす)」B-11
- 現在のルートに有料道路がある場合は、その目的地までの合計料金も表示されます。
  ただし、一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。
  ☞「料金表示について」F-30アドバイス内
- ルート詳細情報画面では各区間ごとの料金を表示します。
- デモ走行(☞ D-22)、ルート情報(☞ F-13)、音声案内(☞ A-26)など、ルート案内走行を助ける様々な機能もあります。
- 設定ルートの色(ピンク／イエロー)を選ぶことができます。
  ※どちらを選んだ場合も、有料道路は青色になります。
  ☞「ルート案内画面の設定をする」F-10

# デモ走行をする

設定したルートを画面に表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをデモ走行と呼びます。)ルート情報表示(☞ F-13)、音声案内(☞ A-26)をすることもでき、出発前に、前もってルートを確認するのに便利です。

**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ 全ルート表示 をタッチする。

：全ルート画面が表示されます。

**3** デモ走行 をタッチする。

：デモ走行が開始されます。

**4** デモ走行を終えるには デモ走行中止 または MENU をタッチする。

アドバイス

- デモ走行時、交差点拡大図を表示しない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／現在地(自車)マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(軌跡の表示はしません)
- デモ走行中に ▶ をタッチすると、JCT、交差点拡大図表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。
- 上記手順 3 で 詳細情報 をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
- デモ走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。

# 経由地をスキップする

**ルート案内時、経由地を設定している場合、検索した経由地に立ち寄る必要がなくなったときなど、経由地を通過済みとしてルートを再探索することができます。**
※この機能は通過していない経由地がある場合に選択できます。

## 1 MENU をタッチする。

## 2 ルート ➡ 経由地スキップ をタッチする。

：経由地を通過済みにしていいかどうかのメッセージが表示されます。

## 3 はい をタッチする。

：ルートが再探索され、ルート案内画面に戻ります。
※経由地を通過済みにしない場合は、 いいえ をタッチすると、ルートMENU画面に戻ります。

アドバイス
経由地のスキップは、次の経由地がスキップ(通過済み)されます。

# D-24 現在のルートを保存する

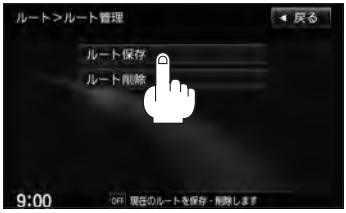
設定したルートの地点と探索条件を20件まで保存することができます。保存したルート(登録ルート)は、再び呼び出すことができます。「保存したルートの呼び出しをする」D-26

**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ ルート管理 をタッチする。

**3** ルート保存 をタッチする。

：“このルートを保存しました。”とメッセージが表示されルートが保存されます。




**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- ルート設定後、次のルートを探索したり、ルートの変更後再探索をしたり、保存ルートを呼び出したりすると、そのルートは、自動的に消去されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 上記手順 3 で、すでに設定したルートの地点と探索条件が20件保存されている場合は、“登録可能件数を超えました。不要な登録内容を削除してください。”と表示されます。ルート ➡ 登録ルート をタッチし、不要な登録内容を削除してください。
  「保存したルートの削除をする」D-27

# 現在のルートを削除する

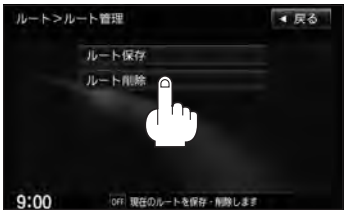
**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ ルート管理 をタッチする。

**3** ルート削除 をタッチする。

：現在のルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとルートを削除し、ルートMENU画面に戻ります。

※ルート削除しない場合は、 いいえ をタッチしてください。




**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。
- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

# 保存したルートの呼び出しをする

**保存したルートを呼び出して、ルート探索をすることができます。**
※現在ルートを表示している場合は、そのルートは削除され、この呼び出ししたルートが表示されます。

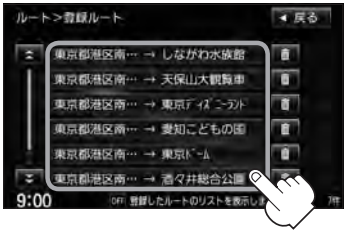
あらかじめルートを保存しておきます。☞「現在のルートを保存する」D-24

## 1 MENU をタッチする。

## 2 ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。

## 3 呼び出したいルートをタッチする。




### ■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとルート探索を開始し、探索後 案内スタート をタッチすると、案内を開始します。

### ■ ルートがない場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると全ルートが表示され 案内スタート をタッチするとルート案内を開始します。

※保存したときの探索条件でルート探索されます。

アドバイス
全ルートを表示しない設定(☞ F-10)にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。

# 保存したルートの削除をする

保存したルートを削除することができます。

あらかじめルートを保存しておきます。☞「現在のルートを保存する」D-24

**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。

**3** 削除したいルートの 🗑 をタッチする。

：登録ルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチします。登録ルートリスト画面に戻ります。

※登録ルートを削除しない場合は、 いいえ をタッチしてください。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# 渋滞予測ルート探索をする

本機に収録されている過去の渋滞統計データをもとに、設定したルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をすることができます。表示された参考ルートの中から出発時刻(“現在時刻” “指定日時” “30分後” “1時間後” “予測なし”)によって、所要時間やルートの違いを確認することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** ルート ➡ 渋滞予測回避 をタッチする。

：渋滞予測回避画面が表示されます。

**3** 設定したい項目( 現在時刻探索 ／ 日時指定探索 )をタッチする。

■ 現在時刻探索 を選択した場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

① 現在時刻 ／ 30分後 ／ 1時間後 ／ 予測なし ／ カレンダー をタッチしてルートを確認する。

現在時刻 ……出発時刻を現在の時刻で設定する。

30分後 ……出発時刻を現時刻の30分後で設定する。

1時間後 ……出発時刻を現時刻の1時間後で設定する。

予測なし ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

カレンダー ‥出発日時をお好みに設定できる。
※設定の方法は下記の「■ 日時指定探索 を選択した場合」(下記)を参考にしてください。

詳細情報 ☞D-21

出発時刻と到着予想時刻、目的地までの距離と所要時間、料金(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)を表示します。

■ 日時指定探索 を選択した場合

：日時指定探索画面が表示されます。

① 日付を選択し、タッチする。

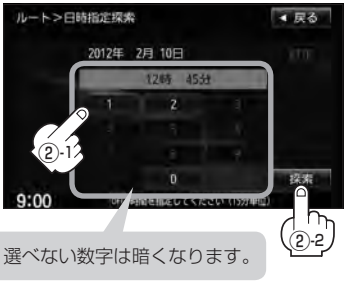
：時刻指定画面が表示されます。

ここをタッチするとカレンダー送りができます。(今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。 前月 は暗くなります。)

② 数字をタッチして時間を入力し、
**探索** をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

※時間は24時間制の15分単位で入力します。




③ **指定日時** ／ **30分後** ／ **1時間後** ／ **予測なし** をタッチしてルートを確認する。

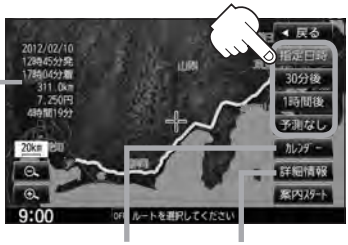
**指定日時** ……日時指定探索で設定した出発時刻とする。

**30分後** ……日時指定探索で設定した出発時刻の30分後を出発時刻とする。

**1時間後** ……日時指定探索で設定した出発時刻の1時間後を出発時刻とする。

**予測なし** ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

出発時刻と到着予想時刻、目的地までの距離と所要時間、料金（有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。）を表示します。




**カレンダー** をタッチすると、☞ D-28手順 **3** -①からの操作となります。

**詳細情報** ☞ D-21

## 4

**案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

アドバイス

- 到着予想時刻は指定した時刻によって異なります。
- 日時指定探索画面で過去の日時を設定することはできません。
- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  ☞「地図スクロール（地図を動かす）」B-11
- 過去の渋滞状況をもとに渋滞を予測してルート探索するため、実際の渋滞を避けたルートになるとは限りません。
- 出発地と目的地との距離が長い場合、経由地を多く設定している場合は、ルート探索に時間がかかります。

# SDカードからルート探索をする

VXM-135VFNのみ

パソコンを使用してSDカードに保存したルート情報を本機で再探索することができます。

☞「パソコン連携(いつもNAVI)」A-28

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

## 1

▲ ➡ OPEN をタッチする。

：ディスプレイ部が開きます。

## 2

SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

☞「SDカードを入れる／取り出す」B-4をご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

## 3

MENU をタッチする。

## 4

ルート ➡ SDルート をタッチする。

：SDカードに保存したルートのファイルリスト画面が表示されます。

※SDカード内に保存したルートファイルが1つの場合は、☞D-31手順 6 へ進んでください。

※SDカードに“DRIVE”フォルダがない場合、SDカード内に“DRIVE”フォルダの作成をうながすメッセージが表示されます。メッセージを確認し、 はい ／ いいえ を選択してください。

4-2

## 5

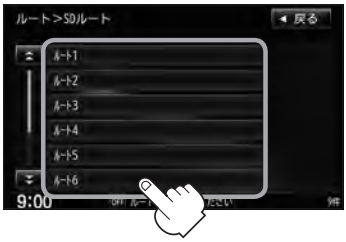
確認したいルートが保存されているファイルをタッチする。

：SDカード内に保存したルートのリストが表示されます。

ファイルリスト画面(例)

## 6 リストから呼び出したいルートをタッチする。

SDルートリスト画面(例)




### ■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとルート編集画面を表示します。

### ■ ルートがない場合

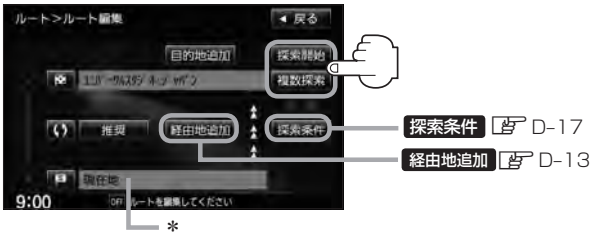
：下記手順 7 へ進んでください。

## 7 探索開始 ／ 複数探索 を選択し、タッチする。

：ルート探索を開始します。
ルート探索が完了すると全ルート表示画面が表示され、 案内スタート をタッチするとルート案内を開始します。

※経由地がある場合は 複数探索 は選択できません。

※ 複数探索 を行なった場合は ☞ D-9手順 4 、 5 をご覧ください。




アドバイス

- 手順 7 でルート探索をする場合、本機に設定している探索条件を基にルート探索を行なうため、パソコン(指定ホームページ)上でのルート探索結果と異なります。☞「ルート探索条件の設定をする」F-28

＊印…上記手順 7 でルート探索する場合、ホームページ(いつもNAVI)で出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(指定のホームページ(いつもNAVI)で指定した出発地にはなりません。)

- 探索したルートは本機に保存することができます。(最大20件)☞「現在のルートを保存する」D-24
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。☞「平均時速を設定する」F-37
- SDカードを挿入していない場合は、SDカードを挿入してください。
- 指定のホームページ(いつもNAVI)からダウンロードした位置情報ファイルはSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内に位置情報ファイルを入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内に位置情報ファイルがない場合は手順 4 (☞ D-30)でSDカードを挿入またはSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されていること／DRIVEフォルダ内に位置情報ファイルがあることを確認してください。
☞「パソコン連携(いつもNAVI)」A-28

# D-32 渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

## 1 現在地表示画面で VICSタイムスタンプ をタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。

## 2 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- ルート上に渋滞／規制がない場合、情報が取得できない場合、 VICSタイムスタンプ をタッチしても表示されません。音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方 10 km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick MENUに 渋滞地点 を設定すると、 Quick ➡ 渋滞地点 で、渋滞地点を確認することもできます。
  「Quick MENUの設定をする」B-20
- ルート案内を停止している場合、 VICSタイムスタンプ は選択できません。
  また、FM多重の番組設定を“ 一般情報番組を受信します ”＊にしている場合も選択できません。
  ＊印… VICSタイムスタンプ が一般情報スタンプ(“FM一般”)表示時
  「ルート案内をストップ／スタートする」D-18
  「受信する情報を選ぶ」E-14

# E

# 情報を見る




渋滞予測地図を見る…… E-2
ETC情報を見る …… E-4
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について …… E-6
交通情報(VICS情報)について …… E-7
VICS情報の更新に伴う表示変更について …… E-8
交通情報(VICS情報)とは …… E-9
表示について …… E-9
マーク一覧表 …… E-11
VICS放送局 …… E-11
一般情報について…… E-12
一般情報とは …… E-12
表示について …… E-12
一般情報の内容(番組)について …… E-12
一般情報放送局 …… E-12
交通情報／一般情報の操作の流れ…… E-13
情報の消去について…… E-13
受信する情報を選ぶ…… E-14
交通情報(文字情報)／一般情報を見る…… E-15
交通情報(図形情報)を見る …… E-17
緊急情報を見る…… E-18
緊急情報について …… E-19
交通情報／一般情報を選局する …… E-20
自動選局…… E-20
自動選局を止める …… E-21
手動選局…… E-22
エリア選局…… E-23
プリセット(保存)する…… E-24
プリセット(保存)呼び出しをする…… E-25
プリセット(保存)の上書きをする…… E-26
エコドライブ情報を設定する …… E-27
エコドライブ設定をする…… E-29
評価履歴を見る …… E-30
グラフ表示で見る …… E-30
評価履歴を削除する…… E-31
internavi情報／internaviドライブ情報について…… E-33
本体情報を見る…… E-34

# E-2 渋滞予測地図を見る

日時を指定して、その日時の渋滞予測データを地図上で確認することができます。

## 1 地図を表示させる。

■ 現在地周辺の渋滞予測地図を見る場合

① 現在地 をタッチする。

：現在地の地図が表示されます。

■ 指定した場所の渋滞予測地図を見る場合

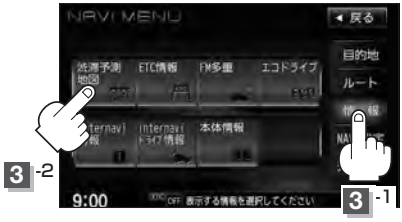
① 地図上のカーソル(–¦–)を表示したい場所に合わせる。

：スクロール先の地図が表示されます。

## 2 MENU をタッチする。

## 3 情報 ➡ 渋滞予測地図 をタッチする。

：日付指定画面が表示されます。




## 4 日付を選択し、タッチする。

：時間指定画面が表示されます。

ここをタッチするとカレンダー送りができます。（今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。 前月 は暗くなります。）

## 5 数字をタッチして時間を入力し、 検索 をタッチする。

※時間は24時間制の15分単位で入力します。
例)午後2時15分は「1415」とタッチする。

入力方法はB-36を参考にしてください。

：渋滞予測地図が表示されます。

数字入力時、選べない数字は暗くなります。

指定した日時

前日 ／ 翌日 タッチで1日前／1日後を表示

ここをタッチして時間を変えることもできます。

▲ ／ ▼ タッチで15分前／15分後を表示

## 6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 日付指定画面で過去の日付を指定することはできません。
- 過去のVICS渋滞統計データをもとに、日付、時間、曜日などから渋滞を予測して表示するため、実際の渋滞状況とは異なる場合があります。
- 渋滞予測地図画面で地図をスクロールして渋滞状況を確認することができます。
  「地図スクロール(地図を動かす)」B-11

# E-4 ETC情報を見る

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ ETC情報 をタッチする。

：ETC情報画面が表示されます。

**3** 履歴または管理情報を表示する。

■ 車載器情報を表示する場合

① 車載器情報 をタッチする。

：ETC本体の登録内容が表示されます。

■ カード情報を表示する場合

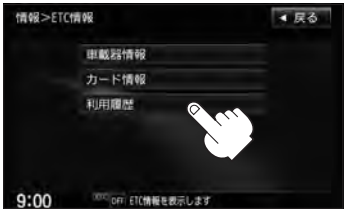
① カード情報 をタッチする。

：カード情報内容が表示されます。

■ 履歴を見る場合

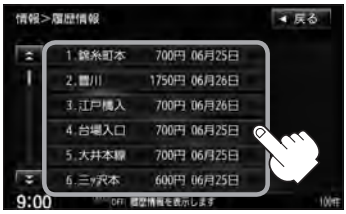
① 利用履歴 をタッチする。

：今までの利用履歴が最大100件まで日付の新しい順に表示されます。




② 履歴をリストから選択し、タッチする。

：履歴の詳細情報が表示されます。



アドバイス 地図ソフトに収録されていない料金所につきましては、入口／出口料金所の名称は“登録なし”と表示されます。

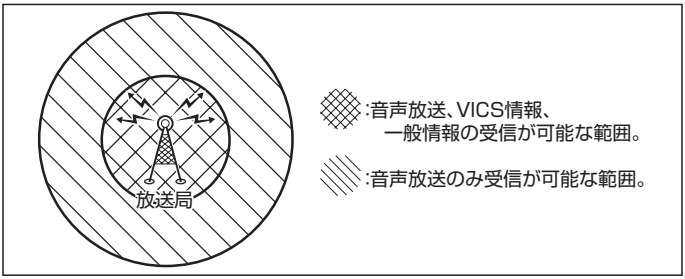
## 4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス 別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続すると、上記の方法でETC情報を確認することができます。接続可能なETC車載器(ナビ連動タイプ)について詳しくは、Honda販売店へご相談ください。

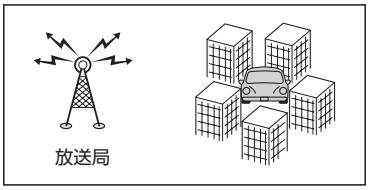
# 交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について

- **電波が強くなければ、これらの情報は受信できません。**
  **従って、受信できるエリアも、音声放送に比べ、かなり狭い範囲に限られます。**

VICS情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FMラジオ放送局の電波の一部を使って送られてきます。デジタルデータは、正確に受信する必要があるため、電波が強い場所でなければ、受信できません。従って、お手持ちのラジオで、FMラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくるVICS情報、一般情報は受信できない場合があります。VICS情報、一般情報が受信できるエリアの目安は、音声放送が受信できる限界の距離の約半分の距離です。




- **放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。**

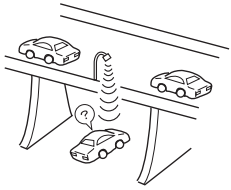



- **すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではありません。**
  **情報を放送している放送局については、☞「VICS放送局」E-11／☞「一般情報放送局」E-12をご覧ください。**

# 交通情報(VICS情報)について

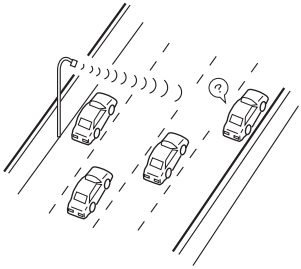
＜一般道路走行中には＞

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。



＜高速道路走行中には＞

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。



# 交通情報(VICS情報)について

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。

アドバイス
表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

## VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、☞「VICSの概要」T-36をご覧ください。

## 交通情報(VICS情報)とは

**FM多重放送局の中には、VICSセンターから提供されるVICS情報(レベル1～レベル3)を放送している局*があります。本書および画面表示では、このVICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。**
＊印…本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“VICS放送局”と呼んでいます。
「VICSの概要」T-36

## 表示について

**交通情報の表示には、3種類(レベル1、レベル2、レベル3)があります。**
※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

### レベル1(文字)表示

※表示内容は更新(変更)される場合があります。

(例)

①**ヘッダー文**
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

②**表示内容**

③**受信中の情報**
表示中の情報が交通情報であることを示します。

④ **戻る** **ボタン**
1つ前の画面に戻ります。

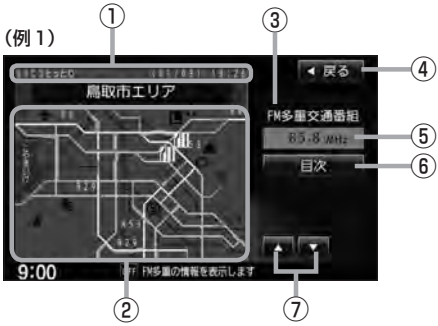
⑤**受信中の周波数**

⑥**表示内容選択ボタン**

> アドバイス
> 各ページは、ヘッダー文(1行)と表示内容(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。

### レベル2(簡易図形)表示

(例1)




①**ヘッダー文**
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

②**渋滞情報**
赤色：渋滞　　橙色：混雑
※渋滞方向を矢印で表示します。

③**受信中の情報**
表示中の情報が交通情報であることを示します。

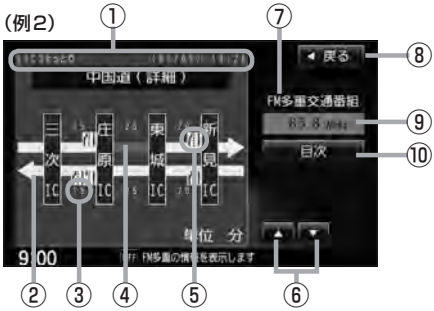
④ **戻る** **ボタン**
1つ前の画面に戻ります。

⑤**受信中の周波数**

⑥ **目次** **ボタン**
目次画面に戻ります。

⑦ **▲** ／ **▼** **ボタン(ページ戻し／送り)**
※2ページ以上ページがある場合に表示されます。暗い項目は、選べません。

(例2)




①ヘッダー文
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先の情報提供がない場合は、灰色です。

③矢印方向の次の地点までの所要時間(5分単位)
この例の場合は、庄原ICから三次ICまで、約15分かかることを示しています。

④渋滞情報
矢印方向の渋滞状況を示します。
赤色：渋滞　橙色：混雑

⑤VICS情報マーク
「マーク一覧表」E-11

⑥ ▲ ／ ▼ ボタン(ページ戻し／送り)
※2ページ以上ページがある場合に表示されます。

⑦受信中の情報
表示中の情報が交通情報であることを示します。

⑧ 戻る ボタン
1つ前の画面に戻ります。

⑨受信中の周波数

⑩ 目次 ボタン
目次画面に戻ります。

アドバイス 渋滞情報は、渋滞や混雑がない場合、または情報が不明な場合は表示されません。

## レベル3(地図)表示

(例1)

(例2)

① VICSタイムスタンプ ボタン
- 交通情報の提供時刻を表示します。
  ※表示可能なレベル3情報がない時は“－－：－－”を表示します。
  ※一般情報を受信する設定になっている場合は、表示されません。
- ルート案内中にタッチすると、渋滞／規制を確認することができます。
  「渋滞地点を確認する」D-32

②VICS情報マーク
「マーク一覧表」E-11

③渋滞情報
赤色：渋滞　橙色：混雑　緑色：渋滞なし　黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。
：交通情報

④マーク詳細情報
VICS情報マークにカーソル(–¦–)をあわせると、マーク詳細情報が表示されます。

アドバイス
- 縮尺によってはレベル3表示できません。
- レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。
- 情報提供時刻が表示されている時(“－－：－－”表示ではない時)に、レベル3が表示できます。
- 受信状況によっては、3種類(レベル1～レベル3)の情報を全て表示することはできない場合があります。

## マーク一覧表

**交通情報によっては、下記のマークが表示されます。**
※下記マークは一例です。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事　故 | 凍　結 | チェーン規制 | 駐車場(混雑)(橙) | 車線規制 | 入り口制限 | 速度規制40km/h | 速度規制80km/h |
| 故障車 | 作　業 | 進入禁止 | 駐車場(不明)(黒) | 徐　行 | 速度規制10km/h | 速度規制50km/h | |
| 路上障害 | 通行止め／閉鎖 | 駐車場(空)(青) | 駐車場(閉) | 入り口閉鎖 | 速度規制20km/h | 速度規制60km/h | |
| 工　事 | 片側交互通行 | 駐車場(満)(赤) | 対面通行 | 大型通行止め | 速度規制30km/h | 速度規制70km/h | |

## VICS放送局

● 平成24年3月1日現在、開局されている放送局は次の通りです。
VICS旭川(85.8 MHz)、VICS札幌(85.2 MHz)、VICS函館(87.0 MHz)、VICS北見(86.0 MHz)、VICS仙台(82.5 MHz)、VICS福島(85.3 MHz)、VICS前橋(81.6 MHz)、VICSさいたま(85.1 MHz)、VICS宇都宮(80.3 MHz)、VICS水戸(83.2 MHz)、VICS東京(82.5 MHz)、VICS千葉(80.7 MHz)、VICS横浜(81.9 MHz)、VICS長野(84.0 MHz)、VICS新潟(82.3 MHz)、VICS甲府(85.6 MHz)、VICS静岡(88.8 MHz)、VICS金沢(82.2 MHz)、VICS名古屋(82.5 MHz)、VICS岐阜(83.6 MHz)、VICS津(81.8 MHz)、VICS大 津(84.0 MHz)、VICS奈 良(87.4 MHz)、VICS京 都(82.8 MHz)、VICS大阪(88.1 MHz)、VICS和歌山(84.7 MHz)、VICS神戸(86.5 MHz)、VICS岡山(88.7 MHz)、VICS広 島(88.3MHz)、VICS山口(85.3 MHz)、VICS高 松(86.0 MHz)、VICS松山(87.7 MHz)、VICS徳島(83.4 MHz)、VICS福岡(84.8 MHz)、VICS大分(88.9 MHz)、VICS熊本(85.4 MHz)、VICS宮崎(86.2 MHz)、VICS高知(87.5 MHz)、VICS佐賀(81.6 MHz)、VICS長崎(84.5 MHz)、VICS鹿児島(85.6 MHz)、VICS沖縄(88.1 MHz)、VICS福井(83.4 MHz)、VICS富山(81.5 MHz)、VICS山形(82.1 MHz)、VICS秋田(86.7 MHz)、VICS青森(86.0 MHz)、VICS松江(84.5 MHz)、VICS鳥取(85.8 MHz)、VICS盛岡(83.1 MHz)、VICS釧路(88.5 MHz)
※交通情報は、NHK－FM放送局の電波の一部を使用して放送されています。
　上記の周波数は親局のものです。これら親局の中継局でも、交通情報を受信できます。

アドバイス
● VICSのサービスエリア外の地域やトンネルの中など電波の届きにくい場所、電波状況の悪い場合などは、交通情報の受信が困難になったり、情報がそろうのに時間がかかることがあります。
● VICS放送局の情報提供時間は、24時間です。ただし、メンテナンス作業のために午前1時～午前5時までは放送を休止する場合がありますので、この間は、交通情報は受信できません。

# 一般情報について

## 一般情報とは

**FM多重放送局の中には、各放送局が製作した文字情報(レベル1)を放送している局*があります。**
**本書および画面表示では、この文字情報を“一般情報”と呼んでいます。**
＊印…本書では一般情報を放送しているFM多重放送局を“一般情報放送局”と呼んでいます。

## 表示について

(目次画面の例)

**①ヘッダー文**
放送局名、番組名、ページなどを表示します。

**②表示内容**

**③受信中の情報**
表示中の情報が一般情報であることを示します。

**④ 戻る ボタン**
1つ前の画面に戻ります。

**⑤受信中の周波数**

**⑥表示内容選択ボタン**

**⑦ ▼ ／ ▲ ボタン**
画面送り／戻しをします。

> アドバイス
> 各ページは、ヘッダー文(1行)と表示内容(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。ページ数は番組によって異なり、番組によっては自動的にページ送りするものもあります。

## 一般情報の内容(番組)について

**1つの放送局から、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は、放送局によって異なります。番組は目次画面で選ぶことができます。(☞「表示について」上記)**
**番組は大きく次の2つに分けられます。**

- **連動情報番組(番組情報チャンネル)**
  FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名、アーティスト名、リクエストの受付電話番号など、音声放送に関連した内容です。音声放送に合わせて、放送局が内容を変えていきます。
- **独立情報番組(天気予報、ニュース&スポーツ、交通情報、エンターテイメントチャンネルなど)**
  FM音声放送とは関連のない、独立した番組です。ページ送りは、放送局が行なう場合もあります。
  ※番組の名称、数、内容などは、放送局によって異なります。また、番組の更新情報を受信すると、自動的に本機内に保存している一般情報が更新されます。

## 一般情報放送局

**一般情報放送局(民放FM放送局)にはJFN系列／JFL系列／独立局などがあります。**
**一般番組情報を受信する設定にしている場合は、現在地周辺の最新エリアの放送局を受信します。**

> アドバイス
> - 各放送局の放送休止時間帯は一般情報を受信することはできません。
> - 電波の状況によっては、FM音声放送は受信できても、一般情報は受信できない場合があります。
> - 一般情報は、親局の中継局でも受信できます。

# 交通情報／一般情報の操作の流れ

本機では、FM多重放送を使って提供される交通情報(VICS)と一般情報(各放送局が独自に製作して放送している文字情報)を表示することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

**3** 受信する情報を選択する。

■ 交通情報を表示する場合

① 受信番組設定 ➡ 交通情報番組(VICS) をタッチする。

■ 一般情報を表示する場合

① 受信番組設定 ➡ 一般情報番組 をタッチする。

**4** 上記手順 3 で選んだ情報を放送している放送局を受信する。

☞「交通情報／一般情報を選局する」E-20

アドバイス
よく使う放送局は、プリセット(保存)しておくと便利です。
☞「プリセット(保存)する」E-24

**5** 見たい情報を表示させる。

■ 交通情報を表示する場合

☞「交通情報(文字情報)／一般情報を見る」E-15
☞「交通情報(図形情報)を見る」E-17
☞「緊急情報を見る」E-18
☞「VICS表示の設定をする」F-32

■ 一般情報を表示する場合

☞「交通情報(文字情報)／一般情報を見る」E-15
☞「緊急情報を見る」E-18

## 情報の消去について

次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)にしたり、受信周波数が変わったり、変えたりした場合に受信した情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間を経過した。(交通情報の場合)
- 受信する情報(交通情報／一般情報)を切り替えた場合、切り替える前の情報は消去されます。(たとえば、交通情報を受信していて、一般情報に切り替え、再度、交通情報に切り替えた場合、前回受信していた交通情報は消去されています。ただし、レベル3情報については切り替える直前のデータが保持されるため、一定時間の表示は可能です。)

# 受信する情報を選ぶ

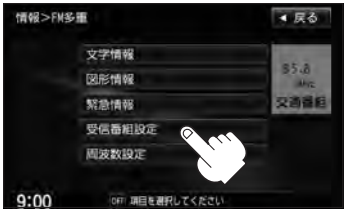
受信する情報を設定します。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

**3** 受信番組設定 をタッチする。

：受信番組設定画面が表示されます。




**4** 受信する情報( 交通情報番組(VICS) ／ 一般情報番組 )をタッチする。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 交通情報番組を受信する設定にしているときは、 VICSタイムスタンプ に、交通情報提供時刻を表示します。一般情報番組を受信する設定にしているときは、 VICSタイムスタンプ が、一般情報スタンプ(“FM一般”)の表示に変わります。
- 交通情報番組を受信する設定にしているときは、一般情報を放送している放送局を受信しても、一般情報は受信しません。同様に一般情報番組を受信する設定にしているときは、交通情報を放送している放送局(VICS放送局)を受信しても、交通情報は受信しません。
- 交通情報番組を受信する、一般情報番組を受信する設定にしただけでは、各情報を表示することはできません。「交通情報／一般情報の操作の流れ」E-13

# 交通情報(文字情報)／一般情報を見る

**1** E-14手順 1 ～ 4 に従って操作し、受信する情報を設定する。

**2** MENU をタッチする。

**3** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

**4** 文字情報 をタッチする。

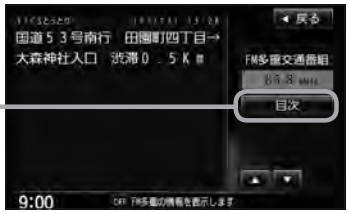
：FM多重の目次画面が表示されます。

**5** 見たい情報の番号をタッチする。

※選択画面が続く場合は、▼ をタッチしてください。

(例)交通情報(文字情報)の目次画面
("1．渋滞"を見る場合)

2ページ以上ある場合は、画面を送って、見たい情報のある画面を表示してください。
※ページ数が表示されない番組もあります。




目次に戻るとき、タッチします。
※一般情報の場合、目次データが受信できていない場合は"情報の受信中です。"と表示します。目次データが受信できると、目次画面を表示します。

**※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書きかえます。**

## 6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 一般情報の場合、手順 1 ～ 3 (☞ E-13)の操作をした後、目次画面ではなく、連動情報番組(☞ E-12)が表示されることがあります。目次データは受信できないが、連動情報番組データを受信できた場合に表示されます。他の番組を見たい場合は、しばらく待ってから 目次 をタッチしてください。
- 表示内容は更新(変更)される場合があります。

# 交通情報(図形情報)を見る

## 1 “交通情報番組(VICS)を受信します” 設定にする。

「受信する情報を選ぶ」E-14
「交通情報／一般情報を選局する」E-20

## 2 MENU をタッチする。

## 3 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

## 4 図形情報 をタッチする。

：FM多重の目次画面が表示されます。

## 5 見たい情報の番号をタッチする。

選択画面が続く場合は、▼ をタッチしてください。

(例)図形情報の目次画面

※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書きかえます。

## 6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

FM多重の 図形情報 は、 受信番組設定画面 ➡ 一般情報番組 に設定している場合は暗くなります。

# E-18 緊急情報を見る

交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。

**1** E-14手順 1 ～ 4 に従って操作し、受信する情報を設定する。

**2** MENU をタッチする。

**3** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

**4** 緊急情報 をタッチする。

※情報を受信していないときは、
ボタンは暗くなります。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、
自動的に情報を書きかえます。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

## 緊急情報について

**受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。**

- 現在地表示時に受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
  ※約15秒後には、緊急情報画面は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、× をタッチして、現在地表示に戻すこともできます。
- 交通情報(文字情報／図形情報)表示中、または一般情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、戻る をタッチすると、FM多重のMENUに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには☞ E-18に従ってFM多重の 緊急情報 をタッチしてください。

アドバイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えません。☞ E-18に従って 緊急情報 をタッチすると表示されます。
  ※情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。
  ☞「(情報の消去について)」E-13
- 交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。
- 緊急情報表示を止める場合は、現在地 ／ MENU ／ 戻る をタッチしてください。

# 交通情報／一般情報を選局する

交通情報を見るには、VICS放送局(☞ E-11)を受信してください。
また、一般情報を見るには、一般情報放送局(☞ E-12)を受信してください。選局には、
自動選局、手動選局、エリア選局の３つの方法があります。

> アドバイス
> 受信した放送局をプリセット(保存)しておくと、後で呼び出すことができます。
> ☞「プリセット(保存)する」E-24

## 自動選局

自動選局に設定すると、受信中の電波が弱くなった場合、自動的に電波の強い周波数に切り替わります。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

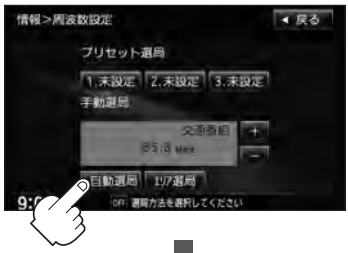
**3** 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

## 4 自動選局 をタッチする。

：表示灯が点灯します。

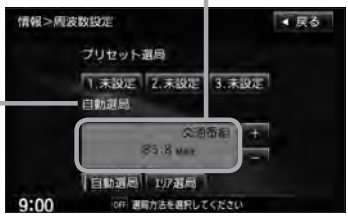
周波数設定画面



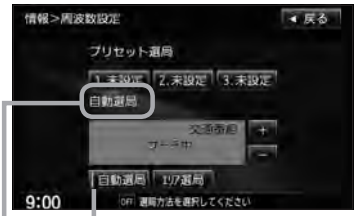

自動選局機能が働いていることを示します。

受信中の放送局名と周波数

サーチ完了




サーチ中




自動選局表示に変わった。

選択時表示灯点灯

## 5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

放送局が受信できるまでは、周波数設定画面は“サーチ中”を表示したままとなります。電波状況が悪く、自動選局で放送局が受信できない場合は、手動選局（☞E-22）またはエリア選局（☞E-23）を行なってください。

## 自動選局を止める

周波数設定画面が“自動選局”表示になっているときは、自動選局機能が働いて、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数（放送局）に切り替わります。自動選局を止める（周波数が自動的に切り替わるのを止める）場合は、 自動選局 をタッチして表示灯を消灯し、表示を“手動選局”に変えてください。

## 手動選局

手動で周波数を合わせることができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

**3** 周波数設定 をタッチする。

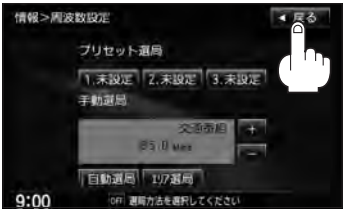
：周波数設定画面が表示されます。

**4** ＋ ／ － をタッチし、
受信したい周波数を表示させる。

※ ＋ をタッチすると、0.1 MHzアップ、1.5秒以上タッチすると始めは0.1 MHzアップし、その後1 MHzずつアップします。 － をタッチすると、0.1 MHzダウン、1.5秒以上タッチすると始めは0.1 MHzダウンし、その後1 MHzずつダウンします。

ここに受信したい周波数を表示させます。

**5** 戻る をタッチする。



手順 4 で表示させた周波数に変わります。

**6** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

## エリア選局

現在地周辺のFM放送局リストが表示され、選択した放送局を受信します。

アドバイス 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。その場合は手動選局で周波数を設定してください。「手動選局」E-22

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

**3** 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

**4** エリア選局 をタッチする。

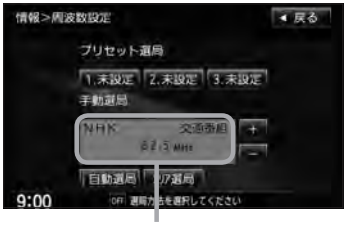
周波数設定画面

受信中の周波数

**5** 受信する放送局を選択し、タッチする。

現在地周辺のFM放送局リスト

これを受信する場合




リストで選んだ放送局を受信します。

**6** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# プリセット(保存)する

放送局を3局までプリセット(保存)できます。

## 1 プリセットしたい放送局を受信する。(画面は、周波数設定画面のままにしておきます。)

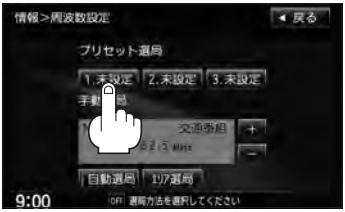
「交通情報／一般情報を選局する」E-20

アドバイス
自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始めてしまい、周波数が変わってしまいます。
「自動選局を止める」E-21

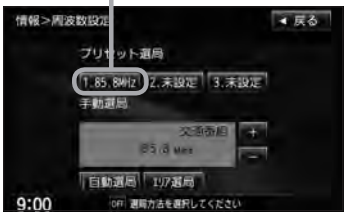
## 2 保存する場所( 1.未設定 ／ 2.未設定 ／ 3.未設定 )を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 1.未設定 に保存する場合

未設定が85.8 MHzに変わります。




1.5秒以上
タッチする




## 3 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス
上記手順 2 で、すでに他の放送局が保存されている場所を選ぶと、保存されている放送局を消去して、新しい放送局を保存します。「プリセット(保存)の上書きをする」E-26

# プリセット(保存)呼び出しをする

プリセット(保存)した放送局を呼び出すことができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

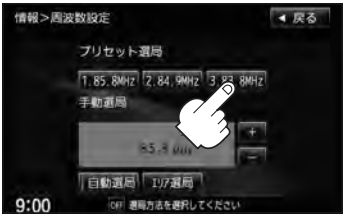
：FM多重画面が表示されます。

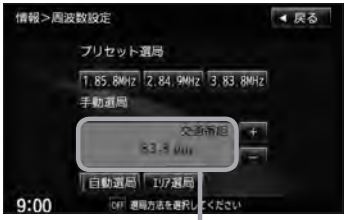
**3** 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

**4** 呼び出す周波数を選択して、タッチする。

例 3.83.8MHz を呼び出す場合




85.8 MHzが83.8 MHzに変わります。

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# プリセット(保存)の上書きをする

プリセットした放送局に新しい放送局を上書きすることができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

**3** 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

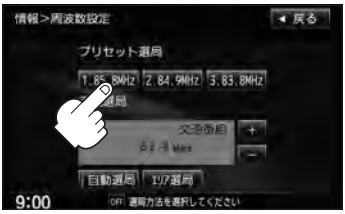
**4** 新しい放送局を呼び出す。

☞「交通情報／一般情報を選局する」E-20

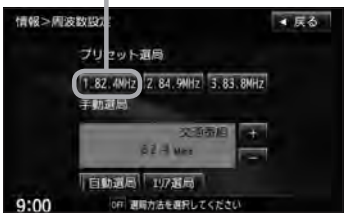
**5** 上書きしたい場所を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 1. 85.8MHz に上書きする場合

85.8 MHzが82.4 MHzに変わります。




1.5秒以上
タッチする




**6** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# エコドライブ情報を設定する

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(エコドライブ)ができているか評価して、その情報を確認することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ エコドライブ をタッチする。

：エコドライブ情報画面が表示されます。

※１日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

**評価レベル**……初級で評価した場合、マークを表示

**急加速** ……急に加速した回数

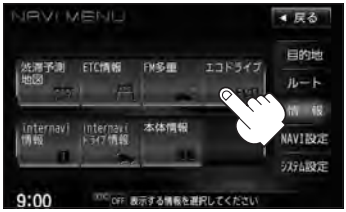
**急減速** ……急に減速した回数

**エコ速度**……規定速度以上で走行した時間(法定速度とは異なりますのでご注意ください。)

**アイドリング**…車両停車時間(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)

**総合評価**……総合評価をＡ～Ｅの５段階で判定

※この評価は本機独自の評価です。グラフの数が５つのときはＡ、４つのときはＢ、３つのときはＣ、２つのときはＤ、１つのときはＥ評価です。グラフの数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていることを意味します。




(例)エコドライブ情報画面

メッセージがスクロールされます。

総合評価をバーで表示

エコドライブ情報画面では

評価履歴を見たり、削除することができます。☞ E-30、E-31

エコドライブの結果を、グラフにて確認することができます。☞ E-30

## 3 エコドライブ評価を中止／開始する。

### ■ エコドライブ評価を開始する場合

**エコドライブ評価開始 をタッチする。**

：エコドライブ評価を開始します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の ECO マークを表示します。

（例）エコドライブ情報画面

### ■ エコドライブ評価を止める場合

**エコドライブ評価中止 をタッチする。**

：エコドライブ評価を中止します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の ECO マークが消えます。

（例）エコドライブ情報画面

## 4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

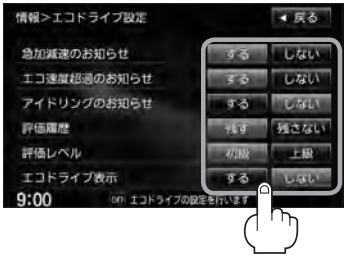
## エコドライブ設定をする

**1** E-27手順 1 、 2 に従って操作し、設定 をタッチする。

：エコドライブ設定画面が表示されます。

（例）エコドライブ情報画面

**2** 急加減速のお知らせ／エコ速度超過のお知らせ／アイドリングのお知らせ（ する ／ しない ）、評価履歴（ 残す ／ 残さない ）、エコドライブ表示（ する ／ しない ）、評価レベル（ 初級 ／ 上級 ）の設定を選択し、タッチする。




※評価レベルを変更する場合、評価レベルの変更をしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので、 はい ／ いいえ を選択しタッチしてください。

※エコドライブ評価中止時、エコドライブ表示を する をタッチした場合、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認し、 OK をタッチしてください。

※エコ速度超過のお知らせの する をタッチした場合、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認し OK をタッチしてください。

**3** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 手順 2 でエコドライブ表示を する に設定した場合、現在地の地図画面に戻ったとき右画面にエコドライブ情報を表示します。エコドライブ情報の表示を止めたい場合は、エコドライブ表示の しない をタッチしてください。
- 手順 2 で評価レベルの 初級 を選択すると、2画面表示またはエコドライブ情報を表示させたとき マークが表示されます。☞ E-32、アドバイス内
- ルート情報／ハイウェイモード表示中はエコドライブ表示を する に設定しても右画面にエコドライブ情報は表示されません。☞「■ ルート情報の表示を設定する場合」F-13
- Quick ➡ 右画面表示 ➡ エコドライブ とタッチして、右画面にエコドライブ情報を表示することもできます。

## 評価履歴を見る

**1** E-27の手順 1 、 2 に従って操作し、
履歴 をタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。

（例）エコドライブ情報画面

**2** リストから見たい日時の履歴を選んでタッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

（例）エコドライブ評価履歴画面

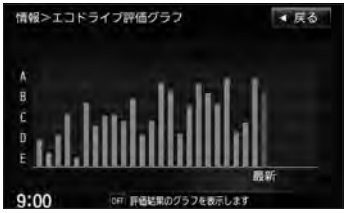
**3** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

## グラフ表示で見る

**1** E-27の手順 1 、 2 に従って操作し、
グラフ をタッチする。

：グラフ画面が表示されます。
評価グラフは最大30件まで表示されます。

（例）エコドライブ情報画面




**2** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

## 評価履歴を削除する

**1** E-27の手順 1 、 2 に従って操作し、 履歴 をタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。

（例）エコドライブ情報画面

**2** 削除したい履歴を選び、タッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

■ 全履歴を削除する場合

① 全削除 をタッチする。

：全ての評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチします。

（例）エコドライブ評価履歴画面

**3** 削除 をタッチする。

：選択した評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチすると履歴を削除し、評価履歴画面に戻ります。

（例）エコドライブ評価履歴の詳細画面

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

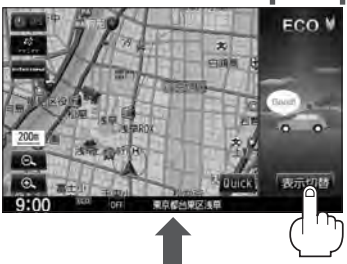
# エコドライブ情報を設定する

アドバイス

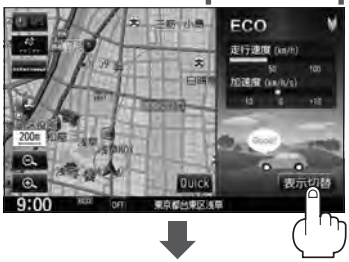
- E-28の手順 3 でエコドライブ評価を開始した場合、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。
  ※エコドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。

- 右画面にエコドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度･加速度インジケーターまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。表示されたエコドライブ情報は、表示切替 をタッチして、表示の切り替えをすることができます。ルート案内中などで交差点拡大図などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大図などを優先して表示します。
  「右画面に地図／情報を表示する」B-30
  ※エコドライブ評価を開始していない場合は、右画面にエコドライブ情報を表示しません。

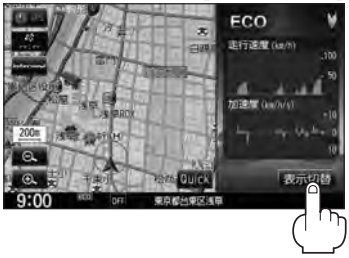
エコドライブ情報
（例）アニメーションを表示




エコドライブ情報
（例）走行速度・加速度インジケーターを表示




エコドライブ情報
（例）走行速度・加速度履歴グラフを表示




- **エコドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。**
- アニメーション、走行速度・加速度インジケーターの場合、現在の走行状態によって車の色が変わります。（水色＝優良、ピンク色＝注意、茶色＝要注意）
- GPSが受信されていない場合は正しい評価をすることができません。
- 評価は1日単位で保存します。
- エコドライブ情報での評価内容は、あくまでも目安です。

# internavi情報／internaviドライブ情報について

VXM-135VFNiのみ

internaviに接続して、インターナビが提供する情報を見ることができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ internavi情報 ／ internaviドライブ情報 をタッチする。

**3** 各操作につきましては、別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

# 本体情報を見る

地図データのバージョン、本体のシリアル番号、音楽データ容量を見ることができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** 情報 ➡ 本体情報 をタッチする。

：本体情報画面が表示されます。

＊印… 詳細 をタッチすると、地図データの詳細を見ることができます。

本体情報画面
（VXM-135VFNの場合）

**3** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# F

# ナビゲーションの設定




メイン画面／右画面の設定をする……F-2
3D表示の角度を調整する……F-4
地図の色を設定する……F-5
表示項目の設定をする……F-6
ルート案内画面の設定をする……F-10
ランドマーク表示の設定をする……F-23
自車マークの種類を設定する……F-25
現在地(自車)の位置を変更する……F-26
ルート探索条件の設定をする……F-28
VICS表示の設定をする……F-32
情報表示を止める……F-33
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について……F-33
音声案内の音量調整／詳細設定をする……F-34
平均時速を設定する……F-37
登録地点の編集……F-38
登録地点を並び替える……F-43
自宅／登録地点の地図を呼び出す……F-45
自宅／登録地点を削除する……F-46
SDカードから地点を登録する……F-48
パーソナルHPと同期について……F-50
軌跡を使う……F-51
internavi設定について……F-53

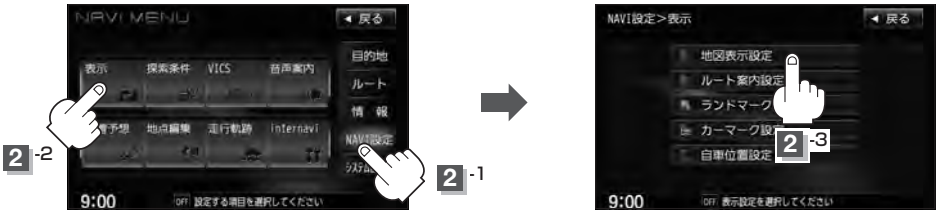
# F-2 メイン画面／右画面の設定をする

メイン画面または右画面名称の文字サイズ／吹き出し表示／標高地図を表示／地図モードを選ぶことができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 表示 ➡ 地図表示設定 をタッチする。

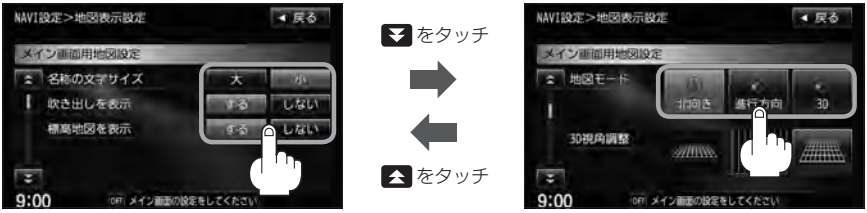
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。




**3** メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定をする場合

① “メイン画面用地図設定” から変更したい設定項目( する ／ しない 、 大 ／ 小 、 北向き ／ 進行方向 ／ 3D )を選択し、タッチする。




※3D表示の角度調整につきましては「3D表示の角度を調整する」F-4をご覧ください。

■ 右画面の設定をする場合

① を２回タッチし“右画面用地図設定”を表示させ、変更したい設定項目( する ／ しない 、 大 ／ 小 、 北向き ／ 進行方向 ／ 3D )を選択し、タッチする。

※3D表示の角度調整につきましては「3D表示の角度を調整する」F-4をご覧ください。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、現在地をタッチする。

## “名称の文字サイズ” について

地図に表示されている名称の文字サイズを替えることができます。

文字サイズ大

文字サイズ小

## “吹き出しを表示” について

高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を表示することができます。表示は収録されているデータに基づいて行なうため、収録されていない交差点では表示しません。

## “標高地図を表示” について

地図の縮尺が5km以上の画面で、詳細な地形地図にする／しないの設定ができます。

## “地図モード” について

- 地図表示(方位)を“北方向を上”“進行方向を上”“3D”に設定できます。
  地図表示(方位)は、地図画面の 方位 をタッチして切り替えることもできます。
  各地図表示の特長については「地図表示(方位)を切り替える」B-10をご覧ください。
- 1ルート探索／複数ルート探索やルート変更をするときに、目的地／経由地／出発地を登録する際の地図は“北方向を上”の地図になります。また、自車マークの位置／方位を修正する際の地図も、“北方向を上”の地図になります。

# F-4 3D表示の角度を調整する

メイン画面、右画面で3D表示時に、地図を見下ろす角度を高く設定すると、道路を上空から見下ろす感じで地図が表示され、低く設定すると、道路を水平方向から見る感じで地図が表示されます。
3D表示にするには☞「地図表示(方位)を切り替える」B-10をご覧ください。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 表示 ➡ 地図表示設定 をタッチする。

：メイン画面用地図設定画面が表示されます。

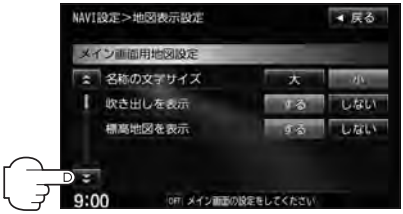
**3** メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定をする場合

① ⏬ をタッチする。

■ 右画面の設定をする場合

① ⏬ を3回タッチする。




**4** ▲／▼ をタッチして調整する。

▲：角度を下げます。

▼：角度を上げます。

見下ろし角度が低いとき

見下ろし角度が高いとき

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

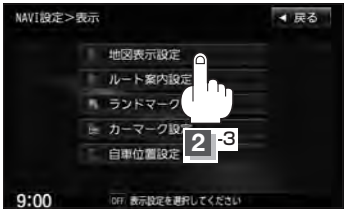
# 地図の色を設定する

平面・3D地図画面時の色(時間連動／昼／夜／スモール連動)、地図切り替え(ノーマル／道路メイン／レトロ)、標高地図の色(季節連動／標準／春／夏／秋／冬)を選択することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 表示 ➡ 地図表示設定 をタッチする。

：メイン画面用地図設定画面が表示されます。




**3** ⏬ を4回タッチし、
“地図色設定” を表示させ、昼夜切り替え
( 時間連動 ／ 昼 ／ 夜 ／ スモール連動 )、
地図切り替え( ノーマル ／ 道路メイン ／ レトロ )
または標高地図色( 季節連動 ／ 標準 ／ 春 ／
夏 ／ 秋 ／ 冬 )を選択し、タッチする。

※ 時間連動 を選択した場合は、日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替えます。
スモール連動 を選択した場合は、車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替わります。
ノーマル をタッチした場合は、道路・文字が標準的に表示します。
道路メイン をタッチした場合は、道路を分かりやすく表示します。
レトロ をタッチした場合は、彩度を落とした落ち着いた色調で表示します。
季節連動 を選択した場合は、GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替わります。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

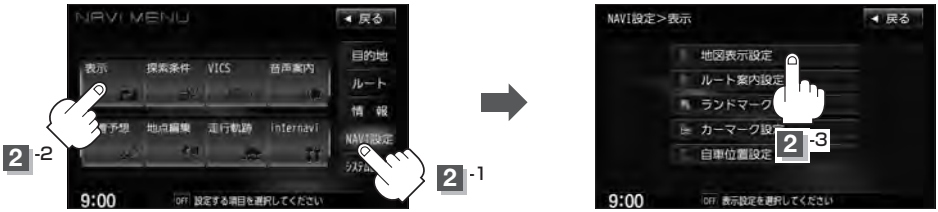
# F-6 表示項目の設定をする

地図画面や情報バーにMAPCODE／AUDIO情報／緯度・経度／登録地点／右画面AVの表示または非表示の設定、地図情報の表示設定を行ないます。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 表示 ➡ 地図表示設定 をタッチする。

：メイン画面用地図設定画面が表示されます。




**3** 情報バー表示(MAPCODE／地図情報／AUDIO情報)または
その他(緯度・経度／登録地点／右画面AV)の設定をする。

■ 情報バー表示の設定をする場合

① ⏬ を5回タッチし“情報バー表示設定”を表示させ、
設定項目( する ／ しない 、 住所名 ／ 道路名 )を選択し、タッチする。

■ その他の設定をする場合

① ⏬ を6回タッチし“その他設定”を表示させ、
設定項目( する ／ しない )を選択し、タッチする。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

## “MAPCODEを表示” について

情報バー(現在地表示時は除く)に、マップコードを表示することができます。

## “地図情報を表示” について

- 情報バーの表示を住所名または道路名のどちらを表示させるか選ぶことができます。
- 道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
- GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

道路名を表示する場合

## “AUDIO情報を表示” について

現在地表示時に、情報バーに再生中の下記内容を表示することができます。

※CD／MP3／WMA、SD、USB、Music Rack、iPodを再生している場合は曲名を、FM／AMを再生している場合は周波数と放送局名を、Digital TVを選択している場合は放送局名、DVDビデオを再生している場合はタイトル／チャプター番号を表示します。また、再生しているモードのアイコンが表示されます。
各アイコンにつきましては「地図画面の見かた」B-8をご覧ください。

曲名を表示する場合

## “緯度・経度を表示” について

地図画面(現在地表示時は除く)に、緯度・経度を表示することができます。

## “登録地点を表示” について

しない にすると、一時的に地図上から登録地点マークを消すことができます。

登録地点マーク

## “右画面AVを表示” について

- ナビ画面とオーディオ画面を左右に分割して同時に表示することができます。
- Quick MENUから設定することもできます。
  「■右画面にオーディオ画面を表示する場合」B-31
- 右画面AVのときも、画面の(⏮／⏭)(トラック／選択／スキップ)で早送り／早戻しをしたり、好きなトラックや放送局を選んだり、▼／▲(VOL)で音量調整をすることができます。
- REC(録音)中でも右画面AV表示にすることができます。
- 右画面AV(ナビ＋DVD)の場合、DVDの初期設定でアスペクト比を “16：9” に設定していても、その比率で表示されません。

□ ナビ＋CDの場合

□ ナビ＋Music Rackの場合

□ ナビ＋SDの場合

□ ナビ＋USBの場合

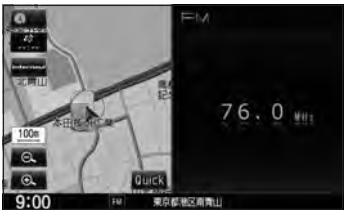
□ ナビ＋iPodの場合

：iPodビデオの場合、走行中は音声のみとなります。

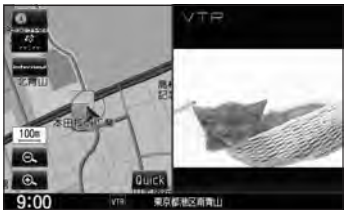
□ ナビ＋DVDの場合

※走行中は音声のみとなります。

□ ナビ＋AM／FMの場合




□ ナビ＋VTRの場合




※走行中は音声のみとなります。

□ ナビ＋Digital TVの場合

※走行中は音声のみとなります。

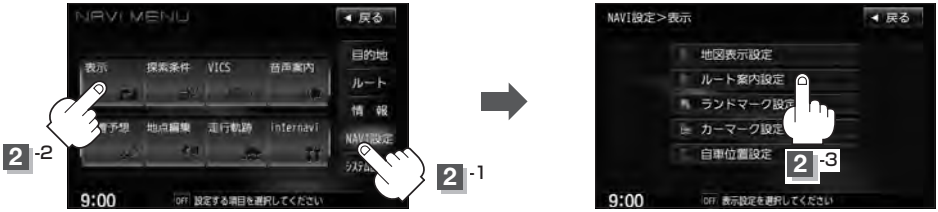
# F-10 ルート案内画面の設定をする

ルート案内時に表示する内容を設定します。
（全ルート／交差点情報／ルート色／ETCレーン／ルート情報／ハイウェイモード／JCTビュー／交差点拡大図／リアル3D／方面看板／AV画面中の案内割込み／右画面AV中の案内割込み／盗難多発地点／目的地方向）

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 表示 ➡ ルート案内設定 をタッチする。

：ルート案内の設定画面が表示されます。




**3** 設定する項目を選択しタッチする。


全ルートの表示……F-10
交差点情報の表示……F-11
ルート色の表示……F-11
ETCレーンの表示 ……F-12
ルート情報の表示……F-13
ハイウェイモードの表示……F-13
JCTビューの表示 ……F-15
交差点拡大図の表示……F-16
リアル3D表示 ……F-17
方面看板の表示……F-18
AV画面中の案内割込み ……F-19
右画面AV中の案内割込み ……F-20
盗難多発地点案内……F-21
目的地方向を表示……F-22


## ■ 全ルートの表示を設定する場合

ルート探索後に全ルートを表示するかしないかの設定をします。

① 設定（ する ／ しない ）を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：ルート探索終了後、全ルートを表示します。

□ しない をタッチしたとき

：ルート探索終了後、全ルートを表示しません。

※複数ルート探索終了後は全ルート表示となります。

## ■ 交差点情報の表示を設定する場合

交差点情報を表示するかしないかの設定をします。

① 設定( する ／ しない ／ 案内中のみ )を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：走行中は常に交差点情報を表示します。

□ しない をタッチしたとき

：交差点情報を表示しません。

□ 案内中のみ をタッチしたとき

：ルート案内時のみ交差点情報を表示します。

- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。（表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。）
  ※次の交差点が 10 km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。

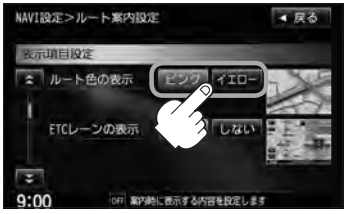
- する ／ 案内中のみ に設定している場合、ルート案内時に曲がる方向を黄色の矢印で表示します。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

## ■ ルート色の表示を設定する場合

設定ルートの色を変えることができます。

① ⏬ をタッチし“ルート色の表示”を表示させ、設定( ピンク ／ イエロー )を選択し、タッチする。

⏬ をタッチ




□ ピンク をタッチしたとき

：設定ルートの色をピンクで表示します。

□ イエロー をタッチしたとき

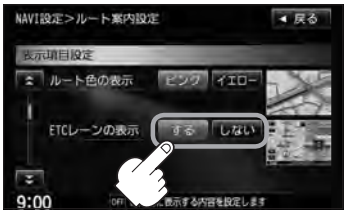
：設定ルートの色をイエローで表示します。

アドバイス　設定ルートの色は ピンク ／ イエロー のどちらかを選んだ場合も、有料道路は青色になります。

## ■ ETCレーンの表示を設定する場合

① ⏬をタッチし“ETCレーンの表示”を表示させ、設定(する／しない)を選択してタッチする。

⏬をタッチ




□ **する をタッチしたとき**

：料金所の手前でETCレーンを表示します。

□ **しない をタッチしたとき**

：ETCレーンを表示しません。

アドバイス

- ETCレーン表示のとき ▶ をタッチすると、一時的に消すことができます。
  もう一度表示したい場合は ◀ をタッチしてください。
- ETCレーン表示は、ETC車載器未接続時でも表示されます。
- 表示は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  ・データが収録されていないETCレーンでは、ETCレーン表示はしません。
  ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ETCレーン表示など)が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

ETCレーン表示(例)

## ■ ルート情報の表示を設定する場合

ルート情報の表示をするかしないかの設定をします。

① ⏬を２回タッチし“ルート情報の表示”を表示させ、設定（する／しない）を選択してタッチする。

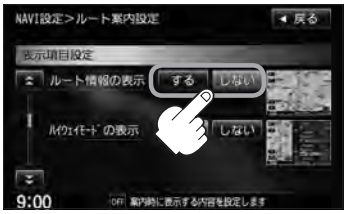
□ する をタッチしたとき

：ルート案内時、ルート情報を表示します。

□ しない をタッチしたとき

：ルート情報を表示しません。

⏬を２回タッチ




## ■ ハイウェイモードの表示を設定する場合

① ⏬を２回タッチし“ハイウェイモードの表示”を表示させ、設定（する／しない）を選択してタッチする。

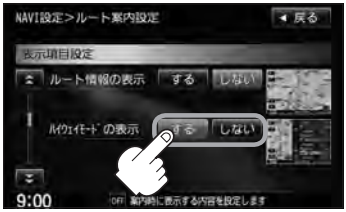
□ する をタッチしたとき

：高速道路／一般有料道路走行時に情報を表示します。

□ しない をタッチしたとき

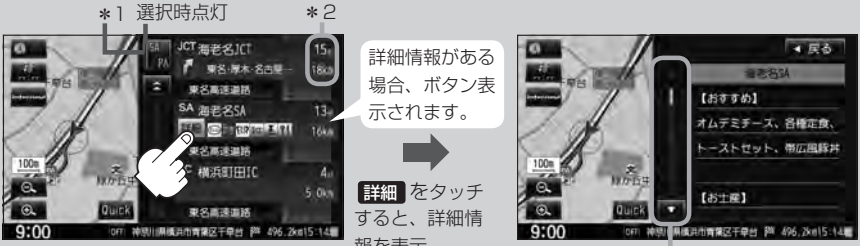
：情報を表示しません。

⏬を２回タッチ



# ルート案内画面の設定をする

- “ルート情報の表示”を する に選択すると、ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金や情報、到着時間などを表示します。
- “ルート情報の表示”を する に選択した場合、ルート情報はルート案内時とデモ走行時に表示します。
- “ルート情報の表示”を する に選択すると、高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、“ハイウェイモードの表示”の する ／ しない は選択できなくなります。
- “ハイウェイモードの表示”を する に設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。
- Quick MENUから設定することもできます。「右画面に地図／情報を表示する」B-30
- 停車中に 詳細 をタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示することができます。（探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合はボタンは表示されません。）走行中は詳細情報は表示できません。（ 詳細 は選択できません。）

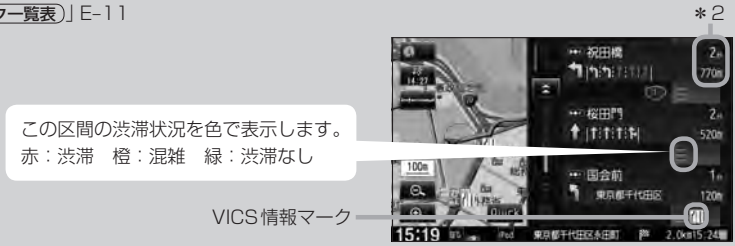



＊1印…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 SA／PA をタッチすると、サービスエリア・パーキングエリアのみルート情報を表示します。
再度 SA／PA をタッチするともとの情報に戻ります。

＊2印…ルート情報／ハイウェイモード表示に経由地や各ポイントなどへの到着時間と距離を表示します。

※探索したルートに高速道路または有料道路がある場合でもその高速道路または有料道路にサービスエリアまたはパーキングエリアがないときは選択することができません。

- VICS情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICS情報マークを表示します。
「マーク一覧表」E-11



## ■ JCTビューの表示を設定する場合

JCTビューの表示をするかしないかの設定をします。

① ⏬を３回タッチし“JCTビューの表示”を表示させ、設定（する／しない）を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

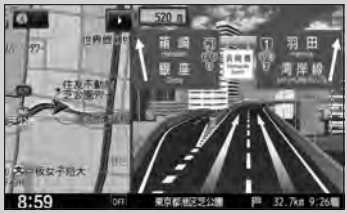
：JCTビューを表示します。

□ しない をタッチしたとき

：JCTビューを表示しません。

- 高速道路や都市高速道路のJCT（ジャンクション）分岐や都市高速道路の出口（ランプ）が近づくと、その付近の案内図（JCTビュー）を表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。
- JCTビュー表示のとき ▶ をタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  - ・データが収録されていない分岐点では、JCTビューはしません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容（ランドマークなど）が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

（例）JCTビュー表示



## ■ 交差点拡大図の表示を設定する場合

交差点拡大図を表示するかしないかの設定をします。

① ⏬を３回タッチし“交差点拡大図の表示”を表示させ、設定（する／しない）を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：交差点拡大図を表示します。

□ しない をタッチしたとき

：交差点拡大図を表示しません。

- 主要な交差点に近づくと、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマーク（ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公園など、目印となる施設）とともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大機能は正常に働きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は働きません。
- 交差点拡大図表示のとき ▶ をタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。

（例）交差点拡大表示

※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大表示はしません。
  - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容（ランドマークなど）が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

## ■ リアル3Dの表示を設定する場合

リアル3D交差点を表示するかしないかの設定をします。

① ⏬を4回タッチし“リアル3D表示”を表示させ、設定(する／しない)を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：リアル3D交差点を表示します。

□ しない をタッチしたとき

：リアル3D交差点を表示しません。

- ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
- ▶ をタッチすると、リアル3D交差点表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。

## ■ 方面看板の表示を設定する場合

方面看板を表示するかしないかの設定をします。

① ▼を４回タッチし“方面看板の表示”を表示させ、設定( する ／ しない ／ 案内中のみ表示 )を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：走行中は常に表示します。

□ しない をタッチしたとき

：方面看板を表示しません。

□ 案内中のみ をタッチしたとき

：ルート案内時のみ表示します。

- 全国の主要交差点の国道をはじめとした一般道の行き先案内を示す方面看板(案内標識)が表示されます。看板には方面、方向が表示されます。
- 方面看板表示は交差点の約１ km手前で表示され、案内ポイントに近付くと約150 m手前で交差点拡大表示に切り替わります。

(例)方面看板表示

- 交差点までに距離がない(約150 m未満の)場合は方面看板は表示せず、交差点拡大表示となります。
- する ／ 案内中のみ に設定している場合、ルート案内時に進む方向を黄色の矢印で表示します。
- ▶ をタッチすると、方面看板表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。

## ■ AV画面中の案内割込みを設定する場合

AV画面表示中に右折または左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内をするかしないかの設定をします。

① ⏬を５回タッチし“AV画面中の案内割込み”を表示させ、設定( する ／ しない )を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：AV画面表示中に右折や左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内をします。ルート案内終了後、AV画面に戻ります。

□ しない をタッチしたとき

：案内割込みが発生しても、ナビゲーション画面に切り替わりません。

アドバイス

- AV画面中の案内割込みを する に設定しているとき、AV画面表示中に、右折や左折などの案内割込みが発生しても、AV画面を操作している場合はNAVI画面に切り替わりません。
- AV画面中の案内割込みを する に設定しているとき、NAVI画面に切り替わった際にNAVI画面を操作すると、AV画面には戻りません。

## ■ 右画面AV中の案内割込みを設定する場合

右画面表示中に右折または左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内するかしないかの設定をします。

① ⏬を5回タッチし“右画面AV中の案内割込み”を表示させ、設定(する／しない)を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：右画面AV表示中に右折や左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内をします。ルート案内終了後、右画面AV表示に戻ります。

□ しない をタッチしたとき

：案内割込みが発生しても、ナビゲーション画面に切り替わりません。

アドバイス

- 右画面AV表示(B-30、F-6)に設定している場合、ルート案内中にルート案内画面(ルート情報／ハイウェイモード／交差点情報／方面看板／JCT(ジャンクション)ビュー／リアル3D／交差点拡大図／ETCレーン表示)を割り込ませて表示することができます。
- 右画面にAV(オーディオ画面)を表示する設定は、下記ページをご覧ください。

「■ 右画面にオーディオ画面を表示する場合」B-31
「表示項目の設定をする」F-6

## ■ 盗難多発地点案内を設定する場合

地図上に盗難多発地点を表示するかしないかの設定をします。

① を６回タッチし“盗難多発地点案内”を表示させ、設定( する ／ しない )を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：地図上に盗難多発地点( マーク)を表示します。

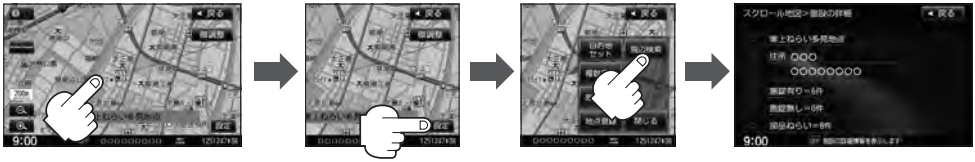
□ しない をタッチしたとき

：地図上に盗難多発地点( マーク)を表示しません。

● する を選択した場合は、地図画面で画面をタッチし地図をスクロールさせて マークにカーソル(-¦-)を合わせると、盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。

※ マークは地図の縮尺スケールが200 m以下で表示されます。

「地図を拡大／縮小する」B-14



スクロールし、マークに合わせる。

設定 をタッチする。

施設詳細 をタッチする。

：過去に盗難があった地点の情報が表示されます。

アドバイス

- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に適応しています。
- 盗難多発地点の マークの表示は３段階で表示しています。最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険が高い場合は黄色、盗難の危険が低い場合は青色で表示しています。(各府県によって基準は異なります。)
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、ルート探索前に“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行すると“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声でお知らせします。
- 3D表示では マークの表示はされますが、地図画面上に“車上ねらい多発地点”は表示されません。また、設定 をタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。

「地図表示(方位)を切り替える」B-10

■ 目的地方向表示を設定する場合

自車マークから目的地まで赤い直線で表示するかしないかの設定をします。

① ⏬を６回タッチし“目的地方向を表示”を表示させ、設定(する／しない)を選択してタッチする。

□ する をタッチしたとき

：自車マークから目的地まで直線で表示します。

□ しない をタッチしたとき

：自車マークから目的地まで直線で表示しません。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、現在地 をタッチする。

# ランドマーク表示の設定をする

特定の施設を探したいとき、または道しるべとして利用したいときなどは、各施設を地図上にマークで表示(ランドマーク表示・最大300件)させることができます。

## 1 MENU をタッチする

## 2 NAVI設定 ➡ 表示 をタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

## 3 ランドマーク設定 をタッチする。

：ランドマーク設定画面が表示されます。

## 4 リストから表示したいジャンルを選んでタッチする。

：詳細施設が表示されます。

※ランドマーク名横に▶マーク(詳細施設)がない場合は、手順 6 (☞ F-24)へ進んでください。

詳細施設がある場合は
▶マークが表示されます。

マーク(✔印)された数
ランドマークが表示できる数
(300件)

## 5 リストから表示したい詳細施設を選んでタッチする。

：選択した施設にマーク(✔印)が付きます。
全選択 をタッチすると全施設にマーク(✔印)が付きます。

マーク(✔印)

## 6 戻る をタッチする。

：選択したジャンルにマーク(✔印)が付きます。

### ■ マークの表示を止める場合

□ 駐車場 、 トイレ 、 道の駅 の表示を止めるとき

手順 4 (☞ F-23)で再度ボタンをタッチしてマーク(✔印)を消します。

□ その他のジャンルの表示を止めるとき

手順 4 (☞ F-23)でジャンルをタッチし、手順 5 (☞ F-23)で詳細施設をタッチしてマーク(✔印)を消します。
※全解除したい場合は、 全解除 をタッチします。

## 7 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

- 縮尺スケールが1km以上の場合は、ランドマークは表示されません。
  ☞「地図を拡大／縮小する」B-14
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソル(-¦-)を合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。
  設定 をタッチして設定MENUを表示させ、 施設詳細 をタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。
- 施設に電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。
  電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するには*Bluetooth*対応の携帯電話を接続する必要があります。)
  ※携帯電話を接続(登録)していない場合、 電話する は選択できません。(ボタンは暗くなります)☞ S-5

(例)詳細情報画面

# 自車マークの種類を設定する

自車マーク種類を選ぶことができます。

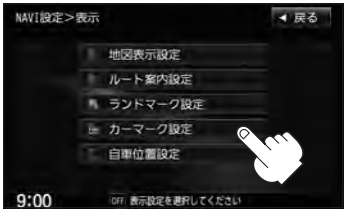
**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 表示 をタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

**3** カーマーク設定 をタッチする。

：カーマーク設定画面が表示されます。




**4** マークの種類( エスロク ／ Nコロ ／ バイク ／ ジェット ／ ペンギン ／ 矢印 )を選択し、タッチする。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# F-26 現在地(自車)の位置を変更する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、現在地(自車)マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に現在地(自車)マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。

**1** 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソル(−¦−)を合わせる。

**2** MENU をタッチする。

**3** NAVI設定 ➡ 表示 をタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

**4** 自車位置設定 をタッチする。

：自車位置設定(位置)画面が表示されます。

**5** カーソル(–¦–)の位置を確認し、必要であれば画面をタッチして修正する。

**6** セット をタッチする。

：自車位置設定(角度)画面になります。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。

**7** 矢印をタッチして、現在地(自車)マークの角度を修正し、 セット をタッチする。

：修正した現在地の地図画面が表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。

アドバイス

- 現在地から目的地までのルート探索をする際、現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。
- 現在地(自車)マークの位置／角度を修正する際の地図は“北方向を上”の地図になります。
- GPSを受信すると、受信した位置を表示します。
- 地図画面をスクロールさせるには 「地図スクロール(地図を動かす)」B–11をご覧ください。

# ルート探索条件の設定をする

ルートを探索する条件を変更することができます。変更後の条件で探索します。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 探索条件 をタッチする。

：探索条件の設定画面が表示されます。

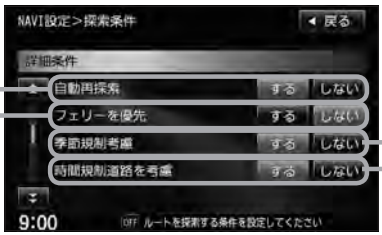
**3** 探索条件を選び、タッチする。

探索する条件を設定します。

車種別に有料道路料金表示を設定します。

をタッチ

をタッチ




自動再探索する／しないを設定します。

フェリーを優先する／しないを設定します。

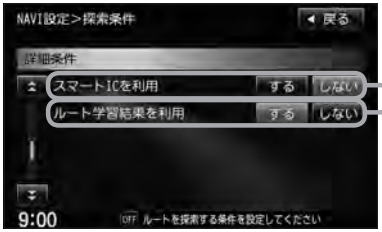
季節規制考慮する／しないを設定します。

時間規制／曜日規制を考慮する／しないを設定します。

- 祝祭日指定の時間規制のある道路は、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場合もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

をタッチ

F-29




をタッチ
F-28

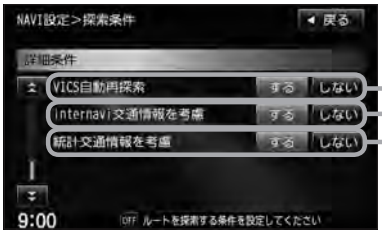
利用できるスマートIC(SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のIC)を利用する／しないを設定します。

過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにしたルート学習結果を利用する／しないを設定します。

※ 距離優先 を選択している場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。

をタッチ　をタッチ

■ VXM-135VFNiの場合




VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定します。

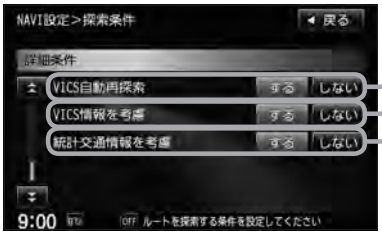
※internavi交通情報を考慮“しない”に設定するとボタンが暗くなり選択できなくなります。

※FM VICSのみの場合は、規制による自動探索は行ないますが、渋滞による自動探索は行ないません。

internavi交通情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定します。

過去の渋滞統計データをもとに統計情報を考慮する／しないを設定します。

■ VXM-135VFNの場合




VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定します。

※VICS情報を考慮“しない”に設定するとボタンが暗くなり選択できなくなります。

※FM VICSは、規制による自動探索は行ないますが、渋滞による自動探索は行ないません。

VICS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定します。

過去の渋滞統計データをもとに統計情報を考慮する／しないを設定します。



## 4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 手順 3 (F-28)で自動再探索を する に設定している場合、ルート案内中に探索条件を変更し、 現在地 ／ 戻る をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で 一般優先 を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。また、 有料優先 を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をしないこともあります。 道幅優先 を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- 推奨 、 有料優先 、 一般優先 、 距離優先 、 道幅優先 は、いずれか1つ設定できます。
- フェリーを優先 する 設定にしていても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先する設定にしていても、フェリー航路を使用しない場合もあります。
- ここで設定した探索条件は、次に行なうルート案内探索の探索条件になります。

アドバイス

## 料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行なっても、料金は表示されません。
- 料金区間が2つ以上にまたがるとき、1つ目の料金所を通過して次の料金区間を走行していても、料金表示は2つの区間の合計値のままです。1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行なうと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行なった場合は、料金は表示されず「－－－円」になります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は「－－－円」になります。)
- “○○IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない(－－－円)場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行なわない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート情報画面、ルート詳細情報画面、全ルート表示画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。

## スマートICについて

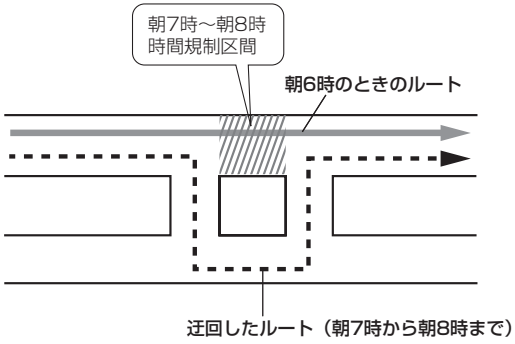
- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行なっていますが、対象車種を考慮したルート探索は行なっていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)

※ETCを搭載していない車両は通行できません。
※通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

## 時間規制道路を考慮について

例)下記斜線部分が朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。

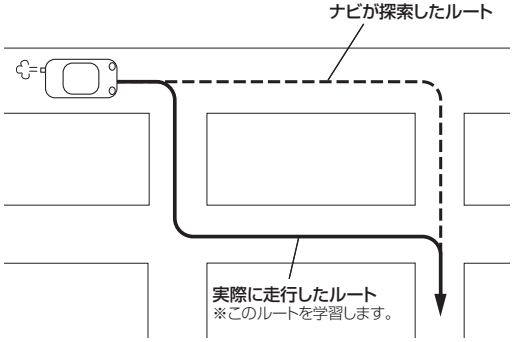
※ルート探索した時間が朝6時のときは、迂回しないルートを探索しますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると、自動的に再探索され迂回するルートに変わります。



アドバイス

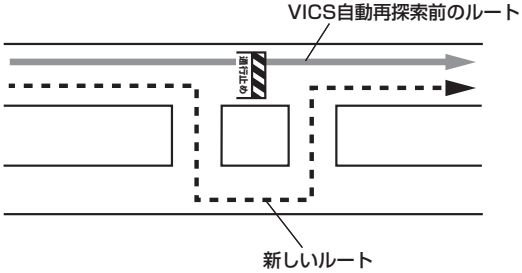
## ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。
※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。
※ルート学習結果を初期化するには「データを初期化(消去)する」G-28をご覧ください。




## VICS自動再探索・統計交通情報を考慮について

- VICS情報を考慮“する”は通行止めなどを考慮したルート探索となります。
- VICS情報を考慮“する”、VICS自動再探索“する”に設定しても、VICS情報を受信できていない場合は規制を考慮するルート探索やVICS自動再探索はされません。
- 統計交通情報を考慮“する”に設定すると本機に収録されている季節・曜日・大型連休・時間などをパターン化した過去のVICS渋滞統計データをもとにルート探索を行なうため、突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化には考慮されない場合があります。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。



# F-32 VICS表示の設定をする

地図画面に交通情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。
「交通情報(VICS情報)について」E-7

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ VICS をタッチする。

：VICS表示設定画面が表示されます。

**3** 表示したい項目( 規制 、 駐車場 、 渋滞無し 、 渋滞混雑 )をタッチする。

※表示灯を点灯／消灯するたびに、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。

**4** 表示したい道路( 一般道 ／ 有料道 )をタッチする。

一般道 …一般道路に対し交通情報を表示します。
有料道 …有料道路に対し交通情報を表示します。

**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

## 情報表示を止める

F-32の手順 3 の設定画面で、表示を止めたい項目( 規制 、 駐車場 、 渋滞無し 、 渋滞混雑 )、F-32の手順 4 で表示を止めたい道路( 一般道 、 有料道 )をタッチし、表示灯を消灯させます。

アドバイス

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、レベル3表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がレベル3表示できない縮尺であることが考えられます。
- **情報が多い場合は、レベル3表示するまでに数秒かかることがあります。**
- レベル3表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
- 地図画面に交通情報(レベル3)を表示する場合は、交通情報(VICS)を受信する設定にし、VICS放送局(☞ E-11)を受信してください。
  ☞「受信する情報を選ぶ」E-14
  ☞「交通情報／一般情報を選局する」E-20

## レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について

**1** **手順 3 (☞ F-32)または手順 4 (☞ F-32)で、 点滅 をタッチして、表示灯を点灯させると、レベル3の矢印表示が点滅します。**

※もう一度 点滅 をタッチして表示灯を消灯させると、矢印は点滅しません。

**2** **現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。**

# F-34 音声案内の音量調整／詳細設定をする

ルート案内時の音声案内の音量調整や合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／高速走行時の音声切替／VICS案内のお知らせの設定をすることができます。

**1** MENU をタッチする。

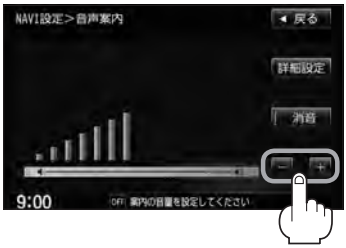
**2** NAVI設定 ➡ 音声案内 をタッチする。

：音声案内画面が表示されます。

**3** ■ 音声案内の音量調整をする場合

① ー ／ ＋ をタッチして、
お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します”と選択した音量で音声が鳴ります。




■ 音声案内を止める場合

① 消音 をタッチする。

：音声での案内は行ないません。
※音声を出したい場合は、もう一度 消音 をタッチしてください。

アドバイス

- 音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。
- ルート案内時に音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報も聞きたい場合は、現在地 をタッチすると、音声案内を聞くことができます。上記手順 3 で 消音 を選択している場合、現在地 をタッチしても音声案内を聞くことはできません。

## ■ 合流案内／踏み切り案内の設定をする場合

高速道路で合流地点が近くなった際の音声案内や踏み切りが近くなった際の音声案内の設定を変えることができます。

① 詳細設定 をタッチし、詳細設定画面を表示させ、合流案内／踏み切り案内の設定( 常時 ／ 案内中 ／ なし )を選択してタッチする。

□ 常時 をタッチしたとき

：ルートを設定していないときでも音声案内をします。

□ 案内中 をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。

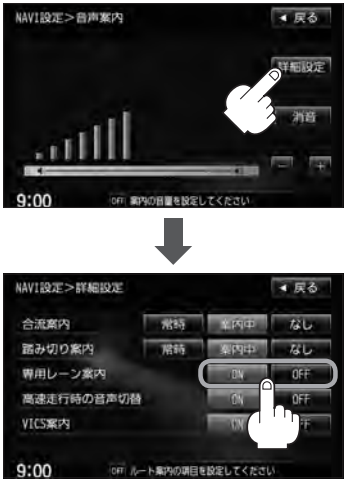
□ なし をタッチしたとき

：音声案内を止めます。

## ■ 専用レーン案内の設定をする場合

ルート案内中に、右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声で知らせる／知らせないを設定することができます。

① 詳細設定 をタッチし、詳細設定画面を表示させ、専用レーン案内の設定( ON ／ OFF )を選択してタッチする。




□ ON をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。

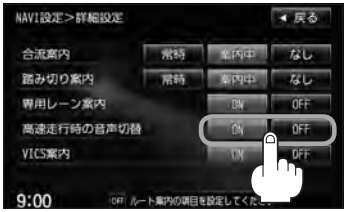
□ OFF をタッチしたとき

：音声案内を止めます。

## ■ 高速走行時の音声切替の設定をする場合

高速走行時の音声案内の音量を自動で設定することができます。

① 詳細設定 をタッチし、詳細設定画面を表示させ、高速走行時の音声切替の設定（ON ／ OFF ）を選択してタッチする。




□ ON をタッチしたとき

：高速走行中に自動で音量を上げます。

□ OFF をタッチしたとき

：高速走行時に自動で音量は変わりません。

## ■ VICS案内の設定をする場合

発生した渋滞や交通規制をお知らせする音声案内の設定をすることができます。

① 詳細設定 をタッチし、詳細設定画面を表示させ、VICS案内の設定（ON ／ OFF ）を選択してタッチする。

□ ON をタッチしたとき

：渋滞／規制情報がある場合に音声案内をします。

□ OFF をタッチしたとき

：情報がある場合でも音声案内しません。

アドバイス　VICS情報を受信できない場合などは、VICS案内の ON を選択していても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# 平均時速を設定する

ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。
そのとき、平均走行速度を設定しておけばより正確な到着予想時刻を知ることができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 到着予想 をタッチする。

：到着予想画面が表示されます。

**3** 自動 をタッチして各道路(一般道路／国道／有料道路)の − ／ ＋ をタッチして平均走行速度を設定する。(5 km/h単位)

※走行は実際の法定速度に従って走行してください。

アドバイス
- 自動 をタッチして表示灯を消灯にしてから、各道路の平均走行速度を設定してください。
- 自動 を選択して表示灯を点灯させ設定すると、internavi交通情報を考慮☆／VICS情報を考慮★して、目的地までの到着予想時刻を表示します。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

☆印…VXM-135VFNiの場合
★印…VXM-135VFNの場合

# F-38 登録地点の編集

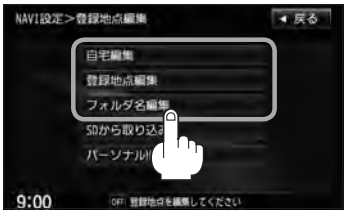
マークをつけた場所の名称／マークを変更したり、電話番号(TEL)／メモの登録や登録地点に近づいたときのアラーム音の種類／フォルダを指定して登録した地点を探しやすくすることができます。
また、低速でカメラ地点に近づいたときに自動でカメラ映像に切り替える設定をすることもできます。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

**3** 編集したい項目( 自宅編集 ／ 登録地点編集 ／ フォルダ名編集 )を選択し、タッチする。




■ 自宅／登録地点を編集する場合

① 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

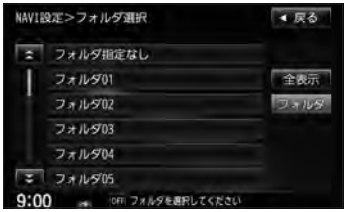
：自宅情報画面／登録地点編集画面が表示されます。

※ 登録地点編集 をタッチした場合は、さらにリストより編集したい登録地点を選択し、タッチしてください。

アドバイス

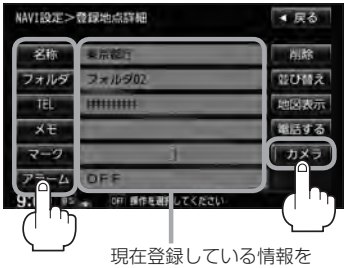
- 前回 フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。登録地点を全て表示させるには 全表示 をタッチしてください。
- カーソル(−¦−)を登録地点マークに合わせ 設定 ➡ 地点編集 をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

(例)フォルダ選択画面



②変更／登録する項目（名称／フォルダ／メモ／TEL／アラーム／マーク／カメラ）をタッチする。

（例）登録地点詳細画面




現在登録している情報を表示します。

名称 …名称を変更します。☞F-39

フォルダ …フォルダを選択します。☞F-39

メモ …メモを登録します。☞F-39

TEL …電話番号を登録します。☞F-40

アラーム …アラーム音を変更します。☞F-40

マーク …マークを変更します。☞F-41

カメラ …カメラ地点の自動表示を設定します。☞F-41
（別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時）

アドバイス

電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。 電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。（この機能を使用するには*Bluetooth*対応の携帯電話を接続する必要があります。☞S-5）携帯電話を接続していない場合、 電話する は選択できません。（ボタンは暗くなります。）

□ 名称／メモを編集するとき

1. 名称／メモ をタッチする。

：名称入力またはメモ入力画面が表示されます。

2. 文字を入力し、 決定 をタッチする。

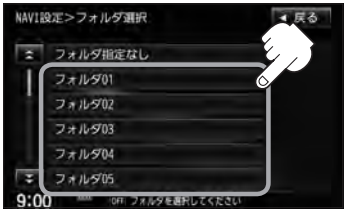
：入力した文字の設定を保持し、登録地点詳細画面に戻ります。

※VXM-135VFNiの名称編集の場合は、ひらがな／漢字／カタカナを35文字まで半角英数字を70文字まで入力できます。
VXM-135VFNiのメモ編集とVXM-135VFNの場合は、ひらがな／漢字／カタカナを16文字まで半角英数字を32文字まで入力できます。
☞入力方法につきましてはB-35を参考にしてください。

□ フォルダを変更するとき

1. フォルダ をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。




2. リストから移動させたいフォルダを選択し、タッチする。

：選択したフォルダに登録地点が移動し、登録地点詳細画面に戻ります。

※自宅はフォルダの選択はできません。

アドバイス

- フォルダを指定していない場合は、MENU ➡ 目的地 ➡ 登録地点 ➡ フォルダ をタッチしてフォルダ選択画面を表示させたときに フォルダ指定なし をタッチすると登録した地点が表示されます。
  ※フォルダ( フォルダ01 ～ フォルダ20 )を指定した場合は“フォルダ指定なし”には表示されません。
- フォルダ指定なし ～ フォルダ20 に登録した内容は、☞「登録地点で地点を探す」C-24または☞「自宅／登録地点の地図を呼び出す」F-45でも確認できます。

## □ 電話番号を編集するとき

**1. TEL をタッチする。**

：電話番号編集画面が表示されます。

**2. 数字をタッチし、決定 をタッチする。**

※20文字まで入力できます。
☞入力方法につきましてはB-36を参考にしてください。

## □ アラームを編集するとき

**1. アラーム をタッチする。**

：アラーム編集画面が表示されます。

**2. お好みのアラーム音を選んでタッチする。**

※ OFF を選択した場合、
アラーム音は鳴りません。

**3. 案内距離( 50m★／ 100m ／ 300m ／ 500m )を選択し、タッチする。**

※選択した距離まで近付くと、アラーム音が鳴ります。

**4. 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、進入角度 をタッチする。**

：進入方位編集画面が表示されます。

### アラーム音の種類

| | |
|---|---|
| アラーム1 | 登録地付近です |
| アラーム2 | チェックポイントです |
| アラーム3 | スピードに注意してください |
| アラーム4 | お帰りなさい |
| アラーム5 | 運転おつかれさまでした |
| アラーム6 | 効果音1 |
| アラーム7 | 効果音2 |
| アラーム8 | 効果音3 |
| アラーム9 | 効果音4 |

★印…VXM-135VFNのみ

5. 矢印をタッチして、自車マークの方向を修正し、 セット をタッチする。

：アラーム編集画面に戻ります。

アドバイス 進入角度を考慮 する に設定をした場合、左15°右15°の範囲から登録地点に近付いたときにアラーム音を鳴らします。

6. 戻る をタッチする。

□ マークを編集するとき

1. マーク をタッチする。

：マーク編集画面が表示されます。

2. 変更したいマークをタッチして 戻る をタッチする。

※ここで選んだマークが地図上に表示されます。

※下記の□ カメラ地点編集をする場合 で、カメラ地点 を表示する(ON)に設定している場合は、マークの変更はできません。

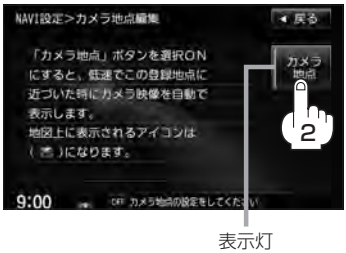
□ カメラ地点編集をする場合

1. カメラ をタッチする。

：カメラ地点編集画面が表示されます。

2. カメラ地点 をタッチする。

：表示灯を点灯／消灯するたびにカメラ映像を自動で表示する(ON)／しない(OFF)が切り替わります。

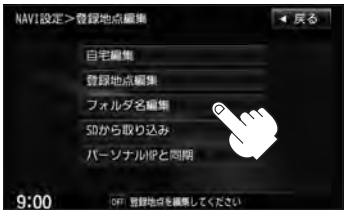



3. 戻る をタッチする。

アドバイス
- 表示する(ON)に設定した場合、カメラ地点として設定されます。地図上のマークは になり、他のマークには変更できません。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラが接続されていない場合 カメラ は表示されません。

■ フォルダ名を編集する場合

① フォルダ名編集 をタッチする。




② リストから編集するフォルダを選択しタッチする。

：フォルダ名編集画面が表示されます。

アドバイス フォルダ指定なし は編集できないため表示されません。

③ 訂正したい文字まで 訂正 をタッチする。

※全ての文字を訂正する場合は 訂正 を1.5秒以上タッチしてください。

④ 文字を入力し 決定 をタッチする。

入力方法につきましてはB-36を参考にしてください。

## 4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

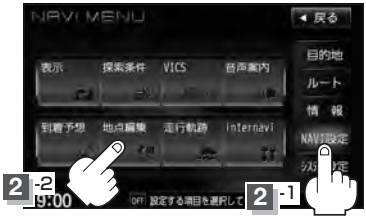
アドバイス 本機は“かな”を1度に入力できる文字数が14文字までのため、14文字まで入力したら一度 変換 ／ 無変換 をタッチして文字を確定し、再度残りの文字を入力してください。

# 登録地点を並び替える

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。

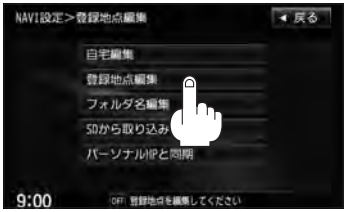
**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。




**3** 登録地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。




アドバイス

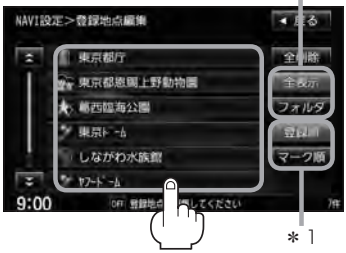
☞ F-38で フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

**4** 並び替えをしたい地点を選択し、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

※全ての登録地点を表示している場合は全登録地点での並び替え、フォルダで表示している場合は選択したフォルダ内での並び替えをします。

(例)登録順で表示




アドバイス

- ＊1印… 登録順 ／ マーク順 と表示される地点の並び順を替えることができます。
  登録順 ……地点が登録された順(古いものから)に表示します。
  マーク順 …同じマークのもの同士をまとめて表示します。
- ＊2印… フォルダ ／ 全表示 と表示方法を選択することができます。

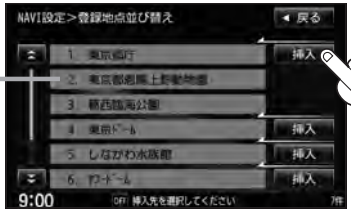
## 5 並び替え をタッチする。

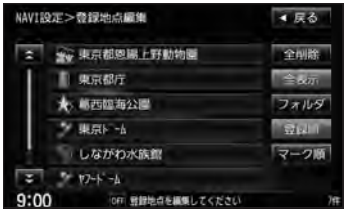
：登録地点並び替え画面が表示されます。

## 6 挿入したい場所の 挿入 をタッチする。

例 1.東京都庁の上に挿入する場合

並び替えしたい地点の番号を青色で表示




## 7 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 登録地点が自宅以外に２個以上ある場合に並び替えができます。１個の場合は 並び替え は表示されません。
- カーソル( )を登録地点マークに合わせ、 設定 ➡ 地点編集 をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

# 自宅／登録地点の地図を呼び出す

**1** MENU をタッチする。

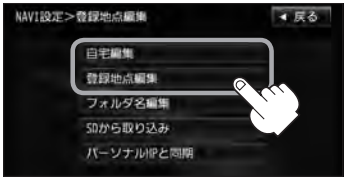
**2** NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

**3** 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅の情報画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

※ 自宅編集 をタッチした場合は手順 5 へ進んでください。




アドバイス

☞ F-38で フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

**4** 登録地点の表示方法を選択し、登録地点をタッチする。

**5** 地図表示 をタッチする。

：自宅または選択した登録地点の地図が表示されます。

**6** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- ＊1印… 登録順 ／ マーク順 と表示される地点の並び順を替えることができます。
  登録順 ……地点が登録された順(古いものから)に表示します。
  マーク順 …同じマークのもの同士をまとめて表示します。
- 地図の呼び出しは、 MENU ➡ 目的地 ➡ 登録地点 をタッチしてもできます。
  ☞「登録地点で地点を探す」C-24
- ＊2印… フォルダ ／ 全表示 と表示方法を選択することができます。

# 自宅／登録地点を削除する

## 1

MENU をタッチする。

## 2

NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

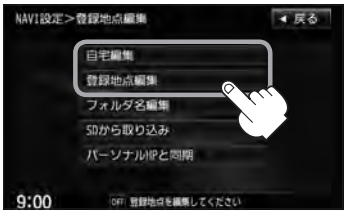
：登録地点編集画面が表示されます。

## 3

自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅の情報画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

※ 自宅編集 をタッチした場合は手順 4-② へ進んでください。



アドバイス

☞ F-38で フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

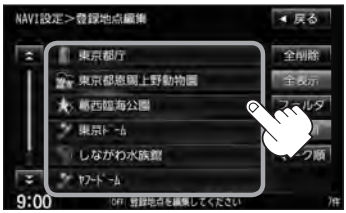
## 4

登録地点を削除する。

■ 登録地点を選択して削除する場合

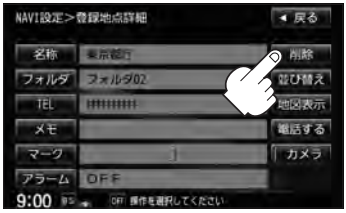
① 削除したい地点を選択し、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。




② 削除 をタッチする。

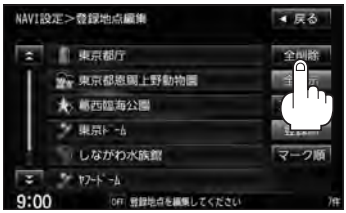
：登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチすると、地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。



■ 全ての登録地点を削除する場合

① 全削除 をタッチする。

：全ての登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチすると、全地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。




## 5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

- 登録地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称／フォルダ／メモ／TEL／アラーム／マーク／カメラも全て消えてしまいます。一時的に、地図上からマークを消したい場合は、「表示項目の設定をする」F-6をご覧ください。（この場合は、全ての登録地点マークが、地図上から消えます。）
- カーソル（ ）を登録地点マークに合わせ、 設定 ➡ 地点編集 をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

# SDカードから地点を登録する

**パソコンを使用してSDカードに保存した地点を本機に登録することができます。（最大300カ所）**

「パソコン連携（いつもNAVI）」A-28（VXM-135VFNの場合）

VXM-135VFNiの場合、この機能を利用するにはインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナルホームページからダウンロードした位置情報ファイルを、SDカードに登録する必要があります。

**別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編**

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

---

## 1 ▲ ➡ OPEN をタッチする。

：ディスプレイ部が開きます。

---

## 2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

「SDカードを入れる／取り出す」B-4をご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

---

## 3 MENU をタッチする。

---

## 4 NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

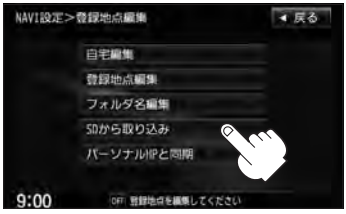
---

## 5 SDから取り込み をタッチする。

：SDカードに保存した登録地点リストが表示されます。

※SDカード内に保存した地点が1つの場合は、F-49手順 6 （フォルダ選択画面）に進んでください。

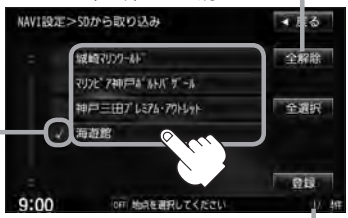
※VXM-135VFNの場合、SDカードに“DRIVE”フォルダがないとき、SDカード内に“DRIVE”フォルダの作成をうながすメッセージが表示されます。メッセージを確認し、 はい ／ いいえ を選択してください。VXM-135VFNiの場合、SDカードに位置情報ファイルがないとメッセージが表示されるので、 OK をタッチしてください。



## 6 本機に登録したい地点を選択し、タッチする。

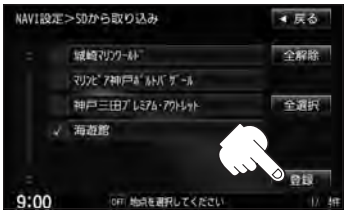
：選択したリストにマーク(✔印)が付きます。

※ 全選択 をタッチすると全リストにマーク(✔印)が付きます。



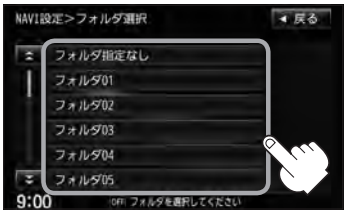

## 7 登録 をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。




## 8 保存したいフォルダを選択し、タッチする。

：“地点を登録しました。”というメッセージが表示され、登録地点編集画面に戻ります。




アドバイス

- 登録した地点を確認するには、 MENU ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 ➡ 登録地点編集 をタッチしてください。
- VXM-135VFNの場合、指定のホームページ(いつもNAVI)からダウンロードした位置情報ファイルはSDカードのDRIVEフォルダ内に入れてください。SDカード内に“DRIVE”という名前のフォルダがない場合は、半角で“DRIVE”という名前のフォルダを新規作成し、作成したDRIVEフォルダ内に位置情報ファイルを入れてください。SDカードを挿入していない／SDカード内に位置情報ファイルがない場合は手順 5 (☞ F-48)でSDカードを挿入またはSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されます。SDカードが挿入されていること／DRIVEフォルダ内に位置情報ファイルがあることを確認してください。VXM-135VFNiの場合は、別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。
  VXM-135VFNはいつもナビとの連携になります。☞「パソコン連携(いつもNAVI)」A-28
  VXM-135VFNiはインターナビ・リンク プレミアムクラブとの連携になります。☞別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編
- 本機に登録しないと、名称／フォルダ／TEL／メモ／マーク／アラーム／カメラなどの編集を行なうことはできません。
- SDカードから本機に登録した地点の詳細内容を変更することができます。☞「登録地点の編集」F-38
- 地点情報により、アラームが設定される場合もあります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

# F-50 パーソナルHPと同期について VXM-135VFNiのみ

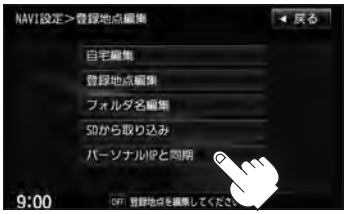
登録地点の情報を、本機とインターナビ・リンク プレミアムクラブ会員専用のパーソナル・ホームページを同期することにより、お互いの情報を最新の内容に更新できます。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

**3** パーソナルHPと同期 をタッチする。




**4** 操作につきましては別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

# 軌跡を使う

通った道にしるしをつけ、記録(メモリ)することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ 走行軌跡 をタッチする。

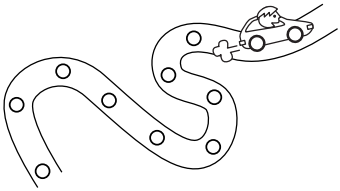
：走行軌跡の設定画面が表示されます。

**3** 軌跡の記録開始／停止／表示／非表示／確認／削除をする。

■ 軌跡の記録をする場合

① 記録スタート をタッチする。

：軌跡の記録を開始します。現在地(自車)マークが移動すると、軌跡があらわれます。また、それら軌跡の登録も開始します。



アドバイス

- 軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の色は青です。
- 軌跡の記録を止め、再び軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行ないません。

■ 軌跡の記録を止める場合

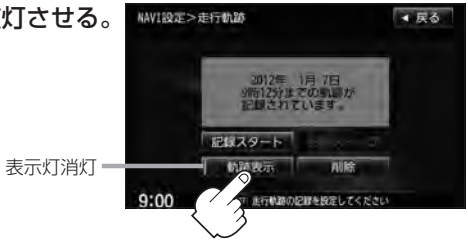
① 記録ストップ をタッチする。

：軌跡の記録を止めます。

## ■ 地図上に軌跡を表示する場合

① 軌跡表示 をタッチして表示灯を点灯させる。

：記録されている軌跡を表示します。




## ■ 地図上の軌跡の表示を止める場合

① 軌跡表示 をタッチして表示灯を消灯させる。

：記録されている軌跡の表示を止めます。

アドバイス　軌跡を記録中は、軌跡の表示を止めることはできません。

## ■ 軌跡を削除する場合

① 削除 をタッチする。

：軌跡を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので、 はい をタッチします。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# internavi設定について

インターナビの各種設定をすることができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** NAVI設定 ➡ internavi をタッチする。

：internavi設定画面が表示されます。

**3** 各操作につきましては別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

# G

# 各種設定をする


携帯電話について……G–2
オプションボタンの設定をする ……G–3
メンテナンス情報を設定する ……G–4
設定したメンテナンス情報のお知らせを
止める／消去する ……G–8
ETCの各機能を設定する……G–9
ETCについて ……G–12
ETCを利用する ……G–13
ETCの基本操作 ……G–13
料金所通過表示について……G–13
予告案内／警告表示について ……G–14
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を
表示するには ……G–15
フロントカメラ／コーナーカメラの
設定をする……G–15
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を
表示するには……G–17
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて
使用する場合……G–17
フロントカメラ／コーナーカメラ地点を
登録する……G–18
コーナーカメラガイドを表示する ……G–19
コーナーカメラガイドの見かた ……G–19
カメラの映像について……G–20
リアカメラ映像を設定する ……G–21
リアカメラ映像を表示する……G–21
ビューの切り替えをする……G–21
リアカメラガイドを表示する ……G–22
警告文の位置を下げる……G–23
リアカメラガイドの見かた……G–24
カメラの映像について……G–25
リアカメラの次回表示ビュー設定
（リアワイドカメラ接続時のみ）……G–26
キー操作音の設定をする……G–27
データを初期化（消去）する ……G–28

# G-2 携帯電話について

*Bluetooth*対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 各操作(機能)につきましてはS-1をご覧ください。

# オプションボタンの設定をする

**本機の [⚙] (オプション)によく使う機能を設定することができます。設定すると [⚙] (オプション)を押して、右画面地図表示や地図モードの切り替えなどの操作ができます。**

※別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、オプションボタン設定はできません。

**1** **[MENU] をタッチする。**

**2** **システム設定 ➡ オプションボタン をタッチする。**

：オプションボタン設定画面が表示されます。

**3** **設定する機能( ミュート ／ 右画面地図 ／ 地図モード ／ 自宅 ／ 現在地点登録 ／ 昼夜切替 )を選択し、タッチする。**

■ **ミュート を設定した場合**

：画面はそのままで、オーディオの音量のみ消します。
もう一度 [⚙] (オプション)を押すと音量が出ます。
「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-34

■ **右画面地図 を設定した場合**

：現在地表示時の右画面に地図を表示することができます。
「■ 地図画面を表示する場合」B-30

■ **地図モード を設定した場合**

：[⚙] (オプション)を押すたびに、地図表示(方位)を切り替えます。
「地図表示(方位)を切り替える」B-10

■ **自宅 を設定した場合**

：自宅までのルート探索をします。
「(現在地から自宅までのルートを探索する)」B-29

■ **現在地点登録 を設定した場合**

：現在地を地点登録します。

■ **昼夜切替 を設定した場合**

：[⚙] (オプション)を押すたびに、画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えます。

※Quick MENUまたは画質調整画面からも昼夜切替をすることができます。
B-21、T-4

**4** **[現在地] をタッチすると、現在地の地図画面に戻る。**

# G-4 メンテナンス情報を設定する VXM-135VFN のみ

**GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のオイルや消耗部品の交換・イベント時期などがきたことを音と画面でお知らせします。**

■**日付の設定**：オイル交換／クリーンフィルター交換／車検・点検／タイヤローテーション／結婚記念日／誕生日１／誕生日２／お好み
■**毎年通知の設定**：結婚記念日／誕生日１／誕生日２／お好み
■**距離の設定**：オイル交換／クリーンフィルター交換／タイヤローテーション
■**名称編集**：お好み

---

## 1 MENU をタッチする。

---

## 2 システム設定 ➡ お知らせ をタッチする。

：お知らせ設定画面が表示されます。

---

## 3 設定したい項目の する をタッチする。

：各設定の詳細画面が表示されます。

お知らせ設定画面１

をタッチ

をタッチ

お知らせ設定画面２

## 4 交換時期や記念日の設定をします。

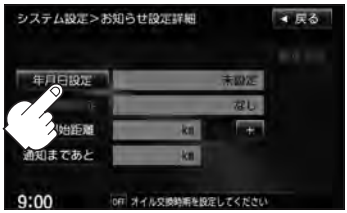
アドバイス 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定してください。項目によっては日付のみの場合があります。

### ■ 日付の設定をする場合

① **年月日設定** をタッチする。

：年月日設定画面が表示されます。

（例）お知らせ設定詳細画面




② 日付を選択し、タッチする。

：各設定の詳細画面に戻ります。

ここをタッチするとカレンダー送りができます。（今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。**前月** は暗くなります。）

アドバイス 設定した日付がすぎたら、もう一度、日付の設定をしなおしてください。

### ■ 通知開始日の設定をする場合

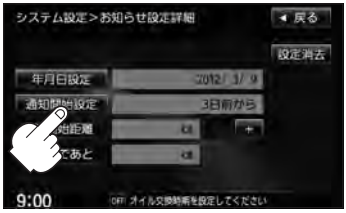
① **通知開始設定** をタッチする。

：タッチするたびに

→ 3日前から → 7日前から → なし（当日）

と切り替わります。

（例）

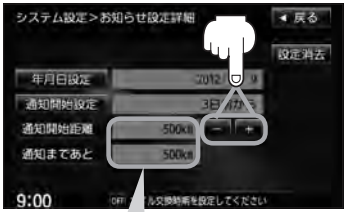


## ■ 通知開始距離の設定をする場合（オイル交換・クリーンフィルター交換・タイヤローテーション選択時）

① **－** ／ **＋** をタッチして距離を設定する。

※設定距離は500～3 万kmの範囲で、500 km単位で設定できます。

（例）



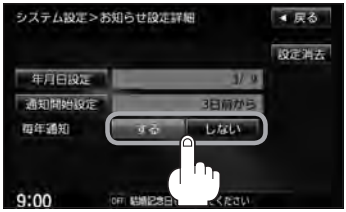

距離の設定をする場合に表示されます。

アドバイス
- 一定通知距離を設定した後、通知距離に満たない距離を走行した状態で、通知開始距離を短く設定した場合（通知距離 “0” 表示）次のエンジンスイッチⅠ（アクセサリー）／Ⅱ（ON）でメンテナンス情報が表示されます。このような場合は一度、設定消去（☞ G-8）を行ない、通知開始距離を現在の走行距離から通知距離に再設定しなおしてください。
- 設定した距離がすぎたら、手順 **1** ～ **4**（☞ G-4）に従って操作し、詳細画面を表示させ設定の消去（☞ G-8）を行なってからもう一度、距離の設定をしなおしてください。

## ■ 毎年通知の設定をする場合（結婚記念日・誕生日１・誕生日２・お好み選択時）

① **する** ／ **しない** をタッチして設定する。

（例）




□ **する** をタッチしたとき

：設定した日付に毎年お知らせします。

□ **しない** をタッチしたとき

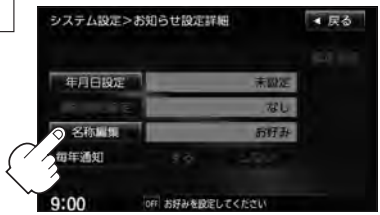
：設定した日付だけお知らせします。

アドバイス 設定した日付がうるう日の場合、うるう日のない年は２月28日にお知らせします。

## ■ 名称の編集をする場合（お好み選択時）

① **名称編集** をタッチする。

：名称編集画面が表示されます。




② 文字をタッチして入力し、**決定** をタッチする。

☞ 入力方法はB-35を参考にしてください。

※かな、全カナ、全英字、全数記を５文字まで、半カナ、半英字、半数記を10文字まで入力できます。

：お好み設定詳細画面に戻ります。

## 5 戻る をタッチする。

：メンテナンス設定画面が表示され、設定した項目のメンテナンス設定は する が点灯します。（ボタン点灯）

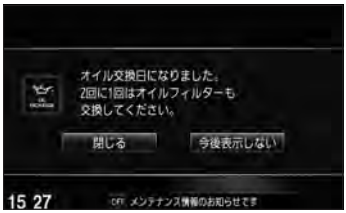
## 6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

アドバイス

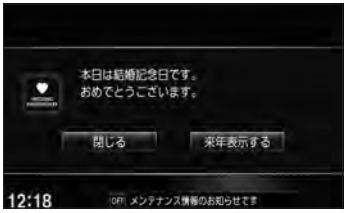
- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーションを立ち上げた（起動した）ときにそれぞれの画面でお知らせします。

※ 今後表示しない をタッチすると次回以降はお知らせしません。

（例）設定当日




（例）毎年通知の設定を する にしている場合の設定当日




※ 来年表示する をタッチすると、今年のお知らせを終了し、来年また表示してお知らせします。

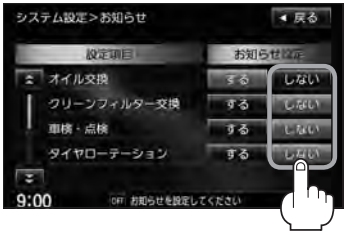
- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきましたHonda販売店へご相談ください。
- メンテナンス情報の設定をしていても、お知らせ設定を しない にしているときはお知らせしません。
  「■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合」G-8
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期はお車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

## 設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する

### ■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合

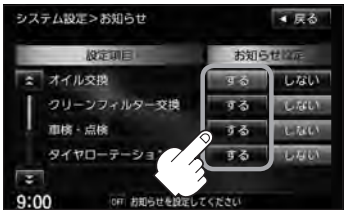
① G-4手順 1 ～ 3 に従って操作し、
各設定項目の しない をタッチする。

※お知らせしたいときには、再度 する をタッチしてください。



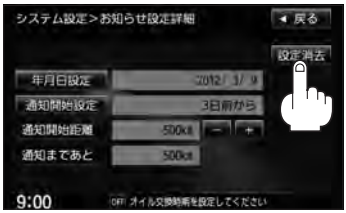

### ■ メンテナンス情報の設定を消去する場合

① G-4手順 1 ～ 3 に従って操作し、
設定を消去する項目 する をタッチする。




② 設定消去 をタッチする。

：設定を消去してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチします。




アドバイス 一度設定したメンテナンス情報は 設定消去 によって消去できます。新たにメンテナンス情報を設定したい場合には、必ず 設定消去 による設定の消去を行なってください。

# ETCの各機能を設定する

**本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンや表示／非表示、料金所通過確認ブザーやETCカード有効期限案内の設定をすることができます。**
詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 1 MENU をタッチする。

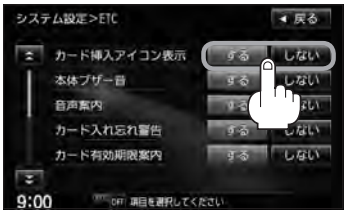
## 2 システム設定 ➡ ETC をタッチする。

：ETC設定画面が表示されます。

## 3 設定する項目を選択し、タッチする。

### ■ カード挿入アイコン表示の設定をする場合

① カード挿入アイコン表示の設定( する ／ しない )を選択し、タッチする。




□ する をタッチしたとき

：ETCカードを挿入すると情報バーに ETC アイコンが表示されます。

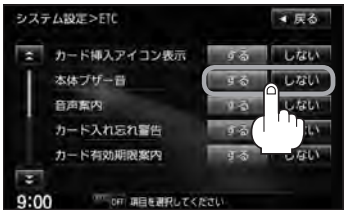
□ しない をタッチしたとき

：ETCカードを挿入しても情報バーに ETC アイコンが表示されません。

アドバイス
カード挿入アイコン表示を する に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に挿入すると、情報バーに ETC アイコンが表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意ください。

■ 本体ブザー音の設定をする場合

① 本体ブザー音の設定( する ／ しない )を選択し、タッチする。




□ する をタッチしたとき

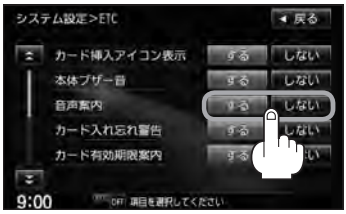
：ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時にETC車載器のブザーを鳴らします。

□ しない をタッチしたとき

：ブザーは鳴りません。

■ 音声案内の設定をする場合

① 音声案内の設定( する ／ しない )を選択し、タッチする。




□ する をタッチしたとき

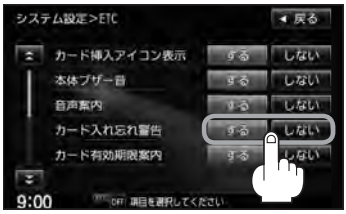
：利用料金などをナビゲーション本体から音声案内します。

□ しない をタッチしたとき

：音声案内しません。

■ カード入れ忘れ警告の設定をする場合

① カード入れ忘れ警告の設定( する ／ しない )を選択し、タッチする。




□ する をタッチしたとき

：車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にしたときにETCカードが挿入されていない場合、画面と音声でお知らせします。

□ しない をタッチしたとき

：カード入れ忘れ警告はしません。

■ カード有効期限案内の設定をする場合

① カード有効期限案内の設定( する ／ しない )を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：ETCカードの有効期限の2か月前または有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入するもしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると、音声とメッセージ画面で案内します。

**お願い**

本機能はETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETCを使用する前は、必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

□ しない をタッチしたとき

：カード有効期限案内のお知らせはしません。

■ 表示割込み時間の設定をする場合

① ▼ をタッチし、表示割込み時間の設定( 5秒 ／ 10秒 ／ 15秒 ／ 30秒 ／ しない )を選択し、タッチする。

□ 5秒 ／ 10秒 ／ 15秒 ／ 30秒 をタッチしたとき

：ETC関係のお知らせがそれぞれの時間で表示されます。

□ しない をタッチしたとき

：ETC関係のお知らせは表示されません。

アドバイス

しない に設定していても料金所通過時、料金支払時は表示割込みされます。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# ETCについて

別売

ETCは財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

＜ETCとは＞

インターチェンジランプなどの料金所では、いったん、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。

しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。

ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）ユニットは、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器（ナビ連動タイプ）間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行なわずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

＜ETCを利用するには＞

ETCをご利用になるには、ETC車載器（ナビ連動タイプ）のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。

カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法につきましては、ETC車載器（ナビ連動タイプ）に付属の取扱説明書をご覧ください。

**お願い**

ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。

# ETCを利用する

## ETCの基本操作

ETCカードの挿入や取り出しにつきましては、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 料金所通過表示について

**1** 料金所手前でETCレーンが表示されます。

※F-12でETCレーン表示 する に設定している場合のみ表示されます。

**2** ETCゲートを通過すると「利用料金は○○円でした」という音声ガイドが流れ、利用金額と利用時刻が画面に表示されます。

アドバイス

- この機能を利用するには、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)が必要となります。
  「別売品(システムアップ)について」T-72
- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCレーン表示(F-12)を しない に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCカード未挿入でETC予告アンテナ付近を通過すると、音声でお知らせと、“ETCが利用できません。”と画面にメッセージが表示されます。
- 右画面AV表示時(Digital TV、DVD、VTR、iPodビデオ表示のみ)、ETCゲート通過時のETC利用可能メッセージ表示中は、映像が表示されません。

## 予告案内／警告表示について

**ETC車載器からの予告案内、警告情報を受信すると、予告案内または警告情報が表示、一部音声でのお知らせをします。**
**内容は以下の通りです。**

＜予告案内＞

料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

| |
|---|
| **“ETCが利用できません”** |
| **“ETCが利用可能です”** |

＜警　告＞

| |
|---|
| **“ETCカードを確認してください”**<br>ETCカードが故障、またはカードがETCでないときに表示されます。 |
| **“ETCに異常が検出されました 販売店に連絡してください”**<br>ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができないときに表示されます。 |
| **“ETCカードが挿入されていません”**<br>ETCカードを挿入しないで、「■ カード入れ忘れ警告の設定をする場合」G-10で する に設定している場合、本機起動時に表示されます。 |
| **“ETCユニットがセットアップされていません”**<br>ETC車載器本体がセットアップされていないときに表示されます。 |
| **“ETCカードの有効期限が切れていますETCがご利用できません”**<br>有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると、「■ カード有効期限案内の設定をする場合」G-11で する に設定した場合、音声と画面でお知らせします。 |

# フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには 別売

本機に別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合、走行速度が低速になると自動的に画面がフロントカメラ／コーナーカメラの映像に切り替わるように設定できます。左右の見通しがよくない場所や道路端への幅寄せ・細い道路でのすれ違いなどで車のフロント付近／左サイド前輪付近から前方をモニター画面で確認することができます。
（フロントカメラ／コーナーカメラの画質を調整するには「画質調整のしかた」T-2をご覧ください。）
フロントカメラ設定 ／ コーナーカメラ設定 は別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時に表示されます。

## フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする

走行速度に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、 アイコンを情報バーに表示するように設定することができます。

**1** MENU をタッチする。

**2** システム設定 ➡ フロントカメラ設定 ／ コーナーカメラ設定 をタッチする。

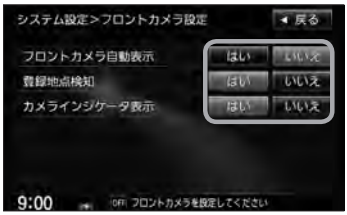
：カメラ設定画面が表示されます。

＊印…コーナーカメラを接続している場合は、ボタン表示が コーナーカメラ設定 になります。

（例）VXM-135VFNiの場合 ＊

**3** 設定したい項目（ はい ／ いいえ ）を選択し、タッチする。

例）フロントカメラ接続の場合




**4** 戻る をタッチする。

：設定を保存し、MENU画面に戻ります。

**5** 現在地 をタッチすると、現在地の地図画面に戻る。

# フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには

別売

## “フロント／コーナーカメラ自動表示” について

車の走行速度が低速になったとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。

## “登録地点検知” について

- 登録してあるカメラ地点に低速で近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。
- この機能を使うには、あらかじめカメラ地点を登録しておく必要があります。
  「（フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する）」G-18
- カメラ地点編集画面で カメラ地点 の表示灯を消灯にしている場合は、自動的にカメラ映像は表示されません。
  「□カメラ地点編集をする場合」F-41

## “カメラインジケータ表示” について

フロントカメラ／コーナーカメラを接続すると情報バーに アイコンを表示する／しないの設定ができます。

### アイコンの色について

“フロント／コーナーカメラ自動表示” で はい ／ いいえ の設定によってアイコンの色が変わり、自動表示できるかどうか区別できます。

緑色（はい）　：低速走行になると自動的にカメラ映像を表示できます。

灰色（いいえ）：低速走行になっても自動的にカメラ映像を表示できません。

アイコン

## フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには

「フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする」G-15で“フロント／コーナーカメラ自動表示”や“登録地点検知”で はい に設定すると、車速判定機能により、車の走行速度が低速になると自動的にカメラ映像が表示されます。

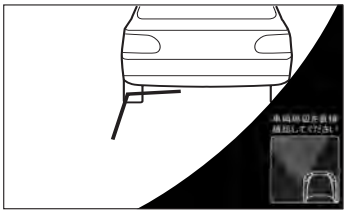
### 低速で走行すると・・・

：前方または左前コーナーのカメラ映像を表示します。

### 走行速度があがると・・・

：もとの画面に戻ります。

例）コーナーカメラ映像



アドバイス

- 低速走行または停車時に（カメラ）をタッチして、フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示することができます。
  もとの画面に戻したいときは、もう一度（カメラ）をタッチしてください。
- 高速走行時に（カメラ）をタッチしても、メッセージが表示されフロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示できません。（もう一度（カメラ）をタッチするとカメラ映像表示の予約が解除されます。）その状態のまま低速走行すると、１回だけカメラ映像を表示します。
- フロント／コーナーカメラ接続中は、「オプションボタンの設定をする」G-3で設定した機能は使用できません。

システム設定

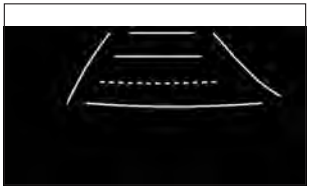
## リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する場合

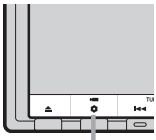
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使う場合、車のセレクトレバーをリバースに入れているときに、リアカメラとコーナーカメラの映像を切り替えることができます。縦列駐車をする場合などに、映像画面を切り替えて後方と左側面を確認することができます。

### 1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。

※パネルの（カメラ）をタッチするたびに、映像画面が切り替わります。

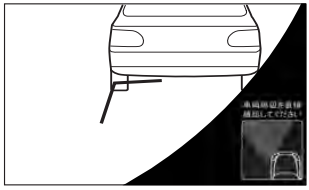
リアカメラ映像画面





（カメラ）ボタン

コーナーカメラ映像画面



アドバイス

車のセレクトレバーをリバース以外に入れている場合は、コーナーカメラ映像のみ表示します。リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

## フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を自動的に表示する地点を登録します。

**1** 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(−¦−)を合わせ、設定 をタッチする。

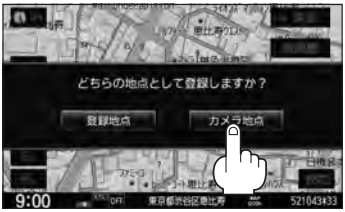
：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

**2** 地点登録 をタッチする。

**3** カメラ地点 をタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上にカメラ地点マークが追加されます。



アドバイス

- フロントカメラまたはコーナーカメラを接続していない場合は、どちらの地点として登録するかのメッセージは表示されません。
- カメラ地点で登録すると地図上には マークが表示されます。

**4** 戻る ／ 現在地 をタッチする。

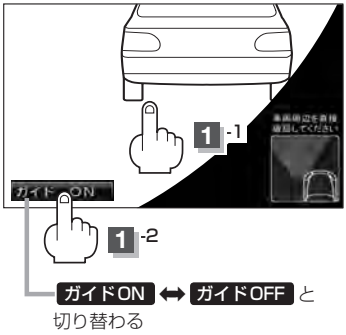
：現在地の地図画面に戻ります。

## コーナーカメラガイドを表示する

アドバイス
- 必要なガイド線はHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- フロントカメラではガイド表示はしません。

**1** コーナーカメラ映像画面で画面をタッチし、ガイドON をタッチする。

：コーナーカメラガイドが表示されます。

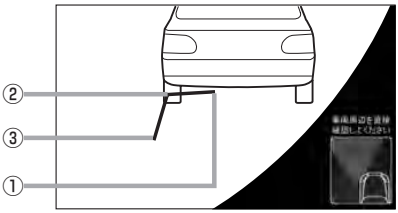



**2** 表示を止めるには ガイドOFF をタッチする。

## コーナーカメラガイドの見かた

**画面上に車両の前側バンパー左コーナーと路肩の距離の目安が表示されます。**

お願い
- 画面上に表示されるコーナーカメラガイドは目安です。コーナーカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行なわないでください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

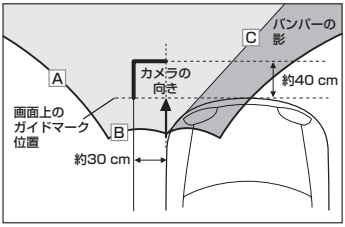



①フロントバンパーより約40 cmの位置を示します。

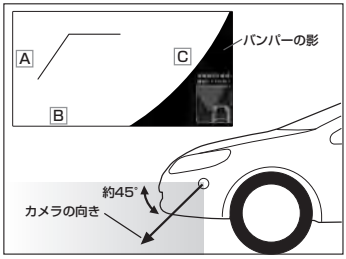
②フロントバンパーより約40 cm、車両左側面より約30 cmの位置を示します。

③車両左側面より約30 cmの位置を示します。

＜自車の状況＞




※A、B、Cのラインは説明のためのイメージです。




アドバイス

- ガイド線は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
  - 図に示すガイド線の距離は、車種によって異なります。
  - 次のようなときはガイド線と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
    - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
    - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド線は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

## カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

### お願い

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによってコーナーカメラガイドの示す位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像は、あくまで運転の補助手段としてご使用ください。安全のためカメラ使用時も直接目で安全確認しながら運転してください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行なってください。

# リアカメラ映像を設定する

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。
※リアカメラの映像を調整するには ☞「画質調整のしかた」T-2をご覧ください。

## リアカメラ映像を表示する

### ■ 車のセレクトレバーをリバースに入れた場合

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。その間、後方確認のメッセージが表示されます。

### ■ 車のセレクトレバーをリバース以外に入れた場合

：もとの画面に戻ります。

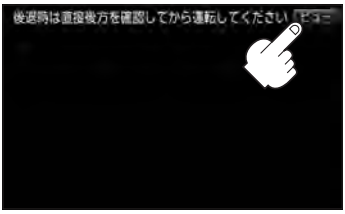
（例）リアカメラ映像

ビュー ボタンはリアワイドカメラ接続時のみ表示されます。

## ビューの切り替えをする （リアワイドカメラ接続時のみ）

**1** リアカメラ映像画面表示中に ビュー をタッチする。

：ビュー切り替えボタンが表示されます。



**2** ビュー切り替えボタン( ノーマル ／ ワイド ／ トップダウン )をタッチする。

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューはグレーアウトとなり、タッチできません。

※ビューの切り替えボタン表示後、５秒間操作がない場合はビュー切り替えボタンが消えます。

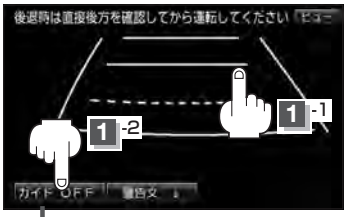
**お願い**

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが十分に周囲の安全を確認してから行なってください。

## リアカメラガイドを表示する

**1** パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れ、リアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチして ガイドON をタッチする。

：リアカメラガイドが表示されます。




ガイドON ⟷ ガイドOFF と切り替わります。

アドバイス ガイドON ⟷ ガイドOFF はパーキングブレーキをかけなくてもボタンをタッチすることができますが、周囲の安全を確認してから行なってください。

**2** 表示を止めるには画面をタッチして ガイドOFF をタッチする。

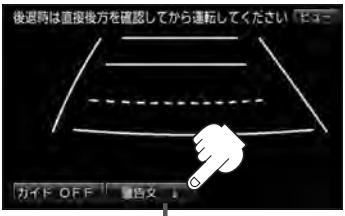
### お願い

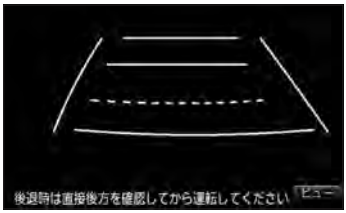
- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行なわないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行なってください。

## 警告文の位置を下げる

**1** リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして 警告文↓ をタッチする。

：画面上部の警告文が画面下部に表示されます。



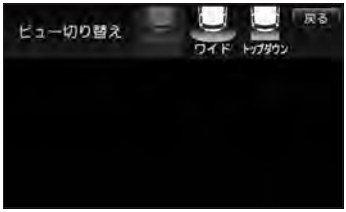




警告文↓ ⟷ 警告文↑ と切り替わります。

**2** 位置を上げるには画面をタッチして 警告文↑ をタッチする。

アドバイス

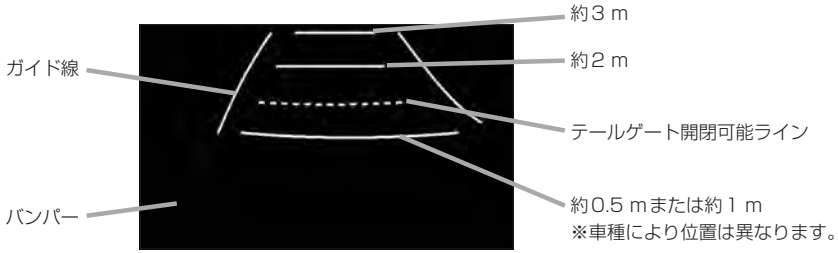
- 車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。
- リアワイドカメラ接続時では、警告文の位置を下側にすると ビュー も下側に移動しますが、ビュー切り替えボタンは上側に表示されます。



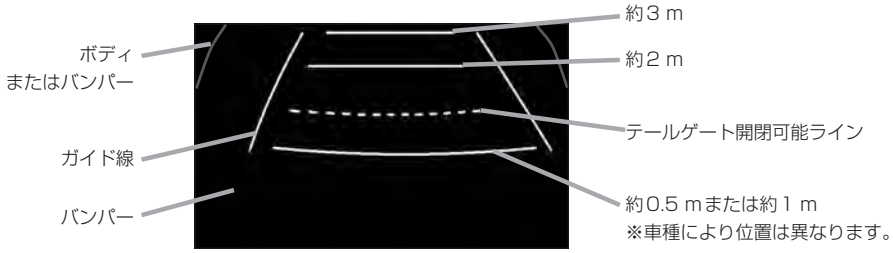
## リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類及び選択した表示ビューにより見え方が異なります。

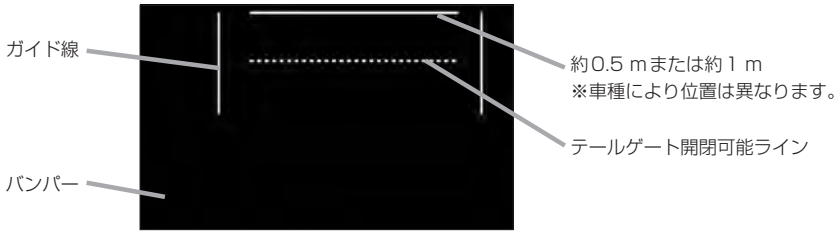
### ■ リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)画面の場合




### ■ リアワイドカメラ(ワイドビュー)画面の場合

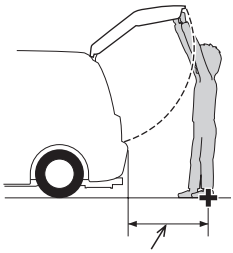



### ■ リアワイドカメラ(トップダウンビュー)画面の場合



アドバイス

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、Honda販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
  - 図(☞ G-24)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
  - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
    - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
    - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

## カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

# G-26 リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ) 車両標準装備 別売

リアワイドカメラ標準装備車または、本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。
リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

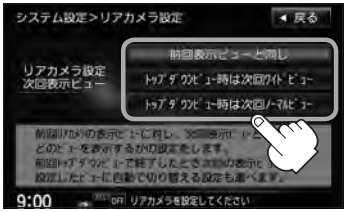
**1** MENU をタッチする。

**2** システム設定 ➡ リアカメラ設定 をタッチする。

：リアカメラ設定画面が表示されます。

**3** トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。

リアカメラ設定画面




■ 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える場合

① トップダウンビュー時は次回ワイドビュー ／ トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー をタッチする。

※リアカメラ表示終了後に 10 km／h を超えて走行していない場合は、次回表示ビューは切り替わりません。

■ 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする場合

① 前回表示ビューと同じ をタッチする。

**4** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

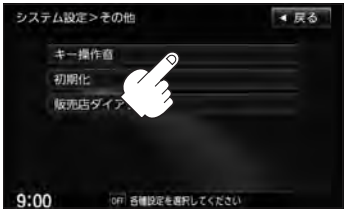
**1** MENU をタッチする。

**2** システム設定 ➡ その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。

**3** キー操作音 をタッチする。

：キー操作音設定画面が表示されます。



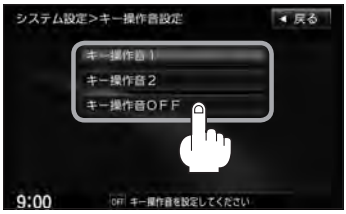

**4** キー操作音( キー操作音１ ／ キー操作音２ ／ キー操作音OFF )を選択し、タッチする。

■ キー操作音を出す場合

① キー操作音１ ／ キー操作音２ を選択しタッチする。

■ キー操作音を出さない場合

① キー操作音OFF をタッチする。




**5** 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 をタッチする。

# G-28 データを初期化(消去)する

本機に登録・設定された内容(登録地点、登録ルートなど)やSDカードにあるデータ、センサー学習結果、ルート学習結果を初期化することができます。

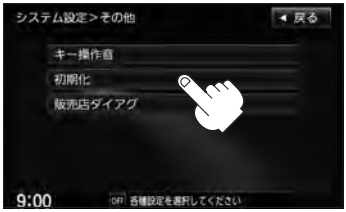
**1** MENU をタッチする。

**2** システム設定 ➡ その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。

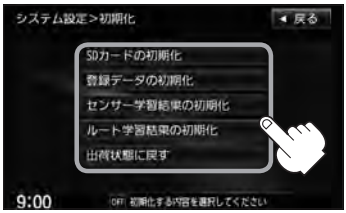
**3** 初期化 をタッチする。

：初期化画面が表示されます。




**4** 初期化したい項目( SDカードの初期化 ／ 登録データの初期化 ／ センサー学習結果の初期化 ／ ルート学習結果の初期化 ／ 出荷状態に戻す )をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい を画面に従って選択します。




**お願い**

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で はい を選択すると、お客様の登録情報は消去され、二度と復帰しません。**

※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

アドバイス

- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチ(電源)を0(ロック)にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 手順 4 (☞ G-28)で選択する項目によって初期化される内容が異なります。

  SDカードの初期化 ……SDカードにあるデータを初期化します。

  登録データの初期化 ……音楽データ以外の登録・設定した内容を初期化します。

  センサー学習結果の初期化 ……車の走行状況を初期化します。

  ルート学習結果の初期化 ……本機のルート学習機能を初期化します。

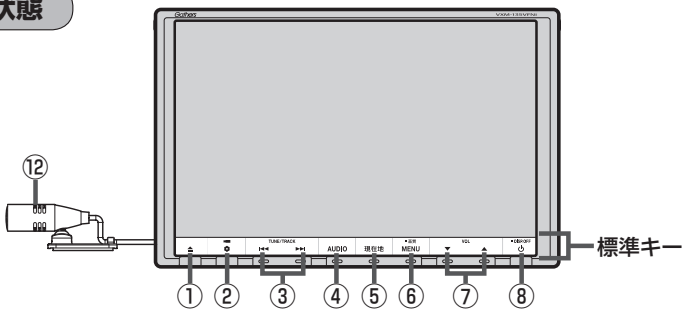
  出荷状態に戻す ……個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。(センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行なってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。従って、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。
- 出荷状態に戻す を行なったときは、オーディオモードがOFFになります。

# オーディオ／共通

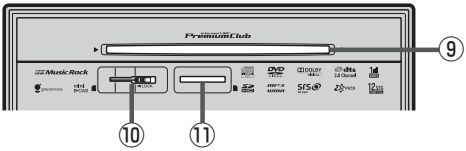
各部の名称とはたらき……H-2
CLOSE状態……H-2
OPEN状態……H-2
基本操作……H-4
各モードを選択する……H-4
映像の表示について……H-6
ディスクを入れる／取り出す……H-6
SDカードを入れる／取り出す……H-7
miniB-CASカードを入れる／取り出す……H-8
オーディオをOFFする……H-9
設定の保持について……H-9
ページのスクロールについて……H-9
AV MENU画面について……H-10
AV SOURCE画面のモードボタンについて…H-11
標準キーのボタンで選曲する……H-12
早戻し／早送りをする……H-13
リピート／ランダム／スキャン／
シャッフル再生……H-14
時計を表示する……H-18
音量を調整する……H-19
音声はそのままで、ナビゲーション画面を
表示する……H-20
動作モード(音楽／画像)を切り替える……H-21
画像ファイルを表示させる……H-22
スライドショーを表示する……H-22
画像を回転させる……H-23
リストより画像を選択する……H-23
音場の設定をする……H-24
イコライザー(音質)の設定をする……H-27
イコライザーの値を初期値に戻す……H-28
スピーカーの設定をする……H-29
フェード・バランスの調整をする……H-31
車速連動音量を設定する……H-33

# 各部の名称とはたらき

## CLOSE状態




## OPEN状態




① [▲] ボタン(OPEN/EJECT)

- パネルをオープンさせて、ディスクやSDカード／miniB-CASカードを出し入れするときに使用します。
  - ・ディスク　☞ H-6
  - ・SDカード　☞ H-7
  - ・miniB-CASカード　☞ H-8

② [⚙] ボタン(オプション)

☞ G-3

③ [⏮] ／ [⏭] ボタン

- 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。
  - ・CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SD　☞ H-12
  - ・FM／AM　☞ J-4
  - ・Digital TV　☞ Q-20
  - ・DVD　☞ P-8
- タッチする長さによって早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
  - ・CD／MP3／WMA／DVD／Music Rack／USB／iPod／SD　☞ H-13
  - ・FM／AM　☞ J-4
  - ・Digital TV　☞ Q-20
- 一時停止中にコマ戻し／コマ送りを行ないます。
  - ・DVD　☞ P-9
- 一時停止中に1.5秒以上タッチし続けると、スロー戻し／スロー送りを行ないます。
  - ・DVD　☞ P-9

④ [AUDIO] ボタン

AV SOURCE画面または現在選択中のオーディオ画面を表示します。

※ナビゲーション画面／オーディオ画面から他のオーディオ画面を表示させる(モードの切り替えをする)ときに使用します。

☞ H-5

⑤ [現在地] ボタン

現在地の地図(ナビゲーション画面)を表示します。

☞ B-7、H-20

⑥ [MENU] ボタン

- AV MENU画面を表示します。
  ☞ H-10、24、27、29、31、33
  I-4、10、11、12、15、20
- 2秒以上タッチすると画面調整画面または画質調整画面を表示します。☞ T-2
- DVDモードの場合、タッチするたびに

  → 操作ボタン有 → AV MENU画面 → 操作ボタン無 →

  を繰り返します。

⑦ [▼] ／ [▲] ボタン(VOL)

オーディオの音量を調整します。☞ H-19

⑧ [⏻] ボタン

- AV電源(オーディオ画面)をON／OFFするときに使用します。☞ H-9
- 2秒以上タッチで画面を消します。☞ T-6

### ⑨ディスク挿入口
ディスクを出し入れするときに使用します。
☞ H-6

### ⑩miniB-CAS カード挿入口
12セグを視聴する場合はminiB-CASカードを挿入します。
☞ H-8

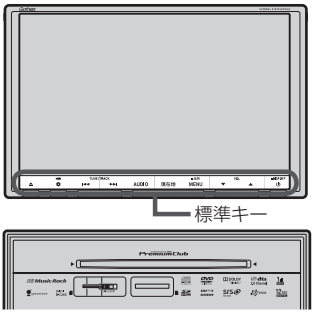
### ⑪SDカード挿入口
SDカードを出し入れするときに使用します。
☞ H-7

### ⑫マイク
ハンズフリー通話時に使用します。
☞ S-1

アドバイス

- 各モードで使用する標準キー以外の画面の操作につきましては、それぞれを参照ください。
  - ・FM/AM ☞ J-2
  - ・CD/MP3/WMA ☞ K-8
  - ・Music Rack ☞ L-2
  - ・USB ☞ M-6
  - ・iPod ☞ N-5
  - ・SD ☞ O-6
  - ・DVD ☞ P-4
  - ・Digital TV ☞ Q-6
  - ・VTR ☞ R-2
  - ・ハンズフリー ☞ S-1
- 車両にオーディオ リモコン スイッチが装着されている場合は、オーディオ リモコン スイッチで本機のAV機能を操作することができます。☞「オーディオ リモコン スイッチ」T-16

# 基本操作




- 本機の操作(標準キーなど)につきましては「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。
- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とは、FM／AM／CD／MP3／WMA／DVD／Music Rack／USB／iPod／SD／Digital TV／VTRモード時を示します。H-11
(モード指定がある場合は明記しています。)

## 各モードを選択する

**すでに画面が表示状態になっている場合は、H-5手順 2 へ進んでください。**

### 1 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

起動初期画面(VXM-135VFNi)

起動初期画面(VXM-135VFN)

SDモード TOP画面(例)

⚠注意 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)のまま(エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがるおそれがあります。

## 2 AUDIO をタッチする。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。ラストモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度 AUDIO をタッチしてAV SOURCE画面を表示させてください。

＊印…前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

**ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は、挿入または接続してください。**

☞ B-3、B-4、M-5、N-4、R-3

## 3 操作したいモード（ FM／AM ／ CD／DVD ／ Music Rack ／ USB ／ iPod ／ SD ／ Digital TV ／ VTR ）をタッチする。

：選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

AV SOURCE画面

■ 操作したいモード画面が表示された場合

**①それぞれの項目をご覧いただき、ご希望の操作を行なってください。**

- FM／AM ☞ J-1
- CD／MP3／WMA ☞ K-1
- Music Rack ☞ L-1
- USB ☞ M-1
- iPod ☞ N-1
- SD ☞ O-1
- DVD ☞ P-1
- Digital TV ☞ Q-1
- VTR ☞ R-1

※音楽再生をしていた場合は前回の続きから再生を始めます。

## 映像の表示について

DVDモード画面(走行中)(例)

**安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)**

※映像を表示するモードはDVD／Digital TV／VTR／iPod*となります。
＊印…iPodは映像(ビデオ)再生時の場合となります。
※別売のリア席モニターを接続している場合、走行中でも映像をご覧いただけます。

## ディスクを入れる／取り出す

ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。ケガの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意 ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。

### 1 ▲(OPEN／EJECT)をタッチする。

：OPEN／EJECT画面が表示されます。

### 2 ディスクを入れる／取り出す。

OPEN／EJECT画面

■ ディスクを入れる場合

① OPEN をタッチする。

：ディスプレイが開きます。

② ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、再生を始めます。

※未録音の音楽CDを挿入した場合は録音を開始します。☞I-5

■ ディスクを取り出す場合

① DISC EJECT をタッチする。

：ディスプレイが開き、ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

※ディスプレイを閉じる場合は、▲(OPEN／EJECT)をタッチしてください。

アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(続きから再生)を行ないます。
- 再生中に車のエンジンスイッチを変更した場合は、次にⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると、前に再生していた続きから再生を始めます。
- DISC EJECT をタッチして押し出されたディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。
- ディスクを取り出すとき、▲(OPEN／EJECT)を長押しすると、DISC EJECT をタッチすることなく自動でディスクが押し出されます。

## SDカードを入れる／取り出す

ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。ケガの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

⚠注意
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わぬケガをするおそれがあります。
- SDカードを出し入れするときには、安全のため、セレクトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターに装着してご使用ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むとminiSDカード／microSDカードが取り出せなくなったり機器の故障の原因になります。

### 1 ▲(OPEN／EJECT)をタッチする。

：OPEN／EJECT画面が表示されます。

### 2 OPEN をタッチする。

：ディスプレイが開きます。

### 3 SDカードを入れる／取り出す。

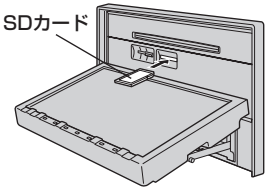
■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

※ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※SDモードを選択している場合は再生を始めます。




■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

※ディスプレイ部を閉じる場合は、▲(OPEN／EJECT)をタッチしてください。

アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損するおそれがあります。必ずSDモードを終了(AV電源OFF)して取り出してください。☞H-9
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のエンジンスイッチを0(ロック)にした場合は、自動でディスプレイ部を閉じることができます。

## miniB-CASカードを入れる／取り出す

ディスプレイ部を開閉するときは手や指などをはさまないように注意してください。ケガの原因や、ディスプレイ部の故障の原因になります。

**お願い**

- 本機には、ID(識別)番号の異なるminiB-CAS(ビーキャス)カードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CASカードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部に触れたり、汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりすると使用できなくなることがありますので、大切に取り扱ってください。
  「miniB-CASカードについて」Q–4

**1** 「SDカードを入れる／取り出す」H–7手順 **1**、**2** に従って操作する。

**2** カードを入れる／取り出す。

※miniB-CASカードを出し入れするときは付属の「落下防止シート」を使用してください。

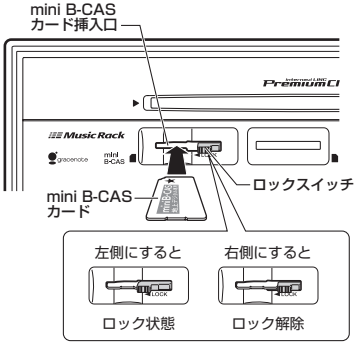
### ■ miniB-CASカードを入れる場合

① miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカードを挿入する。

※★の付いた面を上にし、⬆(矢印イラスト)の方向に奥まで挿入してください。

② ロックスイッチを左側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。

：miniB-CASカードがロックされます。

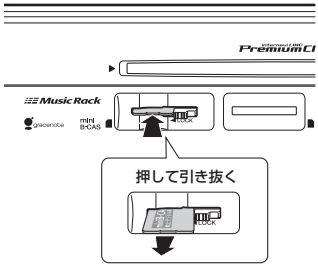



### ■ miniB-CASカードを取り出す場合

① ロックスイッチを右側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。(上図ふき出し参照)

※ロック解除されます。

② miniB-CASカードを1回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。



## 3 ▲(OPEN／EJECT)をタッチする。

：ディスプレイが閉じます。

**お願い**

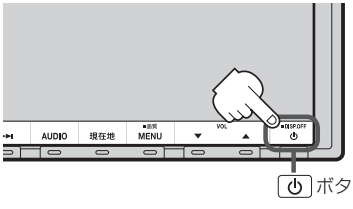
- miniB-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口(☞ H-8)にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ロック状態(ロックスイッチ左側状態)でminiB-CASカードを取り出そうとすると、ロックスイッチが壊れる原因となります。必ずロックスイッチを右側へスライドさせてからminiB-CASカードを取り出してください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASテストを行なってください。
  ☞「miniB-CASカードのテストをする」Q-42

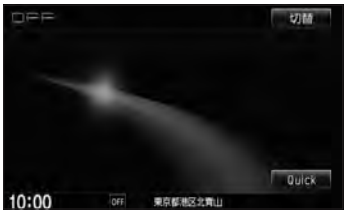
## オーディオをOFFする

## 1 ⏻をタッチする。

：画面に“OFF”と表示されオーディオの各モードを終了します。
もう一度タッチすると、AV電源をONします。

※前回、音楽またはDVDを再生していた場合はつづきから再生を始めます。




## 設定の保持について

決定 のある画面では、 決定 をタッチすると設定が保持されます。
決定 をタッチしないで 戻る または MENU ／ 現在地 をタッチすると設定は保持されません。
※ 決定 のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。
(例：映像／オーディオ設定など)

## ページのスクロールについて

次ページがある場合、 ▲ ／ ▼ タッチでページのスクロール(戻し／送り)表示することができます。
※走行中はスクロールできません。

# AV MENU画面について

AV MENU画面は AUDIO または MENU をタッチして表示させます。そのとき、選択するボタン（ AV SOURCE ／ AUDIO設定 ／ システム設定 ）によってAV SOURCE、AUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

● AUDIO をタッチした場合

AV MENUのAV SOURCE画面

★1印･･･ナビゲーション画面のときはAV MENUまたはラストモードを、オーディオ画面のときはAV MENUを表示します。
※ラストモードのときは、もう一度 AUDIO をタッチするとAV MENUを表示します。

● MENU をタッチした場合

AV MENUのAUDIO設定画面

または

AV MENUのシステム設定画面

● フロントカメラ／コーナーカメラ、リアカメラを接続時に表示されます。
● VXM-135VFNの場合は、 お知らせ ボタンが表示されます。☞ B-17

※AUDIO設定画面／システム設定画面は最終選択時の状態を保持するため、状態によっては AUDIO設定 または システム設定 選択の操作は省略することができます。
※ システム設定 選択時に表示されるAV MENUの各機能につきましては☞「各種設定をする」G-1を参照ください。

★2印･･･ナビゲーション画面のときに MENU をタッチするとNAVI MENUが表示されるので AUDIO をタッチして＊AV MENUを表示させてください。（＊印･･･ラストモードのときは、もう一度 AUDIO をタッチします。）

アドバイス

AV MENU画面(例)

● 表示させたAV MENU画面は、 MENU ／ AUDIO のどちらをタッチして表示させたかにかかわらず、 AV SOURCE ／ AUDIO設定 ／ システム設定 を選択できます。
● ☆1印･･･ 交通情報 をタッチすると交通情報画面を表示します。☞ J-10
● ☆2印･･･ 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

# AV SOURCE画面のモードボタンについて



## AV SOURCE画面

モードボタン

選択可能状態

選択不可能状態
（イラストおよび文字が灰色表示）

※USB機器（USBフラッシュメモリ／ウォークマン®）未接続／SDカード未挿入の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

アドバイス

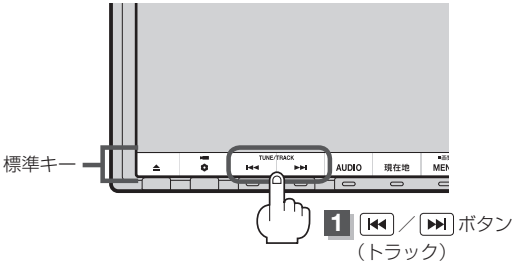
- Music Rackモードを使用するにはあらかじめCDを本機に録音しておく必要があります。
- USBモードを使用するには、USB機器（USBフラッシュメモリ／ウォークマン®）を別売のUSBメモリーデバイスコードに接続しておく必要があります。☞ M-5
  ※iPod接続時はUSB機器使用不可となります。
- iPodモードを使用するには、iPod本体と別売のiPod接続コードを別売のUSB接続ジャックに接続しておく必要があります。☞ N-4
  ※USB機器接続時はiPod使用不可となります。
- SDモードを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。☞ H-7

# H-12 標準キーのボタンで選曲する

標準キーをタッチして１曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

**1** ⏮／⏭（トラック＊[1]）をタッチする。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。




■ 前のトラックに戻る場合

⏮を２回タッチする。

※１回タッチした場合は再生中の曲（トラック）の頭に戻ります。＊[2]

■ 次のトラックに進む場合

⏭をタッチする。

アドバイス

- 画面をタッチして各モードのトラックリストより選択することもできます。
  - ・CD／MP3／WMA ☞ K–11
  - ・Music Rack ☞ L–4
  - ・USB ☞ USB･･･M–9
    ☞ ウォークマン®･･･M–11
  - ・iPod ☞ N–7
  - ・SD ☞ O–9
- 音楽CD録音（REC）中トラックを戻す／進めることはできません。
- ＊１印…FM／AM／Digtal TVモードでは選局、DVDモードではスキップと呼び名を変えています。
  - ・FM／AM ☞ J–4
  - ・Digital TV ☞ Q–20
  - ・DVD ☞ P–8
- ＊２印…CD／MP3／WMA／iPodモードのとき、トラック再生開始２秒以内にタッチした場合は、前のトラックの頭に戻ります。

# 早戻し／早送りをする

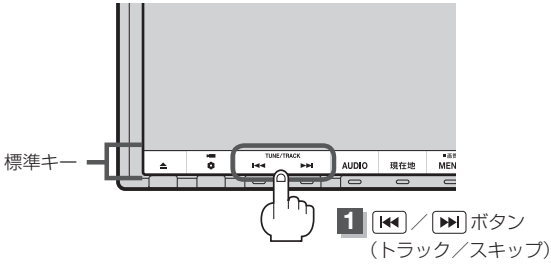


**1** **⏮／⏭（トラック／スキップ）を 1.5 秒以上タッチし続ける。**

：早戻し／早送りをします。

※DVDモードの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。

※それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。




■ **早戻しで戻る場合**

**⏮をタッチし続ける。**

■ **早送りで進む場合**

**⏭をタッチし続ける。**

再生状態表示

▶ ：通常再生

▶▶ ：早送り

◀◀ ：早戻し

音楽再生の場合（例）

アドバイス

- 音楽CD録音（REC）中の早戻し／早送りはできません。
- FM／AM／Digital TVモードのとき1 秒以上タッチすると自動選局を開始します。
  - ・FM／AM ☞ J-4
  - ・Digital TV ☞ Q-20

# H-14 リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

## 1 再生モード をタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

SDモード TOP画面(例)

＊印…手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

## 2 再生したいモード( リピート ／ ランダム ／ スキャン ／ シャッフル )を選択する。

### ■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート をタッチする。

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

※ リピート をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モードの状態を表示　選択時点灯

CD／Music Rack／USB／iPod／SDモードの場合

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

今聞いているフォルダのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき REPEAT FOLDER マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

## ■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** をタッチする。

：表示灯点灯し、ランダム再生されます。

※ **ランダム** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

CDモードの場合

**ディスク内の曲をランダム再生**
(表示灯点灯／TOP画面のとき
RANDOM マーク表示有)

↓

**通常再生(ランダム解除)**
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

**選曲中フォルダ内の曲をランダム再生**
(表示灯点灯／TOP画面のとき
RANDOM マーク表示有)

↓

**通常再生(ランダム解除)**
(表示灯消灯／マーク表示無)

Music Rack／USB／SDモードの場合

**今聞いているリストの中からランダム再生**
(表示灯点灯／TOP画面のとき
RANDOM マーク表示有)

↓

**通常再生(ランダム解除)**
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス
ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

## ■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10 秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

CD／MP3／WMA モードの場合

**ディスク内の曲をスキャン再生**
(表示灯点灯／TOP画面のとき SCAN マーク表示有)

↓

**通常再生(スキャン解除)**
(表示灯消灯／マーク表示無)

Music Rack／USB／SD モードの場合

**今聞いているリストの中からスキャン再生**
(表示灯点灯／TOP画面のとき SCAN マーク表示有)

↓

**通常再生(スキャン解除)**
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス　スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

## ■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※iPodモードのみ

① **シャッフル** をタッチする。

：表示灯点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

**今聞いているリストの中からシャッフル再生**
(表示灯点灯／TOP画面のとき SHUFFLE TRACK マーク表示有)

↓

**今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生**
(表示灯点灯／TOP画面のとき SHUFFLE ALBUM マーク表示有)

↓

**通常再生(シャッフル解除)**
(表示灯消灯／マーク表示無)

## 3 設定を終えるには、 閉じる をタッチする。

：選択中モードのTOP画面に戻ります。

アドバイス

- 録音(REC)中はCDモードの再生モード操作はできません。
- マーク表示中はそれぞれのモード再生を繰り返します。
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと設定は解除されます。
- Music Rackモードの選曲モード(☞ L-7)がミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。

Music Rackモード

ミュージックエスコート選択時

リピート再生のみとなります。

# H-18 時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

**1** 各モードのTOP画面で、切替 をタッチする。

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※映像を表示するモードの場合、本設定はできません。

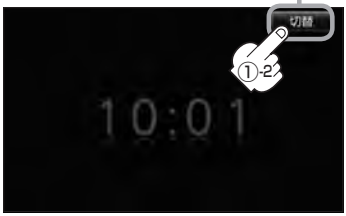
オーディオ画面
（SDモードTOP画面（例））

■ 再度、画面を表示する場合

①画面をタッチし、切替 をタッチする。

：手順 1 で表示させていたモードの再生画面が表示されます。

約５秒間表示されます。




SDモード TOP画面（例）

アドバイス

音声はそのままで全画面を消すこともできます。（時計表示もなし）

「音声はそのままで画面を消す」T-6

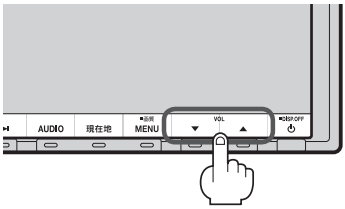
# 音量を調整する



## 1 ▼／▲(VOL)をタッチする。

：画面に現在の音の大きさ(0～40)を示す音量表示が表示されます。
音量表示は約2 秒間表示されます。

※タッチしつづけて調整することもできます。




1 ▼／▲ボタン(VOL)

▲をタッチすると音量を上げます。(大きくなります。)
▼をタッチすると音量を下げます。(小さくなります。)

SDモード(例)

音量表示

アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は上記操作では調整できません。
  「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-34
- DVD／VTRモードの場合、音量は各モードで個別に設定できます。

※CDモードで音量を“10”に設定した場合、FM／AM／MP3／WMA／USB／iPod／SD／Digital TVモードの音量も“10”となります。

- (オプション)にミュート機能を設定している場合は、このボタンをタッチして音を消すことができます。「オプションボタンの設定をする」G-3

# 音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

## 1 各モード画面で、 現在地 をタッチする。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

SDモード TOP画面(例)

現在地 ボタン

### ■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① AUDIO をタッチする。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、 現在地 をタッチしてください。

AUDIO ボタン

SDモード TOP画面(例)

アドバイス

オーディオ画面の音量調整(☞ H-19)や ⏮ ／ ⏭ (☞ H-12、H-13)を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

# 動作モード(音楽／画像)を切り替える



SD／USBモードのとき、再生させたいファイル(音楽／画像)に切り替えます。

## 1 モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

※映像データを再生中の場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させてください。

SDモード画面(例)

アドバイス

☆印・・・手順 2 で選択したファイルの種類(動作モード)が表示されます。

・音楽ファイル・・・

・画像ファイル・・・

## 2 再生させたいファイルの種類( 音楽ファイル ／ 画像ファイル )をタッチする。

モード切替画面

### ■ 音楽ファイル をタッチした場合

：MP3／WMA／AACなどの音楽ファイルを再生します。

☞ USB・・・M-6
☞ SD・・・O-6

### ■ 画像ファイル をタッチした場合

：JPEG画像を表示します。

☞ USB・・・M-8
☞ SD・・・O-8

# 画像ファイルを表示させる

**SD／USBモードのとき、画像を本機に表示させることができます。画像は回転させたり、スライドショーをすることができます。**

※SD／USBモードの場合、JPEG画像の入ったSD／USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)を本機に挿入／接続しておく必要があります。
☞SD挿入･･･H-7／☞USB機器を接続･･･M-5

## 1

**☞H-21手順 1 に従って操作し、手順 2 のとき 画像ファイル をタッチする。**

：操作ボタンと共に画像が表示されます。

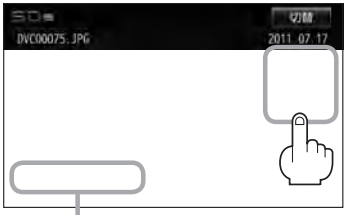
※すでに画像が表示されている場合は上記操作の必要はありません。

## 2

**操作したい項目( スライドショー ／ 回転 ／ リスト )をタッチする。**

- スライドショー･･･
  ☞「スライドショーを表示する」下記
- 回転･･･☞「画像を回転させる」H-23
- リスト･･･☞「リストより画像を選択する」H-23

SDモード(画像ファイル)の場合
☞「各部の名称とはたらき」0-8

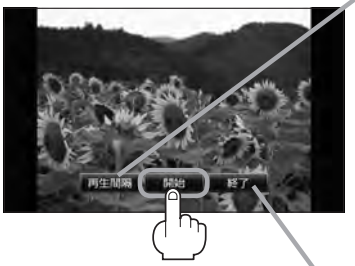



フォルダ内に複数のファイルがある場合、前へ ／ 次へ タッチで1つ前／後ろのファイルを表示させることができます。

## スライドショーを表示する

**① 画面をタッチし、操作ボタンを表示させる。**

**② 開始 をタッチする。**




：選択しているフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。

スライドショーの再生間隔を変更することができます。

1. 再生間隔 をタッチする。
2. お好みの間隔( 3秒 ／ 10秒 ／ 30秒 ／ 1分 )をタッチする。

：画像が表示され、選択した間隔でスライドショーを行ないます。

### ■ スライドショーを止める場合

**①画面をタッチし操作ボタンを表示させ、終了 をタッチする。**

## 画像を回転させる

① 回転 をタッチする。

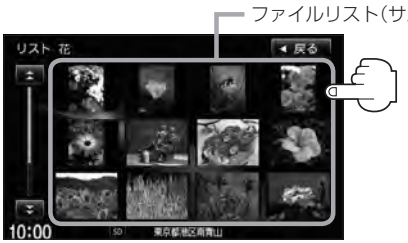
：タッチするたびに表示中の画像が
90度ずつ右回転(時計まわり)します。

## リストより画像を選択する

① リストより表示させたいフォルダをタッチする。

：ファイルがサムネイル表示されます。

② 表示させたいファイルをタッチする。




：選択したファイル(画像)が表示されます。

アドバイス
画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。

アドバイス
- 画像表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。
- 画像ファイルの制限につきましては「画像ファイル(JPEG)について」T-13を参照ください。

# 音場の設定をする

※AV電源OFFの場合、音場の設定をすることはできません。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

※音場はLIVE／HALL／STADIUM／CHURCH／SRS CS Autoの5種類です。

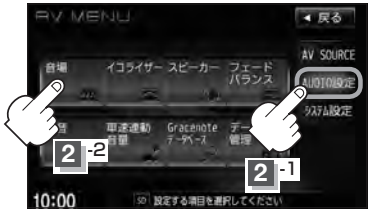
## 2 AUDIO設定 ➡ 音場 をタッチする。

：音場設定画面が表示されます。

アドバイス

- 交通情報画面（☞ J-10）の場合、音場（臨場感）は得られません。（ボタンは選択できません。）
- AV MENU画面につきましては☞ H-10を参照ください。

AV MENU画面




## 3 お好みの音場（DSP／SRS CS Auto）を選択します。

### ■ DSPを使用する場合

**再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。**

LIVE（ライブ）：音場をライブハウスに設定します。
HALL（ホール）：音場をコンサートホールに設定します。
STADIUM（スタジアム）：音場をスタジアムに設定します。
CHURCH（チャーチ）：音場を残響音の多い教会に設定します。

音場設定画面（例）

① DSP ＊をタッチし、お好みの音場（ LIVE ／ HALL ／ STADIUM ／ CHURCH ）をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

アドバイス

DSPとSRS CS Autoの同時設定はできません。
＊印… DSP を選択した時点で HALL が設定されています。（初期状態）

## ■ SRS CS Autoを使用する場合

SRS CS Auto

**センタースピーカーやサブウーファーがなくても**
**4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。**

音場設定画面（例）

**① SRS CS Auto をタッチする。**

：SRSの音場効果で再生されます。

**② 各項目（ FOCUS ／ TruBass ／ MixToRear ）と － ／ ＋ をタッチして音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好みの値に調整する。**

SRS FOCUS（フォーカス）　：耳の高さから音が聞こえるように調整できます。
SRS TruBass（トゥルーバス）　：低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
（サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。）
SRS MixToRear（ミックストゥリヤ）：フロントの音をリアにふり分けることができます。
（後席でもセリフなどを聞きやすくできます。）

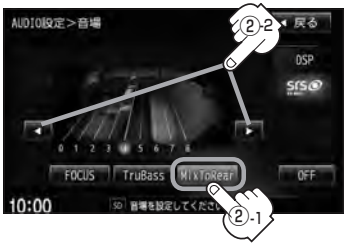
### □ FOCUS を選択したとき

フロントまたはリアの音の高さを
＋ ／ － タッチで調整します。
（0～8）

### □ TruBass を選択したとき

フロントまたはリアの低音のレベルを
＋ ／ － タッチで調整します。
（0～8）

### □ MixToRear を選択したとき




リアスピーカーへのフロントスピーカーの出力成分割合を ◀ ／ ▶ タッチで調整します。（0～8）

## 音場の設定をする

アドバイス

- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。

音場設定画面(例)

- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は OFF をタッチしてください。

## 4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

SDモードTOP画面(例)

オーディオ画面では手順 3 で選択した音場が表示されます。

- 手順 3 (☞ H-24)でSRS CS Autoを選択するとイコライザーの設定(☞ H-27)は自動的に OFF 選択となります。
- SRS CS Auto はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

# イコライザー(音質)の設定をする



再生する音楽の音質を選択したり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。
※AV電源OFF(および交通情報画面)の場合、イコライザーの設定をすることはできません。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ イコライザー をタッチする。

：イコライザー画面が表示されます。

## 3 お好みの音質の選択または値を設定する。

■ お好みの音質を選択する場合

① 設定したい音質( POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER1 ／ USER2 )をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。
※さらにお好きな値に調整することもできます。
☞ H-28

イコライザー画面

イコライザー画面で OFF をタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。

アドバイス

POP ／ ROCK ／ JAZZ の値は本機に既存の値が設定されています。 USER1 ／ USER2 のイコライザーの値はOFF状態(±0)に設定されています。
※お好きな値に調整することもできます。☞ H-28

□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と ▲ ／ ▼ をタッチして調整する方法の２種類があります。

▲ ：レベルアップ
▼ ：レベルダウン

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。

## 4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- イコライザー画面で OFF をタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。
- 登録 をタッチする前に音質を変更( POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER1 ／ USER2 を選択)すると、設定した値(レベル)は保存されません。
- イコライザー(音質)設定中はオーディオ画面のとき EQ マークが表示されます。

オーディオ画面(SDモード画面(例))

各オーディオの音楽再生画面で Sound をタッチするとイコライザー画面を表示させることができます。

マーク表示

## イコライザーの値を初期値に戻す

調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

## 1 イコライザー画面で初期化したい音質( POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER1 ／ USER2 )をタッチする。

## 2 初期化 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

# スピーカーの設定をする



車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時（☞ H-25）の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

| 位置／大きさ | LARGE | NORMAL |
|---|---|---|
| フロント | 17 cm以上 | 16 cm以下 |
| リア | 17 cm以上 | 16 cm以下 |

※オーディオモード終了（OFF状態）の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

## 1 オーディオモード画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

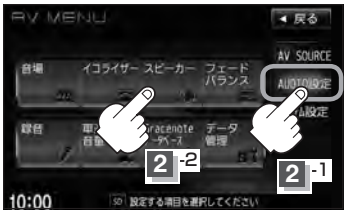
※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ スピーカー をタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

アドバイス　AV MENU画面につきましては☞ H-10を参照してください。

AV MENUのAUDIO設定画面（例）




## 3 上記表を参照して LARGE ／ NORMAL をタッチする。

スピーカー設定画面

選択した結果が反映される

## スピーカーの設定をする

アドバイス

スピーカーが17 cm以上の場合はLARGE、16 cm以下の場合はNORMALの設定をおすすめします。
※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

**4** 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

# フェード・バランスの調整をする



**前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。**

- FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整
- BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整

**※AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。**

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

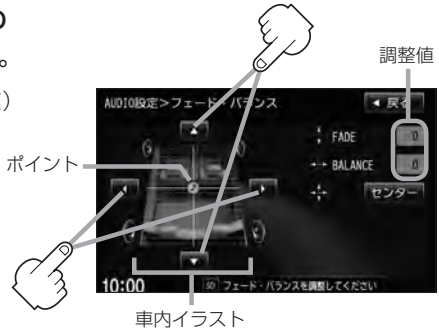
※DVDモード時は MENU を２回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ フェードバランス をタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。

## 3 調整したい項目（FADE（フェード）／BALANCE（バランス））の ◀／▶ または ▼／▲ をタッチする。

※車内イラストを直接タッチし、ポイント（値）を移動させて調整することもできます。




■ FADE（前９～後９）調整の場合

▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

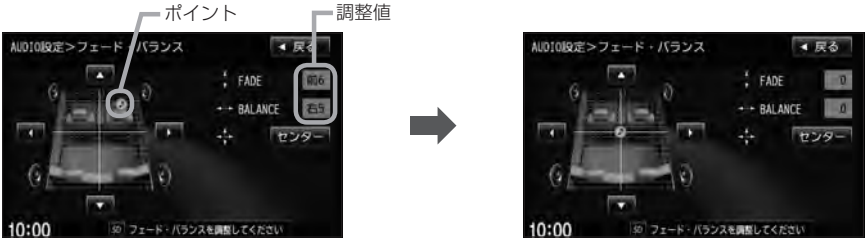
■ BALANCE（左９～右９）調整の場合

◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

## 4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- センター をタッチすると“FADE（フェード）”または“BALANCE（バランス）”の値が“0”になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。




- 調整時に ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

# 車速連動音量を設定する



車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

：車速連動音量画面が表示されます。

## 3 設定したい連動音量( HIGH ／ MIDDLE ／ LOW )をタッチする。

：車速(走行速度)に応じて音量変化は

- HIGH…大きい
- MIDDLE…HIGHとLOWの中間
- LOW…小さい

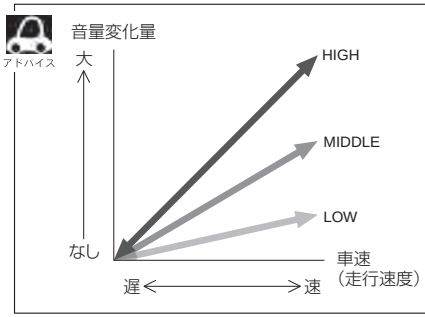
となります。

連動音量

### ■ 車速連動音量を設定しない場合

① OFF をタッチする。

## 4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。




- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さくし)ます。
  ※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

# 録音設定／データ管理

**Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートと
カスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)に
つきましては弊社ホームページから提供しております。(注)**
**(注)操作方法につきましては、**
**VXM-135VFNiの場合**
**http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-135vfni/**
**VXM-135VFNの場合**
**http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-135vfn/**
**をご参照してください。**
**また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。**
※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。


録音設定／データ管理について ……I-2
再生可能メディアについて ……I-3
CDの録音方法(自動／手動)を選択する ……I-4
CDを録音する ……I-6
録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する …… I-6
Music Rackの機能／構成について ……I-8
Music Rackへ録音時の注意点について ……I-9
Music Rackの使用容量を確認する ……I-10
音楽データを修復する ……I-11
音楽データを初期化する ……I-12
ローカル／カスタムアップデートについて ……I-13
タイトル情報更新の流れについて …… I-13
ローカルアップデート／
カスタムアップデートをする ……I-15
Gracenoteデータベースのデータを
初期化する ……I-20

# I-2 録音設定／データ管理について

本章では、録音、データベースのアップデートなどデータ管理に関わる内容を説明しています。

- **音楽CDを本機(のMusic Rack)へ手動録音するための設定**
  ☞ I-4
- **Music Rackの機能について**
  ☞ I-8
  ※Music Rackの構成や音楽CDを本機(のMusic Rack)に録音(保存)するときの注意事項を記載しています。
  ※音楽CDのデータベースを内蔵しており、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などが自動的に付加され、整理をすることができます。
  ※GracenoteデータベースとMCDBデータベースを使用しています。
- **Gracenoteデータベースのアップデート方法**
  ☞ I-15

アドバイス

- Music Rackの機能の特徴は下記のようになります。

| | |
|---|---|
| できること | 音楽CDの録音・再生 |
| 本機以外に必要なもの<br>(別にご購入頂くなどご準備頂くもの) | 音楽CD |
| その他機能 | アルバム名、アーティスト名などを自動的に付加するので、入力の手間を省けます。<br>新曲が出ても、アルバム名、アーティスト名などのデータベースを更新できます。 |
| データ保存場所 | Music Rack |

# 再生可能メディアについて



本機で再生可能なファイル形式とメディアにつきましては以下を参照ください。

| | ファイル形式 | 拡張子 | CD-R／RW | DVD-R／RW DVD+R／RW | USBフラッシュメモリ* | SDカード |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 音楽 | MP3 | .mp3 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | WMA | .wma | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | AAC | .m4a | × | × | ○ | ○ |
| 画像 | JPEG | .jpg | × | × | ○ | ○ |

※ファイル形式や拡張子が対応の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。
※MP3／WMAファイルにつきましては「● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について」K-3を参照ください。
※AACファイルにつきましては「●AACの規格について」O-4／「● 音楽ファイルの再生について」O-5を参照ください。
※JPEGファイルにつきましては「画像ファイル(JPEG)について」T-13を参照ください。

＊印・・・ウォークマン®につきましては「対応可能なウォークマン®」M-4を参照ください。

# I-4 CDの録音方法(自動／手動)を選択する

**音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲を本機(Music Rack)へ録音することができます。録音には自動録音と手動録音があります。**
※本機の初期の録音方法は“自動録音”に設定されています。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。
※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ 録音 をタッチする。

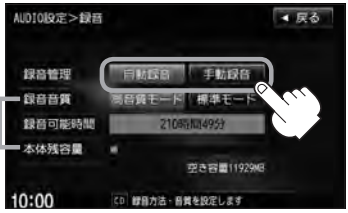
：録音設定画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス
AV MENU画面につきましては☞H-10を参照ください。

## 3 録音方法( 自動録音 ／ 手動録音 )を選択する。

録音設定画面




設定画面では音質の選択や録音可能時間、本機の残容量を確認できます。
☞録音音質選択I-7

### ■ 自動録音 をタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。
☞「未録音CDについて」I-5

### ■ 手動録音 をタッチした場合

：CDモード画面で ●録音 をタッチし録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して 録音開始 をタッチすると録音を開始します。
☞「録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する」I-6

アドバイス
- すでに本機に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、 ●録音 をタッチして録音を開始させてください。☞I-6
- 録音を開始する前に☞「Music Rackへ録音時の注意点について」I-9を必ずお読みください。

## 未録音CDについて

**録音方法が自動録音に設定されている場合、未録音の音楽CDを挿入すると、同時に録音を開始します。**

録音中画面(例)

録音中のトラック名

進行中の数／録音総数

録音中表示される

再生中トラックの再生時間と再生中のトラック名／録音中のアーティスト名／アルバム名

録音を止めたい、選択曲録音をしたい場合は 録音中止 をタッチしてください。

録音中トラックの進行度の目安を100 %をMAXとした値とバーの長さで表示

全てのトラックの全体的な進行度の目安をバーの長さと100 %をMAXとした値で表示(録音終了の目安表示)

※自動録音と手動録音の設定のしかたは☞「CDの録音方法(自動／手動)を選択する」I-4を参照してください。手動録音の場合、録音音質の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。☞「CDを録音する」I-6

アドバイス

- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。
  ☞「アルバムリストの編集(曲管理)」L-14
  ※Music Rackにつきましては☞「Music Rackの機能／構成について」I-8／「各部の名称とはたらき」L-2を参照ください。
  ※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。
- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF➡ONにした場合は再度録音が開始されます。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。☞ I-4
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。
  ☞「CDを録音する」I-6

### 4 設定を終えるには、 戻る をタッチする。

：設定が確定(決定)されます。

※ 戻る をタッチすると1つ前の画面に、 AUDIO をタッチすると選択中モード画面に戻ります。

# CDを録音する

## 録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する

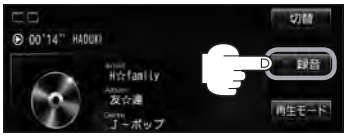
**全曲録音するか、お好みの曲を録音するかの設定と、音質の設定することができます。**

※未録音CDを挿入した場合は録音が開始されます。(自動録音設定時) ☞ K-10

**1** CDモード時、 ●録音 をタッチする。

：録音開始画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)




**2** 録音方法を選択する。

### ■ 全曲録音する場合

① 全曲録音 をタッチする。

：CD内にある全ての曲の録音となります。ただし本機の容量が足りない場合 全曲録音 は選択できません。すでに1曲でも録音済みのディスクの場合は、未録音の曲を全て録音します。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

録音開始画面

### ■ 選択曲録音をする場合

① 選択曲録音 をタッチする。

：録音曲選択画面が表示されます。

② 録音したいトラックをタッチする。

録音曲選択画面

トラックをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。

☑：このトラックを録音します。

□：このトラックは録音しません。

※すでに録音済のトラックは選択できません。
(✔表示有／トラックは灰色表示)

③ 決定 をタッチする。

録音曲選択画面

：録音したいトラックが確定(決定)され、録音開始画面に戻ります。

※ 戻る をタッチした場合は選択は解除(無効)となり録音開始画面に戻ります。

アドバイス

- 本機に録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“トラックxx”と表示されます。
  ※xxにはトラック番号の数字が入ります。

## 3 録音音質を選択する。

### ■ 高音質で録音する場合

① **高音質モード** をタッチする。

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

### ■ 標準で録音する場合

① **標準モード** をタッチする。

：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。
※高音質モードに比べて録音できる曲数が多くなります。

## 4 録音開始 をタッチする。

：アーティスト名／トラック名と録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面（☞ I-6）で選択した曲の１曲目から順に再生しながら録音します。

総演奏時間が確認できます。

本機への録音可能時間が確認できます。

録画中画面（例）

録音を止めたい場合は **録音中止** をタッチしてください。

アドバイス

- 録音中に **録音中止** をタッチすると録音を中止できます。
  ※録音を中止してもすでに本機に録音したトラックは本機に保存されます。
- 全曲の録音が完了すると、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音（REC）をしながら他のモードにすることができます。
  **現在地 をタッチ**：ナビゲーション画面を表示します。
  **AUDIO をタッチ**：**FM** ／ **AM** ／ **Music Rack** ／ **USB** ／ **iPod** ／ **SD** ／ **Digital TV** ／ **VTR** をタッチしてそれぞれのモードにすることができます。
  ※録音（REC）が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約３秒間表示されます。
- 本機への録音可能時間の情報を知ることができます。
  ☞「Music Rackの使用容量を確認する」I-10
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音（REC）を行なうと、設定は解除されます。

# Music Rackの機能／構成について

**本機には主に下記に示すようなMusic Rack機能があります。**

- 録音時にタイトル情報を自動付加（Gracenoteデータベース約30万タイトル収録済）
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどの選曲モード（☞L-7）の各ボタンに自動でふり分け
  ※ミュージックエスコートはMCDBデータベースを使い、曲調を自動的に判別してふりわける機能です。
  ※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- 設定により自動録音／手動録音の選択が可能

アドバイス

- 選曲モードの各モードへのふり分けは収録しているデータベースに合致した場合に行なわれ、自動ふり分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下の通りとなります。

| | |
|---|---|
| 録音可能曲数* | 約3,000曲 |
| 最大容量 | 12 GB |

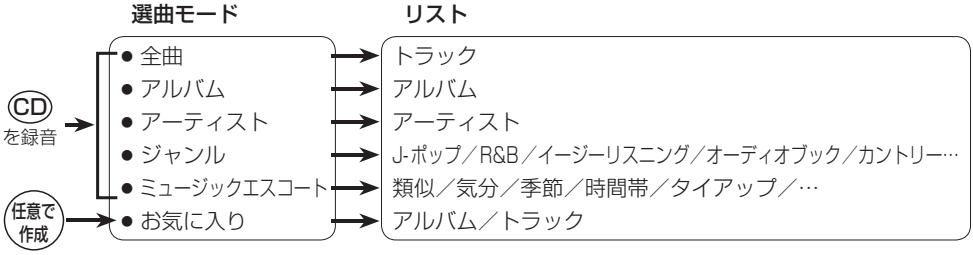
＊印･･･録音音質は高音質モードで１曲を４分で換算した場合
（録音音質を標準モードで１曲４分で換算した場合は約3500曲となります。）
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rackには４つのアルバムと４つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、１つのアルバムフォルダに200アルバム、１つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- Gracenoteデータベースにつきましては☞「データベースについて」T-14、「ローカルアップデート／カスタムアップデートをする」I-15を参照ください。

## Music Rackの構成について

**本機に録音された音楽CDは自動で４種類（アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート）の選曲モードの各ボタンにふり分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。**

※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。



# Music Rackへ録音時の注意点について

- 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。



- 本機のMusic Rackへの録音は音楽CDのみです。MP3／WMAファイル、DVD、ラジオ、テレビ、SDカード、USB機器などから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)または、オーディオをOFF状態にしても前回設定した自動／手動の選択(☞ I-4)、録音音質(☞ I-7)は保持されます。
- 車のエンジンスイッチを「Ⅰ(アクセサリー)」の状態で録音しているときに、「Ⅲ(始動)」にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失するおそれがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障するおそれがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2 秒間音楽や音声が停止することがあります。
  ・録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3 秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選択して録音を開始させてください。
  ☞「録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する」I-6
- 録音途中に録音を停止する場合は次曲を3 秒ほど再生してください。
  ※音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rackの録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rackの使用状況を確認するには☞「Music Rackの使用容量を確認する」I-10を参照ください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。
- 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音が終了したとき、最後に再生していたトラックの再生が終わるまで早送り／早戻し／再生モード(リピート、ランダム、スキャン)の変更はできません。
- 録音を行なうと、録音前に設定されていた再生モード(リピート、ランダム、スキャン)は解除されます。
- 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
  ・録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合　　・録音中にCDを取り出した場合
- 録音中はSDカードを使用できません。SDカードを使用する場合は、一度録音を中止してから操作を行なってください。

# I-10 Music Rackの使用容量を確認する

本機のMusic Rack内の使用状況を確認することができます。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

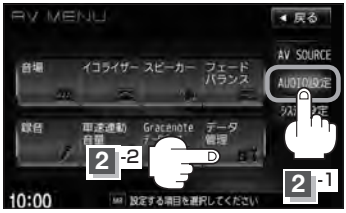
：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ データ管理 をタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)




アドバイス　AV MENU画面につきましては ☞ H-10を参照ください。

## 3 Music Rack情報 をタッチする。

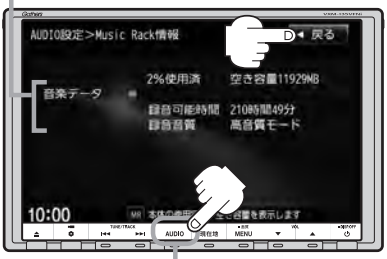
：本機のMusic Rackの使用状況が表示されます。

データ管理画面

## 4 使用状況を確認したら、戻る または AUDIO をタッチする。

：戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、AUDIO をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの使用情報　(例)




AUDIO ボタン

# 音楽データを修復する



本機に録音(REC)した音楽データが見当たらないなどのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ データ管理 をタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス　AV MENU画面につきましては ☞ H-10を参照ください。

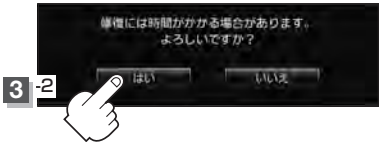
## 3 音楽データ修復 をタッチする。

：画面に表示されるメッセージを確認し、
はい をタッチすると修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するに従って長くなります。

※Music Rack／USB／SD機器再生中の場合、修復作業中再生は停止されます。

データ管理画面




## 4 設定を終えるには、戻る または AUDIO をタッチする。

：戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、AUDIO をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

# 音楽データを初期化する

本機のMusic Rackに録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ データ管理 をタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス　AV MENU画面につきましては ☞ H-10を参照ください。

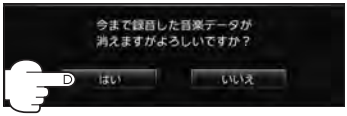
## 3 音楽データ初期化 をタッチする。

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい を画面に従って選択します。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。

※Music Rack／USB／SD機器再生中の場合、初期化中再生は停止されます。

データ管理画面




## 4 設定を終えるには、 戻る または AUDIO をタッチする。

：戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 AUDIO をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

### お願い

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。**

# ローカル／カスタムアップデートについて



**本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95 %のアルバム情報を取得成功できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・タイトル名などを付けることができるので、入力の手間をはぶくことができます。**

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。
　データベースにタイトル情報がない場合は誤ったタイトルを表示する場合があります。

※収録されているGracenoteデータベースは、2011年12月時点のデータです。
　**また、MCDBデータベースを利用することによりCD録音した曲のミュージックエスコート(曲調にあわせた再生リストへのふり分け)が可能となりました。**

## タイトル情報更新の流れについて

**本機に収録されているGracenoteデータベースはアップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)があります。**

### ■ ローカルアップデート(定期更新)の場合

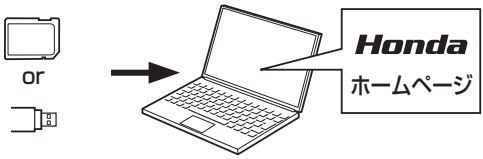
Hondaのホームページに年に数回、定期的にアップデートされるデータを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。

**1.** SDカードまたはUSB機器をパソコンに挿入する。

**2.** 指定のホームページにアクセスし、ユーザー登録する。

**3.** SDカードまたはUSB機器にダウンロードする。

**4.** ダウンロードしたSDカードまたはUSB機器を本機に挿入し、本機にダウンロードした情報を取り込む。その後アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。



### ■ カスタムアップデート(個別更新)の場合

本機のGracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報をGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。

**1.** SDカードまたはUSB機器を本機に挿入し、タイトル情報のなかったアルバム情報を書き出す。

**2.** アルバム情報が記憶されたSDカードまたはUSB機器をパソコンに挿入。

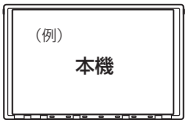
**3.** タイトル情報を追加するアプリケーションをインターネット(指定のホームページ)からパソコンにダウンロード。

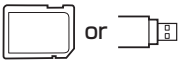
**4.** Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報を取得。

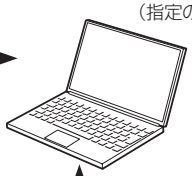
**5.** タイトル情報をSDカードまたはUSB機器に取り込む。

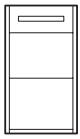
**6.** SDカードまたはUSB機器より取得した情報を本機に取り込む。

**7.** アルバム情報画面またはトラック情報画面でGracenoteデータベース再検索を行なってタイトル情報を更新する。





## ローカル／カスタムアップデートについて

アドバイス

- ローカルアップデート（定期更新）のデータ更新により本機のデータベースを最新の状態にすることができます。
- ローカルアップデート（定期更新）はローカルアップデート専用アプリケーションを使用してダウンロードしたデータをSDカード／USB機器に書き込むことができます。
- カスタムアップデート（個別更新）は間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
- カスタムアップデート（個別更新）はカスタムアップデート専用アプリケーションを使用して、本機から書き出したデータの検索ができます。
- Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカード8MB以上の空き容量、パソコン100 MB以上の空容量、インターネット接続環境（64 kbps以上推奨）、カードリーダライターなどインストールするにあたり動作環境を整えていただく必要があります。
- Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順（操作方法）につきましては指定ホームページにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。（注）
  ローカルアップデート（定期更新）専用アプリケーション、カスタムアップデート（個別更新）専用アプリケーションは指定のホームページから入手できます。

**（注）：指定のホームページ**

**VXM-135VFNiの場合**　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-135vfni/

**VXM-135VFNの場合**　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-135vfn/

※ユーザー登録やアップデートの操作方法などは上記ホームページよりご確認ください。

### MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者･作詞者等により作成･保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100 %保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡･コピー･転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。

※収録されているMCDBは、2011年12月時点のデータです。

# ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

Gracenoteデータベース検索を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。



## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ Gracenoteデータベース *をタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

＊印…走行中／録音中は選択できません。

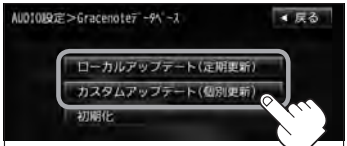
AV MENU画面(例)

アドバイス AV MENU画面につきましては ☞H-10を参照ください。

## 3 アップデートの方法 ( ローカルアップデート(定期更新) ／ カスタムアップデート(個別更新) )を選択する。

※Music Rack／SD／USB機器再生中はメッセージが表示されるので はい をタッチして再生を停止させる必要があります。

Gracenoteデータベース画面




### ■ ローカルアップデート(定期更新) をタッチした場合

アドバイス

**ローカルアップデート(定期更新)する前に…**

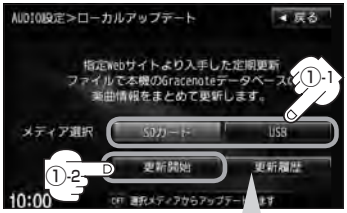
1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする
2. データベースファイルをパソコンにダウンロードする
3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角でNVDATAフォルダを作成する
4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをNVDATAフォルダに移動させ、SDカードまたはUSB機器に取り込む
5. SDカードまたはUSB機器を本機に挿入／接続する

※ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行ないます。

## ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

### ① メディア( SDカード ／ USB )を選択し、 更新開始 をタッチする。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。

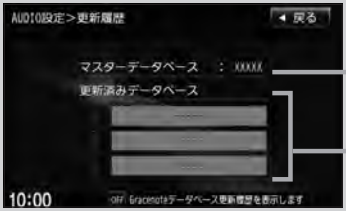



⚠注意

**更新中は他の操作(モード切替／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。**
**他の操作をすると故障の原因となります。**

更新履歴 をタッチすると、SDカードまたはUSB機器からアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面

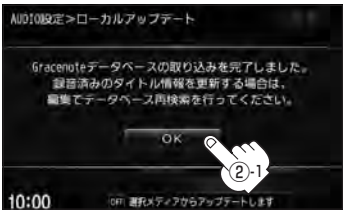


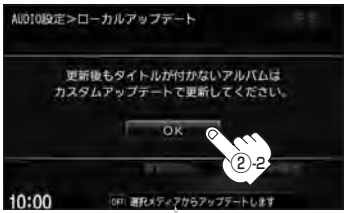

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

アドバイス

最新のアップデートファイルを更新しても、全てのデータベースが更新されるわけではありません。アップデートを行なった期間のアップデートファイルを全てダウンロードし、アップデートを行なってください。

### ② 取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、 OK を画面に従ってタッチする。



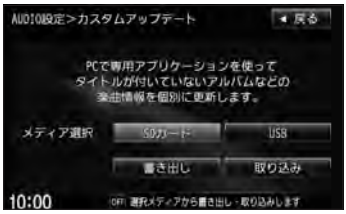




本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で データベース再検索 をタッチしてタイトル情報を更新してください。
※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。
☞ L-14手順 1 ～ 3 で アルバム編集 をタッチ、またはL-23手順 1 、 2 で トラック編集 をタッチし、L-18、L-25「■ データベースから再検索する場合 」参照

■ カスタムアップデート(個別更新) をタッチした場合

※SDカード／USB機器を本機に挿入／接続(準備)しておく必要があります。

「SDカードを入れる／取り出す」H-7
「USB機器を本機に接続する」M-5




## データの書き出しをする

新規アルバム表示または、間違ったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ 新規アルバム(No title表示)のとき

※新規タイトルxxと表示されるアルバムは、自動でアルバム情報の保存を行ないます。

1. I-18の手順①へ進んでください。

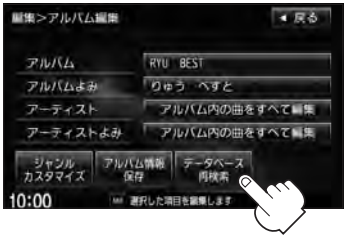
□ 間違ったタイトルを表示(ミスヒット)しているとき

■ データベースに複数のタイトル情報がある場合

1. Music Rackモードでデータベース再検索をする。

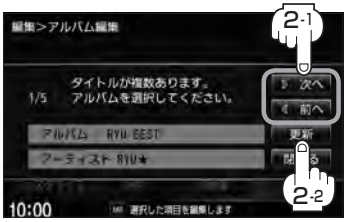
L-14手順 1 ～ 3 で アルバム編集 をタッチ
または、L-23手順 1 、 2 で
トラック編集 をタッチし、
「■ データベースから再検索する場合」L-18、L-25を参照し データベース再検索 をタッチする。

アルバム編集画面の場合




2. 表示させたいアルバム名を
次へ ／ 前へ をタッチして検索し、
希望のアルバム名が見つかった場合は
更新 をタッチする。

：タイトル情報が更新されます。




3. I-19の手順 4 へ進んでください。

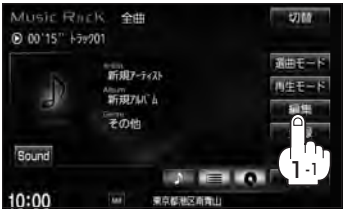
※手順2のとき希望のアルバム名がなかった場合は
「■データベースにタイトル情報がない場合」I-18へ進んでください。

■ データベースにタイトル情報がない場合

※Music Rack再生中は、
再生を停止する必要があります。

1.Music Rackモードで 編集 ➡ 曲管理 をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。



2.間違った情報のアルバムをタッチし、
アルバム編集 をタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

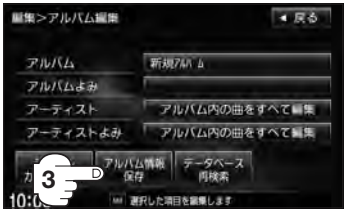
曲管理画面

3. アルバム情報保存 をタッチする。

：間違ったアルバム情報を一旦本機に保存します。

4.I-15の手順 1 、 2 に従って操作し、
手順 3 のとき カスタムアップデート(個別更新)
をタッチする。

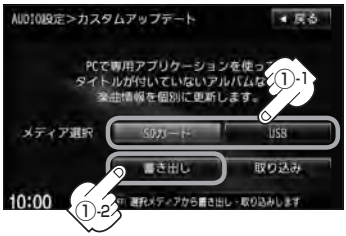
アルバム編集画面




5. 下記手順①へ進んでください。

① SDカード ／ USB ➡ 書き出し をタッチする。

：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとSDカード／USB機器にタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。




②書き出し完了を知らせるメッセージが表示されるので、内容を確認し、 OK をタッチする。

③本機よりSDカード／USB機器を取り、パソコンに挿入／接続する。

④パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

⑤取得した情報をSDカード／USB機器に取り込む。

⑥SDカード／USB機器をパソコンより外し、本機に挿入／接続する。

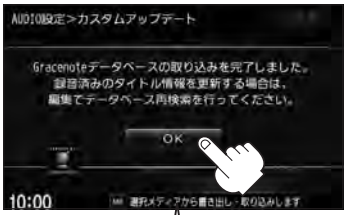
## データの取り込みをする

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑦へ進んでください。
表示していない場合はI-15の手順 1 、 2 に従って操作し、
手順 3 のとき カスタムアップデート(個別更新) をタッチする。

**⑦ SDカード ／ USB ➡ 取り込み をタッチする。**

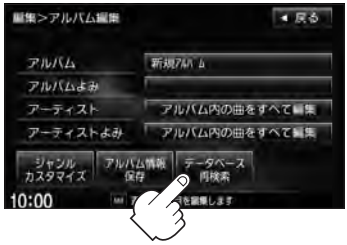
：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとSDカード／USB機器より取得した情報を本機に取り込みます。

**⑧取り込み完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、 OK をタッチする。**




本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で データベース再検索 をタッチしてタイトル情報を更新してください。
※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。
☞ L-14手順 1 ～ 3 で アルバム編集 をタッチまたは、
L-23手順 1 、 2 で トラック編集 をタッチし、
L-18、L-25の「■ データベースから再検索する場合 」参照

アルバム編集画面の場合




アドバイス
☞「タイトル情報更新の流れについて」I-13もご参照ください。

## 4 設定を終えるには、 戻る または AUDIO をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 AUDIO をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

# Gracenoteデータベースのデータを初期化する

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

## 1 オーディオ画面で MENU をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 AUDIO設定 ➡ Gracenoteデータベース *をタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

＊印…走行中／録音中は選択できません。

アドバイス　AV MENU画面につきましては ☞ H-10を参照ください。

AV MENU画面(例)

## 3 初期化 をタッチする。

※Music Rack／SD／USB機器再生中はメッセージが表示されるので はい をタッチして再生を停止させる必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、 はい を画面に従ってタッチするとデータを消去し、Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行なってください。

Gracenoteデータベース画面

## 4 設定を終えるには、 戻る または AUDIO をタッチする。

： 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 AUDIO をタッチすると現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

### お願い

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート(定期更新)／カスタムアップデート(個別更新))は消去され、二度と復帰しません。**

# J

# FM／AMを聞く




各部の名称とはたらき …… J-2
表示部について …… J-3
FM／AM放送を切り替える …… J-4
選局する …… J-4
プリセット(メモリー)する …… J-8
交通情報を受信する …… J-10
道路交通情報を聞く …… J-10
道路交通情報の受信を止める …… J-11

# 各部の名称とはたらき

FMモード TOP画面(例)(P1／P2ボタン選択時)

FMモード TOP画面(例)(エリアボタン選択時)

① **Sound ボタン**
イコライザー画面を表示します。☞ H-27

② **プリセット ボタン(1～6)**
1.5 秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
☞ J-8(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

③ **P1 ／ P2 ボタン**
ユーザープリセットした放送局を表示します。
☞ J-5

④ **エリア ボタン**
現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** (1～12)に表示します。☞ J-6

⑤ **切替 ボタン**
時計のみ表示させてラジオを聞くことができます。
☞ H-18

⑥ **交通情報 ボタン**
道路交通情報を受信します。☞ J-10

⑦ **FM／AM ボタン**
FM／AM放送を切り替えます。☞ J-4

⑧ **A.SEL ボタン**
1秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯)☞ J-7
※セレクトされた放送局はボタンに表示されます。短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット／エリア画面の切り替えとなります。☞ J-5

⑨ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

⑩ **エリア更新 ボタン**
**エリア** タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。☞ J-6

⑪ **エリア表示 ボタン(1～12)**
**エリア** タッチでエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。☞ J-6
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

アドバイス 放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

## 表示部について

### ①FM／AM表示

選択中のバンド(FM放送／AM放送)を表示します。

☞ J-4

### ②周波数表示

### ③放送局名表示

### ④音場表示

選択中の音場を表示します。

☞ H-24

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

☞ H-27

### ⑤ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

☞ J-4

# FM／AM放送を切り替える

**1** **FM／AM をタッチする。**

：タッチするたびにAM放送⟷FM放送を切り替えます。

FM ⟷ FM が切り替わる

FM放送の場合(例)

# 選局する

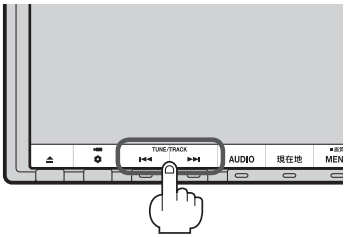
**手動選局／自動選局／プリセット選局／エリア／オートセレクト選局があります。**

**1** **選局する。**

## ■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① **⏮／⏭(選局)をタッチする。**

：ボタンをタッチするたびに、FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わります。




**1** ⏮／⏭ボタン(選局)

## ■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① **⏮／⏭(選局)を1 秒以上タッチする。**

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に⏮／⏭(選局)をタッチすると、自動選局は止まります。

アドバイス

- 自動選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると STEREO が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

## ■ P1／P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合

**プリセット**(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。
※あらかじめ **プリセット**(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。
☞「プリセット(メモリー)する」J-8

① **P1** または **P2** をタッチする。

：選択中モード(FM／AM)のプリセット表示となります。

② 呼び出したい **プリセット**(1～6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

FMモード TOP画面(例)

**プリセット** ボタン
(1～6)



アドバイス
FM／AMモード TOP画面は選択する **P1**／**P2**、**A.SEL**、**エリア** によってプリセット表示またはエリア表示となります。

FMモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面(**P1**／**P2** 選択時)

**エリア**
タッチすると

**P1**／**P2**
タッチすると

FMモード TOP画面(例)
エリア表示画面(**エリア** 選択時)

**A.SEL**
タッチして表示灯を点灯すると

**A.SEL**
タッチして表示灯を点灯すると

FMモード TOP画面(例)
オートセレクト画面(**A.SEL** 選択時)

**A.SEL**
タッチして表示灯を消灯すると

**A.SEL**
タッチして表示灯を消灯すると

## ■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

**現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。**

① **エリア** をタッチする。

② **エリア表示** (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

FMモード TOP画面(例)

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12)に表示されます。

**エリア表示** ボタン(1～12)
※地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。

：選択したラジオ放送を受信します。

アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- TOP画面は選択するボタン( **エリア** または **P1** ／ **P2** ／ **A.SEL** )によってエリア表示またはプリセット表示となります。J-5アドバイス参照

## ■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

**オートセレクト(自動でFM／AM各12局までメモリー)した放送局を プリセット (1～12)に表示し、呼び出すことができます。**

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」J-9

① **A.SEL をタッチする。**

FMモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時(＊)

：オートセレクトでメモリーした放送局を プリセット に表示します。

② **プリセット (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。**

プリセット ボタン
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。

：選択したラジオ放送を受信します。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

### □ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すとき

① **A.SEL をタッチする。**

オートセレクト画面

表示灯

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ A.SEL をタッチするたびにオートセレクト⟷ユーザープリセット／エリア画面と切り替わります。

アドバイス

- A.SEL を1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。J-9
- 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。

＊印…FMモードのTOP画面は選択するボタン( エリア または P1 または P2 、 A.SEL )によって異なります。J-5アドバイス参照

# J-8 プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)とオートセレクトプリセット(自動メモリー)があります。

## 1 プリセットを選ぶ。

「FM／AM放送を切り替える」J-4、
「■ P1／P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」J-5

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

## 2 プリセットする方法を選択する。(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)

### ■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、 プリセット (1～6)にメモリーします。

① ⏮／⏭(選局)をタッチして、メモリーしたい局を選ぶ。

「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合／
■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」
J-4

② プリセット (1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

ユーザープリセット画面(例)

⏮／⏭ ボタン(選局)

プリセット ボタン(1～6)

アドバイス

- ユーザープリセットには、FM・AMの各モードで6局ずつ、 P1 ／ P2 に計24局メモリーすることができます。
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、 P1 または P2 をタッチし、呼び出したい プリセット (1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
  「■ P1／P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」J-5

## ■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で プリセット にメモリーします。

① A.SEL を 1 秒以上タッチする。

ユーザープリセット画面(例)

: A.SEL の表示灯点灯し、受信した放送局を プリセット にメモリー(表示)します。

ユーザープリセット画面(例)

プリセット ボタン

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

アドバイス

- オートセレクトには、FM・AMの各モードで12局ずつ、計24局メモリーすることができます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい プリセット を軽く(1 秒未満)タッチします。
  「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」J-7
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、 A.SEL をタッチし、表示灯を消灯させてください。

# 交通情報を受信する

## 道路交通情報を聞く

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

**1** 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

FMモードTOP画面(例)

交通情報画面(例)

※初期状態は1620 kHzに設定されています。

アドバイス

交通情報画面はAV MENU画面からも表示させることができます。

1. AUDIO をタッチする。

：AV MENU画面が表示されます。

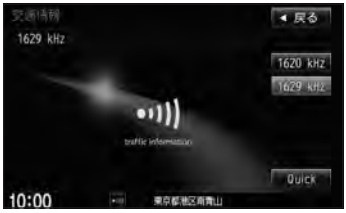
2. 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示されます。

AUDIO ボタン

### ■ 周波数の設定を変える場合

① 1629kHz をタッチする。




：1629 kHzの交通情報を受信します。

※ 1620 kHzに戻したい場合は 1620kHz をタッチしてください。

## 道路交通情報の受信を止める

■ 戻る をタッチした場合

：最後に選択していたモードが表示され、交通情報の受信を終了します。

■ ⏻ をタッチした場合

：画面に“OFF”と表示されAV電源が切れます。



アドバイス

次回 交通情報 をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

# K

# CD／MP3／WMAを聞く



MP3／WMAファイルについて……K-2
各部の名称とはたらき……K-8
表示部（再生画面）について……K-9
未録音CDを挿入すると・・・……K-10
好きなフォルダを選ぶ……K-10
トラックリストより好きなトラックを選ぶ…K-11

# K-2 MP3／WMAファイルについて

● **MP3とは？**

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

・MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

● **WMAとは？**

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

**DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。**
**Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。**

● **トラック名／アーティスト名／アルバム名表示について**

曲のタイトル、アーティスト名などをID3タグ(MP3用)やWMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って保存、表示させることができます。

● **CD-R／CD-RWについて**

・CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

・一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

● **MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。**

● **マルチセッションについて**

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

アドバイス

● ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
● ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
● 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
● MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

● MP3／WMAの音楽ファイルはMP3／WMA／SD／USBモードで再生することができます。
（下記☆印参照）

● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 使用可能なメディア☆ | CD-R、CD-RW<br>DVD±R、DVD±RW | SDカード、<br>SDHCカード | USBフラッシュメモリ |
| 再生モード☆ | MP3/WMAモード | SDモード | USBモード |
| 再生可能なMP3/WMAファイルの規格 | ・MP3･･･MPEG Audio Layer 3<br>・WMA･･･Windows Media Audio<br>※m3u ／ MP3i フォーマット／ MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。<br>※WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。<br>※2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。 | | |
| 再生可能なMP3/WMAファイルの拡張子 | MP3、mp3、WMA、wma（大文字、小文字どちらでも使用可能） | | |
| 使用できるメディアフォーマット | 拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2<br>※パケットライトには対応していません。 | FAT16／FAT32 | |
| 最大フォルダ名／ファイル名文字数 | 全角32／半角32文字 | 全角32／半角64文字 | |
| フォルダ名／ファイル名使用可能文字 | A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角) | | |
| 最大フォルダ階層 | 8階層 | | |
| 1フォルダ内の最大ファイル数 | 255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む) | | |
| 1メディア内の最大ファイル数 | 999 | 10,000 | |
| 最大フォルダ数 | 255 | 400 | |
| 表示可能なID3タグ／WMAタグ | トラック名／アーティスト名／アルバム名 | トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名 | |
| ID3タグ表示可能文字数 | Ver 1.0/1.1：全角15/半角30文字<br>Ver 2.2/2.3：全角32/半角64文字 | | |
| | ※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。 | | |
| WMAタグ表示可能文字数 | 全角32/半角32文字 | 全角32/半角64文字 | |
| ID3タグ／WMAタグ推奨文字コード | シフトJIS | | |
| ジャケット写真 | 非対応 | 対応* | |

※著作権保護されたWMAは再生できません。
＊印･･･MP3／WMAファイルのジャケット写真表示につきましては、☞ 0-4 ＊印を参照してください。

# MP3／WMAファイルについて

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

## MP3

| | MPEG1 | MPEG2 |
|---|---|---|
| サンプリング周波数(kHz) | | |
| 16.000 | − | ○ |
| 22.050 | − | ○ |
| 24.000 | − | ○ |
| 32.000 | ○ | − |
| 44.100 | ○ | − |
| 48.000 | ○ | − |
| ビットレート(kbps) | | |
| 8 | − | ○ |
| 16 | − | ○ |
| 24 | − | ○ |
| 32 | ○ | ○ |
| 40 | ○ | ○ |
| 48 | ○ | ○ |
| 56 | ○ | ○ |
| 64 | ○ | ○ |
| 80 | ○ | ○ |
| 96 | ○ | ○ |
| 112 | ○ | ○ |
| 128 | ○ | ○ |
| 144 | − | ○ |
| 160 | ○ | ○ |
| 192 | ○ | − |
| 224 | ○ | − |
| 256 | ○ | − |
| 320 | ○ | − |
| VBR | ○ | ○ |

※VBR：可変ビットレート

## WMA

| | WMA7 | WMA9 standard |
|---|---|---|
| サンプリング周波数(kHz) | | |
| 32.000 | ○ | ○ |
| 44.100 | ○ | ○ |
| 48.000 | − | ○ |
| ビットレート(kbps) | | |
| 48 | ○ | ○ |
| 64 | ○ | ○ |
| 80 | ○ | ○ |
| 96 | ○ | ○ |
| 128 | ○ | ○ |
| 160 | ○ | ○ |
| 192 | ○ | ○ |
| 256 | − | ○ |
| 320 | − | ○ |
| VBR | − | ○ |

※VBR：可変ビットレート

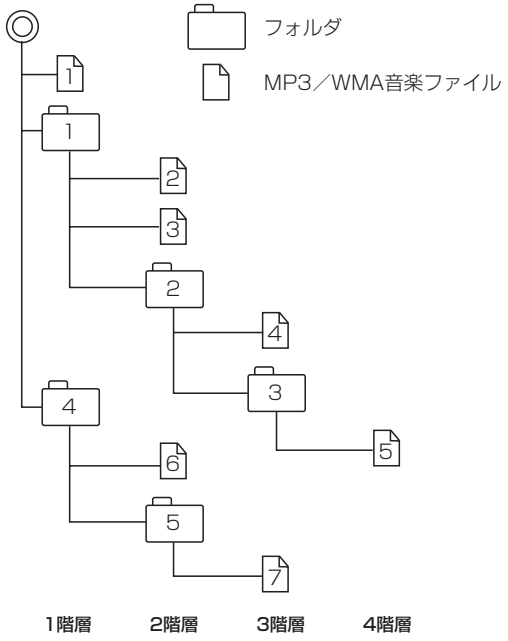
- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64 kbps以下のビットレートで記録されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

# MP3／WMAファイルについて

● 階層と再生順序について




〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● MP3／WMAファイルの作り方について

**MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。**

**・インターネットの配信サイトより入手する場合**

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

**・音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合**

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

**・CD-R／CD-RWに書き込む場合**

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

# 各部の名称とはたらき

CDモードTOP画面(詳細表示時(例))

MP3モードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー画面を表示します。☞ H-27

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。☞ K-9

③ **☰ ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。☞ K-11

④ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
☞ H-18

⑤ **●録音 ボタン**
録音開始画面を表示します。☞ I-6

⑥ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
☞ H-14

⑦ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

⑧ **フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ ボタン**
前または次のフォルダを選択します。
☞ K-10

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

アドバイス

- 録音(REC)中は画面に **録音中止** が表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

## 表示部(再生画面)について

CDモードTOP画面
詳細表示時(例)

MP3モードTOP画面
詳細表示時(例)

**①再生状態表示**

▶:通常再生　▶▶:早送り　◀◀:早戻し

**②再生時間表示**

**③アーティスト名表示/アルバム名表示/ジャンル名表示**(＊1)
**アーティスト名表示/アルバム名表示/フォルダ名表示**(＊2)

＊1印…CDモードの場合
＊2印…MP3/WMAモードの場合

**④トラック名表示**(＊3)

**⑤音場表示**

選択中の音場を表示します。☞H-24
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
☞H-27

**⑥リピート/ランダム/スキャン再生時に表示**

表示内容につきましてはH-14を参照ください。

**⑦再生モード表示**

MP3…MP3モード/ WMA…WMAモード

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

アドバイス

- アーティスト名/トラック名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(＊1)
  (本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- ファイル名/フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。(＊2)
  ※ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下の様になります。
  - ・DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名/トラック名/アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
  - ・CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのアーティスト名/トラック名/アルバム名/ジャンル名が表示されます。
  - ・DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名/アーティスト名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
  - ・本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
  - ・CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。
    ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- アーティスト名/トラック名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。
  ＊3印…トラック名がない場合は、ファイル名を表示します。(MP3/WMAの場合)

# K-10 未録音CDを挿入すると・・・

※CDモードの場合

**本機に1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ全曲の録音を開始します。**「(未録音CDについて)」I-5
※録音方法が自動録音に設定されている場合です。

録音を停止したい場合は、
録音中止 をタッチしてください。

アドバイス

- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。
  「アルバムリストの編集(曲管理)」L-14

※Music Rackにつきましては「Music Rackの機能／構成について」I-8／「各部の名称とはたらき」L-2を参照ください。
※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。

- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF➡ONにした場合は再度録音が開始されます。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。I-4
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。「CDを録音する」I-6

# 好きなフォルダを選ぶ

※MP3／WMAモードの場合

**ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。**

**1** フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ をタッチする。

# トラックリストより好きなトラックを選ぶ

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

## 1 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

CDモード TOP画面(詳細表示(例))

アドバイス

TOP画面は選択する ♪ ／ によって詳細表示／トラックリスト(ファイル)表示となります。

CDモード TOP画面(例)

詳細表示

タッチ

タッチ

CDモード TOP画面(例)

トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

## 2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス

- ⏮／⏭ をタッチしてトラックを選択することもできます。☞ H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、つづきを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。
- CDモード時のトラックリストについて
  ・CD-TEXT情報またはGracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
  ・タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
  ・TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)

# L

# Music Rackを使う




**各部の名称とはたらき……L-2**
表示部(再生画面)について……L-3
**リスト表示より好きなトラックまたは**
**アルバムを選ぶ……L-4**
**選曲モードより選ぶ……L-6**
**アルバムリストの編集(曲管理)……L-14**
アルバム編集をする……L-14
再生選択をする……L-19
お気に入り登録をする……L-20
ジャケット写真を登録する……L-21
削除する……L-22
**トラックリストの編集(曲管理)……L-23**
トラック編集をする……L-23
再生選択をする……L-26
お気に入り登録をする……L-27
削除する……L-27
**お気に入りを管理する……L-28**
**再生中の曲をお気に入り登録する……L-30**
**再生中の曲のジャンルとミュージック**
**エスコートを設定する……L-32**

# 各部の名称とはたらき

Music Rack モードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー設定画面を表示します。☞ H-27

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。☞ L-5

③ **ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
☞ L-4

④ **ボタン(アルバムリスト)**
アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。
☞ L-4

⑤ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
☞ H-18

⑥ **選曲モード ボタン**＊1
6種類の選曲モード(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。☞ L-7

⑦ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
☞ H-14

⑧ **編集 ボタン**＊2
アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変えたり)、ジャンルの変更、ジャケット写真の登録、再生選択やお気に入り管理などをすることができます。
☞ L-14、L-23

⑨ **登録 ボタン**＊2
再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル／ミュージックエスコートに変更することができます。
☞ L-30

⑩ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

アドバイス
＊1印…走行中は操作できる機能が制限されます。
＊2印…走行中は操作できません。

## 表示部(再生画面)について

### ①再生状態表示

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

### ②再生時間表示

### ③トラック名表示

### ④選択中の選曲モードの内容を表示

※どの選曲モードを選んでもアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合、表示される選曲モードは“全曲”表示となります。

☞選曲モードL-7

### ⑤アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示

### ⑥音場表示

選択中の音場を表示します。☞H-24

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき EQ マークが表示されます。

☞H-27

### ⑦リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容につきましては☞H-14を参照ください。

### ⑧ジャケット写真表示

ジャケット写真が登録されている場合に表示されます。

☞L-21

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ・英数対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名／トラック名／アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“新規アーティスト”／“トラック××”／“新規アルバム△△△△　△△△”と表示されます。
  ※××にはトラック番号、△には録音した西暦・月・日の数字が入ります。
- 実際と異なるトラック名／アルバム名表示のまま録音した場合は、異なった情報のまま本機に録音されます。
- ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

# L-4 リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選ぶ

**選曲モード(☞ L-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。**

---

## 1 ☰ または ◉ をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)

### ■ ☰ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。

> アドバイス
> 選曲モード(☞ L-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックリスト表示となります。

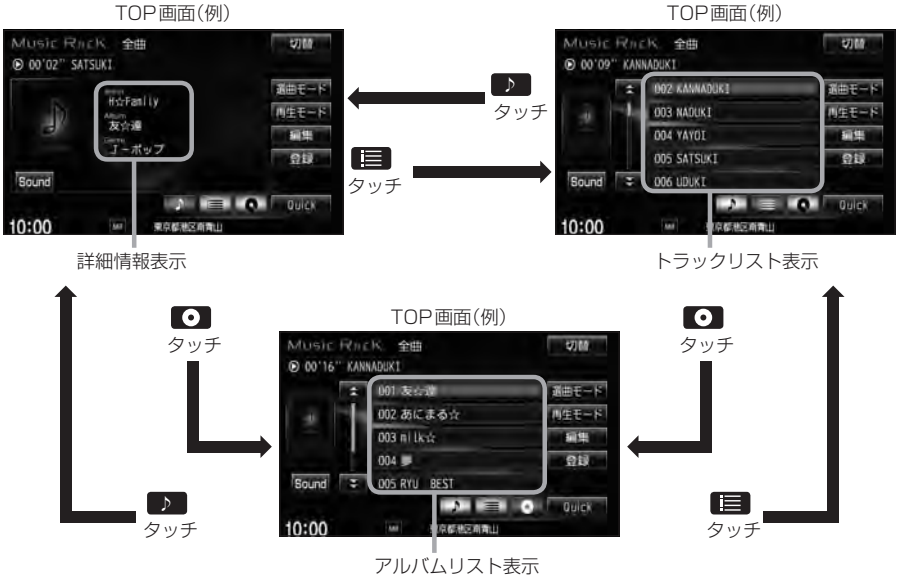
### ■ ◉ をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

> アドバイス
> 選曲モード(☞ L-7)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。
> ※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバム表示となります。
> ※選曲モードでジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

アドバイス

TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ ／ ◉ によって詳細情報表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。




- 選曲モード(☞ L-7)で"アーティスト"を選択すると、選んだアーティストのトラックリスト／アルバムリスト表示となります。
- 選曲モード(☞ L-7)で ジャンル ／ ミュージックエスコート ／ お気に入り (お気に入りトラック)を選択した場合は、 ◉ は選択できません。

## 2 再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ／ ⏭ をタッチしてトラックを選択することもできます。☞ H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

# L-6 選曲モードより選ぶ

**本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲モードの各ボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)に自動でふり分けます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。**

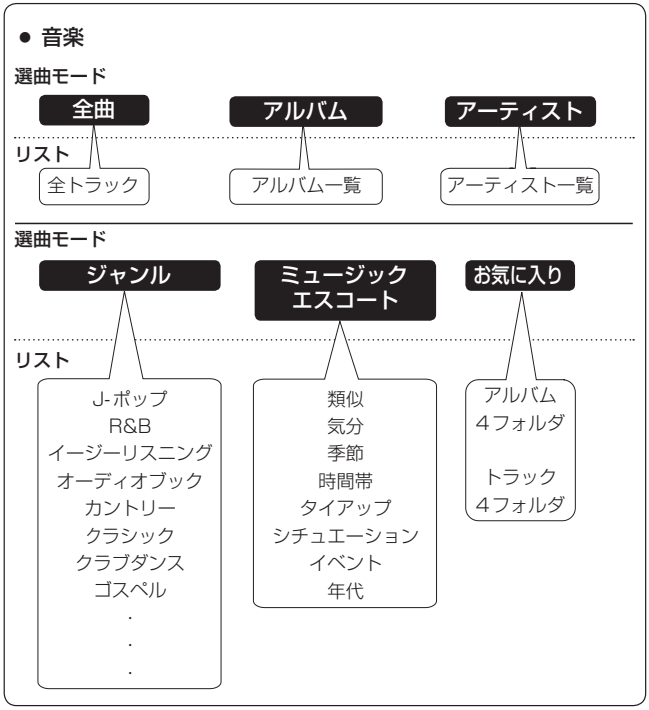
※録音された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。録音につきましては☞ I-6、Gracenoteデータベースの更新につきましては☞ I-13をお読みください。

**本機のお好みの曲だけを集めた“お気に入り”ボタンもあります。**

※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。
☞「再生中の曲をお気に入り登録する」L-30

---

Music Rack モード　イメージ図




※アルバムや曲の削除／再生選択を行なうと、トラック情報画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

## 1 選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

Music Rack モード TOP画面
（詳細表示時（例））

## 2 選曲モードより選曲する方法（ 全曲 ／ アルバム ／ アーティスト ／ ジャンル ／ ミュージックエスコート ／ お気に入り ）を選択する。

※走行中は、 全曲 ボタン以外は操作できません。

選曲モード画面

選曲モード

アドバイス

**リストの操作について**

**走行中の場合**

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

**停車中の場合**

- 停車中は選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点で、アルバムの最初から再生が始まります。

※録音した曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
※選曲モードを選択する前に 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

## ■ 全曲 をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

## ■ アルバム をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

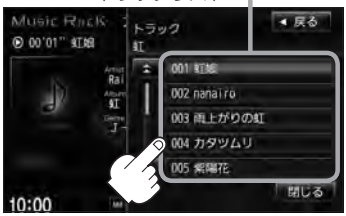
**① 再生させたいアルバムをタッチする。**

アルバムリスト
名前順表示の場合（例）

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

**② 再生させたいトラックをタッチする。**

トラックリスト




：選択した曲を再生します。

アドバイス

アルバムリスト表示（①）のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

登録順表示の場合（例）

**1. 登録順 をタッチする。**

：本機に登録（録音）した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は 名前順 をタッチしてください。アルバム名のよみ（“アルバムよみ”）が入っていないと正しく名前順に表示されません。アルバム名のよみが入っているものをリストより名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。（アルバムの編集は☞ L–14参照）

※初期状態は名前順表示となっています。（登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。）

## ■ アーティスト をタッチした場合

：アーティストリストが表示されます。

### ① 再生させたいアーティストをタッチする。

名前順表示の場合（例）

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

### ② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

### ③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

アドバイス

- アーティストリスト／アルバムリストには、タイトル名がある（Gracenoteデータベースにヒットした）場合にリストに表示されます。
- アーティストリスト（手順①）／アルバムリスト（手順②）表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

**1. 登録順 をタッチする。**

：本機に登録（録音）した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は 名前順 をタッチしてください。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ（“アーティストよみ”の項目を選択し編集画面にしたとき）に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。（☞アルバム／アーティストの編集はL-14参照）

登録順表示の場合（例）

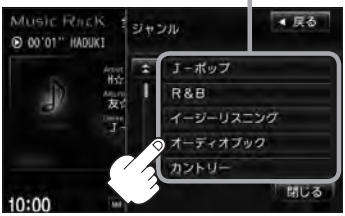
※初期状態は名前順表示となっています。（登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。）

## ■ ジャンル をタッチした場合

：ジャンルリストが表示されます。

### ① 再生させたいジャンルをタッチする。

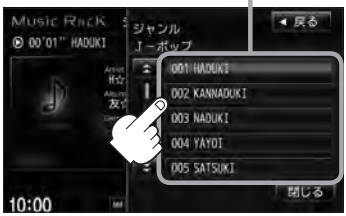
ジャンルリスト




：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

### ② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト




：選択した曲を再生します。

アドバイス

**＊ジャンル一覧**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ・J-ポップ | ・クラブダンス | ・パンク | ・ポップ | ・演歌 |
| ・R&B | ・ゴスペル | ・ヒップホップ | ・メタル | ・子供向け |
| ・イージーリスニング | ・サウンドトラック | ・フォーク | ・ラテン | ・その他 |
| ・オーディオブック | ・ジャズ | ・フュージョン | ・レゲエ | |
| ・カントリー | ・テクノ | ・ブルース | ・ロック | |
| ・クラシック | ・ニューエイジ | ・ホリデー | ・ワールドミュージック | |

- トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした（タイトル情報がある）場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」L-32

■ ミュージックエスコート をタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

① 再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類／小分類につきましては☞（アドバイス内表)L-12を参照ください。

：選択した小分類のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。
☞下記参照

□ 再選曲するとき

選択時点灯

1. 再生画面で 再生モード をタッチする。

2. 再選曲 をタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が再選曲しなおし、曲を再生します。

初期状態は“自動選曲”に設定されています。
自動選曲が選択されていると、選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。

アドバイス

- ミュージックエスコートの各分類は以下の通りとなります。

| 大分類 | 小分類 |
|---|---|
| 類似 | 類似曲／世代／グループ／地域 |
| 気分 | ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール |
| 季節 | 春／夏／秋／冬 |
| 時間帯 | 早朝／朝／昼／夜／深夜 |
| タイアップ | CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌 |
| シチュエーション | 海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪 |
| イベント | クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚 |
| 年代 | 1960年代／1970年代／1980年代／1990年代／2000年代／2010年代 |

- ミュージックエスコートにはMCDB(CD収録属性)を利用した主観的楽曲(テンポ・シチュエーション・季節など)が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分にあわせた選曲が可能です。
- 選曲モードがミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。☞ H-17
- トラックリストはGracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択するごとに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
  - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
  - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
  - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ(ソロ／デュエット／グループ)の曲
  - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
  - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲

  を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
  ☞「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」L-32

## ■ お気に入り をタッチした場合

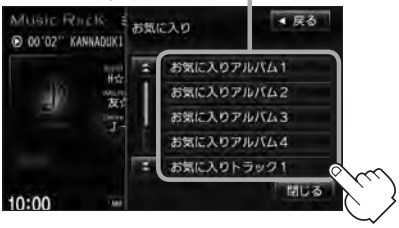
：お気に入りリストが表示されます。

**① 再生させたいお気に入りアルバム1～4またはお気に入りトラック1～4をタッチする。**

アドバイス

お気に入り登録をしていないと、手順1.(☞ L-13)以降の操作はできません。
☞「再生中の曲をお気に入り登録する」L-30

お気に入りリスト



□ お気に入りアルバム１ をタッチしたとき

：お気に入りアルバム１に収録されている
アルバムリストを表示します。

**1. 再生したいアルバムをタッチする。**

お気に入りアルバム１の
アルバムリスト画面

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

**2. 再生したいトラックをタッチする。**

お気に入りアルバム１の
トラックリスト画面

：選択した曲を再生します。

□ お気に入りトラック１ をタッチしたとき

：お気に入りトラック１に収録されている
トラックリストが表示されます。

**1. 再生させたいトラックをタッチする。**

お気に入りトラック１の
トラックリスト画面

：選択した曲を再生します。



## 3 設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

アドバイス

ジャンルリスト(☞ L-10)、ミュージックエスコートリスト(☞ L-11)、お気に入りリスト(☞ L-12)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。

# アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などをすることができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索などもすることができます。

## アルバム編集をする

**1** **編集** をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

**2** 編集メニューより **曲管理** をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。メッセージが表示されるので、 **はい** をタッチして再生を停止してください。

**お気に入り管理** ボタン
お気に入りフォルダ名の変更や削除などをすることができます。
☞ L-28

**現在のアルバム** ボタン
アルバム編集画面を表示します。
☞ L-15

**現在の曲** ボタン
トラック編集画面を表示します。
☞ L-23

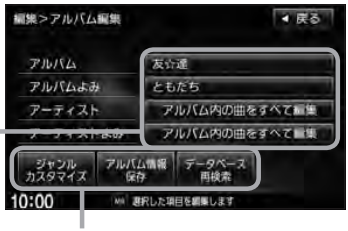
**3** 編集したいアルバムを選択し、**アルバム編集** をタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

※曲管理画面のその他の項目につきましては
☞ トラック表示…L-23
再生選択…L-19
お気に入り登録…L-20
ジャケット写真…L-21
削除…L-22
を参照ください。

**アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。**

アルバム編集画面(例)




タイトル名の編集をする場合は
☞下記参照

お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
☞L-17、18参照ください。

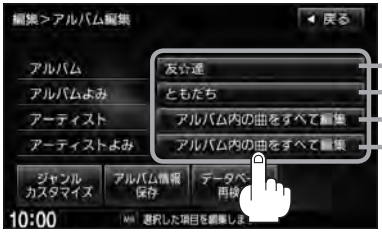
## ■ タイトルの編集をする場合

**※アルバム名/アーティスト名や、アルバム名/アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。**

### ① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

アルバム編集画面(例)




アルバム名
アルバム名の読みがな(読みかた)
アーティスト名
アーティスト名の読みがな(読みかた)

アドバイス

- アーティスト名( アルバム内の曲をすべて編集 )は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
  **※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。**
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面(☞L-8)/アーティストリスト画面(☞L-9)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名/アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面(☞L-23)から確認することができます。
  ※再生画面(TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は データベース再検索 をタッチしてください。

## ② 入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

### □ ひらがなとカタカナを入力するとき

**例** 「わワ」と入力する場合

**1** わ をタッチする。
：画面上部に、「わ」が表れます。

タイトル編集画面

**3** ワ を選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」が表れる。)

1文字分のスペースを空けます。

← → をタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

50音パレット

**2** カナ をタッチする。
：50音パレットがカタカナに変わります。
※タッチするたびに
カナ → 英数 → かな → カナ
と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

**入力した文字を訂正する場合**
① 訂正 をタッチする。
：1文字消去します。
※全ての文字を訂正する場合は、
訂正 を1.5秒以上タッチします。
②正しい文字を入力する。

**小文字に変換したい場合**
小文字 をタッチする。
：50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。
※タッチするたびに 小文字 ↔ 大文字 と切り替わります。用途にあわせて切り替えてください。

### □ 漢字を入力するとき

**例** 「桜」を入力する場合

**1** さ く ら をタッチする。
：画面上部に「さくら」と表示されます。

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に ← → を選択します。

**2** 変換 をタッチする。
：さくらに該当するリストが表示されます。

**3** 桜 をタッチする。
：画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に 閉じる をタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

※ 無変換 をタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。

※ 戻る をタッチすると入力した文字は確定されません。

## ③ 入力を終えたら 決定 をタッチする。

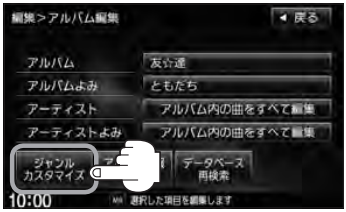
：変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。

## ■ ジャンルを変更する場合

※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① ジャンルカスタマイズ をタッチする。

アルバム編集画面

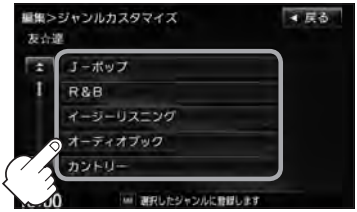



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② お好きなジャンルボタンをタッチする。

※ジャンルの種類につきましては L-10のアドバイスを参照ください。

ジャンルカスタマイズ画面



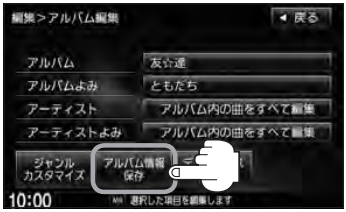

：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

## ■ アルバム情報を保存する場合

※本機に収録されていないタイトル情報を本機のGracenoteデータベースフォルダに保存します。

① アルバム情報保存 をタッチする。

アルバム編集画面




：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。

アドバイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

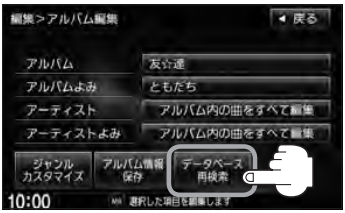
**カスタムアップデート(個別更新)**

1. Gracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(I-18①～⑥)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。I-19⑦)

## ■ データベースから再検索する場合

① データベース再検索 をタッチする。

アルバム編集画面



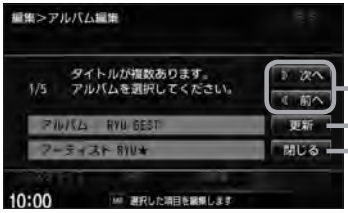

※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)
編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。

アドバイス

データベース再検索をしたとき、タイトル情報が複数ある場合はお好きなアルバムを選択することができます。
※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。

タイトル複数選択画面(例)




**1**
次へ ／ 前へ をタッチして次のアルバムを表示させることができます。

**2**
上書きするアルバムが決まったら 更新 をタッチします。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

## 再生選択をする

チェックマーク(✔)のアルバムのみ再生させることができます。

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

**2** 再生選択 をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

曲管理画面

**3** 再生させたくないアルバムを選択し、
決定 をタッチする。

再生選択画面(例)

アルバムを一括で選択することができます。
(全てのアルバムにチェックマーク(✔)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(全てのアルバムのチェックマーク(✔)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：このアルバムは再生されません。
☑表示：このアルバムは再生されます。

：曲管理画面に戻ります。

アドバイス

- ✔マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ が表示されます。
  ※ 前へ ／ 次へ をタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

## お気に入り登録をする

※アルバムリスト(☞ L-14)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

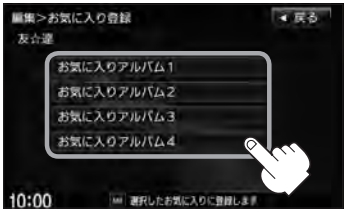
**2** お気に入り登録したいアルバムを選択し、お気に入り登録 をタッチする。

：お気に入り登録画面が表示されます。

**3** 登録したい場所(お気に入りアルバム1～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面に戻ります。

お気に入り登録画面




アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するにはL-27を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
  ☞「再生中の曲をお気に入り登録する」L-30

## ジャケット写真を登録する

※メディアに保存している画像をアルバムのジャケット写真として登録し表示させることができます。

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

**2** 表示させたいアルバムを選択し、ジャケット写真 をタッチする。

：メディア選択画面が表示されます。

曲管理画面

**3** 登録したい画像データが入ったメディア(SDカード ／ USB )を選択し、ジャケット写真を選択する をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

メディア選択画面

**4** 登録したい画像データが入ったフォルダをタッチする。

：画像選択画面が表示されます。
※サムネイル表示されます。

フォルダ選択画面

**5** 登録したい画像をタッチする。

：ジャケット写真として登録され、メディア選択画面に戻ります。

※選択したアルバムにすでに画像が登録されている場合は上書きするかどうかのメッセージが表示されるので はい ／ いいえ を選択してください。

画像選択画面

メディア選択画面

登録された画像

アドバイス

登録された画像は
再生画面で表示されます。

- Music Rackのアルバムへ登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は200×200ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
  ※200×200ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。
  ※16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

## 削除する

※アルバムを削除することができます。

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

**2** 削除したいアルバムを選択し、
削除 をタッチする。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチしてください。

※削除しない場合は いいえ をタッチしてください。

**お願い**

**削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。
※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

# トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名／トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

## トラック編集をする

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作し、手順 3 のとき編集したいアルバムを選択し、トラック表示 をタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。

曲管理画面

**2** 編集したいトラックを選択し、トラック編集 をタッチする。

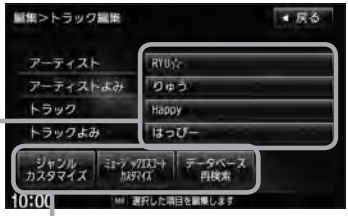
：トラック編集画面が表示されます。

トラック表示画面

※トラック表示画面のその他の項目につきましては
☞ 再生選択…L-26
お気に入り登録…L-27
削除…L-27
を参照ください。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索をすることができます。

トラック編集画面




タイトル名の編集をする場合は
☞ L-24参照

お好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
☞ L-24、25参照ください。

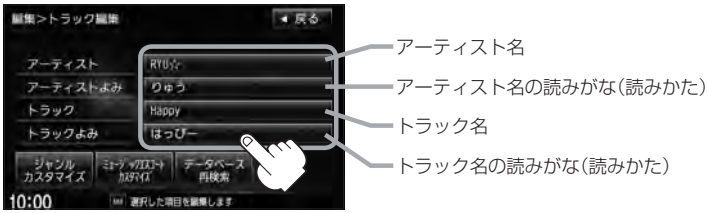
## ■ タイトルの編集をする場合

※アーティスト名／トラック名や、アーティスト名／トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

### ① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面




アドバイス

- アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。)
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(☞L-9)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は データベース再検索 をタッチしてください。

### ② 入力する。

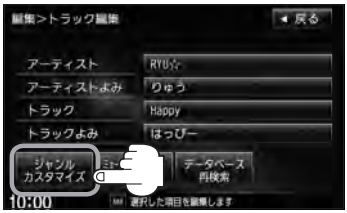
※入力のしかたはL-16を参考にしてください。

## ■ ジャンルを変更する場合

※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

### ① ジャンルカスタマイズ をタッチする。

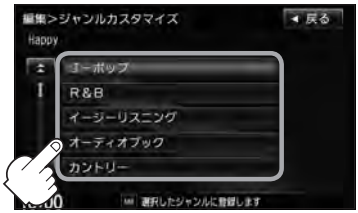
トラック編集画面




：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

### ② お好きなジャンルボタンをタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面



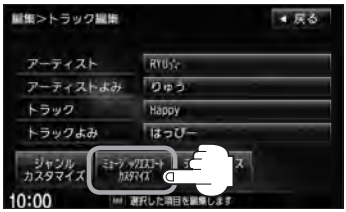

：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

## ■ ミュージックエスコート(分類)を変更する場合

※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

① **ミュージックエスコートカスタマイズ** を
**タッチする。**

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。




② **リストより小分類を選択し、**
**決定 をタッチする。**

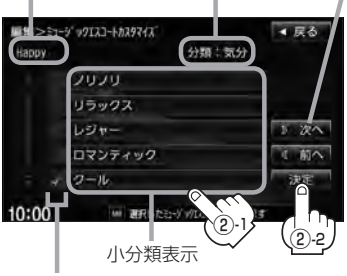
前へ ／ 次へ タッチで大分類が
→気分←→季節←→時間帯←→タイアップ←
→イベント←→シチュエーション←
と切り替わる

ミュージックエスコートカスタマイズ画面

選択中のトラック名表示

選択中トラックの大分類を表示

次へ をタッチすると次の大分類の小分類リストを表示




小分類表示

前へ をタッチすると１つ前の大分類の小分類リストを表示

リストをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：設定されていません。
☑表示：設定されています。

：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、トラック編集画面に戻ります。

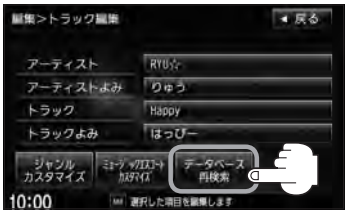
※ミュージックエスコートの大分類／小分類(一覧)につきましては ☞ L-12のアドバイスを参照してください。
※ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき１つずつしか属性を設定できません。

## ■ データベースから再検索する場合

※誤ったタイトル(アーティスト名／トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

① **データベース再検索 を**
**タッチする。**

トラック編集画面




：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。

## 再生選択をする

チェックマーク(✔)のトラックのみ再生させることができます。

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作し、 トラック表示 をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

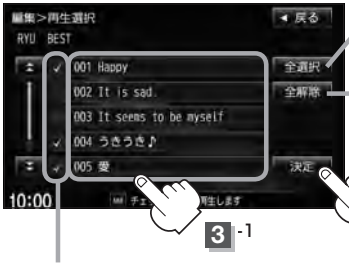
**2** 再生選択 をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

トラック表示画面

**3** 再生させたくないトラックを選択し、
決定 をタッチする。

再生選択画面(例)




トラックを一括で選択することができます。
(全てのトラックにチェックマーク(✔)が付きます。)

選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(全てのトラックのチェックマーク(✔)を消します。)

トラックをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：このトラックは再生されません。
☑表示：このトラックは再生されます。

：曲管理のトラック表示画面に戻ります。

アドバイス

- ✔マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の選択アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ が表示されます。
  ※ 前へ ／ 次へ をタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

## お気に入り登録をする

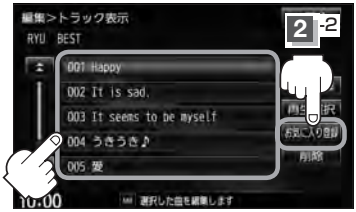
※トラック表示画面より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作し、 トラック表示 をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

**2** お気に入り登録したいトラックを選択し、 お気に入り登録 をタッチする。

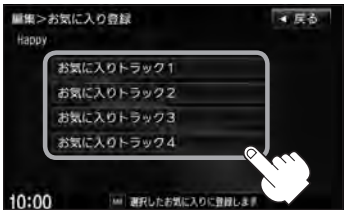
：お気に入り登録画面が表示されます。




**3** 登録したい場所(お気に入りトラック1～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。

お気に入り登録画面




アドバイス

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するにはL-14、L-20を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。「再生中の曲をお気に入り登録する」L-30

## 削除する

※トラックを削除することができます。

**1** L-14の手順 1 、 2 に従って操作し、 トラック表示 をタッチする。

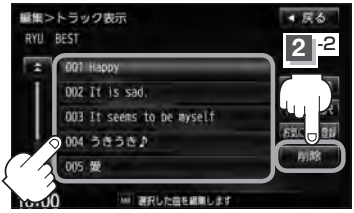
：トラック表示画面が表示されます。

**2** 削除したいトラックを選択し、 削除 をタッチする。

：選択したトラックを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチしてください。

※削除しない場合は いいえ をタッチしてください。

トラック表示画面




**お願い**

**削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。
※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。

# お気に入りを管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム／トラックの)削除をすることができます。

## 1 編集 をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

## 2 編集メニューより お気に入り管理 をタッチする。

編集メニュー画面

**曲管理** ボタン
アルバム／トラックの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などをすることができます。
☞ L-14

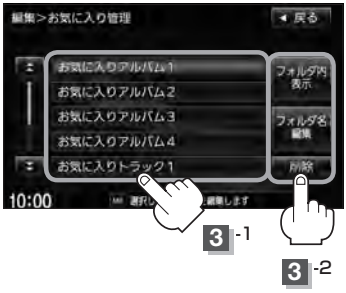
**現在のアルバム** ボタン
アルバム編集画面を表示します。
☞ L-15

**現在の曲** ボタン
トラック編集画面を表示します。
☞ L-23

：お気に入り管理画面が表示されます。

## 3 編集したいお気に入りフォルダ（ お気に入りアルバム1 ～ お気に入りアルバム4 または お気に入りトラック1 ～ お気に入りトラック4 ）を選択し、操作したい項目（ フォルダ内表示 ／ フォルダ名編集 ／ 削除 ）をタッチする。

お気に入り管理画面




アドバイス
お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。
☞ L-20、L-27、L-30

■ フォルダ内表示 をタッチした場合

：フォルダ内表示画面が表示されます。

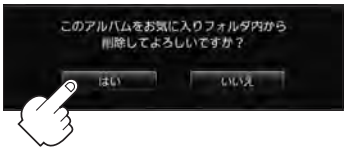
※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

① 削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、 削除 をタッチする。

フォルダ内表示画面

L-28手順 3 で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

② 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。




：選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 をタッチした場合

：フォルダ名編集画面が表示されます。

※タイトル(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4の名前)を変更することができます。

① 50音パレットを使って入力し、 決定 をタッチする。

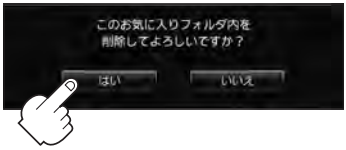
※入力のしかたはL-16を参考にしてください。

■ 削除 をタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ(アルバム1～4／トラック1～4)内の曲を一括で(1フォルダ(最大200アルバム)ごと)削除することができます。

① 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。

：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。




**お願い**

**削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。

# 再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

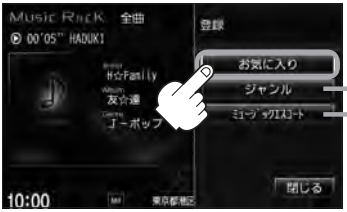
## 1 登録 をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。

## 2 お気に入り をタッチする。

※Music Rack再生中はお気に入り登録できません。
　メッセージが表示されるので、 はい をタッチして再生を停止してください。

登録メニュー画面




ジャンル ボタン
1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。
☞ L-32

ミュージックエスコート ボタン
再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。
☞ L-33

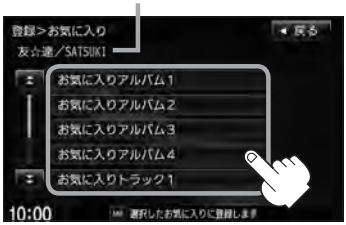
：お気に入り登録画面が表示されます。

## 3 再生中トラックのアルバムを登録したい場合は お気に入りアルバム1 ～ お気に入りアルバム4 の中から、再生中トラックを登録したい場合は お気に入りトラック1 ～ お気に入りトラック4 の中から登録したい場所をタッチする。

：選択したお気に入りに登録され、手順 1 の画面に戻ります。

お気に入り登録画面

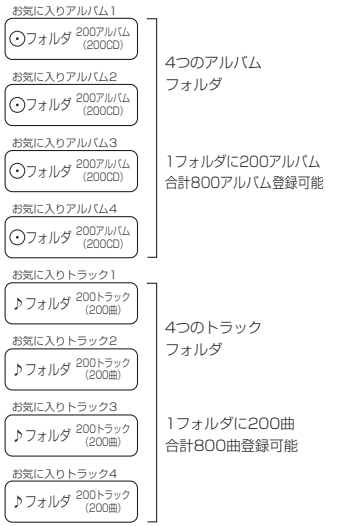
アルバム名／トラック名を表示
(長い場合は途中までの表示となります。)



アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
  「お気に入りを管理する」L-28
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
  ・アルバムを登録するときは
  「お気に入り登録をする」L-20に従って操作する。
  ・トラックを登録するときは
  「お気に入り登録をする」L-27に従って操作する。

**お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成**



# 再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

## 1 登録 をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。

## 2 設定(カスタマイズ)しなおしたい項目( ジャンル ／ ミュージックエスコート )をタッチする。

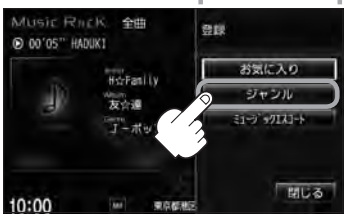
※Music Rack再生中は設定できません。
メッセージが表示されるので、 はい をタッチして再生を停止してください。

### ■ ジャンルを変更したい場合

① ジャンル をタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー画面




② アルバム単位 または トラック単位 をタッチする。

選択中アルバムのジャンル変更となります。

選択中トラックのジャンル変更となります。

③ お好きなジャンルをタッチする。

選択中のトラック名またはアルバム名を表示

：ジャンルは変更(登録)されTOP画面に戻ります。

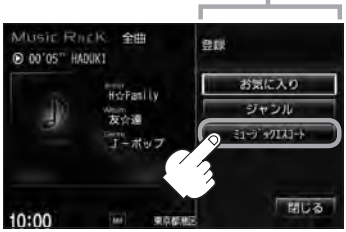
※ジャンルの種類につきましては ☞ L-10アドバイス内「＊ジャンル一覧」を参照ください。

## ■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

① **ミュージックエスコート** をタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー画面



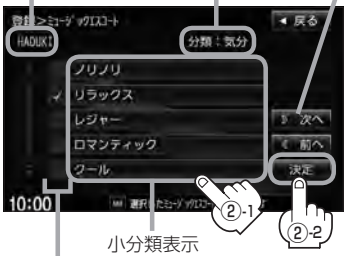

② リストより小分類を選択し、**決定** をタッチする。

**前へ** ／ **次へ** タッチで大分類が
→気分←→季節←→時間帯←→タイアップ←
→イベント←→シチュエーション←
と切り替わる

ミュージックエスコートカスタマイズ画面

選択中のトラック名表示

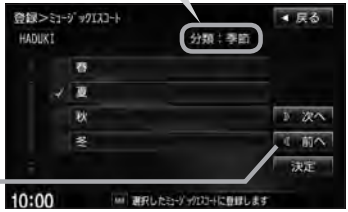
選択中トラックの大分類を表示




小分類表示

**次へ** をタッチすると次の大分類の小分類リストを表示

**前へ** をタッチすると１つ前の大分類の小分類リストを表示




：ミュージックエスコート（分類）は変更（登録）され、TOP画面に戻ります。

リストをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：設定されていません。
☑表示：設定されています。

| 分類 | |
|---|---|
| 大分類 | 小分類 |
| 気分 | ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール |
| 季節 | 春／夏／秋／冬 |
| 時間帯<br>： | 早朝<br>： |
| ：<br>： | ：<br>： |

- ミュージックエスコートの大分類／小分類の一覧につきましては ☞ L-12アドバイスを参照してください。
- ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき１つずつしか属性を設定できません。

# M

# USB機器を使う（USBフラッシュメモリ／ウォークマン®）

本機はUSBフラッシュメモリとウォークマン®を接続し、使用することができます。
本書ではUSBフラッシュメモリとウォークマン®を総称してUSB機器と記載しています。




USB機器について…… M-2
ウォークマン®について…… M-3
対応可能なウォークマン®……M-4
USB機器を接続する…… M-5
USB機器を本機に接続する……M-5
USB機器の接続をやめる……M-5
各部の名称とはたらき…… M-6
音楽再生（音楽ファイルモード）について……M-6
音楽再生（音楽ファイルモード）の表示部（再生画面）について……M-7
画像再生（画像ファイルモード）について……M-8
画像再生（画像ファイルモード）の表示部について……M-8
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ…… M-9
選曲モードより選ぶ…… M-13

# M-2 USB機器について

USB機器にMP3／WMA／AAC／JPEG形式で作成された音楽／画像データを本機で再生することができます。

- 本機の再生仕様から外れる音楽／画像ファイルは再生できません。
  ☞音楽ファイル…K-3、O-4／画像ファイル…T-13
- MP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3plusは音声圧縮フォーマットです。

> - MP3／WMAの規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては
> ☞「MP3／WMAファイルについて」K-2を参照ください。
> - AACの規格(サンプリング周波数／ビットレート／ファイル名など)につきましては
> ☞「●AACの規格について」O-4／「●音楽ファイルの再生について」「●音楽ファイルのファイル名について」O-5を参照ください。
> - JPEGにつきましては☞「画像ファイル(JPEG)について」T-13を参照ください。

- USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)内のデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“USB機器”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。
- 本機にはUSB機器は付属しておりません。
  ※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32 GBまでの容量のUSBフラッシュメモリに対応しています。また、256 MB以上のUSBフラッシュメモリの使用をおすすめします。
  ※ウォークマン®につきましては☞M-3を参照ください。
- 別売のUSBメモリーデバイスコードにUSB機器を接続してご使用ください。
  ☞「USB機器を接続する」M-5
- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリ、およびATRAC AD対応のウォークマン®に対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500 mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器には対応していません。
- USB機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USB機器の音楽再生中にUSB機器(または別売のUSBメモリーデバイスコード)を外さないでください。
  ※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- 全てのUSB機器の動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSB機器の保存内容が失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器が接続されているときに、USB機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。

# ウォークマン®について

- **本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。**
  **※2012年2月現在に発表されているものに限ります。**
  **※Windows Media Video(WMV)には対応していません。**
  **※Walkman Phoneには対応していません。**
  **※対応可能なウォークマン®につきましては「対応可能なウォークマン®」M-4を参照ください。**
- ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の取扱説明書を参照ください。
- ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless／WAV(PCM)形式の曲には対応していません。
- 本機の電源ON状態でウォークマン®接続中は、充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- **ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。**
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
  ※表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- **ウォークマン®付属のx-アプリ、Sonic Stageから転送した音楽ファイルのみに対応しています。**
- ドラッグ＆ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transferで転送した音楽ファイルには対応していません。
- **ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。**
- **ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。**
- **本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®の対応している階層とは異なります。)**
- **ウォークマン®を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**
- **ウォークマン®が接続されているときに、ウォークマン®の上に乗ったり、物を上に置かないでください。**
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／お出かけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。

※“WALKMAN”“ウォークマン”はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless”は、ソニー株式会社の商標です。
※x-アプリ、SonicStage、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
※歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
※moraおよびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。

## 対応可能なウォークマン®

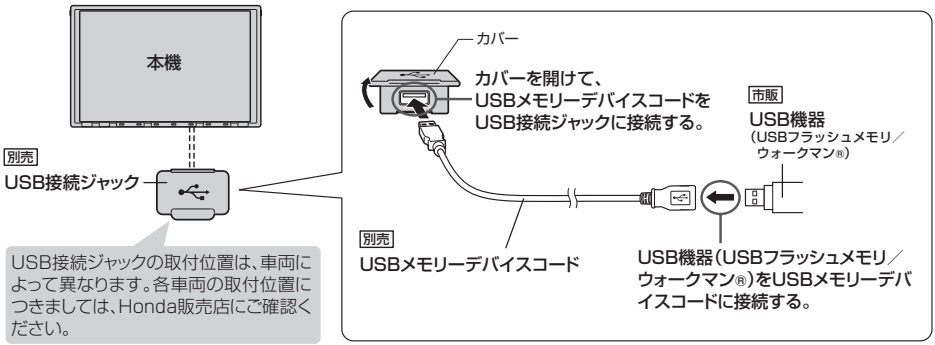
2012年2月現在

| モデル名 | ミュージック(音楽) | フォト(画像) |
|---|---|---|
| NW-E305／E307 | ○ | × |
| NW-E405／E407 | ○ | × |
| NW-E505／E507 | ○ | × |
| NW-E002／E003／E005 | ○ | × |
| NW-E013／E015／E016 | ○ | × |
| NW-E023F／E025F／E026F | ○ | × |
| NW-E042／E043／E044 | ○ | × |
| NW-E052／E053 | ○ | × |
| NW-E052K／E053K | ○ | × |
| NW-E062／E063 | ○ | × |
| NW-E062K／E063K | ○ | × |
| NW-A605／A607／A608 | ○ | × |
| NW-A805／A806／A808 | ○ | ○ |
| NW-A916／A918／A919 | ○ | ○ |
| NW-A828／A829 | ○ | ○ |
| NW-A845／A846／A847 | ○ | ○ |
| NW-A855／A856／A857 | ○ | ○ |
| NW-A865／A866／A867 | ○ | ○ |
| NW-S203F／S205F | ○ | × |
| NW-S603／S605 | ○ | × |
| NW-S703F／S705F／S706F | ○ | × |
| NW-S615F／S616F | ○ | ○ |
| NW-S636F／S638F／S639F | ○ | ○ |
| NW-S715F／S716F／S718F | ○ | ○ |
| NW-S736F／S738F／S739F | ○ | ○ |
| NW-S644／S645 | ○ | ○ |
| NW-S744／S745／S746 | ○ | ○ |
| NW-S754／S755／S756 | ○ | ○ |
| NW-S764／S765／S766 | ○ | ○ |
| NW-S636FK／S638FK | ○ | ○ |
| NW-S736FK／S738FK | ○ | ○ |
| NW-S644K／S645K | ○ | ○ |
| NW-S744K／S745K | ○ | ○ |
| NW-S754K／S755K | ○ | ○ |
| NW-S764K／S765K | ○ | ○ |
| NW-S764BT | ○ | ○ |
| NW-X1050／X1060 | ○ | ○ |
| NW-Z1050／Z1060／Z1070 | × | × |
| NW-HD1 | × | × |
| NW-HD2 | × | × |
| NW-HD3 | × | × |
| NW-HD5／HD5H | × | × |
| NW-A1000／A1200 | × | × |
| NW-A3000 | × | × |
| NW-E103／E105／E107 | × | × |
| NWD-W202 | × | × |
| NWD-W253 | × | × |
| NWD-W263 | × | × |

# USB機器を接続する

## USB機器を本機に接続する

**1** 別売のUSB接続ジャックと別売のUSBメモリーデバイスコードを使用してUSB機器を接続する。



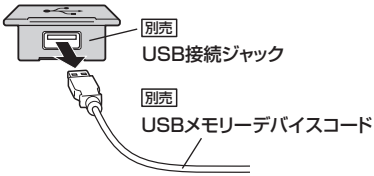

アドバイス
USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。☞ N-4
※USB機器使用時は、iPodは使用できません。

## USB機器の接続をやめる

**1** ⏻ をタッチする。(☞ H-9)

：AV電源をOFFします。

**2** USB接続ジャックからUSBメモリーデバイスコードを外す。




**3** カバーを閉じる。

※USBメモリーデバイスコードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。

アドバイス
- USB機器を外して再度接続し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器(またはUSBメモリーデバイスコード)を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損するおそれがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

# 各部の名称とはたらき

USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。
・MP3／WMA／AACファイル(USBフラッシュメモリ)……音楽再生 ☞ M-6、M-7
・MP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3Plus(ウォークマン®)……音楽再生 ☞ M-6、M-7
・JPEGファイル……画像再生 ☞ M-8
※動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)の切り替えにつきましてはH-21を参照ください。
● 画像はUSBフラッシュメモリ再生時を記載しています。ウォークマン®再生時も同様の表示(操作)となります。

## 音楽再生(音楽ファイルモード)について

USB(USBフラッシュメモリの音楽ファイル)TOP画面
(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー設定画面を表示します。 ☞ H-27

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。 ☞ M-10

③ **☰ ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
☞ M-9

④ **▭ ボタン(フォルダリスト)**
フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
☞ M-9
※ウォークマン®を接続している場合、▭ボタン(フォルダリスト)が ⊙ ボタン(アルバムリスト)表示に変わります。 ☞ M-11

⑤ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
☞ H-18

⑥ **選曲モード ボタン**
選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
☞ M-13

⑦ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
☞ H-14

⑧ **モード切替 ボタン**
USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。
☞ H-21

⑨ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

## 音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について

USBフラッシュメモリを接続している場合(詳細表示時(例))

**①再生状態表示**
▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

**②再生時間表示**

**③動作モード表示**
選択中の動作モードを表示します。☞ H-21

**④選曲モード**
選択中の選曲モードの内容を表示します。
☞ M-13

**⑤トラック名表示＊1**

**⑥アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示／フォルダ名表示☆**

**⑦音場表示**
選択中の音場を表示します。☞ H-24
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
☞ H-27

**⑧リピート／ランダム／スキャン再生時に表示**
表示内容につきましては☞ H-14を参照ください。

**⑨再生ファイル表示**
再生中のファイルを表示します。
MP3 ／ WMA ／ AAC ／ OMA ☆

**⑩ジャケット写真表示**
ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。
☞ 0-4＊印参照

アドバイス
- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名☆の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
  ＊1印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ☆印…ウォークマン®を接続している場合は OMA マークが表示されます。ウォークマン®接続中の再生画面にフォルダ名は表示されません。

## 画像再生(画像ファイルモード)について

USBモード(USBフラッシュメモリの画像ファイル)TOP画面(例)

① 前へ ／ 次へ ボタン
好きなファイル(画像)を選びます。☞ H-22

② 切替 ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ 切替 をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ スライドショー ボタン
一定の間隔で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。☞ H-22

④ 回転 ボタン
表示中の画像を90度ずつ回転します。☞ H-23

⑤ リスト ボタン
画像の入っているフォルダを表示します。
☞ H-23

⑥ モード切替 ボタン
USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。
☞ H-21

⑦ Quick ボタン
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

## 画像再生(画像ファイルモード)の表示部について

①動作モード表示
選択中の動作モードを表示します。☞ H-21

②画像名表示

③画像撮影日表示
年、月、日を表示します。

# 好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

※ウォークマン®のリスト表示につきましては☞ M-12を参照ください。

**1** **または をタッチする。**

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)

■ **をタッチした場合**

：トラックリストが表示されます。

アドバイス

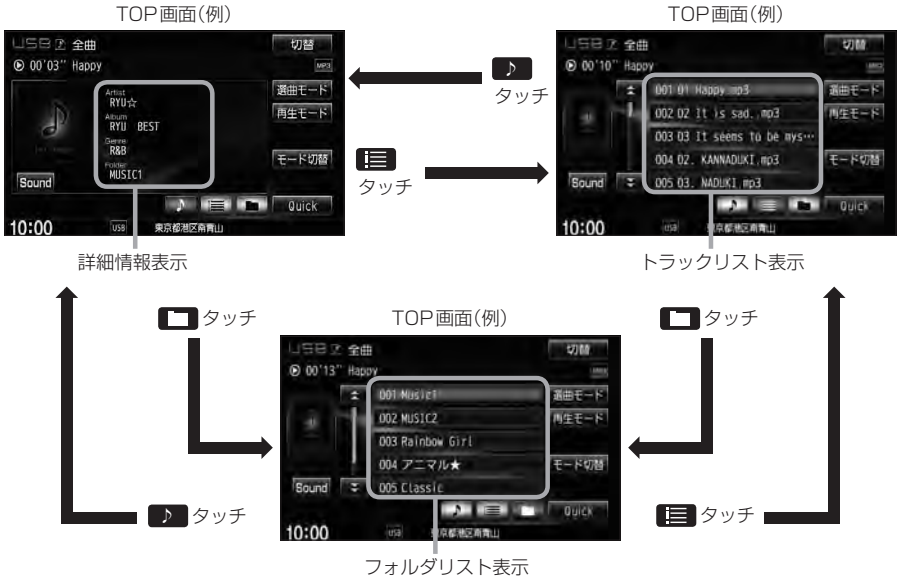
選曲モード(☞ M-13)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ **をタッチした場合**

：フォルダリストが表示されます。

## 好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

アドバイス TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ ／ 📁 によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。




## 2 再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ／ ⏭ をタッチしてトラックを選択することもできます。☞ H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

## 好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

※USBフラッシュメモリのリスト表示につきましては☞ M-10を参照ください。

**1** **☰ または ◉ をタッチする。**

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

詳細表示時(例)

### ■ ☰ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。

> アドバイス
> 選曲モード(☞ M-13)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリスト)のトラックリスト表示となります。

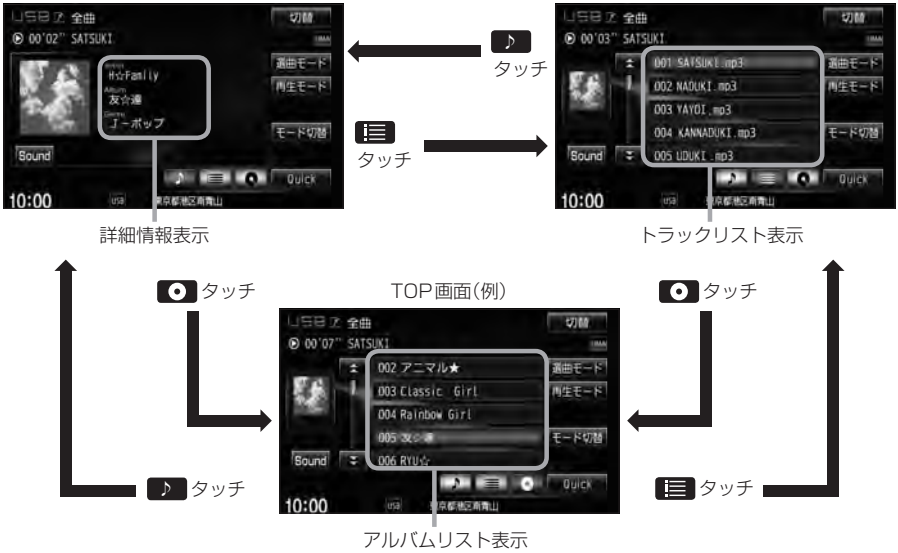
### ■ ◉ をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

> アドバイス
> 選曲モード(☞ M-13)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。
> ※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバムのリスト表示となります。
> ※選曲モードでジャンル／グループ／プレイリストを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

## 好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

アドバイス TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ ／ ◉ によって詳細表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。




## 2 再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ／ ⏭ をタッチしてトラックを選択することもできます。☞ H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

# 選曲モードより選ぶ

## 1 選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

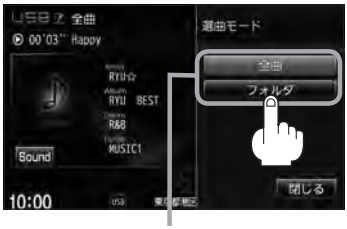
TOP画面(詳細表示時(例))

## 2 選曲モードより選曲する方法を選択する。

※走行中は、 全曲 ボタン以外は操作できません。

■ USBフラッシュメモリの場合（MP3／WMA／AAC）

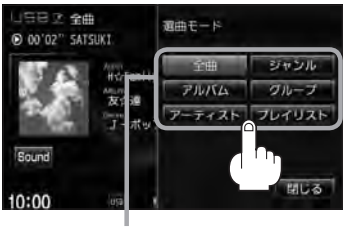
全曲 ／ フォルダ より選択する。




選曲モード

■ ウォークマン®の場合（OMA）

全曲 ／ アルバム ／ アーティスト ／ ジャンル ／ グループ ／ プレイリスト より選択する。




選曲モード

アドバイス

**リストの操作について**

**走行中の場合**

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

**停車中の場合**

- USBフラッシュメモリの場合、停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。
- ウォークマン®の場合、停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※USB機器に収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
※選曲モードを選択する前に 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

□ 全曲 をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

□ フォルダ をタッチした場合 （USBフラッシュメモリ再生時）

：フォルダリストが表示されます。

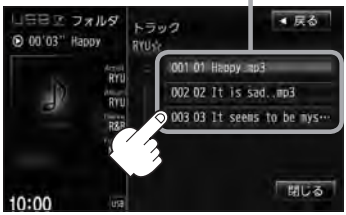
① 再生させたいフォルダをタッチする。

フォルダリスト

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト




：選択した曲を再生します。

□ アルバム をタッチした場合 （ウォークマン®再生時）

：アルバムリストが表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト画面

アルバムリスト

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

□ **アーティスト をタッチした場合** （ウォークマン®再生時）

：アーティストリストが表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

□ **ジャンル をタッチした場合** （ウォークマン®再生時）

：ジャンルリストが表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。

：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

アドバイス

ウォークマン®再生時のジャンル（ジャンルリスト）はお客様が入れたものとなります。

□ グループ をタッチした場合 （ウォークマン®再生時）

：グループリストが表示されます。

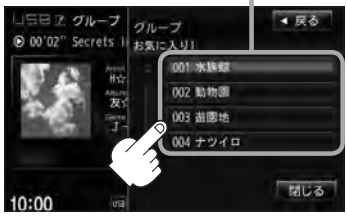
① 再生させたいグループをタッチする。

グループリスト

：選択したグループのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト




：選択した曲を再生します。

□ プレイリスト をタッチした場合 （ウォークマン®再生時）

：プレイリストが表示されます。

① 再生させたいグループをタッチする。

プレイリスト

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

## 3 設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

# N

# iPodを使う



iPodについて……N-2
iPodとは……N-2
使用上のご注意……N-2
対応可能なiPod……N-3
iPodを本機に接続する……N-4
各部の名称とはたらき……N-5
表示部(再生画面)について……N-6
トラックリストより好きなトラックを選ぶ……N-7
選曲モードより選ぶ……N-8
再生を一時停止する……N-13
映像データを再生させる……N-14

# iPodについて

Made for iPod iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are a trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

## iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。

アドバイス

＊印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

## 使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
  ※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは車のエンジンスイッチⅡ(ON)／0(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod接続コードをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- 本機にはiPodは付属しておりません。
- 別売のiPod接続コードにiPodを接続してご使用ください。☞「iPodを本機に接続する」N-4
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

## 対応可能なiPod

2012年2月現在

| 対応モデル | 対応可否 | ソフトウェア |
|---|---|---|
| iPod 第5世代(with video) | ● | 1.3 |
| iPod classic(80G/160G) | ● | 1.1.2 |
| iPod classic(120G) | ● | 2.0.1 |
| iPod classic(160G) | ● | 2.0.4 |
| iPod nano(第1世代) | ○ | 1.3.1 |
| iPod nano(第2世代) | ○ | 1.1.3 |
| iPod nano(第3世代) | ● | 1.1.3 |
| iPod nano(第4世代) | ● | 1.0.4 |
| iPod nano(第5世代) | ● | 1.0.2 |
| iPod nano(第6世代) | ○ | 1.2 |
| iPod touch(第1世代) | ● | 3.1.3 |
| iPod touch(第2世代) | ● | 4.2.1 |
| iPod touch(第3世代) | ● | 5.0.1 |
| iPod touch(第4世代) | ● | 5.0.1 |
| iPhone 3G(softbank) | ● | 4.2.1 |
| iPhone 3GS(softbank) | ● | 5.0.1 |
| iPhone 4(softbank) | ● | 5.0.1 |
| iPhone 4S(softbank/au) | ● | 5.0.1 |

●：オーディオ・ビデオ再生可／○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可)

最新の適応情報は下記URLをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/

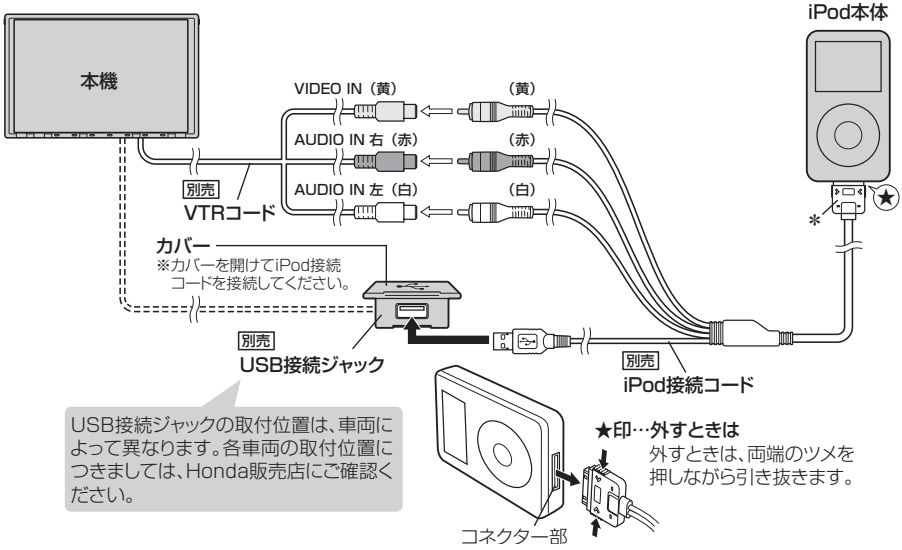
アドバイス

- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- iPad、iPad2には対応していません。
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のホームページよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できないことがあります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini／iPod photoには対応しておりません。
- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- iPod／iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod／iPhoneを一度リセットしてください。
  リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

# iPodを本機に接続する

## 1 別売のUSB接続ジャックに別売のiPod接続コードを接続し、iPod本体と接続する。

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると映像・音声の再生が可能となります。
（映像の再生につきましては☞ N-14を参照ください。）




アドバイス

- USB接続ジャックにUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合はそちらを外してください。
  ☞ M-5
  ※iPod使用時は、USB機器（USBフラッシュメモリウォークマン®）は使用できません。
- USB接続ジャックからiPod接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- VTRコードにVTR機器が接続されている場合は、そちらを外してください。☞ R-3
- ＊印… コードの先端にはキャップが付いています。接続時以外はキャップをはめてください。
- 未接続の場合、AV SOURCE画面で iPod は選択できません。

### iPodを本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。
  （なにも収録されていない場合は曲を聞くことはできません。）
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチを0（ロック）にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。（ただし、車のエンジンスイッチを0（ロック）にした場合の動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。）

# 各部の名称とはたらき

iPodモード(ミュージックモード)TOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー画面を表示します。
☞ H-27

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。
☞ N-7

③ **☰ ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
☞ N-7

④ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
☞ H-18

⑤ **選曲モード ボタン**
選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
☞ N-8

⑥ **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声／映像が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
☞ N-13

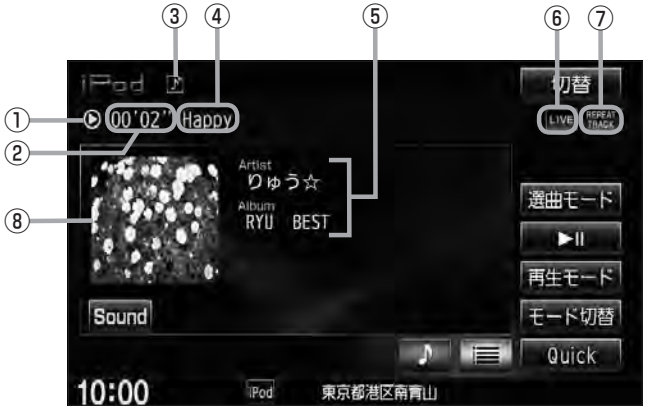
⑦ **再生モード ボタン**
リピート／シャッフル再生の選択をすることができます。
☞ H-14

⑧ **モード切替 ボタン**
iPod内のデータの種類によって、動作モード(ミュージックモード／ビデオモード)を切り替えます。
☞ H-21

⑨ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

## 表示部(再生画面)について




### ①再生状態表示

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

II：一時停止

### ②再生時間表示

### ③動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。

☞ N-14

### ④トラック名表示

### ⑤アーティスト名表示／アルバム名表示

### ⑥音場表示

選択中の音場表示します。☞ H-24

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

☞ H-27

### ⑦リピート／シャッフル再生時に表示

表示内容につきましては☞ H-14を参照ください。

### ⑧ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。

アドバイス

- 表示内容はiPod本体で表示されるアーティスト名／トラック名／アルバム名となります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機ではー(ハイフン表示)となります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPodはiPodモードで再生します。USBモードでは動作しません。

# トラックリストより好きなトラックを選ぶ

選曲モード(☞ N-8)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ポッドキャスト／ジャンル／プレイリスト／作曲者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

## 1 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))

アドバイス

TOP画面は選択する ♪ ／ によって詳細表示／トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

詳細表示

タッチ →

← タッチ

TOP画面(例)

トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

## 2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

iPodモード TOP画面
(トラックリスト表示時(例))

アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ／ ⏭ をタッチしてトラックを選択することもできます。☞ H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

# N-8 選曲モードより選ぶ

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

## 1 選曲モード をタッチする。

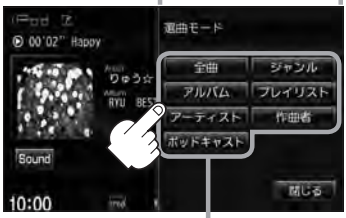
：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))

## 2 選曲モードより選曲する方法( 全曲 ／ アルバム ／ アーティスト ／ ポッドキャスト ／ ジャンル ／ プレイリスト ／ 作曲者 )を選択する。

※走行中は、 全曲 ボタン以外は操作できません。

選曲モード画面




選曲モード

アドバイス

**リストの操作について**

**走行中の場合**

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

**停車中の場合**

- 停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※選曲モードは、iPod本体に収録されている内容となります。
※iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
※選曲モードを選択する前に 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ アルバム をタッチした場合

：アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

トラックリスト画面

## ■ アーティスト をタッチした場合

：アーティストリスト画面が表示されます。

### ① 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面

### ② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。――さらに

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。
手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で すべて をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

### ③ 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面

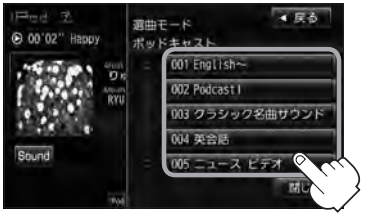
：選択した曲を再生します。

## ■ ポッドキャスト をタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

### ① 再生させたいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャスト画面




：選択したポッドキャストに収録されているリスト表示とともに、ポッドキャストが再生されます。

### ② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャストリスト画面

：選択したポッドキャストを再生します。

## ■ ジャンル をタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

### ① 再生させたいジャンルをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アーティストが表示されます。さらに すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに すべて をタッチするとiPod内の全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。➡手順④へ

### ② 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面

すべて をタッチすると①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに すべて をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。➡手順④へ

### ③ 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アルバムリスト画面

すべて をタッチすると②で選択したアーティストのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。➡手順④へ

### ④ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面

アドバイス　ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

## ■ プレイリスト をタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

① 再生させたいプレイリストをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

## ■ 作曲者 をタッチした場合

：作曲者リスト画面が表示されます。

① 再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。
➡手順③へ

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、リストの一番上の曲が再生されます。

すべて をタッチすると①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。➡手順③へ

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

**3** 設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

# 再生を一時停止する

**1** ▶II（再生／一時停止）をタッチする。

：再生を止めます。

再生状態を表示します。
▶：通常再生
II：一時停止

■ 再び再生を始める場合

▶II（再生／一時停止）をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。

# N-14 映像データを再生させる

**TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。**

※ビデオデータを再生させるには、別売のVTRコードと別売のiPod接続コードを接続し、USB接続ジャックに接続する必要があります。接続方法につきましては、「N-4」を参照してください。

## 1 モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
（詳細表示時（例））

ミュージックモードを表します。

## 2 ビデオモード をタッチする。

：iPodビデオモードに切り替わり、映像が表示されます。

モード切替画面

映像（例）

アドバイス

- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、 モード切替 をタッチしてミュージックモード（音楽再生のみ）に戻してください。
※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。

画面をタッチすると操作ボタンを
表示させることができます。

ビデオモードを
表します。

＊印…画面に表示されている操作ボタンを消して映像のみ表示させたい場合は 切替 をタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチします。

**リスト ボタン**……動画リストより選択し、再生させることができます。
☞ N-16

**▶II ボタン**……再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

**再生モード ボタン**……再生モード(リピート再生)を選択することができます。
☞ N-16

**モード切替 ボタン**……ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像あり)の切り替えをすることができます。
☞ N-14の手順 1 、 2 およびN-16

**Quick ボタン**……Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

## ■ 動画リストより選択し再生させる場合

① 操作ボタン表示中に リスト を
タッチする。

② リストより再生させたい動画を
タッチする。

：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択
を繰り返してください。

## ■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

① 操作ボタン表示中に 再生モード を
タッチする。

② リピート をタッチする。

：表示灯点灯しリピート機能が働きます。

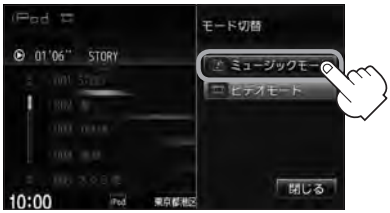
※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし
表示灯を消灯させてください。

## ■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

① 操作ボタン表示中に モード切替 を
タッチする。

② ミュージックモード をタッチする。

：TOP画面(音楽再生のみ)に戻ります。



アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード( ビデオモード をタッチ)にすることにより見たり、聞いたりすることができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、映像は表示されません。再度、画面をタッチするとビデオモードリストが表示されます。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度iPodビデオモードにすると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)したりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、再生していた曲は保持しないでリスト一番上の曲からの再生となります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

# 0

# SD(SDカード)を使う



SDカードについて……0-2
再生可能なデータについて……0-4
音楽ファイルのデータについて……0-4
画像ファイルのデータについて……0-5
各部の名称とはたらき……0-6
音楽再生(音楽ファイルモード)について……0-6
音楽再生(音楽ファイルモード)の
表示部(再生画面)について……0-7
画像再生(画像ファイルモード)について……0-8
画像再生(画像ファイルモード)の
表示部について……0-8
リスト表示より好きなトラックまたは
フォルダを選ぶ……0-9
選曲モードより選ぶ……0-11

# 0-2 SDカードについて

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

- **SDHCロゴは商標です。**
- **SD、SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。**
- **お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。**
- **本機にはSDカードは付属しておりません。**
  ※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- **32 GBまでの容量のSDカードに対応しています。**
- **本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。**
- **本機はSDXCカードには対応していません。**
- **本機はUHS-Ⅰには対応していません。**
- **操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下の通りとなります。**

| 機　能 | | SDカード（2 GB以下） | SDHCカード（4 GB以上） | miniSDカード（アダプター必要） | microSDカード（アダプター必要） |
|---|---|---|---|---|---|
| 地点登録＊ ☞ F-48 | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 音楽データの再生 ☞ K-3、O-4 | MP3 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | WMA | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | AAC | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 画像データの再生 ☞ H-22、O-8、T-13 | JPEG | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Gracenoteデータベースアップデート ☞ I-13 | | ○ | ○ | ○ | ○ |

＊印…指定ホームページからダウンロードした地点を確認したり、保存したルートを本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

- **ノーブランド品や廉価品、バルク品、模造品などのSDカードを使用すると、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。国内メーカーから販売されている正規品のSDカードを使用してください。**
- **256 MB以上のSDカードの使用を推奨します。容量が少ないSDカードは正しく動作しない場合があります。**
- **SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。**
- **フォーマット（初期化）について**
  SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
  ☞「データを初期化（消去）する」G-28
  ※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なってから使用してください。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  - ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- miniSDカード/microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード/microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード/microSDカードをminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードが破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書込中/読み込み中/本機にデータ転送中/音楽・画像再生中にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できません。
  ※音楽・画像再生中の場合はモードを終了(OFF状態)にさせてから抜いてください。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
  画面に出たメッセージに従って操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

# 0-4 再生可能なデータについて

音楽ファイル／画像ファイルデータの再生が可能です。

## 音楽ファイルのデータについて

- MP3／WMA／AACファイルを再生することができます。
- MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

> MP3／WMAの規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては
> ☞「MP3／WMAファイルについて」K-2を参照ください。
> AACにつきましては下記を参照ください。

- AACとは？

  Advanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

- AACの規格について

| | |
|---|---|
| サンプリング周波数 | 16～48 kHz |
| 対応ビットレート | 8～320 kbps |
| 対応プロファイル | Low Complexity |
| 再生可能な拡張子 | M4A、m4a(大文字、小文字どちらでも使用可能) |
| 最大フォルダ名／ファイル名文字数 | 全角32文字、半角64文字 |
| フォルダ名／ファイル名使用可能文字 | A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角) |
| 最大フォルダ階層 | 8階層 |
| 1フォルダ内の最大ファイル数 | 255(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む) |
| 1メディア内の最大ファイル数 | 10,000 |
| 最大フォルダ数 | 400 |
| 表示可能なタグ | トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名 |
| AACタグ表示可能文字数 | 全角32文字、半角64文字 |
| ジャケット写真 | 対応* |

※32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64 kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

＊印･･･**MP3／WMA／AACファイルのジャケット写真について**

- パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付加することができます。
  ※Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用してください。
- MP3／WMA／AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できない場合があります。
- 音楽ファイルにつけられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録している場合、正常に表示できない場合があります。

● **音楽ファイルの再生について**

・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
・m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシス／ADIFフォーマットには対応しておりません。
・極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
・2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
・複数のオーディオプログラムが入っているファイルは再生できません。
・同一ファイル内にオーディオ以外の情報が入っているファイルは再生できません。
・選曲モード(☞0-11)のフォルダやトラックリストに表示される順番は☞「● **階層と再生順序について**」K-6に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてパソコンで期待する順番(名前順など)に並べフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

● **音楽ファイルのファイル名について**

フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

## 画像ファイルのデータについて

☞「画像ファイル(JPEG)について」T-13

SDカード内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。
・MP3／WMA／AACファイル …… 音楽再生 ☞ 0-6
・JPEGファイル …… 画像再生 ☞ 0-8
※動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)の切り替えにつきましてはH-21を参照ください。

## 音楽再生(音楽ファイルモード)について

SDモード(音楽ファイル)TOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー画面を表示します。
☞ H-27

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。
☞ 0-10

③ **☰ ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
☞ 0-9

④ **🗀 ボタン(フォルダリスト)**
フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
☞ 0-9

⑤ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
☞ H-18

⑥ **選曲モード ボタン**
選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
☞ 0-11

⑦ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
☞ H-14

⑧ **モード切替 ボタン**
SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。
☞ H-21

⑨ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

## 音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について

**①再生状態表示**

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

**②再生時間表示**

**③動作モード表示**

選択中の動作モードを表示します。☞ H-21

**④選曲モード**

選択中の選曲モードの内容を表示します。
☞ 0-11

**⑤トラック名表示***

**⑥アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示／フォルダ名表示**

**⑦音場表示**

選択中の音場を表示します。☞ H-24
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
☞ H-27

**⑧リピート／ランダム／スキャン再生時に表示**

表示内容につきましては☞ H-14を参照ください。

**⑨再生ファイル表示**

再生中のファイルを表示します。
MP3 ／ WMA ／ AAC

**⑩ジャケット写真表示**

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。
☞ 0-4 ＊印参照

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
  ＊印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

## 画像再生(画像ファイルモード)について

SDモード(画像ファイル)TOP画面(例)

① 前へ ／ 次へ ボタン
好きなファイル(画像)を選びます。☞ H-22

② 切替 ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ 切替 をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ スライドショー ボタン
一定の間隔(3秒、10秒、30秒、1分)で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。☞ H-22

④ 回転 ボタン
表示中の画像を90度ずつ回転します。☞ H-23

⑤ リスト ボタン
画像の入っているフォルダを表示します。
☞ H-23

⑥ モード切替 ボタン
SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。
☞ H-21

⑦ Quick ボタン
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては、☞「各部の名称とはたらき」H-2を参照ください。

## 画像再生(画像ファイルモード)の表示部について

①動作モード表示
選択中の動作モードを表示します。☞ H-21

②画像名表示

③画像撮影日表示
年、月、日を表示します。

# リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選ぶ 音楽ファイル

選曲モード(☞ 0-11)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

**1** **または をタッチする。**

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)

■ **をタッチした場合**

：トラックリストが表示されます。

アドバイス

選曲モード(☞ 0-11)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

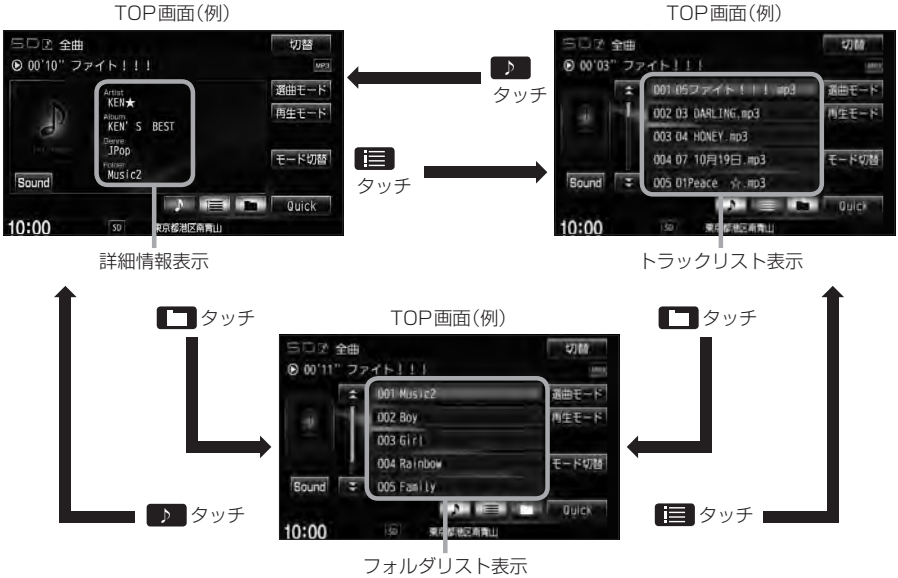
■ **をタッチした場合**

：フォルダリストが表示されます。

## リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選ぶ



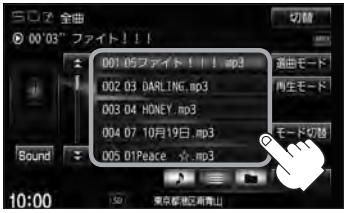
アドバイス TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ ／ 🗀 によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。




## 2 再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ／ ⏭ をタッチしてトラックを選択することもできます。☞ H-12
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

# 選曲モードより選ぶ

## 1 選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細表示時(例))

## 2 選曲モードより選曲する方法 ( 全曲 ／ フォルダ )を選択する。

※走行中は、 全曲 ボタン以外は操作できません。

選曲モード画面

アドバイス

**リストの操作について**

**走行中の場合**

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

**停車中の場合**

- 停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
※選曲モードを選択する前に 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ フォルダ をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

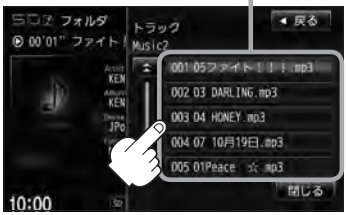
① 再生させたいフォルダをタッチする。

フォルダリスト

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト




：選択した曲を再生します。

## 3 設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

# P

# DVDを見る



DVDビデオについて……P-2
ディスクに表示されているマークについて……P-2
VRモードで作成したディスクについて……P-3
ディスクの構成について……P-3
各部の名称とはたらき……P-4
DVDプレーヤーを使う……P-6
再生を停止する……P-7
再生を一時停止(静止)する……P-8
再生中にチャプターを戻す／進める……P-8
コマ戻し／コマ送り／スロー戻し／
スロー送りをする……P-9
タイトルメニュー／DVDメニューを使う……P-10
好きな所から再生する(サーチ選択)……P-12
音声言語／字幕言語を切り替える……P-14
時間の表示を替える……P-15
リピート(繰り返し)再生する……P-16
アングル(角度)を切り替える……P-17
VRモードディスク内の映像を
リストより選択し再生させる……P-18
DVDの初期設定について……P-20
初期設定を変更する……P-20

# DVDビデオについて

本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕

**DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。**

アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

**本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。**

- Rovi
  本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- ドルビーデジタル
  本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- dts
  dts 2.0 Channel
  Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS 2.0 Channel is a trademark of DTS, Inc. Product includes software.
  © DTS, Inc. All Rights Reserved.

## ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。(例)

| マーク(例) | 意　味 |
|---|---|
| 3 | 音声のトラック数を表します。 |
| 2 | 字幕の数を表します。 |
| 3 | アングル数を表します。 |
| 16:9 LB　4:3 | 選択可能な画像アスペクト比(TV画面の横と縦の比率)を表します。<br>●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。 |
| ALL　2 | 再生可能な地域番号を表します。<br>●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。 |

**本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示することができます。**

## VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R／DVD-R DLのVRモードには対応していません。

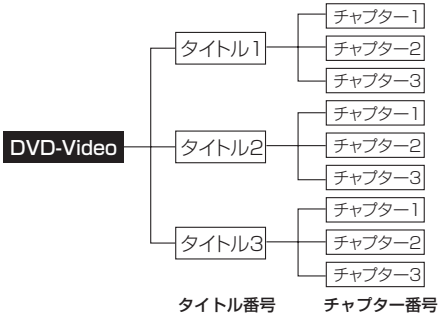
※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

### DVD再生ディスク対応一覧表

| メディアの種類(記録方式) ／ 録画映像の種類 | DVD-RW (VRモード) CPRM対応 | DVD-RW (VRモード) CPRM非対応 | DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード) DVD+R(Videoモード) DVD+RW(Videoモード) DVD-R DL(Videoモード) DVD+R DL(Videoモード) | DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応 | DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応 | DVD-RAM | CD-R CD-RW |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 録画制限なし | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 録画制限あり | ○ | ― | ― | ○ | ― | × | × |
| 録画禁止 | ×* | ×* | ×* | ×* | ×* | × | × |

―：記録できないディスク
×：再生できないディスク
＊印…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

## ディスクの構成について

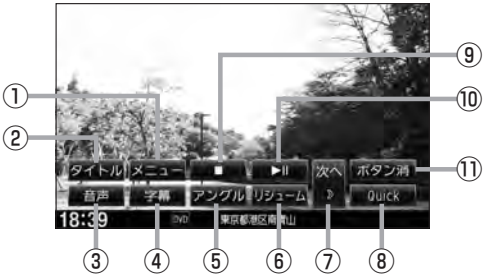



DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。

# 各部の名称とはたらき

※画面下部に常時表示されているボタン(標準キー)につきましては☞ H-2を参照してください。

操作ボタン1表示画面




停止画面(例)

① **メニュー ボタン**
DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。☞ P-10
※VRモードディスク再生中にタッチすると、プレイリストが表示されます。☞ P-18、P-19

② **タイトル ボタン**
DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。☞ P-10
※VRモードディスク再生中にタッチすると、タイトルリストが表示されます。☞ P-18、P-19

③ **音声 ボタン**
DVDビデオ再生中に、タッチするごとにディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。☞ P-14
※VRモードディスク再生中にタッチすると音声chが切り替わります。

④ **字幕 ボタン**
DVDビデオ再生中に、タッチするごとにディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。☞ P-14

⑤ **アングル ボタン**
DVDビデオ再生中に、タッチするごとにアングルが切り替わります。☞ P-17

⑥ **リジューム ボタン**
DVDビデオ再生中にメニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行ないます。☞ P-11

⑦ **次へ ボタン**
操作ボタン2の画面を表示します。

⑧ **Quick ボタン**
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

⑨ **■ ボタン(停止)**
再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。☞ P-7

⑩ **▶II ボタン(再生/一時停止)**
再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
☞ P-8

⑪ **ボタン消 ボタン**
画面に表示される操作ボタンを消します。
**※ ボタン消 をタッチしなくても約15秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。**

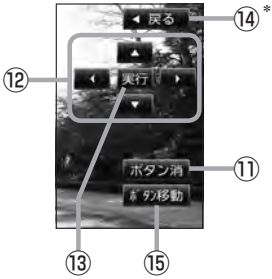
⑫ **DVD設定 ボタン**
DVD設定画面を表示します。☞ P-20

⑬ **続き再生解除 ボタン**
続きメモリー機能を解除します。☞ P-7

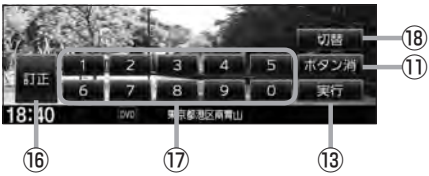
⑭ **▶II ボタン(再生)**
再生を始めるときに使用します。☞ P-7

操作ボタン2表示画面

カーソル表示画面




サーチ選択画面*




10キー入力画面*

① **リピート** ボタン
タッチするごとにリピートモードが切り替わります。
☞ P-16

② **タイム** ボタン
再生の時間を表示します。☞ P-15

③ **サーチ** ボタン
チャプター、タイトル、タイムのサーチ選択画面を表示します。☞ P-12

④ **エンター** ボタン
画面で選んだ項目を実行します。

⑤ **リターン** ボタン
DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

⑥ **DVD設定** ボタン
DVD設定画面を表示します。☞ P-20

⑦ **前へ** ボタン
操作ボタン1の画面を表示します。

⑧ **Quick** ボタン
Quick機能を使用することができます。
☞ B-19

⑨ **カーソル** ボタン
カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)
☞ P-10

⑩ **10キー** ボタン
10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑪ **ボタン消** ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
**※ ボタン消 をタッチしなくても約15 秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。**

⑫ **▲** / **▼** / **◀** / **▶** ボタン(カーソルキー)
項目を上下左右選択します。

⑬ **実行** ボタン
画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑭ **戻る** ボタン*
操作ボタン2表示画面を表示します。
*印…サーチ選択画面/10キー入力画面にも **戻る** は表示されます。

⑮ **ボタン移動** ボタン
カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

⑯ **訂正** ボタン
10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

⑰ **0** ～ **9** ボタン(10キー)
数字を入力するときに使用します。

⑱ **切替** ボタン
サーチモードを切り替えます。☞ P-12

# DVDプレーヤーを使う

⚠ 映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
（走行中は音声のみになります。）

## 画面にDVDメニューまたはタイトルメニューが表示されたとき

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の２つの操作方法があります。

### ■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

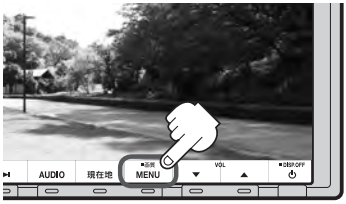
※ディスクによっては操作できない場合があります。

※操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。 ボタン消 をタッチして操作ボタンを消してください。

### ■ カーソルを表示させ項目を選択する。

① MENU をタッチする。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




② 次へ ➡ カーソル をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

操作ボタン２表示画面

③ ▲ ▼ ◀ ▶（カーソルキー）をタッチして項目を選択し、実行 をタッチする。

「タイトルメニュー／DVDメニューを使う」P-10の手順 4 を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには ボタン消 をタッチしてください。

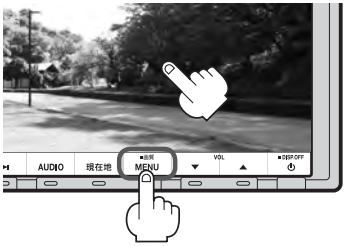
※ディスクによっては操作できない場合があります。

※その他の操作につきましてはそれぞれのページを参照してください。

## 再生を停止する

**1** 画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** ■（停止）をタッチする。

：再生を止め、停止画面が表示されます。
（続きメモリー機能が働きます。）

**続きメモリー機能**

- 再生中に ■（停止）をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶II ボタンで続きから再生します”と表示し、映像／音声を止めます。 ▶II（再生）をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、 続き再生解除 をタッチするかディスクイジェクト（取り出す）操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。
  ※ DVD設定 をタッチした場合も続きメモリーは解除されます。☞ P-20

**3** 再び再生を始めるには、
▶II（再生）をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

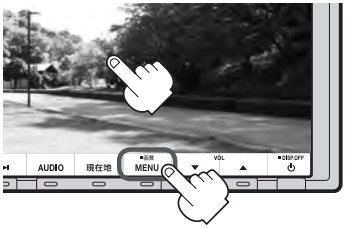
停止画面

アドバイス
ディスクの最初から再生したい場合は手順 3（停止画面）のとき 続き再生解除 をタッチし、 ▶II（再生）をタッチします。

## 再生を一時停止(静止)する

**1** **画面をタッチするか、**
**MENU をタッチする。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** **▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

：画面に“ II ”を表示し、映像を一時停止します。
（音声も止まります。）

操作ボタン１表示画面

一時停止アイコン

**3** **再び再生を始めるには、**
**▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

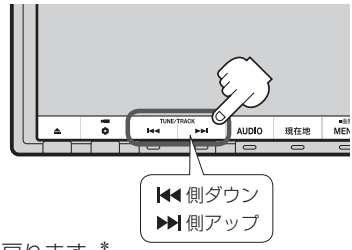
：再生を止めた続きから再生します。

**4** **画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。**

## 再生中にチャプターを戻す／進める

**1** **⏮ ／ ⏭ (スキップ)をタッチする。**

：前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。




■ **前のチャプターに戻る場合**

① **⏮ を２回タッチする。**

※１回タッチした場合は再生中のチャプターの頭に戻ります。*

■ **次のチャプターに進む場合**

① **⏭ をタッチする。**

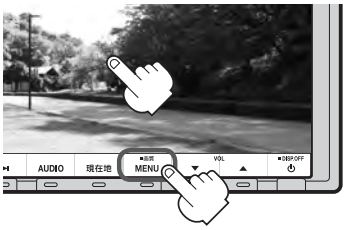
アドバイス

＊印…チャプター再生開始から３秒以内にタッチした場合は、前のチャプターの頭に戻ります。
- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。
- ボタンをタッチし続けると早戻し／早送りします。☞ H-13

## コマ戻し／コマ送り／スロー戻し／スロー送りをする

**1** **画面をタッチするか、**
**MENU をタッチする。**

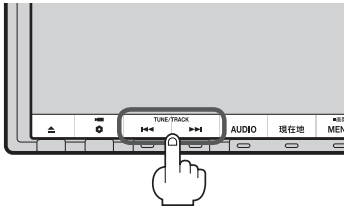
：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** **▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面に“ ▮▮ ”を表示し、映像を一時停止します。
（音声も止まります。）

**3** **⏮／⏭（スキップ）をタッチする。**




⏮／⏭ボタン
（スキップ）

■ **コマ戻しまたはコマ送りをする場合**

① **⏮または⏭をタッチする。**

：タッチするごとに映像を１コマずつ戻す、
または映像を１コマずつ送ります。

※通常再生をするには ▶II（再生／一時停止）をタッチします。

■ **スロー戻しまたはスロー送りをする場合**

① **⏮または⏭をタッチし続ける。**

：スロー戻しで戻る、またはスロー送りで
進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

**4** **画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消 をタッチする。**

アドバイス
この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

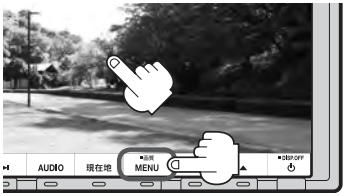
## タイトルメニュー／DVDメニューを使う

**DVDビデオによっては、タイトルメニューやDVDメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューやDVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。**
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

アドバイス
下記手順 4 のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。（その場合は、 ボタン消 をタッチして操作ボタンを消してください。）
※ディスクによっては操作できない場合があります。

**1** **画面をタッチするか、MENU をタッチする。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** **タイトル または メニュー をタッチする。**

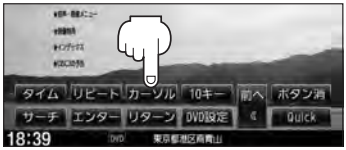
：タイトルメニューまたはDVDメニューが表示されます。
※VRモード（ビデオレコーディングモードディスク）の場合はタイトルリストまたはプレイリストが表示されます。（☞ P-19）

操作ボタン１表示画面

**3** **次へ をタッチし操作ボタン２表示画面を表示させ、 カーソル をタッチする。**

：カーソル表示画面が表示されます。

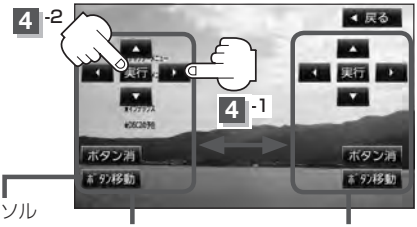
操作ボタン２表示画面




**4** **▲ ▼ ◀ ▶（カーソルキー）をタッチして項目を選び、 実行 をタッチする。**

：選んだ項目（メニュー）シーンの再生が始まります。
※さらに選択画面が続く場合は、手順 4 を繰り返してください。

カーソル表示画面




ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示　　カーソル表示

## 5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、 ボタン消 をタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニュー／DVDメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニュー／DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
  ※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリスト／プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては「タイトルメニュー」／「DVDメニュー」のことを「メニュー」や「タイトル」、「実行」のことを「決定」／「選択」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

### ■ タイトルメニュー／DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は 前へ や 戻る をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、 MENU をタッチしてください。

② リジューム をタッチする。

：タイトルメニュー(タイトルリスト)またはDVDメニュー(プレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、 ボタン消 をタッチしてください。

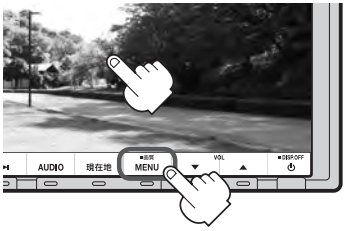
※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

## 好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

**1** 画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** 次へ をタッチする。

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

**3** サーチ をタッチする。

：サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン２表示画面

**4** サーチ選択画面で 0 ～ 9 (10キー)をタッチして、再生したいチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力する。

- チャプター、タイトル、タイム(経過時間)は 切替 をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ ──▶ タイトルサーチ
└─(サーチ解除) ◀── タイムサーチ ◀┘

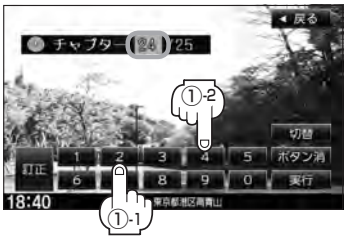
サーチ選択画面(例)

モード表示　0 ～ 9 ボタン(10キー)

**例** チャプター番号“24”を入力する場合

① 10キーを 2 、 4 とタッチする。

：表示が“24”となります。




**例** タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

(例)

① 手順 4 でサーチ選択画面を表示させたとき 切替 を2回タッチする。

：タイム(経過時間)入力画面になります。

② 10キーを 0 、 0 、 1 、 5 、 0 、 0 とタッチする。

：表示が [ --:--:-- ] → [ 00:15:00 ] となります。

## 5

**実行 をタッチする。**

：入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム(経過時間)から再生を始めます。

チャプター番号24を入力した場合(例)

## 6

**画面の操作ボタンの表示をやめるには、 ボタン消 をタッチする。**

アドバイス

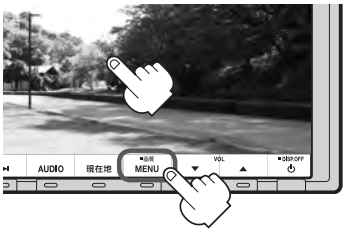
- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、 切替 をタッチし、もう一度手順 4 (☞ P-12)からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、 切替 をタッチし、もう一度手順 4 (☞ P-12)からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

## 音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記に従って言語を選ぶことができます。

**1** 画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** 音声 または 字幕 をタッチする。

：タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン１表示画面

音声言語リスト(例)

字幕言語リスト(例)

**3** 画面の操作ボタンの表示をやめるには、 ボタン消 をタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(☞ P-10)や言語設定(☞ P-22)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1 、 2 )の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(☞ P-10)または言語設定(☞ P-22)で切り替えてください。

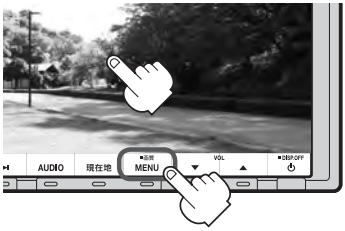
## 時間の表示を替える

**画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。**

- T(現在のタイトル)／C(チャプター情報)
- タイトル時間……タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間……タイトルの残時間を表示
- チャプター時間……チャプターの経過時間を表示
- チャプター残り時間……チャプターの残時間を表示
- DISPLAY OFF……何も表示しない

**1** **画面をタッチするか、MENU をタッチする。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** **次へ をタッチする。**

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

**3** **タイム をタッチする。**

：タッチするごとに時間表示が切り替わります。

操作ボタン２表示画面

**4** **画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消 をタッチする。**

■ **時間表示をやめる場合**

**上記手順 1 ～ 3 に従って操作し、“DISPLAY OFF” を選ぶ。**

## リピート(繰り返し)再生する

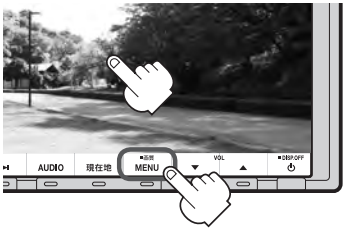
**再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。**

- チャプターリピート……再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート……再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF……リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

**1** **画面をタッチするか、MENU をタッチする。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** **次へ をタッチする。**

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

**3** **リピート をタッチする。**

：タッチするごとにモードが切り替わります。

操作ボタン２表示画面

**4** **画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消 をタッチする。**

■ **通常の再生に戻す場合**

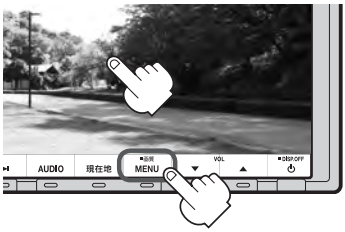
**上記手順 1 ～ 3 に従って操作し、“リピートOFF”を選ぶ。**

## アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。
この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

**1** 画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

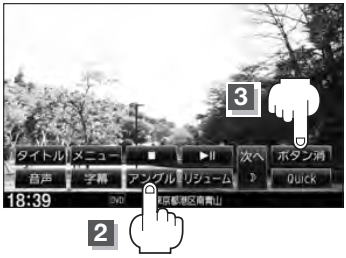
：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** アングル をタッチする。

：タッチするごとにアングルが
切り替わります。

操作ボタン１表示画面




**3** 画面の操作ボタンの表示をやめるには、
ボタン消 をタッチする。

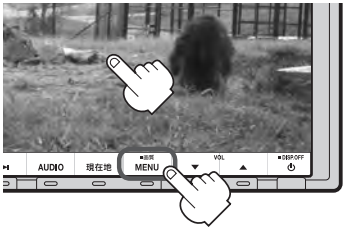
アドバイス
- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

## VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVD-R/RW、DVD-R DL(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

**1** 画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** タイトルリストまたはプレイリストを表示させる。

操作ボタン１表示画面

■ タイトルリストより選択する場合

① タイトル をタッチする。

：タイトルリストが表示されます。

■ プレイリストより選択する場合

① メニュー をタッチする。

：プレイリストが表示されます。

アドバイス

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものを表します。
※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト／プレイリストの詳細につきましてはDVDレコーダーの取扱説明書を参照してください。

## 3 リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

：選択した項目が選択されます。

タイトルリスト表示(例)

タイトルリスト表示のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリストを表示します。

プレイリスト表示(例)

プレイリスト表示のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリストを表示します。

アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、手順 **2** (☞ P-18)で **メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合)は **戻る** をタッチしてください。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声chを切り替えることができます。

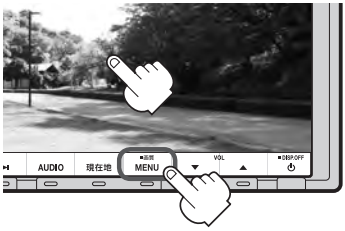
# DVDの初期設定について

## 初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

**1** 画面をタッチするか、
MENU をタッチする。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。




**2** 次へ をタッチする。

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

**3** DVD設定 をタッチする。

：DVD設定画面が表示されます。

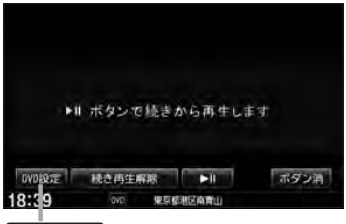
操作ボタン２表示画面

アドバイス

■（停止）をタッチして再生停止中に DVD設定 をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン１表示画面

停止画面



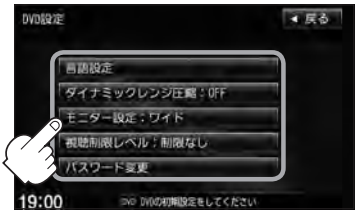

DVD設定 ボタン

※ DVD設定 を選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

## 4 画面の設定したい項目（言語設定／ダイナミックレンジ圧縮／モニター設定／視聴制限レベル／パスワード変更）をタッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。

DVD設定画面




| 選んだ項目 | 設定できる内容 | 操作手順 |
|---|---|---|
| 言語設定 | ● 音声言語<br>：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え<br>● 字幕言語<br>：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え<br>● メニュー言語<br>：DVDメニューの表示言語の切り替え | P-22 |
| ダイナミックレンジ圧縮 | ●DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。（ドルビーデジタルの音声のみ） | P-25 |
| モニター設定 | ●TVアスペクト<br>：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え | P-25 |
| 視聴制限レベル | ● レベル<br>：視聴制限レベルの設定 | P-26 |
| パスワード変更 | ● パスワード<br>：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更 | P-27 |

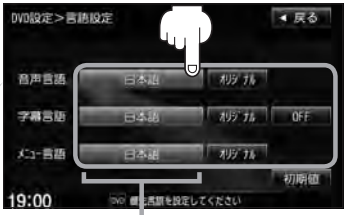
アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。（電源を切っても保持されます。）
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。
  この場合はDVDメニュー（P-10）で切り替えてください。
- 各設定画面のとき１つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中で止める場合は 戻る をタッチしてください。
  ※停止画面のとき再び再生させる場合は ▶II（再生）をタッチしてください。（ディスクの先頭から再生します。）

■ 手順 4 (☞ P-21)で“言語設定”を選んだ場合

## 5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更したい項目をタッチする。

“音声言語”……DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。
“字幕言語”……DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。
“メニュー言語”…DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。



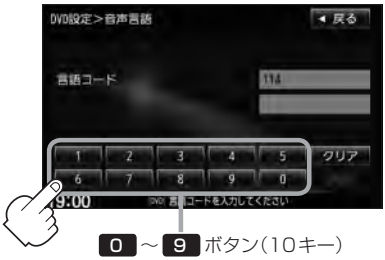

設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード入力画面(下記)を表示)
ただし、言語が オリジナル または OFF に設定されている場合は 言語を選択 と表示されます。

□ 言語を変更するには

：選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。

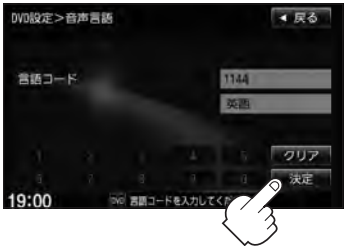
① 言語コード表(☞ P-24)を参照し、言語コードの数字を 0 ～ 9 (10キー)をタッチして入力する。

言語コード入力画面




0 ～ 9 ボタン(10キー)

② 入力が終わったら 決定 をタッチする。



■ 言語設定を初期値に戻す場合

言語設定画面で 初期値 をタッチする。

：変更した言語設定が初期値に戻ります。

アドバイス

- DVD設定をすると続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは クリア をタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- オリジナル を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を OFF にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、 戻る をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

## 言語コード表

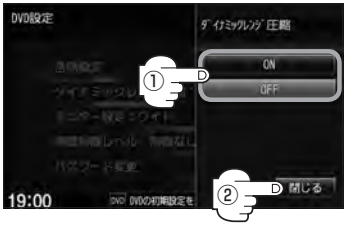
| コード | | 言　語 | コード | | 言　語 | コード | | 言　語 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1027 | AA | アファル語 | 1239 | IE | 国際語 | 1482 | RN | キルンディ語 |
| 1028 | AB | アブバジア語 | 1245 | IK | Inupiak 語 | 1483 | RO | ルーマニア語 |
| 1032 | AF | アフリカーンス語 | 1248 | IN | インドネシア語 | 1489 | RU | ロシア語 |
| 1039 | AM | アムハラ語 | 1253 | IS | アイスランド語 | 1491 | RW | キニヤルワンダ語 |
| 1044 | AR | アラビア語 | 1254 | IT | イタリア語 | 1495 | SA | サンスクリット語 |
| 1045 | AS | アッサム語 | 1257 | IW | ヘブライ語 | 1498 | SD | シンド語 |
| 1051 | AY | アイマラ語 | 1261 | JA | 日本語 | 1501 | SG | サンゴ語 |
| 1052 | AZ | アゼルバイジャン語 | 1269 | JI | イディッシュ語 | 1502 | SH | セルビアクロアチア語 |
| 1053 | BA | バシキール語 | 1283 | JW | ジャワ語 | 1503 | SI | シンハラ語 |
| 1057 | BE | ベラルーシ語 | 1287 | KA | グルジア語 | 1505 | SK | スロバキア語 |
| 1059 | BG | ブルガリア語 | 1297 | KK | カザフ語 | 1506 | SL | スロベニア語 |
| 1060 | BH | ビハーリー語 | 1298 | KL | グリーンランド語 | 1507 | SM | サモア語 |
| 1061 | BI | ビスラマ語 | 1299 | KM | カンボジア語 | 1508 | SN | ショナ語 |
| 1066 | BN | ベンガル、バングラ語 | 1300 | KN | カンナダ語 | 1509 | SO | ソマリ語 |
| 1067 | BO | チベット語 | 1301 | KO | 韓国語 | 1511 | SQ | アルバニア語 |
| 1070 | BR | ブルトン語 | 1305 | KS | カシミール語 | 1512 | SR | セルビア語 |
| 1079 | CA | カタロニア語 | 1307 | KU | クルド語 | 1513 | SS | シスワティ語 |
| 1093 | CO | コルシカ語 | 1311 | KY | キルギス語 | 1514 | ST | セストゥ語 |
| 1097 | CS | チェコ語 | 1313 | LA | ラテン語 | 1515 | SU | スンダ語 |
| 1103 | CY | ウェールズ語 | 1326 | LN | リンガラ語 | 1516 | SV | スウェーデン語 |
| 1105 | DA | デンマーク語 | 1327 | LO | ラオス語 | 1517 | SW | スワヒリ語 |
| 1109 | DE | ドイツ語 | 1332 | LT | リトアニア語 | 1521 | TA | タミール語 |
| 1130 | DZ | ブータン語 | 1334 | LV | ラトビア、レット語 | 1525 | TE | テルグ語 |
| 1142 | EL | ギリシャ語 | 1345 | MG | マダガスカル語 | 1527 | TG | タジク語 |
| 1144 | EN | 英語 | 1347 | MI | マオリ語 | 1528 | TH | タイ語 |
| 1145 | EO | エスペラント語 | 1349 | MK | マケドニア語 | 1529 | TI | ティグリニャ語 |
| 1149 | ES | スペイン語 | 1350 | ML | マラヤーラム語 | 1531 | TK | トゥルクメン語 |
| 1150 | ET | エストニア語 | 1352 | MN | モンゴル語 | 1532 | TL | タガログ語 |
| 1151 | EU | バスク語 | 1353 | MO | モルダビア語 | 1534 | TN | セツワナ語 |
| 1157 | FA | ペルシャ語 | 1356 | MR | マラータ語 | 1535 | TO | トンガ語 |
| 1165 | FI | フィンランド語 | 1357 | MS | マレー語 | 1538 | TR | トルコ語 |
| 1166 | FJ | フィジー語 | 1358 | MT | マルタ語 | 1539 | TS | ツォンガ語 |
| 1171 | FO | フェロー語 | 1363 | MY | ミャンマ語 | 1540 | TT | タタール語 |
| 1174 | FR | フランス語 | 1365 | NA | ナウル語 | 1543 | TW | トウィ語 |
| 1181 | FY | フリジア語 | 1369 | NE | ネパール語 | 1557 | UK | ウクライナ語 |
| 1183 | GA | アイルランド語 | 1376 | NL | オランダ語 | 1564 | UR | ウルドゥー語 |
| 1186 | GD | スコットランドゲール語 | 1379 | NO | ノルウェー語 | 1572 | UZ | ウズベク語 |
| 1194 | GL | ガルシア語 | 1393 | OC | プロバンス語 | 1581 | VI | ベトナム語 |
| 1196 | GN | グアラニ語 | 1403 | OM | （アファン）オロモ語 | 1587 | VO | ボラピュク語 |
| 1203 | GU | グジャラート語 | 1408 | OR | オリヤー語 | 1613 | WO | ウォロフ語 |
| 1209 | HA | ハウサ語 | 1417 | PA | パンジャブ語 | 1632 | XH | コーサ語 |
| 1217 | HI | ヒンディー語 | 1428 | PL | ポーランド語 | 1665 | YO | ヨルバ語 |
| 1226 | HR | クロアチア語 | 1435 | PS | パシュトー語 | 1684 | ZH | 中国語 |
| 1229 | HU | ハンガリー語 | 1436 | PT | ポルトガル語 | 1697 | ZU | ズール語 |
| 1233 | HY | アルメニア語 | 1463 | QU | ケチュア語 | | | |
| 1235 | IA | 国際語 | 1481 | RM | ラエティ＝ロマン語 | | | |

■ 手順 4 (☞ P-21)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

**5** ① **ダイナミックレンジの圧縮をする／しない(ON／OFF)の設定をする。**

：ONをタッチすると圧縮し、OFFをタッチすると圧縮しません。
ONは小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに、OFFは標準音域で聞くときに選んでください。




② **閉じる をタッチする。**

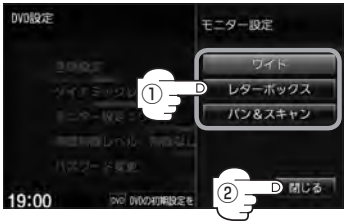
：DVD設定画面に戻ります。

■ 手順 4 (☞ P-21)で“モニター設定”を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

**5** ① **設定したいアスペクト比(ワイド／レターボックス／パン＆スキャン)をタッチする。**

※ 16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン＆スキャンとなります。




② **閉じる をタッチする。**

：DVD設定画面に戻ります。

アドバイス

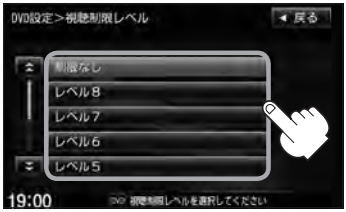
- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を“レターボックス”または“パン＆スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“レターボックス”や“パン＆スキャン”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4：3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”など)に設定してください。

⚠注意 お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

■ 手順 4 (☞ P-21)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

**5** 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。




| 視聴制限レベル | |
|---|---|
| | “制限なし”視聴制限を無効 |
| | “8”－全てのDVDビデオの再生可 |
| | “7”<br>“6”<br>“5”<br>“4”<br>“3”<br>“2” 子供向／一般向のみ再生可 |
| | “1”－子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止) |

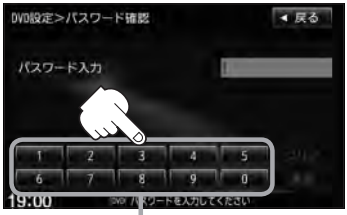
下にいくほど制限が厳しくなります。

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“ 制限なし ”を選択してください。

□ レベルを変更すると

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

① 現在のパスワードを 0 ～ 9 (10キー)をタッチして入力する。




0 ～ 9 ボタン(10キー)

② 入力が終わったら 決定 をタッチする。

アドバイス

- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
  ※工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。
  (現在のパスワードは変更することができます。(☞ P-27参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

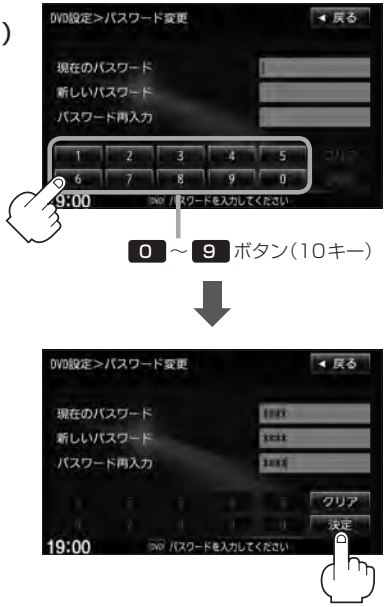
■ 手順 4 (☞ P-21)で“パスワード変更”を選んだ場合

**5** ① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を 0 ～ 9 (10キー)をタッチして入力する。

② 決定 をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

パスワード変更画面




アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは クリア をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
  変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、 戻る をタッチしてください。
- **パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。**
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

# Q

# Digital TV(12セグ／ワンセグ)を見る


テレビについて……Q-2
地上デジタルテレビ放送について……Q-2
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について……Q-2
地上デジタルテレビ放送の番組受信について……Q-3
miniB-CASカードについて……Q-4
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について……Q-5
各部の名称とはたらき……Q-6
DTVメニューについて……Q-9
バナー表示について……Q-10
Digital TV〔12セグ／ワンセグ〕を見る……Q-12
Digital TVモードにすると……Q-12
中継・系列局サーチをする……Q-13
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする……Q-14
番組表を見る……Q-16
スキャンする……Q-18
初期スキャン／再スキャンをする……Q-18
選局する……Q-20
手動選局で放送局を選ぶ……Q-20
自動選局で放送局を選ぶ……Q-20
プリセットで放送局を選ぶ……Q-21
リストで放送局を選ぶ……Q-22
プリセットボタンにメモリーする……Q-24
エリア呼出／プリセット呼出について……Q-25
チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする……Q-26
設定をする……Q-28
映像を切り替える……Q-28
音声を切り替える……Q-29
郵便番号設定……Q-30
自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする……Q-31
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする……Q-32
サービスの設定をする……Q-33
チャンネル設定……Q-34
時計表示設定……Q-36
文字スーパーを切り替える……Q-37
字幕表示を切り替える……Q-38
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する……Q-40
miniB-CASカードのテストをする……Q-42
放送局からの情報を見る……Q-43
設定を初期化する……Q-44
データ放送を利用する……Q-45
リレーサービスの番組を見る……Q-48
臨時サービスの番組を見る……Q-48
緊急放送を見る……Q-49
受信中に緊急放送が始まると……Q-49
エラーコードについて……Q-50

# Q-2 テレビについて

## 地上デジタルテレビ放送について

- 地上デジタルテレビ放送は、アナログ(VHF／UHF)テレビ放送がデジタル化された(UHF帯の電波を使って行なう)放送で、2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始された放送です。
  ※アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
  **(一部地域は除く)**
- お車の走行地域(ご利用の地域)で放送が開始されている必要があります。県域(都道府県)を選択して現在地の設定をしてください。☞「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」Q-14
- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて3種類のサービスがあります。
  ・テレビ放送……従来からのテレビ放送　・ラジオ放送……音声を主とした放送
  ・データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送
  ※本機ではテレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます。(ラジオ放送は未対応)
- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。(時報なども同様に遅れます。)
- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで受信状態を安定させることができます。
  ※セグメントを放送自動切替に設定してください。
  ☞ Q-7操作ボタン2の 受信モード をタッチして切り替えます。
- miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。
  ☞「miniB-CASカードについて」Q-4／「miniB-CASカードを入れる／取り出す」H-8
- **地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。**

・日本の地上デジタルテレビ放送は、約6 MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。

※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

・地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

## 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について

- 2011年8月末より一部の地域を対象として、地上デジタルテレビ放送の周波数資源の再分配や受信障害の解消をおこなうために、地上デジタルテレビ放送の一部チャンネルの周波数変更(リパック)が実施されます。これは総務省が推進する事業で約1年間の期間をかけて対象地域で順次実施されるものです。
  ※ただし、東北地方の岩手県、宮城県については2013年の3月末までに実施されます。
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネルが変更されることで視聴ができなくなった場合、本機で再スキャンする必要があります。(☞ Q-18)
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)の情報に関しては下記のホームページをご覧ください。http://digisuppo.jp/index.php/repack/#repack-main

## 地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズがでたり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

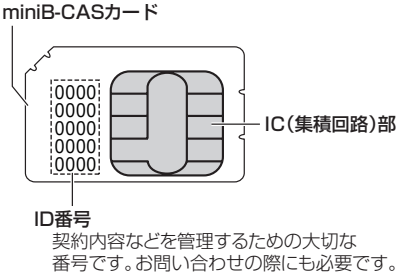
**以下の点にご注意ください。**

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アンセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- お知らせメールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

# Q-4 miniB-CASカードについて

**miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。**

※本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。
ID番号は大切な番号です。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。




- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い上の留意点
  - ・折り曲げたり、変形させない
  - ・上に重いものを置いたり踏みつけたりしない
  - ・水をかけたり、ぬれた手でさわらない
  - ・IC(集積回路)部には手をふれない
    ※IC(集積回路)部に塩分や油分が付着すると故障の原因になることがあります。
  - ・分解加工は行なわない
  - ・カード挿入口に正しく挿入する 「miniB-CASカードを入れる／取り出す」H-8
  - ・ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしない
    ※地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
  - ・付属のminiB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できない
  - ・付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできない
- miniB-CASカードの取り扱いの詳細につきましては、miniB-CASカードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
- 破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。
- **長時間ご使用にならないときは、miniB-CASカードを取り出しておいてください。**
  ※長時間、本機内に入れておくと高温などのためにminiB-CASカードを傷める原因となることがあります。取り出したあとは、大切に保管してください。

# miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について



付属のminiB-CASカードにつきましてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　　受付時間　10：00～20：00(年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「取付説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。

**住所・電話番号は都合により、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。**

# 各部の名称とはたらき

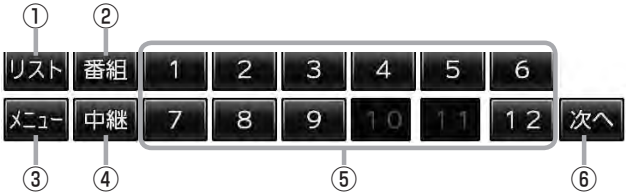
**テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチすると操作ボタンが約10秒表示されます。**
※操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。

アドバイス

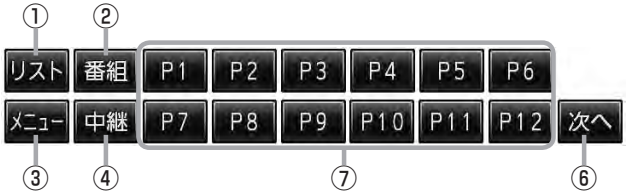
- 操作ボタン1は、チャンネルリストまたはプリセットリストのどちらを設定しているかによって表示内容（機能）が異なります。☞ Q-23
- 映像を表示しているとき、画面左下に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。
☞「時計表示設定」Q-36

操作ボタン1

**チャンネルリスト 設定中の場合**




**プリセットリスト 設定中の場合**




① **リスト ボタン**
チャンネルリストまたはプリセットリスト画面を表示します。
☞ Q-22

② **番組 ボタン**
番組表を表示します。
☞ Q-16

③ **メニュー ボタン**
DTVメニュー画面を表示します。
☞ Q-9

④ **中継 ボタン**
中継局（系列局）をサーチします。
☞ Q-13

⑤ **1 ～ 12 ボタン（エリア）**
あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。
☞ Q-21

⑥ **次へ ボタン**
次ページの操作ボタンを表示します。
（操作ボタン2を表示）☞ Q-7

⑦ **P1 ～ P12 ボタン（プリセット）**
プリセットリスト画面でメモリーした物理チャンネル（13～62 ch）を表示します。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽くタッチします。
☞ Q-21

操作ボタン2

① **受信モード ボタン**
タッチするごとにセグメントを切り替えます。
放送自動切替 → 12セグ → ワンセグ

② **色ボタン ボタン**
色ボタンを表示します。☞下記
データ放送など画面上で指示が出たときに使用します。

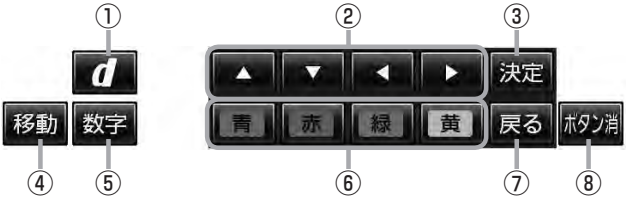
③ **映像切替 ボタン**
映像を切り替えます。
☞ Q-28

④ **音声切替 ボタン**
音声を切り替えます。
☞ Q-29

⑤ **d ボタン**
データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
☞ Q-45

⑥ **前へ ボタン**
前ページの操作ボタンを表示します。
（操作ボタン1を表示） ☞ Q-6

色ボタン




① **d ボタン**
データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
☞ Q-45

② **▲／▼／◀／▶ ボタン（カーソルキー）**
データ放送画面操作時に項目を選ぶときに使用します。

③ **決定 ボタン**
データ放送画面で選んだ項目を決定（実行）します。

④ **移動 ボタン**
操作ボタンの表示を画面の上側または下側へ移動します。

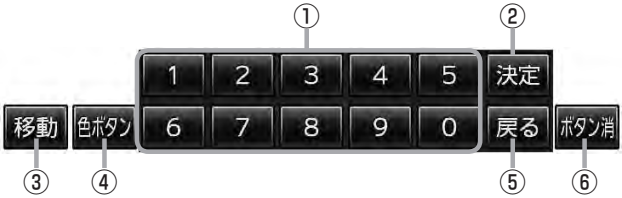
⑤ **数字 ボタン**
数字ボタンを表示します。
データ放送時に数字を入力するときに使用します。

⑥ **青／赤／緑／黄 ボタン（カラーキー）**
データ放送画面操作時に項目を選ぶときに使用します。
☞ Q-46

⑦ **戻る ボタン**
データ放送画面操作時に
1つ前のデータ放送画面に戻ります。

⑧ **ボタン消 ボタン**
操作ボタンを消します。

数字ボタン




① 0 ～ 9 ボタン(10キー)
データ放送利用中に数字を入力するときに使用します。

② 決定 ボタン
データ放送画面で選んだ項目を決定(実行)します。

③ 移動 ボタン
操作ボタンの表示を画面の上側または下側へ移動します。

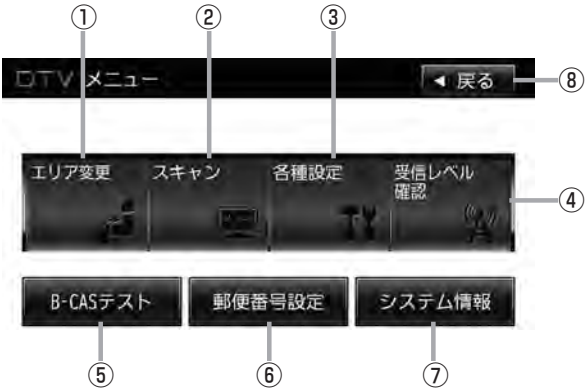
④ 色ボタン ボタン
色ボタンを表示します。
データ放送画面上で指示が出たときに使用します。

⑤ 戻る ボタン
データ放送画面操作時に1つ前のデータ放送画面に戻ります。

⑥ ボタン消 ボタン
操作ボタンを消します。

## DTVメニューについて

画面をタッチして操作ボタン1を表示させているとき、 メニュー をタッチするとDTVメニュー画面を表示させることができます。地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこのDTVメニューを使って行ないます。




① **エリア変更 ボタン**
視聴エリアを変更します。
☞ Q-14

② **スキャン ボタン**
初期スキャン／再スキャンをすることができます。
☞ Q-18

③ **各種設定 ボタン**
Digital TVのいろいろな設定をすることができます。
- 放送自動切替 ☞ Q-31
- 中継・系列局サーチ ☞ Q-32
- サービス設定 ☞ Q-33
- チャンネル設定 ☞ Q-34
- 時計表示 ☞ Q-36
- 文字スーパー表示 ☞ Q-37
- 字幕表示 ☞ Q-38

④ **受信レベル確認 ボタン**
受信レベルの確認をすることができます。
☞ Q-40

⑤ **B-CASテスト ボタン**
miniB-CASカードのテストをすることができます。
☞ Q-42

⑥ **郵便番号設定 ボタン**
郵便番号の設定をすることができます。
☞ Q-30

⑦ **システム情報 ボタン**
受信情報の確認 ☞ Q-43や
メモリの初期化 ☞ Q-44をすることができます。

⑧ **戻る ボタン**
受信画面に戻ります。

## バナー表示について

地上デジタルテレビ放送を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。

バナー表示(例)

### ①放送の種類

HD ハイビジョン放送
SD 標準放送(SDTV)
※本機は HD を表示しても映像は標準画質で映されます。( HD / SD は放送の種類を示すもので画質を示すものではありません。)

### ②放送局名

放送局の名称を最大10文字まで表示します。

### ③チャンネル番号(チャンネル表示)

設定によりチャンネル表示を変更することができます。☞ Q-34

### ④音声の種類

番組の音声を表示します。

(例) ステレオ モノラル / マルチCH ステレオ ＊ / JPN 主 / ENG 副 / JPN+ENG

※音声(と映像)が複数ある場合選択することができます。
☞「(音声を切り替える)」Q-29
＊印…本機は5.1chサラウンドには対応していません。

### ⑤番組名および記号

番組の名称を最大20文字まで表示します。
また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。
(例)
デ 番組連動データ放送
二 2カ国語放送
字 字幕放送
B 圧縮Bモードステレオ音声
SS サラウンドステレオ音声
多 音声多重放送
再 再放送
S ステレオ放送
解 音声解説
映 劇映画
吹 吹き替え
W ワイド放送
MV マルチビューテレビ放送 …など
※記号は放送局側で付けられています。
※上記以外の記号もあります。

### ⑥日付

放送番組の日付を表示します。

### ⑦放送時刻

番組の放送時刻を表示します。

### ⑧プリセット表示

プリセットリストを選択している場合に表示されます。
☞ Q-23

### ⑨ エリア番号／プリセット番号

そのチャンネルがエリア登録またはプリセット登録されていることを表し、表示される数字はエリア番号またはプリセット番号を表します。

### ⑩ 番組の種類など〔データ放送は12セグのみ〕

| テレビ放送 | 独立型データ放送 |
|---|---|
| テレビ | データ |
| テレビ d ← | 番組内容と関連しないデータ放送あり |
| テレビ +d ← | 番組内容と関連したデータ放送あり |

「データ放送を利用する」Q-45

### ⑪ 字幕

番組に字幕サービスがあるときに 字 が明るく表示されます。

「字幕表示を切り替える」Q-38

### ⑫ 信号選択

複数の映像や音声が送られているときに が明るく表示されます。

「映像を切り替える」Q-28
「音声を切り替える」Q-29

### ⑬ チャンネルのロゴマーク

アドバイス

- 表示の内容は放送局や番組によって異なる場合があります。
- これらの表示は番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません。

# Q-12 Digital TV〔12セグ／ワンセグ〕を見る

⚠ 映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
（走行中は音声のみになります。）

## Digital TVモードにすると

**GPSから得たお車の位置に自動で視聴エリアの変更を行ない、また、中継･系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ（探索）を行ないます。**
**視聴中、本機内部では常に中継局／系列局をサーチしています。電波状態の良い放送局がある場合のみ視聴画面として切り替わります。**

中継・系列局サーチ中に表示

※サーチ機能が自動で働くのは中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合となります。
☞「中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする」Q-32
※サーチした放送局によっては元の視聴中の番組と異なる場合があります。
※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。
☞「視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする」Q-14

# 中継・系列局サーチをする



中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。
もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。
「中継局」とは、放送局が周波数を変えて(あるいは同じ周波数で)、サービス地域の受信を補償するため、同じ放送内容を再送信する施設のことです。これに対して「系列局」とは、いわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局です。従って放送内容が必ずしも同じであるとは限りません。
「ネットワーク系列」として、次のものを定義しています。
NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV(日本テレビ)系列、CX(フジ)系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列(2011年3月現在)

※中継・系列局サーチの自動／手動の設定につきましては、
「中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする」Q-32をご覧ください。

## 1 自動／手動で中継・系列局をサーチする。

### ■ 中継・系列局サーチを自動でする場合

：受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

### ■ 中継・系列局サーチを手動でする場合

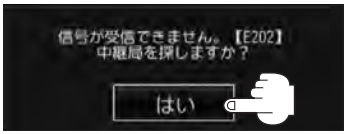
① 画面をタッチし、 中継 をタッチする。

中継・系列局サーチ中画面(例)

：受信状態にかかわらず、すぐに中継・系列局をサーチします。

アドバイス

中継･系列局サーチの設定(Q-32)で"手動"を選択している場合、視聴中の放送局が受信できない状況になると、画面にメッセージが表示されるので、 はい をタッチすると受信できる放送局を探します。



アドバイス

サーチ中に ⏮ ／ ⏭ (選局)をタッチする、または 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)をタッチするとサーチは止まり、要求された選局を行ないます。

# Q-14 視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

**初期設定のエリア変更は「自動」に設定されています。**

アドバイス
お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行ないます。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記に従って操作してください。
現在地によって受信できる放送局( 1 ～ 12 (エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。

## 1 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン表示画面(例)

## 2 エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

DTVメニュー画面

## 3 手動 をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。

※すでに“手動”が設定されている場合は、手順 4 (☞ Q-15)へ進んでください。

視聴エリア変更画面

### ■ エリア変更を“自動”にする場合

① 右記画面のとき 自動 をタッチする。

：“自動”に設定されます。

## 4 現在地の地方と県域をタッチする。

視聴エリア変更画面(地方選択時)

視聴エリア変更画面(県域選択時)

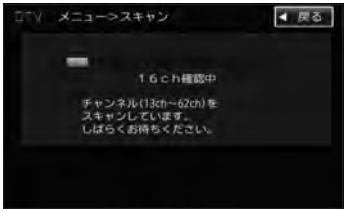
選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局が全て 1 ～ 12 (エリア)にプリセット(メモリー)されます。
※選択している地域で放送されている放送局を全てプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

：現在地を変更し、スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

### ■ スキャンを行なう場合

① はい をタッチする。

：スキャンを開始します。




※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

### ■ スキャンを行なわない場合

① いいえ をタッチする。

：スキャンをしないで受信画面を表示します。



アドバイス

- 視聴エリアを変更した場合は はい をタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、 1 ～ 12 (エリア))にプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。
  ※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行なってください。☞ Q-18

# Q-16 番組表を見る

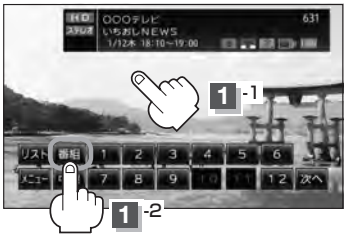
**受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。**

## 1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、番組 をタッチする。

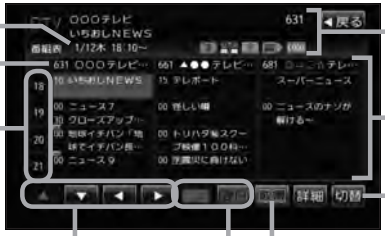
：番組表が表示されます。

※番組表／詳細情報表示中、音声・映像は出力されません。

操作ボタン１表示画面(例)




番組表(例)




日付曜日

チャンネル番号
放送局名表示

時間帯表示

選択中の番組の放送局名やチャンネル・日付曜日などを表示

番組表表示

＊

▲／▼／◀／▶(カーソルキー)を使って番組表をスクロールさせることができます。
※情報未取得のチャンネル(放送局)にカーソルを移動させると、番組情報を自動で取得します。

取得 をタッチすると、選択中エリア全ての放送局の番組情報を一括で取得します。
※この操作で取得できる情報は、最大９時間後までの分となります。

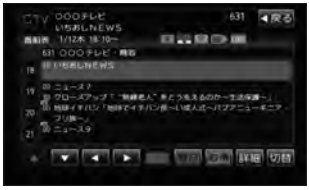
当日以降の番組を表示している場合、 前日 タッチで前日の番組表を表示します。 翌日 をタッチすると、翌日の番組表を表示します。**(７日目まで)**
**※１２セグの場合のみ**

＊印･･･ 切替 をタッチするたびに番組表に表示されるチャンネル情報の数(放送局数)を切り替えることができます。

３チャンネル表示(例)

５チャンネル表示(例)

１チャンネル表示(例)



## ■ 番組の詳細情報を見る場合

さらに番組の詳細情報を見ることができます。

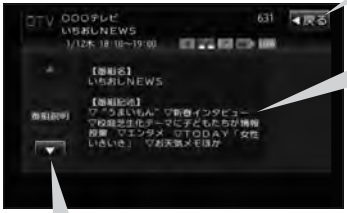
① ▲／▼／◀／▶（カーソルキー）で見たい番組を選択し、詳細 をタッチする。

番組表　3チャンネル表示（例）

番組

：視聴中または、すでに番組情報を取得済の放送局を選択した場合は、番組内容画面が表示されます。

番組内容画面（例）




タッチすると番組表へ戻ります。

続きがある場合、▲／▼ タッチでスクロールさせることができます。

内容
**番組名**……番組のなまえ
**番組記述**……番組の内容や出演者など
**番組内容**……番組の内容（あらすじ）などを番組記述より詳しく表示
**出演者**……出演者名
**ジャンル**……番組のジャンル
**信号**……525i、ステレオなどの情報
**その他**……中止や延長、シリーズ番組の情報など
※上記の内容は情報がある項目のみ表示されます。

## 2 番組表を見たら、戻る をタッチする。

：現在視聴中の受信画面に戻ります。

アドバイス

- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、すぐに表示が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- ワンセグの場合、表示できる時間帯が12セグより短くなります。
- 表示される番組表は最終選択時の状態を保持するため、番組 をタッチしたときに表示されるチャンネル情報（放送局）の数は状態によって異なります。

# Q-18 スキャンする

## 初期スキャン／再スキャンをする

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

**2** **スキャン** をタッチする。

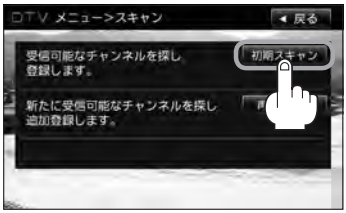
：スキャン画面が表示されます。

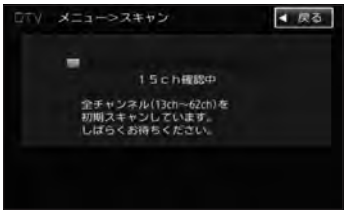
DTVメニュー画面

**3** 初期スキャン／再スキャンを選択する。

■ 初期スキャンをする場合

① **初期スキャン** をタッチする。




：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

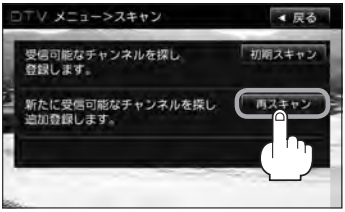
アドバイス

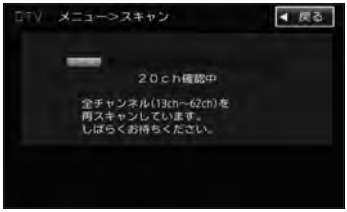
初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**1** ～ **12** (エリア)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。
※その時点で受信できない放送局はチャンネルリストから削除されます。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときなどに行ないます。

① 再スキャン をタッチする。




：新たに受信可能なチャンネルを探し、プリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 既にチャンネルリストにある放送局と同じチャンネル番号の放送局も枝番号を使って追加されます。但し、チャンネルリストに登録される放送局全体には上限があります。
- スキャンをしてチャンネル設定した場合に、再度同じ県域(都道府県)をプリセット(メモリー)しても前回設定されたチャンネルのままとなります。プリセット(メモリー)前の状態に戻すには初期化を行なってください。

「チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする」Q-26／「設定を初期化する」Q-44

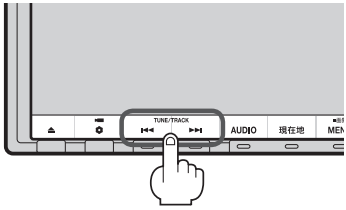
# Q-20 選局する

チャンネルを選びます。（手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局）

## 手動選局で放送局を選ぶ

**1** ⏮／⏭（選局）をタッチする。

：ボタンをタッチするたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。




⏮／⏭ボタン
（選局）

アドバイス
地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。その場合、ボタンをタッチするごとにプリセット（メモリー）されている放送局に順に変わります。

## 自動選局で放送局を選ぶ

**1** ⏮／⏭（選局）を 1 秒以上タッチする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※放送局を受信または一巡するまで自動選局は継続されます。

アドバイス
- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合、全チャンネルを一通りシーク（探し求めた）後、自動選局は止まります。

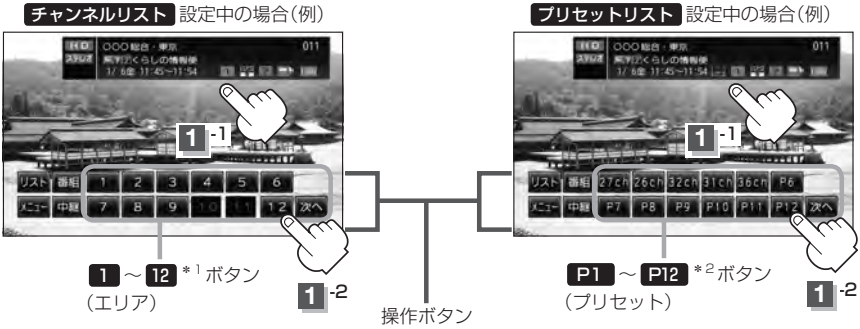
## プリセットで放送局を選ぶ

**プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が P1 ～ P12 (プリセット)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。**

※あらかじめ 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」Q-14
「スキャンする」Q-18
「プリセットボタンにメモリーする」Q-24

**1** 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、 1 ～ 12 (エリア)または P1 ～ P12 (プリセット)の中で呼び出したい数字をタッチする。




：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。

アドバイス

＊1印…放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。
＊2印… P1 ～ P12 は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示( 13ch ～ 62ch )となります。

- 1 ～ 12 (エリア)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その 1 ～ 12 (エリア)をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(Q-23)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「Digital TVのチャンネル一覧」T-18より確認できます。

## リストで放送局を選ぶ

**リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。**

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」Q-14
「スキャンする」Q-18
「プリセットボタンにメモリーする」Q-24

**1** **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、リスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

**2** **チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出す。**

### ■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

**① リストより呼び出したい放送局をタッチする。**

チャンネルリスト画面(例)

エリア番号　放送局名

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。

：選択した放送局を受信します。

アドバイス
- プリセットリスト(右記)が表示された場合は チャンネルリスト をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。
- 視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、チャンネルリスト／ 1 ～ 12 (エリア)は自動で変更されます。

アドバイス
チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「Digital TVのチャンネル一覧」T-18より確認できます。

## ■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)

：プリセットリスト画面が表示されます。

アドバイス　すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

プリセットリスト画面(例)

1～12表示(P1～P12)　放送局名と物理チャンネル

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

：選択した放送局を受信します。

アドバイス

- チャンネルリストは操作ボタン1の **1** ～ **12** (エリア)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
  ※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。

チャンネルリスト画面(例)

エリア番号　放送局名

操作ボタン1

(例) **1** ～ **12** ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタン1の **P1** ～ **P12** (プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。
  ＊印…物理チャンネル ☞ Q-35

プリセットリスト画面(例)

プリセット番号
※P1にメモリーされている場合1と表示

放送局名／物理チャンネル
※メモリーされていない場合、リストに表示されません。

操作ボタン1

(例) **P1** ～ **P12** ボタン(プリセット)

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるか状態によって異なります。
- **チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、約10秒後に消えます。**

# Q-24 プリセットボタンにメモリーする

プリセット選局(☞ Q-21)やリスト選局(☞ Q-23)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

**1** ⏮／⏭(選局)をタッチして、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「手動選局で放送局を選ぶ／自動選局で放送局を選ぶ」Q-20

**2** プリセットリストを呼び出す。

☞「リストで放送局を選ぶ」Q-22手順 1 およびQ-23

**3** プリセットリストのメモリーしたい1～12を1.5秒以上タッチする。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※操作ボタン1の P1 ～ P12 表示は設定すると 13ch ～ 62ch (物理チャンネル)表示へと変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。

プリセットリスト

1 に27チャンネルをプリセット(メモリー)した場合

1～12表示
(P1～P12に相当)

メモリーしたチャンネルが表示されます。

アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには P1 ～ P12 (プリセット☞ Q-21)／プリセットリスト(上記)を軽く(1.5秒未満)タッチします。☞ Q-21
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

## エリア呼出／プリセット呼出について

**テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。**

チャンネルリスト設定中(☞ Q-22)に画面をタッチすると

操作ボタン１

1 ～ 12 (エリア)が表示される

プリセットリスト設定中(☞ Q-23)に画面をタッチすると

操作ボタン１

P1 ～ P12 (プリセット)が表示される

※ 1 ～ 12 (エリア)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。
P1 ～ P12 (プリセット)は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。
メモリーしたボタンは物理チャンネル*の表示に変わります。たとえば P1 に27チャンネルをプリセットすると P1 は 27ch 表示になります。
＊印…物理チャンネル☞ Q-35

※操作ボタン１の表示は最終選択時の状態を保持するため、 チャンネルリスト ／ プリセットリスト (☞ Q-23アドバイス)どちらを選択したかによって表示が異なります。

※初期状態はチャンネルリストが設定されています。

# Q-26 チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする

## 1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、リスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン表示画面(例)

## 2 チャンネルリストまたはプリセットリストをクリアする。

### ■ チャンネルリストをクリアする場合

① リストクリア をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)

：チャンネルリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとチャンネルリストがクリアされます。（視聴エリアのチャンネルリストをセットします。）

> アドバイス
> プリセットリストが表示された場合は チャンネルリスト をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

### ■ プリセットリストをクリアする場合

① プリセットリスト をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)

：プリセットリスト画面が表示されます。

② リストクリア をタッチする。

プリセットリスト画面

：プリセットリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると、プリセットリストがクリアされます。（全ての登録内容がから（空白）になります。）

> アドバイス
> すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

**3** 設定を終えるには、表示が消えるまで待つか 戻る をタッチする。

：視聴画面に戻ります。

アドバイス

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるかは状態によって異なります。
- **チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、約 10 秒後に消えます。**

# Q-28 設定をする

## 映像を切り替える

数種類の映像が同時に放送されている番組では、本機で映像を切り替えることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、次へ をタッチする。

：操作ボタン２が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

**2** 映像の切り替えは放送内容によって異なります。

### ■ 数種類の映像がある場合

① 映像切替 をタッチする。

：映像の種類が表示されます。

② 表示が出ている間に 映像切替 をタッチして希望の映像を選ぶ。

：タッチするごとに映像が切り替わります。

操作ボタン２

映像の種類(例)

アドバイス　12セグの場合、数種類の映像が放送されているときはバナー表示の が明るく表示されます。

### ■ マルチビューテレビ放送の場合

マルチビューテレビ放送は、主番組、副番組の複数映像をひとつの番組内で同時放送するサービスです。

① 映像切替 をタッチする。

：映像の種類が表示されます。

② 表示が出ている間に 映像切替 をタッチして希望の映像を選ぶ。

：タッチするごとに映像が切り替わります。

操作ボタン２

映像の種類(例)

アドバイス
- マルチビューテレビ放送を受信したときは画面に“マルチビューテレビ放送です。「映像切替」キーで選択できます。”とメッセージが表示されます。
- 本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。

## 音声を切り替える

数種類の音声が同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**次へ** をタッチする。

：操作ボタン２が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

**2** 音声の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 二重音声(デュアルモノラル)の場合

① **音声切替** をタッチする。

：音声が表示されます。

操作ボタン２

② 表示が出ている間に **音声切替** をタッチする。

：タッチするごとに「JPN」、「ENG」、「JPN＋ENG」など切り替わります。

音声表示(例)

■ 数種類の音声がある場合

① **音声切替** をタッチする。

：音声の種類が表示されます。

操作ボタン２

② 表示が出ている間に **音声切替** をタッチする。

：音声が切り替わります。

アドバイス　数種類の音声が放送されているときはバナー表示の が明るく表示されます。

● **音声の種類について**

ステレオ……２チャンネル(左右)のステレオ放送です。
モノラル……左右が同じ音の、ステレオではない音です。
デュアルモノラル…複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

## 郵便番号設定

郵便番号を設定することによって、地域特有のサービス情報やドライブ先の情報を知りたいときに便利です。

「データ放送を利用する」Q-45

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

**2** 郵便番号設定 をタッチする。

：郵便番号設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** 0 ～ 9 (10キー)をタッチして郵便番号を入力し、決定 を２回タッチする。

：システム設定画面に戻ります。

郵便番号設定画面

**4** 戻る をタッチすると受信画面に戻る。

## 自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする

受信モード (☞ Q-7)で放送自動切替に設定されているとき、優先するモードを切り替えることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

**2** 各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** 自動切替の設定をする。

■ 12セグ優先 をタッチした場合

：受信状態が悪くなっても、できるだけ12セグを優先して受信します。

■ ワンセグ優先 をタッチした場合

：受信状態が悪くなった場合、早々にワンセグに切り替えます。

※放送局によってワンセグ放送をしていない場合があります。その場合はワンセグ受信モードには切り替わりません。

各種設定画面

アドバイス

- セグメントは操作ボタン2の 受信モード をタッチして切り替えます。(☞ Q-7)
  ※ワンセグ固定受信、12セグ固定受信と、状況によって12セグとワンセグを切り替える自動切替の中から選択できます。
- 障害物などの影響により放送エリア内でも(12セグ／ワンセグともに)受信できない場合があります。
- 12セグとワンセグでは、放送内容が異なる場合があります。
- DTVメニューから設定するここでの設定は、放送自動切替の優先設定をするのみで現在の受信モードを変更するわけではありません。現在の受信モードを変更したい場合は操作ボタン2(☞ Q-7)の 受信モード をタッチして行なってください。
- 工場出荷時は 12セグ優先 に設定されています。

**4** 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

## 中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする

受信状態が悪くなった場合に自動で他の中継局／系列局を探すか、手動で探すかを設定することができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面（例）

**2** 各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** 自動／手動の設定をする。

■ 自動 をタッチした場合

：自動で中継局と系列局を探します。

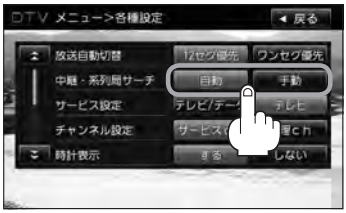
※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

■ 手動 をタッチした場合

：放送局が受信できなくなった場合は、中継局を探すことをうながすメッセージが表示されます。

「中継・系列局サーチをする」Q-13
手順 1 アドバイス

各種設定画面




**4** 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

工場出荷時は 自動 に設定されています。

## サービスの設定をする

独立データサービス(Gガイドなど)を選局するかどうかの設定をすることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

**2** 各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** サービスの設定をする。

■ テレビ／データ をタッチした場合

：テレビサービスと独立データサービスの両方を選局します。

■ テレビ をタッチした場合

：テレビサービスのみ選局します。

※独立データサービスがあった場合、とばして選局します。

各種設定画面

**4** 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- テレビ に設定した場合、番組表もテレビサービスのみ表示されます。
- データサービスは12セグの場合です。
- 工場出荷時は テレビ に設定されています。

## チャンネル設定

バナー表示に表示されるチャンネル番号の表示を変えることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

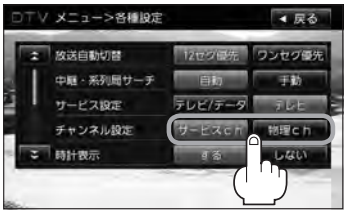
**2** **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

## 3 チャンネル表示の設定をする。

各種設定画面(例)




### ■ サービスチャンネルを表示させる場合

① **サービスch** をタッチする。

バナー表示(例)

チャンネル番号
011(サービスチャンネル表示)

：3ケタの数字でチャンネル番号が表示されます。

※初期状態はサービスチャンネルの表示で設定されています。

### ■ 物理チャンネルの番号を表示させる場合

① **物理ch** をタッチする。

バナー表示(例)

チャンネル番号
27 ch(物理チャンネル表示)

：2ケタの数字(13～62 ch)でチャンネル番号が表示されます。

## 4 設定を終えるには、 **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

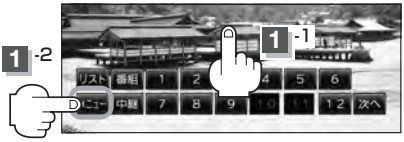
## 時計表示設定

画面上に常に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)




**2** 各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** 時計表示をするかどうかの設定をする。

■ 時計を表示させる場合

① する をタッチする。

：常に時計を表示します。

※テレビの全ての画面に時計が表示されます。

各種設定画面

■ 時計を表示させない場合

① しない をタッチする。

：時計は表示されません。

**4** 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

工場出荷時は する に設定されています。

## 文字スーパーを切り替える

視聴者にお知らせしたい情報(臨時ニュースなど)を受信したとき、番組放送中の画面に表示するかどうかの設定をすることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

**2** 各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** ▼ をタッチし、表示方法( 第1言語 、第2言語 、 しない )を選択する。

■ 文字スーパーを表示させる場合

第1言語 または 第2言語 をタッチする。

：選択した言語で文字スーパーが表示されます。

■ 文字スーパーを表示させない場合

しない をタッチする。

：文字スーパーは表示されません。

各種設定画面

**4** 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 工場出荷時は 第1言語 に設定されています。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が働かないものもあります。
- 文字スーパーは12セグのみのサービスです。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。「字幕表示を切り替える」Q-38

## 字幕表示を切り替える

映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

**2** 各種設定 をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** ▼ をタッチし、表示方法( 第１言語 、第２言語 、 しない )を選択する。

■ 字幕を表示させる場合

第１言語 または 第２言語 をタッチする。

：選択した言語で字幕が表示されます。

■ 字幕を表示させない場合

しない をタッチする。

：字幕は表示されません。

各種設定画面

**4** 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。
- バナー表示を表示させたとき、字幕サービスがあると明るく表示されます。

- 番組によっては、字幕が音声より遅れて表示されます。
- 工場出荷時は しない に設定されています。

## 受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

**1** **画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、メニュー をタッチする。**

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

**2** **受信レベル確認 をタッチする。**

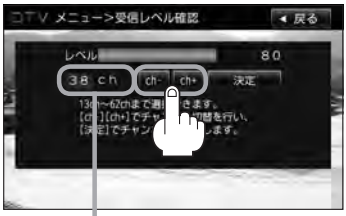
：受信レベル確認画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** **ch－ ／ ch+ をタッチする。**

：タッチするたびに１チャンネルずつ変わります。13 ch～62 chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

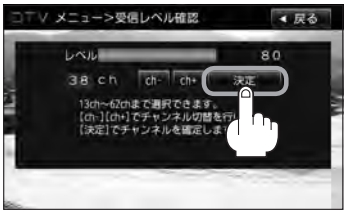
受信レベル確認画面(例)




チャンネル表示

**4** **決定 をタッチする。**

：チャンネルを確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネルの放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)

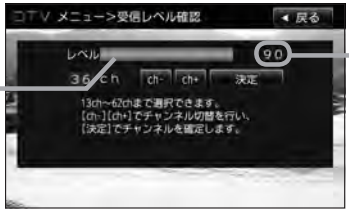


## 5 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さと数値にて)確認することができます。

受信レベル確認画面(例)




バー表示

MAXを100とし、100に近い程受信状態は安定しています。

# Q-42 miniB-CASカードのテストをする

miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3 秒以上経ってからB-CASテストを行なってください。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

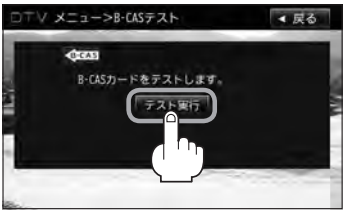
操作ボタン１表示画面(例)

**2** **B-CASテスト** をタッチする。

：B-CASテスト画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** **テスト実行** をタッチする。



：テストが実行され、正常に動作する状態であれば“正常です。”と表示されます。

**4** 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

# 放送局からの情報を見る

放送局からのお知らせメールを見ることができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

**2** **システム情報** をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** **受信情報確認** をタッチする。

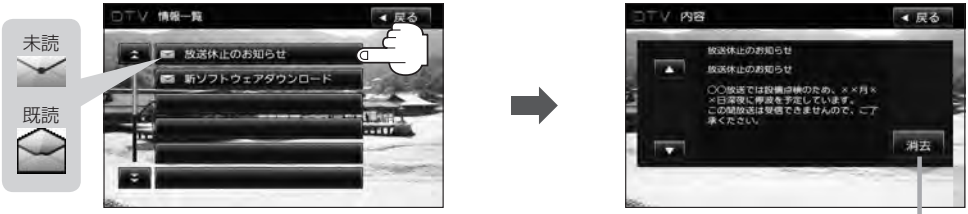
：情報一覧画面が表示されます。

※お知らせメールがない場合 **受信情報確認** は選択できません

システム情報画面(例)

**4** 確認したいメールをタッチする。

：選択したメールの内容が表示されます。




※次ページがある場合、▲／▼、▲／▼ タッチで戻り／送り表示することができます。

**消去** をタッチすると選択中のメールを消去することができます。

**5** 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 本機で受信できる情報(お知らせメール)は 16 件までです。
- メールにはトラブルを知らせるものなどがあります。
- miniB-CASカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

# Q-44 設定を初期化する

本機のDigital TVモードの状態を初期化することができます。

**1** 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

**2** **システム情報** をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

DTVメニュー画面

**3** **メモリ初期化** をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい** を画面に従ってタッチすると、設定内容を初期化します。

システム情報確認画面(例)

**4** 初期化が終わったら、車のエンジンスイッチをO(ロック)にし、電源を切る。

※他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをⅡ(ON)にし、電源を入れてください。

アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化** を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。

**お願い**

- **初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。**
  故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去されます。

# データ放送を利用する



**データ放送は12セグのみ対応しています。**
**地上デジタルテレビ放送では、映像や音声によるテレビ放送のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送があります。**
※データ放送を利用するにはあらかじめ郵便番号を設定しておく必要があります。
「郵便番号設定」Q-30

- **データ放送には番組付加型と独立型があります。**
  番組付加型データ放送…天気やニュースなど番組に関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報などを提供
  独立型データ放送……データのみを専門に放送

## 1 Q-20の手順に従って、番組付加型データ放送または独立型データ放送の放送局を選局する。

## 2 データ放送を見る。

※バナー表示に“テレビd”または“テレビ+d”と表示されます。

バナー表示

放送局の送信データによってはアイコンが表示されない場合でもデータ放送が放送されている場合があります。

### ■ 番組付加型データ放送を見る場合

① **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、次へをタッチする。**

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1（例）

② **dをタッチする。**

：データ放送画面が表示されます。

操作ボタン2（例）

③ 色ボタン をタッチする。

データ放送画面(例)

※ボタンが消えた場合はQ-45手順①に従って操作し、表示させてください。

④ 色ボタンを使って見たい項目を選択し、 決定 をタッチする。

データ放送画面(例)

アドバイス

- 番組により 青 ／ 赤 ／ 緑 ／ 黄 (カラーキー)を使った画面や、数字入力画面が表示されます。画面の指示に従って、 青 ／ 赤 ／ 緑 ／ 黄 (カラーキー)／ 0 ～ 9 (10キー)(☞ Q-8)をタッチして項目を選択してください。「ピッ」と確認音が出ることもあります。
- 操作ボタンを移動させたいときは 移動 をタッチしてください。(上下に移動します。)
- 受信する放送局によっては、表示するまでに時間がかかる場合があります。その間に d を数回タッチすると、データ放送画面が表示されない場合があります。

⑤ データ放送を終了するには、d をタッチする。

データ放送画面(例)

：受信画面に戻ります。

※色ボタンを消すには ボタン消 をタッチしてください。

アドバイス

- 表示が“ テレビ d ”のときは、天気予報など番組とは直接関連しないデータ放送です。
- 表示が“ テレビ +d ”のときは、出演者や選手の情報など番組内容に関連するデータ放送です。
- 放送電波からデータを取得している間は“データ取得中”と表示されます。“dボタンを押してください”と表示される番組もあります。
- 受信時に“dボタンを押してください”と表示される番組では、 d をタッチしたときにデータ放送のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面の項目を選んだときに別のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- d をタッチしなくても自動でデータ放送画面が表示される場合もあります。
- 画面の操作ボタンの表示が消えた場合は、再度画面をタッチし 次へ をタッチし操作ボタン2を使用して色ボタンの表示や d タッチでデータ放送の終了をしてください。

## ■ 独立型データ放送を見る場合

独立型データ放送では受信後のバナー表示に“データ”と表示されます。

データ放送画面(例)

① Q-45手順①に従って操作し、②のとき 色ボタン をタッチする。

データ放送画面(例)

② 画面の色ボタンを使って見たい項目を選選択し、 決定 をタッチする。

データ放送画面(例)

アドバイス

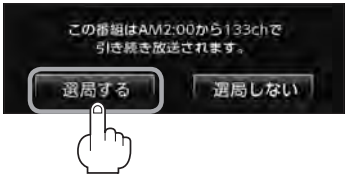
- 選局した後、データが取得されると画面が表示されます。
- 音声が流れる番組や動画が表示される番組があります。
- 独立型データ放送の画面は、番組付加型データ放送と同じように 青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー)を使った画面(手順は上記参照)、数字入力画面が表示されます。画面の指示に従って、カラーキー 青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー)や 0 ～ 9 (10キー)(☞ Q-8)をタッチして項目を選択してください。
- データ放送の操作は番組によって異なります。操作のしかたは画面の指示に従ってください。操作方法がわからない場合は、それぞれの放送局へお問い合わせください。

# Q-48 リレーサービスの番組を見る

**リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらない場合に別のチャンネルで番組の続きを放送するサービスです。**
※リレーサービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

**1** **選局する をタッチする。**

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



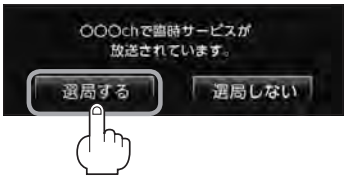

アドバイス　番組の続きを見ない場合は、 選局しない をタッチしてください。

# 臨時サービスの番組を見る

**放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送する場合があります。**
※臨時サービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

**1** **選局する をタッチする。**

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。




## ■ 臨時放送が終了した場合

：臨時放送が終了すると、画面に“臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。”と表示され、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。

アドバイス
- 臨時サービスは12セグのみのサービスです。
- 番組の続きを見ない場合は、 選局しない をタッチしてください。

# 緊急放送を見る

**災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。**

- **「現在地設定」をしてください。**
  緊急放送は地域別に異なることがありますので、本機の購入・設置時に現在地設定(地方／県域の設定)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。
  「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」Q-14

## 受信中に緊急放送が始まると

緊急放送が始まると、画面に“緊急放送が始まりました。”と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。

### ■ 緊急放送が終了した場合

：緊急放送が終了すると、画面に“緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。”と表示され、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

アドバイス
緊急放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。Digital TV モード以外のモードを選択しているときや、車のエンジンスイッチを0(ロック)にしているときは緊急放送は受信できません。

# Q-50 エラーコードについて

画面にメッセージとエラーコード〔Exxx〕が表示された場合は以下の原因が考えられます。

| メッセージ | エラーコード | 本機の動作および処置 |
|---|---|---|
| 信号が受信できません。<br>中継局を探しますか？ | 〔E202〕 | アンテナ線が外れているとき。<br>アンテナ線を確認してください。 |
| | | 受信状態が悪く、番組を提示できないとき。<br>受信できる場所に移動してください。 |
| 現在、放送されていません。 | 〔E203〕 | 放送休止中のとき。<br>(PAT ／ PMT が取得できず)<br>視聴できるチャンネルを選択してください。 |
| 放送チャンネルではないため、視聴できません。 | 〔E200〕 | 非放送サービスを受信したとき。<br>視聴できるチャンネルを選択してください。 |
| データが受信できません。 | 〔E400〕 | データ放送の BML ドキュメントが取得できないとき。<br>視聴できるチャンネルを選択してください。 |
| この受信機ではデータを表示できません。 | 〔E401〕 | データ放送の BML エンジンが、取得した BML ドキュメントのバージョンをサポートしていないとき。<br>視聴できるチャンネルを選択してください。 |
| データの表示に失敗しました。 | 〔E402〕 | データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこったとき。<br>もう一度やりなおしてください。 |
| 現在、このチャンネルには放送局がありません。 | 〔E204〕 | 10 キー選局において、存在しないチャンネル番号を入力したとき。<br>※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。<br>存在するチャンネルを入力してください。 |
| この受信機では、このチャンネルは受信できません。 | 〔E210〕 | 10 キー選局において、未対応チャンネルのチャンネル番号を入力したとき。<br>※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。<br>対応しているチャンネルを入力してください。 |
| アンテナ接続が異常接続です。 | 〔E209〕 | アンテナ電源がショートしたとき。<br>アンテナ電源を確認してください。 |

# R

# VTRを使う



各部の名称とはたらき……R-2
接続する……R-3

# R-2 各部の名称とはたらき

※操作ボタンは画面をタッチしたときに表示されます。

① **ボタン消 ボタン**

表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。

② **Quick ボタン**

Quick機能を使用することができます。

☞ B-19

# 接続する

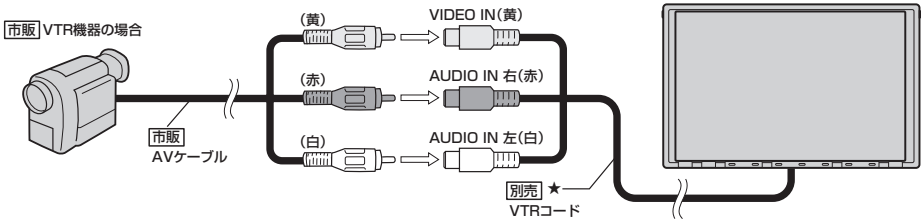
※接続の前に、接続する機器の電源を切り、車のエンジンスイッチを0(ロック)にして、本機の電源を切ってください。

**本機に別売のVTRコードまたはAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。**

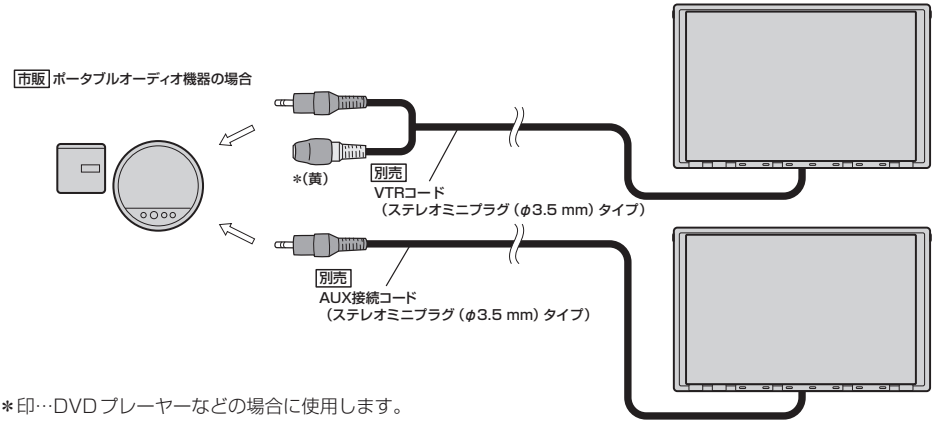
**※出力するには、別売の下記コードをお買い求めください。**

⚠ VTR機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

## 1 機器を接続する。




★印…iPodを再生させるために、VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合はそちらを外してください。☞ N-4イラスト参照




＊印…DVDプレーヤーなどの場合に使用します。

## 2 本機と使用する機器の電源を入れる。

※車のエンジンスイッチをⅡ(ON)状態にします。

## 3 VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

**お願い**

本機の電源をOFF(☞ H-9)、または、エンジンスイッチ0(ロック)にする場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

アドバイス

- 別売のAUX接続コードを接続した場合の操作方法は、VTRモードから行なってください。
- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- VTRの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
  ☞「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」H-20
- ボタン消 をタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

| AV入力端子(RCA×1系統) | |
|---|---|
| 映像入力レベル | 1 Vpp(入力インピーダンス75Ω) |
| 音声最大入力レベル | 2.0 V(入力インピーダンス47kΩ) |

- 接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

# S

# ハンズフリーを使う


**ハンズフリーについて** …… **S-2**
*Bluetooth*とは …… S-2
ハンズフリーとは …… S-2
音声について …… S-2
安全上のご注意 …… S-2
使用上のご注意 …… S-3
**初期登録設定** …… **S-5**
携帯電話を登録する …… S-5
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する …… S-8
携帯電話の割り当てを切り替える …… S-10
登録した携帯電話の自動接続を設定する …… S-11
登録した携帯電話の優先接続の設定をする …… S-13
車載機(本機)の*Bluetooth*情報を見る …… S-14
ハンズフリーの通話設定をする …… S-15
デバイス名／パスキーを変更する …… S-16
携帯電話のメモリを本機に登録する …… S-18
**電話を受ける** …… **S-20**
着信音量を調整する …… S-20
電話に出る …… S-20
保留にする …… S-21
通話を拒否(終了)する …… S-22
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート) …… S-22
通話を携帯電話に切り替える …… S-23
トーン入力する …… S-24
**電話をかける** …… **S-25**
電話番号から …… S-25
リダイヤルから …… S-27
履歴から …… S-28
アドレス帳から …… S-32
**発着履歴を削除する** …… **S-34**
**通話中に地図画面を表示する** …… **S-35**
**QQコールを利用する** …… **S-36**
QQコールとは …… S-36
QQコールを利用するまでの流れ …… S-36
**QQコールを表示する** …… **S-36**

# S-2 ハンズフリーについて

*Bluetooth*対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

## *Bluetooth*とは

- 携帯電話と本機をケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりをすることができる無線通信技術のことです。
- ハンズフリーの*Bluetooth*機能を利用するには、初期登録をする必要があります。
  「初期登録設定」S-5
  初期登録後、自動接続“する”の場合は車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にして本機に電源が入ると自動的に*Bluetooth*接続となります。

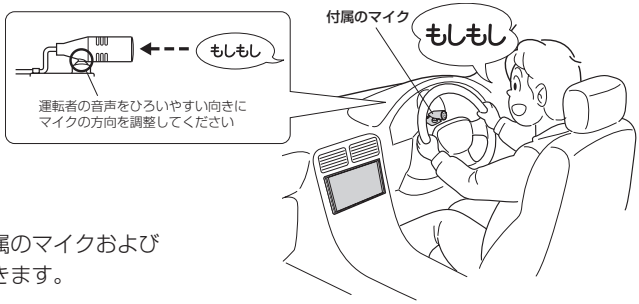
アドバイス　本機にて電話のやりとりをすると通常より携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth®

*Bluetooth*および*Bluetooth*ロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。

## ハンズフリーとは

携帯電話を操作することなく画面をタッチすることで「電話を受ける」「電話をかける」などの電話機能が使用できます。これがハンズフリー機能です。




## 音声について

発信後および着信後は、本機に付属のマイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

## 安全上のご注意

⚠警告

- 安全のため、自動車運転中の携帯電話のご使用はおやめください。法律で禁止されています。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときは、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても通話しなければいけないときは、“ハンズフリー機能”を使用して「かけなおす」ことを伝え、安全な場所に停車してかけなおしてください。
- 電話(本機)を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

## 使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機は全ての*Bluetooth*機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続する*Bluetooth*対応携帯電話はBluetooth SIG. Incの定める*Bluetooth*標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続する*Bluetooth*対応携帯電話が上記*Bluetooth*標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行なえない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行なえないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話および本機を使用する場合、心臓ペースメーカーなど装着部から22 cm以上離して使用してください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・通話エリア外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- *Bluetooth*通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。

## ハンズフリーについて

- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行なった場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してから*Bluetooth*接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  - ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
    1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
    2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
    3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話と本機以外の機器が*Bluetooth*接続されている場合、本機と*Bluetooth*接続を行なうことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器との*Bluetooth*接続を切断してください。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、*Bluetooth*の接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行なってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

アドバイス

携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種につきましては、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/

# 初期登録設定

“*Bluetooth*対応携帯電話” を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

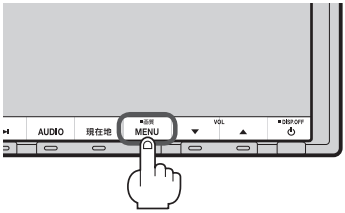
- 下記手順を行なう前にあらかじめ携帯電話側の*Bluetooth*が使用できるよう設定してください。
  ※設定方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の*Bluetooth*機器の電源はお切りください。

## 携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス DVDモード時は MENU を2回タッチします。

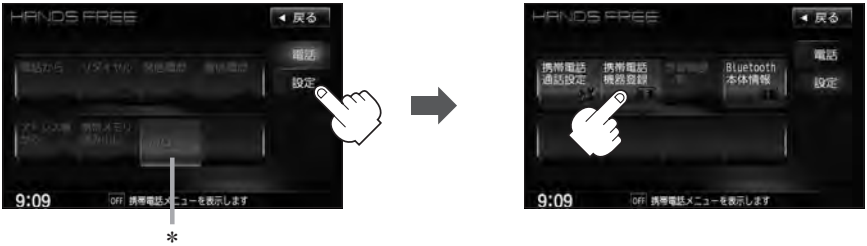
**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 設定 ➡ 携帯電話機器登録 をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※登録されている携帯電話が2台ある場合 携帯電話機器登録 は選択できません。




アドバイス QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。
＊印… QQコール をタッチすると、QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。「QQコールを表示する」S-36

## 4 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※携帯電話の会社名を選択することで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行なわれます。

：接続待機中画面が表示されます。

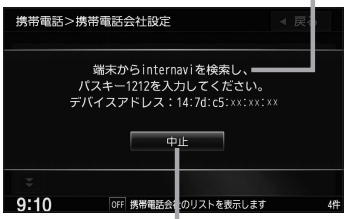
携帯電話会社設定画面

＊

すでに登録済(*Bluetooth*接続済)の携帯電話(番号)がある場合、その携帯電話(*Bluetooth*の接続)を切断するかどうかのメッセージが表示されるので“はい”を選択してください。

※“はい“を選択すると現在接続中の携帯電話との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選択した場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は２台までですが、*Bluetooth*に接続できる携帯電話は１台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

接続待機中画面 ☆




※接続待機中に 中止 をタッチすると接続待機を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

＊印…ご使用の携帯電話がドコモ／au／ソフトバンク以外の場合、 その他 を選択してください。
本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/

☆印…VXM-135VFNiの場合「internavi」。VXM-135VFNの場合「MY-CAR」と表示されます。
※この名称(デバイス名)やパスキーは変更可能です「デバイス名／パスキーを変更する」S-16

## 5 携帯電話を操作する。

**※携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行なってください。操作方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。**

※登録する携帯電話の仕様(*Bluetooth* Ver2.1以降)によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング機能)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。

登録完了メッセージ(例)

または

接続完了メッセージ(例)

アドバイス

- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他の*Bluetooth*機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられてます。パスキーの入力はこの制限時間内に行なってください。
- パスキーとは、“*Bluetooth*対応携帯電話”を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称などで判断してください。
「車載機(本機)の*Bluetooth*情報を見る」S-14

## 6 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 携帯電話の詳しい操作方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行なうことができます。
- 携帯電話は２台まで登録可能です。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。

携帯電話のアイコン
アンテナ３本：電波状態良好

情報バー

| 携帯電話のアイコン | 意　味 |
|---|---|
| ／ | 割り当てられている携帯電話（ 1 ／ 2 ）と電波状態（アンテナ本数多い程良好） |
| 圏外 | 圏外（電波は届いていません。） |

着信／発信／通話中のとき電波状態を表示

電池残量

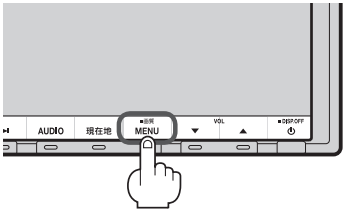
※電波状態（アンテナの本数）は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。（良好でも圏外となることがあります。）
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

## 登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス　DVDモード時は MENU を2回タッチします。

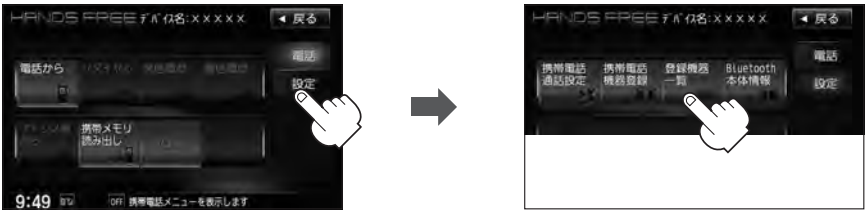
**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。




**4** 詳細情報を見るまたは削除する。

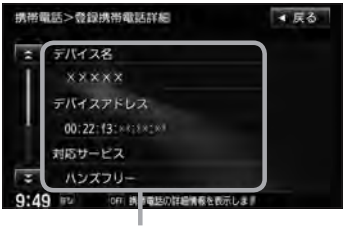
■ 詳細情報を見る場合

① 詳細情報を見たい携帯電話の 詳細 をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

登録携帯電話一覧画面(例)

詳細情報画面(例)




登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。
(デバイス名*1/デバイスアドレス/対応サービス*2/携帯電話会社/自局番号を表示)
＊1印･･･携帯電話に設定されている名称を表示します。
＊2印･･･登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。
※お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、
本機では“_”(アンダーバー)で表示されます。
※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で
名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。
※自局番号(携帯電話の電話番号)が取得できた場合には、その番号も表示します。
(取得できなかった場合には“ー”(ハイフン)で表示されます。)

## ■ 削除する場合

### ① 削除したい携帯電話の 削除 をタッチする。

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると携帯電話を削除し、HANDS FREE画面に戻ります。

アドバイス 2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

登録携帯電話一覧画面(例)

## 5 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

： 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

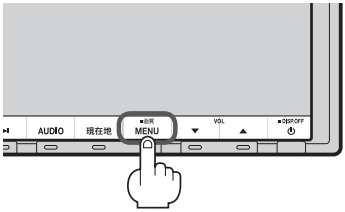
アドバイス 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 携帯電話の割り当てを切り替える

**接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。**
※携帯電話は２台まで登録が可能ですが、常時接続できる携帯電話機は１台です。

### 1 MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス　DVDモード時は MENU を２回タッチします。

### 2 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

### 3 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。
※登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。

### 4 割り当てたい携帯電話の 接続する をタッチする。

：メッセージを表示し*Bluetooth*接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。
※変更前の端末が接続されている場合は、*Bluetooth*切断を行なったあとに割り当てを変更します。

登録携帯電話一覧画面(例)

### 5 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 登録した携帯電話の自動接続を設定する

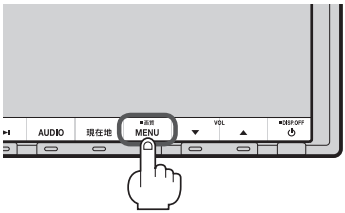
**携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。**
※初期設定は“する”に設定されています。

### 1 MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。

アドバイス

DVDモード時は MENU を2回タッチします。




### 2 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

### 3 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。

### 4 自動接続の設定をする。

■ する をタッチした場合

：ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続します。

■ しない をタッチした場合

：ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しません。

※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行なわれた場合は接続を行ないます。

登録携帯電話一覧画面(例)

“する”に設定した場合、

起動時にメッセージが表示されます。

**5** **設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。**

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

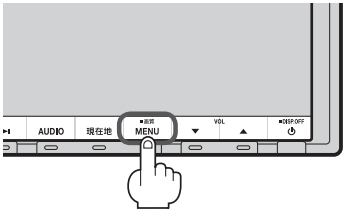
- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況（端末の電源が入っていない、端末の *Bluetooth* 接続をOFFにしているなど）の場合は接続できません。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が２台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス　DVDモード時は MENU を２回タッチします。

**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。

**4** 優先したい携帯電話の 優先する をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にしたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると 優先する は選択できません。☞ S-11 手順 4

登録携帯電話一覧画面(例)

**5** 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

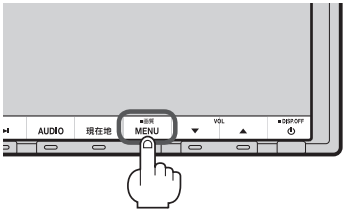
アドバイス
- 登録機器が１台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

## 車載機(本機)の*Bluetooth*情報を見る

携帯電話に登録した車載機(本機)の情報を削除してしまったときなど、車載機(本機)の*Bluetooth*情報を見たいときに使用します。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス DVDモード時は MENU を2回タッチします。

**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

：*Bluetooth*本体情報画面が表示されます。

*Bluetooth*本体情報画面(例)

デバイス名／パスキーは変更することができます。

「デバイス名／パスキーを変更する」S-16

**4** 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

：戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

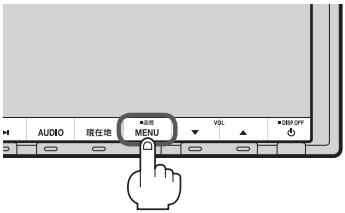
## ハンズフリーの通話設定をする

**発信音量と着信音量／受話音量／送話音量の設定をすることができます。**

- 発着信音量・・・発着信音の大きさ（＋１～＋15）
- 受話音量・・・通話先相手の声の大きさ（＋１～＋15）
- 送話音量・・・相手に聞こえる自分の声の大きさ（＋１～＋７）

### 1 MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス　DVDモード時は MENU を２回タッチします。

### 2 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

### 3 設定 ➡ 携帯電話通話設定 をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

### 4 調整したい音量（発着信／受話／送話）の － ／ ＋ をタッチする。

■ － をタッチした場合

：発着信／受話／送話音量が小さくなります。

■ ＋ をタッチした場合

：発着信／受話／送話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面

### 5 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

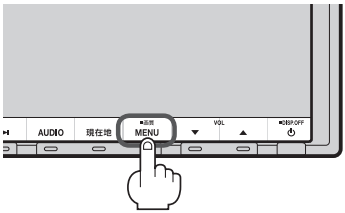
アドバイス
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話しください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信中／発信中／通話中に調整することもできます。☞ 着信音量はS-20、発信音量／受話音量／送話音量はS-26参照

## デバイス名／パスキーを変更する

パスキーとは、*Bluetooth*対応携帯電話を本機に登録するときに使用するパスワードです。（☞「携帯電話を登録する」S-6手順 4 参照）お互いのパスワードが一致して初めて通信（接続）可能となります。そのパスキーを変更したい場合は、下記手順に従って操作してください。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス　DVDモード時は MENU を2回タッチします。

**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

：*Bluetooth*本体情報画面が表示されます。

**4** デバイス名またはパスキーの変更をする。

■ デバイス名を変更する場合

① デバイス名変更 をタッチする。

② 英数パレットよりデバイス名を入力し、決定 をタッチする。

：デバイス名は変更され、*Bluetooth*本体情報画面に戻ります。

☆印…VXM-135VFNiの場合です。VXM-135VFNの場合、デバイス名はMY-CARとなります。

■ パスキーを変更する場合

① パスキー変更 をタッチする。

② 10キーボタンをタッチして
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。

：パスキーは変更されBluetooth本体情報画面に戻ります。

## 5 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- 決定 をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは 訂正 をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。



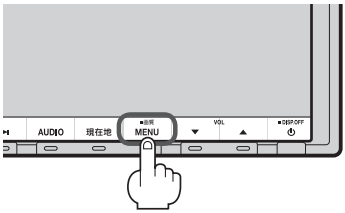
☆印…VXM-135VFNiの場合です。VXM-135VFNの場合、デバイス名はMY-CARとなります。

## 携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に登録します。

### 1 MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス DVDモード時は MENU を2回タッチします。

### 2 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

### 3 携帯メモリ読み出し をタッチする。

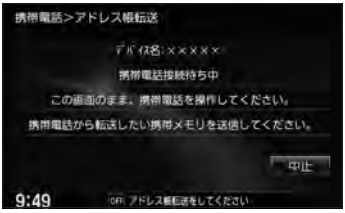
：メモリを読み出していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。

HANDS FREE画面

### 4 携帯電話を操作する。

※読み出したいアドレス帳を選択し、データ送信を開始させます。

携帯電話接続待ち中画面



：本機に携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。

※選択したアドレスの数によって表示される画面が異なります。(1件転送／全件転送)

アドバイス
- データ転送は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行なってください。
- アドレス帳のデータ送信や*Bluetooth*の接断／接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

■ 1件転送の場合

■ 全件転送の場合

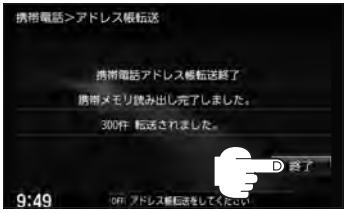
追加保存するか上書き保存するか選択してください。

アドバイス 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録しなおしてください。

## 5 読み出し(アドレス帳転送)が完了したら、終了をタッチする。

：HANDS FREE画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面




アドバイス
- 中止 をタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中に車のエンジンスイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。
- メモリ読み出し中に着信があった場合、*Bluetooth* 接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数･桁数は、名前:全角9文字まで／よみ:半角18文字まで／電話番号:36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順 4 (S-18)で全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。
- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

# 電話を受ける

⚠警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

**周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。**

**通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。（通話時間は目安としてください。）**

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。
（99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。）

---

**電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。**

## 着信音量を調整する

**電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。**

**1** **着信音が鳴っているときに、－／＋をタッチして音量を調整する。**

■ －をタッチした場合

：着信音量が小さくなります。

■ ＋をタッチした場合

：着信音量が大きくなります。

着信通知画面（例）

アドバイス 携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。
☞「ハンズフリーの通話設定をする」S-15

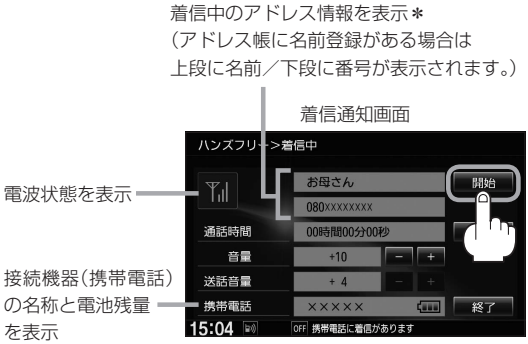
---

## 電話に出る

**1** **開始をタッチする。**

：通話可能となります。

アドバイス
- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されている場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。
  ☞「ハンズフリーの通話設定をする」S-15
- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。




＊印・・・名前登録がない場合は、上段に番号のみ表示されます。☞S-26手順5アドバイス参考

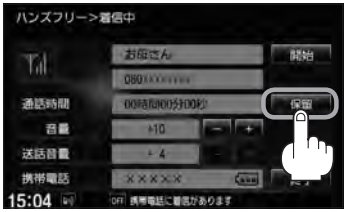
## 保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

**1** 電話がかかってきたら、保留 をタッチする。

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。

着信通知画面(例)

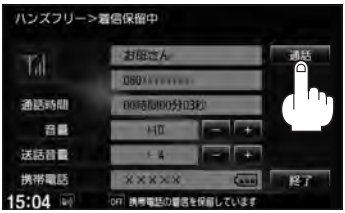



アドバイス
- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に 終了 をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行なうためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
  ※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

### ■ 通話できる状態になった場合

① 通話 をタッチする。

着信保留画面(例)




：通話可能となります。

② 通話が終わったら 終了 をタッチする。

通話中画面(例)

：電話が切れます。

アドバイス
通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。

## 通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)
ことができます。

着信通知画面

**1** 着信通知画面で 終了 をタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく
電話が切れます。

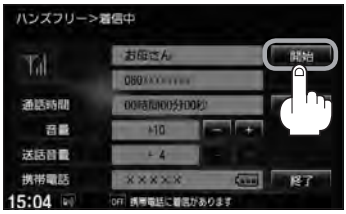
## 通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。
※相手の声は聞こえます。

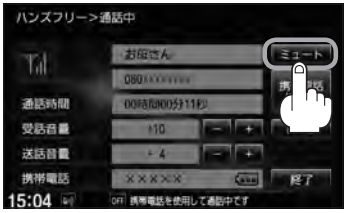
**1** 着信通知画面で 開始 をタッチして
通話しているときに、 ミュート を
タッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が
聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)

着信通知画面



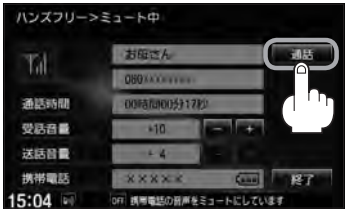

通話中画面




■ 再びこちらの音声を出す場合

① 通話 をタッチする。

ミュート中画面




：自分の声が相手に聞こえます。

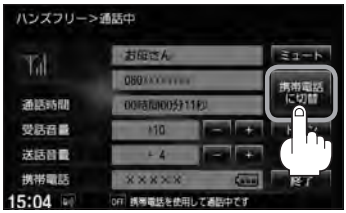
## 通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

**1** 通話中画面で 携帯電話に切替 をタッチする。

：切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると、通話を携帯電話に切り替えます。

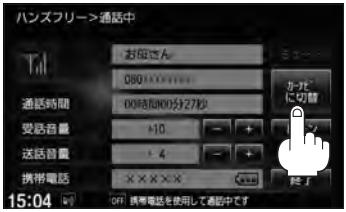
通話中画面



### ■ 通話を本機に戻す場合

① 通話中画面で カーナビに切替 をタッチする。

通話中画面




ハンズフリー通話に切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。

：通話をハンズフリー通話（本機）に切り替えます。

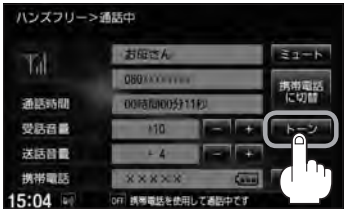
## トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

**1** 通話中画面で トーン をタッチする。

：トーン入力画面が表示されます。

通話中画面




**2** 入力したい番号を10キーボタンをタッチして入力する。

：タッチするごとにトーン信号情報を携帯電話に送信します。

トーン入力画面

アドバイス

- 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。

# 電話をかける

⚠警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

**通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。（通話時間は目安としてお考えください。）**

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。（99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。）

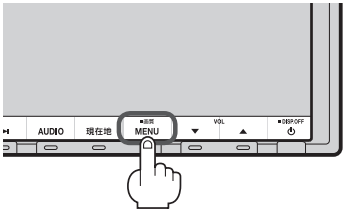
**いろいろな方法（電話番号／リダイヤル／履歴／アドレス帳／施設の詳細＊／登録地点詳細＊）で電話をかけることができます。**＊印…☞C-5、F-39

## 電話番号から

**電話番号を入力して電話をかけます。**

### 1 MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。




アドバイス DVDモード時は MENU を2回タッチします。

### 2 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

### 3 電話 ➡ 電話から をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

※相手先の電話番号は、下記の電話番号入力画面より入力してください。

### 4 相手先の電話番号を入力し、発信 をタッチする。

：入力先（相手先）に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。入力した番号が25桁以上の場合、発信してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい または いいえ を選択してください。

※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、発信できないことがあります。この場合、携帯電話側の仕様をご確認ください。

- **入力した数字を1つ訂正する場合**
  訂正 をタッチする。
- **全ての数字を訂正する場合**
  訂正 を1.5 秒以上タッチする。

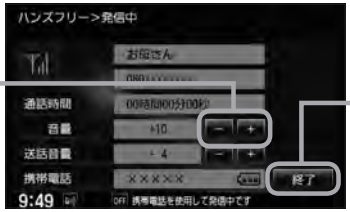
電話番号入力画面

アドバイス

発信中画面で

－／＋ タッチで発信中の音(呼び出し音)の大きさを調整することができます。

発信中画面




終了 をタッチすると発信を中止することができます。

## 5 通話が終わったら 終了 をタッチする。

：電話が切れます。

通話中のアドレス情報を表示*
(アドレス帳に名前登録がある場合は
上段に名前／下段に番号が表示されます。)

通話中画面

電波状態を表示

接続機器(携帯電話)の名称と電池残量を表示

通話中に －／＋ をタッチすると受話音量または送話音量が増減します。

- 受話音量…通話先相手の声の大きさ
- 送話音量…相手に聞こえる自分の声の大きさ

アドバイス

＊印・・・アドレス帳に名前登録がない場合は、上段に番号のみ表示されます。

番号のみ表示

アドバイス

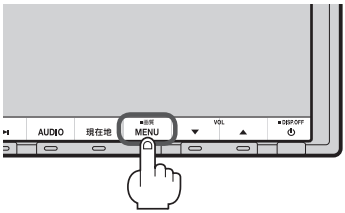
- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
  〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ 電話から を選択(☞ S-25手順 3)することができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は、☞ S-23を参照ください。

## リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけなおすときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



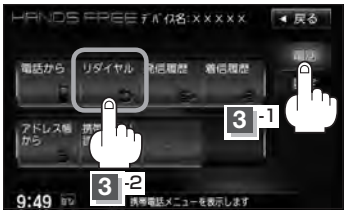

アドバイス　DVDモード時は MENU を2回タッチします。

**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

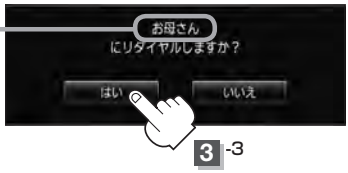
：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 電話 ➡ リダイヤル をタッチする。

：リダイヤル発信するかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチしてください。




アドレス帳に名前登録がない場合は、番号が表示されます。



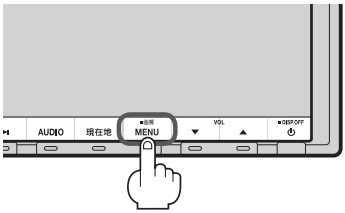

アドバイス　発信履歴がない(どこにもかけてない)場合 リダイヤル は選択できません。

## 履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



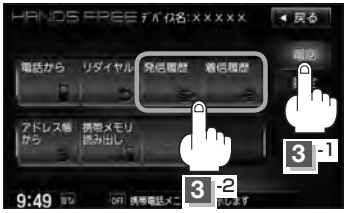

アドバイス DVDモード時は MENU を2回タッチします。

**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 電話 ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。




アドバイス 発信／着信履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選択できません。

## ■ 発信履歴からかける場合

**本機から電話をかけるとかけた相手の電話番号が発信履歴に自動的に登録されます。**
**登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。**

### ① リストの中からかけたい相手の番号をタッチする。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

発信履歴リスト画面(例)

全削除 をタッチし、はい を選択すると発信履歴を一括で削除することができます。
☞ S-34

アドバイス
- 本機に発信履歴がない場合 発信履歴 は選択できません。
- リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名／地点名は表示されません。)
- 携帯電話本体を操作して発信を行なった場合には、本機の発信履歴には保存されません。

### ② 発信 をタッチする。

発信履歴詳細画面(例)

＊

削除 をタッチし、はい を選択すると選択中の発信履歴を削除することができます。
※全ての発信履歴を一括で削除することもできます。
☞「発着履歴を削除する」S-34

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると選択した発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

※発信中画面(☞ S-26のアドバイス参考)を表示し、相手につながると通話中画面(☞ S-26の手順 5 参考)になります。

アドバイス

＊印・・・アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

登録されている名前が表示されます。

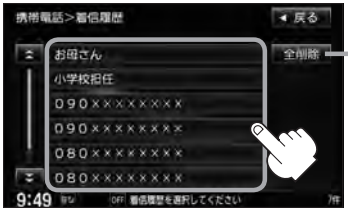
## ■ 着信履歴からかける場合

**携帯電話接続中に電話がかかってくると、かかってきた相手の電話番号が本機の着信履歴に自動的に登録されます。登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。ご使用中の携帯電話の機種によっては着信番号が表示されないで非通知と表示される場合もあります。**

### ① リストの中からかけたい相手の番号を選択する。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

着信履歴リスト画面(例)




全削除 をタッチし、
はい を選択すると着信履歴を一括で削除します。
☞ S-34

：着信履歴詳細画面が表示されます。

アドバイス
- 本機に着信履歴がない場合 着信履歴 は選択できません。
- 着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知と表示されます。また、非通知の場合選択する(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

### ② 発信 をタッチする。

着信履歴詳細画面(例)

＊

削除 をタッチし、 はい を選択すると選択中の着信履歴を削除することができます。
※全ての着信履歴を一括で削除することもできます。
☞「発着履歴を削除する」S-34

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると選択した着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

※発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。

アドバイス
＊印･･･アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

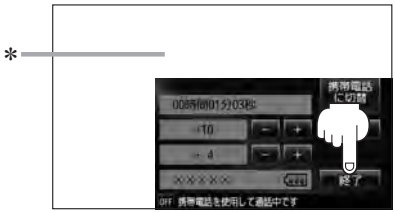
登録されている名前が表示されます。

## 4 通話が終わったら、 終了 をタッチする。

：電話が切れます。

＊印…アドレス帳に名前登録がない場合は、
上段に番号のみ表示されます。

通話中画面（例）




アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。

## アドレス帳から

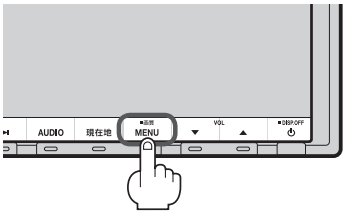
本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。

アドバイス　アドレス帳から電話をかけるにはあらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に転送しておく必要があります。

### 1 MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。

アドバイス　DVDモード時は MENU を2回タッチします。



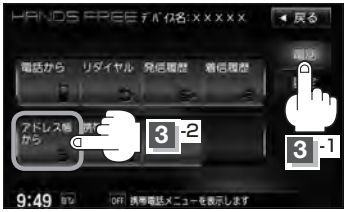

### 2 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

### 3 電話 ➡ アドレス帳から をタッチする。

：名前検索画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 アドレス帳から は選択できません。




### 4 名前またはメモリ番号から電話をかける。

■ 名前からかける場合

本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の名前を選択する。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

名前入力画面

名前の頭文字(またはそれ以外の文字)を表示

名前の頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(選択できない文字は暗くなります。)

全削除 をタッチすると登録されている全ての名前(アドレス)を一括で削除することができます。

アドバイス　携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。

## ■ メモリ番号からかける場合

**本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。**

**① メモリ順 をタッチする。**

：メモリ番号検索画面が表示されます。

名前入力画面

**② リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選択する。**

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

メモリ番号
検索画面

メモリ番号は携帯から転送された順番にリストの上から表示されます。

数字をタッチしてメモリ番号を入力し、リスト上に呼び出すこともできます。

**入力した数字を１つ訂正する場合**
訂正 をタッチします。
**全ての数字を訂正する場合**
訂正 を 1.5 秒以上タッチします。

名前入力画面に戻すには 名前順 をタッチします。

全削除 をタッチすると全ての名前(アドレス)を一括で削除することができます。

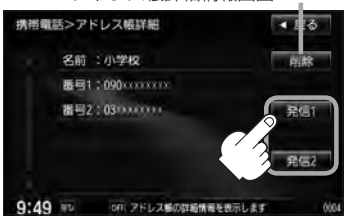
---

## 5 詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、発信１ または 発信２ をタッチする。

：電話してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると(相手先の)番号に電話をかけます。

※発信中画面(☞ S-26 上段アドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(☞ S-26 手順 5 参照)になります。

アドレス帳詳細情報画面 ＊



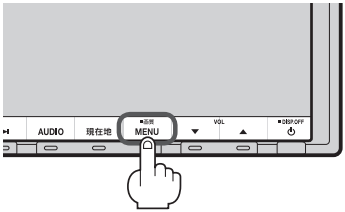

＊印… 削除 をタッチし、 はい を選択すると選択中の名前(アドレス)を削除することができます。

# S-34 発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

**1** MENU をタッチする。

：AV MENU画面またはNAVI MENU画面が表示されます。



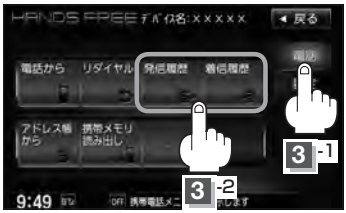

アドバイス　DVDモード時は MENU を2回タッチします。

**2** システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

**3** 電話 ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチする。

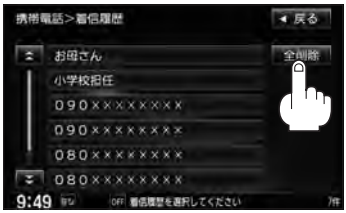
：履歴リスト画面が表示されます。




**4** 全削除 をタッチする。

：全件削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると、発信または着信履歴を一括で削除し、携帯電話画面に戻ります。

着信履歴リスト画面(例)



# 通話中に地図画面を表示する

“*Bluetooth*対応携帯電話” を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

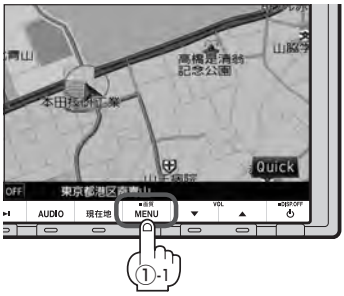
## 1 通話中に 現在地 をタッチする。

：ナビゲーション(地図)画面が表示されます。

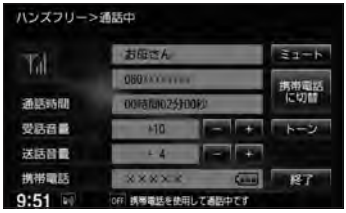
ナビゲーション画面

### ■ 再び通話中画面にする場合

① MENU ➡ システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。



通話中画面(例)




：通話中画面に戻ります。

アドバイス

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、オーディオの音量調整は無効となります。

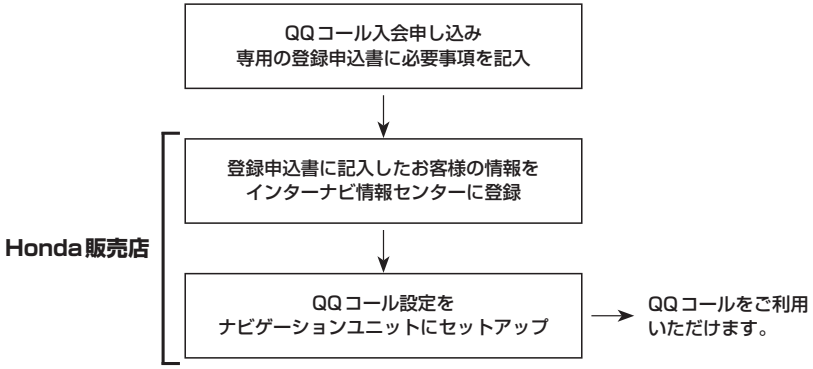
# QQコールを利用する

## QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。
「QQコール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/qqcall/

## QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。




# QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。
QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

**1** MENU ➡ システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

アドバイス DVDモード時は MENU を2回タッチします。

## 2 QQコール をタッチする。

：QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。

## 3 QQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

### ■ 携帯電話が本機に *Bluetooth* 接続されている場合

① 発信 をタッチする。

※走行中は 発信 はタッチできません。

現在地のマップコード

☆

※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

② 会話終了後は、通話終了 をタッチする。

### ■ 携帯電話が本機に *Bluetooth* 接続されていない場合

① お手持ちの携帯電話を使用して表示されている番号に電話をかける。

電話番号

☆

現在地のマップコード

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話を切る。

☆印…VXM-135VFNiの場合

# QQコールを表示する

アドバイス

- QQコールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
  - ・地図表示(方位)の切り替え　・地図の拡大／縮小　・地図スクロール
  - ・オーディオモードの音量調整　・オーディオモード(AV電源)のON／OFF
- 走行中はQQコールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行なってください。
- 戻る をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQコール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

### *Bluetooth* 接続時のQQコール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できます。
- 相手先と通話中は、受話音量／送話音量を調整できます。

# T

# その他


画質調整のしかた…… T-2
ディスプレイ選択 …… T-4
昼夜切替をする …… T-4
画質調整を初期値に戻す …… T-5
音声はそのままで画面を消す …… T-6
標準キーの照明について …… T-7
初期設定一覧 …… T-8
個人情報の取り扱いについて …… T-11
リア席モニターについて …… T-12
画像ファイル(JPEG)について …… T-13
データベースについて …… T-14
オーディオ リモコン スイッチ …… T-16
Digital TVのチャンネル一覧 …… T-18
地図ソフトについて …… T-20
出発地・経由地・目的地の設定について …… T-24
経由地、目的地の設定の注意点 …… T-24
ルート案内時の注意点 …… T-26
地図に表示される記号 …… T-30
市街地図(10m/25m/50m/100mスケール)の収録エリア …… T-32
VICSについてのお問い合わせ …… T-36
VICSの概要 …… T-36
VICS情報有料放送サービス契約約款 …… T-38
VICS削除リンクに関する告知 …… T-39
故障かな?と思ったら …… T-40
メッセージ表示について …… T-59
用語説明 …… T-65
構成内容 …… T-70
主な仕様 …… T-71
別売品(システムアップ)について …… T-72
保証/アフターサービスについて …… T-73

# T-2 画質調整のしかた

- ナビゲーション画面／AV SOURCE画面／FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod(音声再生のみ)／SDモードの場合、明るさ／コントラスト調整ができます。
- DVD／Digital TV／VTRモード／iPod(映像あり)画面の場合、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。(ただし走行中は明るさ／コントラスト調整のみとなります。)
- 本機に標準装備または別売のリアカメラ／リアワイドカメラ、別売のフロントカメラ、コーナーカメラを接続している場合、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いが調整できます。

アドバイス

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、ナビゲーション画面／FM／AM／CD／MP3／WMA／USB／iPod(音声再生のみ)／SDモードの画面と、カメラ映像、DVD画面、ワンセグ画面、VTR、iPod(映像あり)画面で別々に調整することができます。
- 携帯電話 タッチ後(ハンズフリー機能)は、MENU を2秒以上タッチしても画質調整を行なうことはできません。(画質調整画面は表示されません。) 画質調整は、ハンズフリー機能画面以外で行なってください。
※リアカメラ設定画面(☞ G-21)でも画質調整を行なうことはできません。

## 1 MENU を2秒以上タッチする。

：画面右側に画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※DVD／VTR／iPod(映像あり)モードの場合は下記手順 2 へ、その他の場合は下記手順 3 へ進んでください。

## 2 画質調整 をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面(例)

画面に表示される映像の大きさを変更することができます。
☞「ディスプレイ選択」T-4

## 3 調整したい項目(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い)をタッチする。

画質調整画面(例)

画質調整画面(例)

画面の輝度を切り替えることができます。
☞「昼夜切替をする」T-4

## 4 ◀／▶をタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)

アドバイス
調整は◀または▶をタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

### ■ 明るさ(1～31)調整の場合

① ◀をタッチすると暗くなり、▶をタッチすると明るくなる。

アドバイス
車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

### ■ コントラスト(1～31)調整の場合

① ◀をタッチすると黒さが増し、▶をタッチすると白さが増す。

### ■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

① ◀をタッチすると淡くなり、▶をタッチすると濃くなる。

### ■ 色合い(1～31)調整の場合

① ◀をタッチすると赤が強くなり、▶をタッチすると緑が強くなる。

アドバイス
人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

## 5 設定を終えるには、戻るをタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス
- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

## ディスプレイ選択

（DVD／VTR／iPod（映像あり）モード画面の場合）

**1** 手順 1 （☞ T-2）で画面調整画面を表示させ、ノーマル／フル／ワイド／シネマの４つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

画面調整画面（例）

| | |
|---|---|
| ノーマル | ：４：３の映像の画面 |
| フ　ル | ：４：３の映像を左右に引き伸ばし、16：９にした画面 |
| ワイド | ：“フル”の違和感を少なくした画面 |
| シネマ | ：４：３の映像をそのまま拡大した画面 |

アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなることがあります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても表示は確認できません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

## 昼夜切替をする

画面の輝度を昼（通常）／夜（減光）と切り替えることができます。

**1** 画質調整画面（☞ T-2手順 3 ）で 昼夜切替 をタッチする。

：タッチするたびに昼／夜と画面の輝度が切り替わります。

画質調整画面（例）

昼（通常）

夜（減光）

アドバイス

- 昼…車のライトを消しているとき（OFF時）と同じ輝度となります。
  夜…車のライトをつけているとき（ON時）と同じ輝度となります。
- 車のライトをON／OFFした場合、昼／夜も連動して切り替わります。

## 画質調整を初期値に戻す

手順 3 、 4 （☞ T-2、T-3）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）の値を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

**1** 画質調整画面で 初期値 をタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

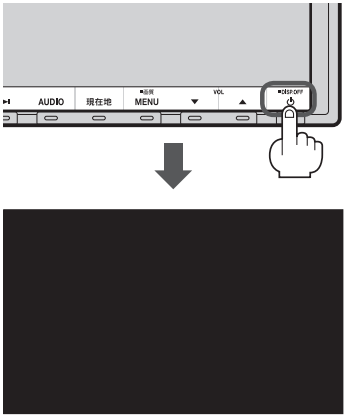
画質調整画面（例）

# T-6 音声はそのままで画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

**1** ⏻ を２秒以上タッチする。

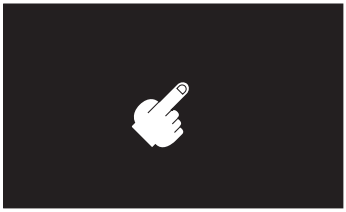
：画面のバックライトが消えて、黒くなります。




■ 再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、
再度 ⏻ をタッチする。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。

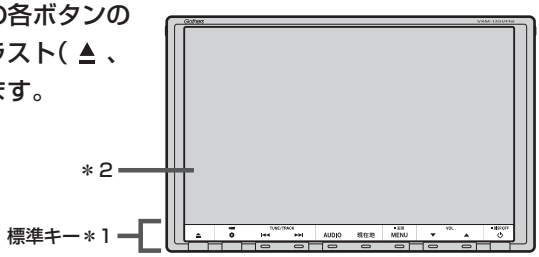


アドバイス

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
  ※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラを接続してカメラ映像を表示している場合は、 ⏻ を２秒以上タッチしても画面を消すことはできません。

# 標準キーの照明について

車のライトをONにすると、標準キーの各ボタンの文字(現在地、MENU、AUDIO)やイラスト( ⏏ 、 ⚙ 、 ⏮ ⏭、▼ ▲、 ⏻ )が減光します。




＊1印･･･標準キーの各ボタンのはたらきにつきましては、☞ B-2を参照ください。
＊2印･･･画面全体の輝度切替につきましては☞ T-4を参照ください。

# 初期設定一覧

各種設定初期状態は下記の通りです。

● ナビゲーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 画面表示 | メイン画面 | 北方向を上<br>スケール＝100 m | |
| | 右画面 | 北方向を上<br>スケール＝400 m | |
| Quick MENU | 自宅へ帰る、案内スタート／ストップ、渋滞予測回避、再探索、地点を登録、周辺施設、右画面表示、昼夜切替、道路切替 | | |
| 情報 | FM多重 | 受信番組設定 | 交通情報番組（VICS） |
| | | 周波数設定 | 自動選局＝ON<br>プリセット選局＝未設定 |
| | エコドライブ設定 | 急加減速のお知らせ＝する<br>エコ速度超過のお知らせ＝する<br>アイドリングのお知らせ＝しない<br>評価履歴＝残す<br>評価レベル＝初級<br>エコドライブ表示＝しない | |
| 設定 | 地図表示 | メイン画面の設定<br>名称の文字サイズ＝小<br>吹き出しを表示＝する<br>標高地図を表示＝する<br>地図モード＝北向き<br>3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目 | |
| | | 右画面の設定<br>右画面に地図表示＝しない<br>名称の文字サイズ＝小<br>吹き出しを表示＝する<br>標高地図を表示＝する<br>地図モード＝北向き<br>3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目 | |
| | | 地図色設定<br>昼夜切り替え＝時間連動<br>地図切り替え＝ノーマル<br>標高地図色＝季節連動 | |
| | | 情報バー表示の設定<br>MAPCODEを表示＝する<br>地図情報を表示＝住所名<br>AUDIO情報を表示＝しない | |
| | | その他の設定<br>緯度・経度を表示＝しない<br>登録地点を表示＝する<br>右画面AVを表示＝しない | |

| | | |
|---|---|---|
| 設定 | ルート案内 | 全ルートの表示＝する<br>交差点情報の表示＝する<br>ルート色の表示＝ピンク<br>ETCレーンの表示＝する<br>ルート情報の表示＝しない<br>ハイウェイモードの表示＝する<br>JCTビューの表示＝する<br>交差点拡大図の表示＝する<br>リアル3D表示＝する<br>方面看板の表示＝する<br>AV画面中の案内割込み＝する<br>右画面AV中の案内割り込み＝する<br>盗難多発地点案内＝しない<br>目的地方向を表示＝しない |
| | ランドマーク | カーディーラー＝Honda Cars店 |
| | 現在地（カーマーク） | 矢印 |
| | 音声案内 | 合流案内＝案内中<br>踏み切り案内＝案内中<br>専用レーン案内＝ON<br>高速走行時の音声切替＝ON<br>VICS案内＝ON<br>案内音量＝15目盛中左から7目盛目 |
| | 探索条件 | 探索条件＝推奨<br>料金表示＝普通車<br>自動再探索＝する<br>フェリーを優先＝しない<br>季節規制考慮＝する<br>時間規制道路を考慮＝する<br>スマートICを利用＝しない<br>ルート学習結果を利用＝する<br>VICS自動再探索＝する<br>VICS情報を考慮＝する★<br>internavi交通情報を考慮＝する☆<br>統計交通情報を考慮＝する |
| | VICS | 一般道＝ON　有料道＝ON<br>駐車場＝ON　規制＝ON<br>渋滞無し＝OFF　渋滞混雑＝ON<br>点滅＝ON |
| | 到着予想 | 平均時速を自動で設定＝する<br>※平均時速を自動で設定“しない”にすると、一般道路／国道／有料道路が設定可能となります。<br>一般道路＝30 km/h<br>国道＝40 km/h<br>有料道路＝80 km/h |
| | 走行軌跡 | 軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ<br>軌跡保存データ＝なし |

☆印…VXM-135VFNiの場合
★印…VXM-135VFNの場合

| | | |
|---|---|---|
| 設定 | オプションボタン | ミュート |
| | お知らせ★ | オイル交換＝しない<br>クリーンフィルター交換＝しない<br>車検・点検＝しない<br>タイヤローテーション＝しない<br>結婚記念日＝しない<br>誕生日１＝しない<br>誕生日２＝しない<br>お好み＝しない |
| | ＥＴＣ | カード挿入アイコン表示＝する<br>本体ブザー音＝する<br>音声案内＝する<br>カード入れ忘れ警告＝する<br>カード有効期限案内＝する<br>表示割込み時間＝５秒 |
| | フロント／コーナーカメラ設定 | フロント／コーナーカメラ自動表示＝いいえ<br>登録地点検知＝はい<br>カメラインジケータ表示＝はい<br>※別売のフロント／コーナーカメラ接続時のみ |
| | リアカメラ設定 | リアカメラ設定次回表示ビュー<br>＝前回表示ビューと同じ<br>※車両標準装備または別売のリアワイドカメラ接続時 |
| | その他 | キー操作音＝キー操作音１ |



☆印…VXM-135VFNiの場合
★印…VXM-135VFNの場合

● **音量調整** ☞ H-19

音量＝3

● **画質調整** ☞ T-2

明るさ
・イルミ※1 OFF時＝25(ナビ、カメラ映像※2共通)
・イルミ※1 ON時＝12(ナビ、カメラ映像※2共通)
※フロント／コーナーカメラは16
コントラスト＝16(ナビ、カメラ映像※2共通)
色の濃さ＝16(カメラ映像※2)
色合い＝16(カメラ映像※2)

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。

※1印…イルミ＝イルミネーション
※2印…カメラ映像＝リアカメラ・フロントカメラ・コーナーカメラ

● **USB／SD** ☞ M-13、O-11、H-14、H-21

選曲モード＝全曲
再生モード＝未選択
モード切替＝音楽ファイル

● **音場設定** ☞ H-24

OFF
※DSP選択時＝HALL
SRS CS AUTO＝FOCUS

● **イコライザー設定** ☞ H-27

OFF

● **スピーカー設定** ☞ H-29

フロント＝LARGE
リア＝LARGE

● **フェード・バランス調整** ☞ H-31

各項目の調整値＝0

● **車速連動音量** ☞ H-33

設定＝MIDDLE

● **録音** ☞ I-4、I-7

録音＝自動録音
録音音質＝高音質モード

● **FM／AM(ラジオ)** ☞ J-1

FM／AM＝FMモード
FM周波数＝76.0 MHz
AM周波数＝522 kHz
交通情報＝1620 kHz

● **Music Rack** ☞ L-7、H-14

選曲モード＝全曲
再生モード＝未選択

● **iPod** ☞ N-8、H-14、N-14

選曲モード＝全曲
再生モード＝未選択
モード切替＝ミュージックモード

● **DVD** ☞ P-21

音声言語＝日本語
メニュー言語＝日本語
字幕言語＝日本語
ダイナミックレンジ圧縮＝OFF
モニター設定＝ワイド
視聴制限レベル＝制限なし

● **Digital TV** ☞ Q-1

エリア変更＝自動
視聴エリア＝東京
プリセット登録(1～12(エリア))＝登録済(東京)
チャンネルリスト＝登録済(東京)
プリセットリスト＝未登録
番組表＝3 ch表示

郵便番号設定＝未設定
**各種設定**
放送自動切替＝12セグ優先
中継・系列局サーチ＝自動
サービス設定＝テレビ
チャンネル設定＝サービスch
時計表示＝する
文字スーパー表示＝第1言語
字幕表示＝しない

● **ハンズフリー** ☞ S-1

パスキー＝1212
発着信音量＝＋10
受話音量＝＋10
送話音量＝＋4
自動接続＝する
デバイス名＝internavi☆／MY-CAR★

☆印…VXM-135VFNiの場合
★印…VXM-135VFNの場合

# 個人情報の取り扱いについて



本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

## ■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞「データを初期化(消去)する」G-28

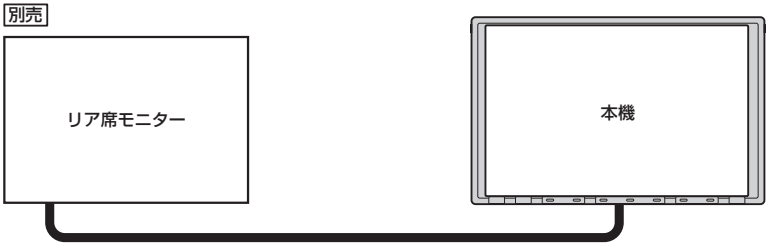
## ■ それぞれの設定箇所で消去する場合

- **本機のMusic Rackに録音した音楽データの削除**
  ☞「音楽データを初期化する」
  I-12の手順 3 で 音楽データ初期化 を選択決定
- **本機にアップデートしたGracenoteデータベースのデータの削除**
  ☞「Gracenoteデータベースのデータを初期化する」
  I-20の手順 3 で 初期化 を選択決定
- **本機に内蔵されている地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除**
  ☞「設定を初期化する」Q-44
- **本機から発信または本機に着信した電話の履歴情報の削除**
  ☞「発着履歴を削除する」S-34
- **本機に転送したアドレス帳の情報の削除**
  ☞「アドレス帳から」S-32の手順 4 で 全削除 を選択決定
  ☞「発着履歴を削除する」S-34の手順 4 で 全削除 を選択決定

# リア席モニターについて

別売

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”＊などの使い方ができます。
＊印…DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。




※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

### ナビゲーション画面とオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について

| 本機のモード | | 本機に表示される画面 | リア席モニターに表示される画面 |
|---|---|---|---|
| ナビ | － | ナビ | 表示されません |
| ナビ | DVD | ナビ | DVD |
| ナビ | Digital TV（iPodビデオ／VTR） | ナビ | Digital TV（iPodビデオ／VTR） |
| Digital TV（iPodビデオ／VTR） | － | Digital TV（iPodビデオ／VTR） | Digital TV（iPodビデオ／VTR） |
| DVD | － | DVD | DVD |
| ナビ | FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB | ナビ | 表示されません |
| FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB | － | FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB | 表示されません |

※Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。

アドバイス

- オーディオモードを終了（OFF状態）にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行ないます。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行なってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。

# 画像ファイル(JPEG)について

- **SD／USBモードのとき、画像ファイル(JPEG)を再生させることができます。**
  ☞「動作モード(音楽／画像)を切り替える」H-21
- **再生可能なJPEGファイルについて**

| | |
|---|---|
| **対応形式** | Baseline JPEG方式 |
| **再生可能な拡張子** | JPG／jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能) |
| **最大フォルダ名／ファイル名** | 全角32文字／半角64文字 |
| **最大フォルダ階層** | 8階層 |
| **1フォルダ内の最大ファイル数** | 255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む) |
| **1メディア内の最大ファイル数** | 10,000 |
| **最大フォルダ数** | 100 |
| **フォルダ名／ファイル名<br>使用可能文字** | A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、<br>全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角) |
| **ファイルサイズ** | 10 MB以下 |
| **画像サイズ** | 16×16ピクセル～4092×4092ピクセル |

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

# T-14 データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● **Gracenoteデータベースについて**

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-2012 Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-2012 Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。

Gracenote、CDDB、Music ID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®によって提供されます。Gracenote®は音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。

アドバイス

「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● **Gracenoteデータベースのご利用について**

**Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書**

**この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。**

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、GracenoteのサービスにGracenote**プライバシーポリシー**を参照してください。

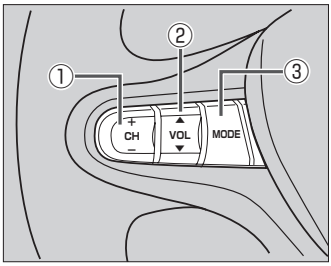
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

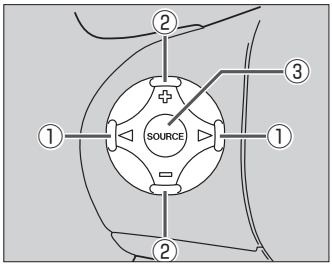
**Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

© Gracenote, Inc. 2012

# T-16 オーディオ リモコン スイッチ 車両標準装備 別売

**運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。**
イラストはイメージ図です。




車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。
※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

## ① CH－／CH＋スイッチ、◁／▷スイッチ

### ■ ラジオを聞いている／Digital TVを見ている場合

CH＋／▷ **を押す。**：プリセットされている次の放送局を選局します。
CH－／◁ **を押す。**：プリセットされている前の放送局を選局します。
CH＋／CH－ **を長く押す。**：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

### ■ MP3／WMA／AACファイル(CD・DVD＊／SD／USB)を聞いている場合

CH＋／▷ **を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
CH－／◁ **を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出しします。
CH＋ **を長く押す。**：フォルダアップします。
CH－ **を長く押す。**：フォルダダウンします。
＊印…CD・DVDでのAAC再生はできません。

### ■ CD／Music Rack／iPodを聞いている場合

CH＋／▷ **を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
CH－／◁ **を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

### ■ DVDを見ている場合

CH＋／▷ **を押す。**：スキップ(次のチャプターの頭出し)します。
CH－／◁ **を押す。**：リプレイ(再生中や前のチャプターの頭出し)します。
※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

② VOL▲ ／ VOL▼ スイッチ、 ＋ ／ － スイッチ

VOL▲ ／ ＋ を押す。：音量が大きくなります。

VOL▼ ／ － を押す。：音量が小さくなります。

VOL▲ ／ ＋ を長く押す。：連続して音量が大きくなります。

VOL▼ ／ － を長く押す。：連続して音量が小さくなります。

③ MODE 、 SOURCE スイッチ

スイッチを押すたびに、下記のようにモードが切り替わります。

スイッチを押すたびに、
FM → AM → CD/DVD → Music Rack → USB＊1
VTR＊3 ← Digital TV ← SD ← iPod＊2 と切り替わります。

＊1印…USBの接続方法につきましては「USB機器を接続する」M-5を参照ください。
＊2印…iPodの接続方法につきましては「iPodを本機に接続する」N-4を参照ください。
＊3印…VTR の接続方法につきましては「接続する」R-3を参照ください。

※USBとiPodは同時に接続できません。
※iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。

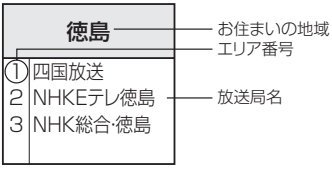
アドバイス

- オーディオモード⇔ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体の AUDIO ⇔ 現在地 をタッチして切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
  ・ディスク、SDカード未挿入、USB／iPod／VTR未接続

# Digital TVのチャンネル一覧

**地域設定で選択された地域の、エリア番号と放送局の組み合わせは、下記のようになります。**
※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。
**割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。**
**一度放送局を受信(視聴)すると、最新の放送局名が表示されます。**
※放送局側の都合により放送局名など変更になる場合があります。

■ 表のみかた




(2012年2月現在)

| お住まいの地域 | 北海道（函館） | 北海道（札幌） | 北海道（室蘭） | 北海道（旭川） | 北海道（帯広） | 北海道（北見） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 HBC北海道放送<br>2 NHKEテレ函館<br>3 NHK総合·函館<br>5 STV札幌テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>7 TVH<br>8 UHB | 1 HBC北海道放送<br>2 NHKEテレ札幌<br>3 NHK総合·札幌<br>5 STV札幌テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>7 TVH<br>8 UHB | 1 HBC北海道放送<br>2 NHKEテレ室蘭<br>3 NHK総合·室蘭<br>5 STV札幌テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>7 TVH<br>8 UHB | 1 HBC北海道放送<br>2 NHKEテレ旭川<br>3 NHK総合·旭川<br>5 STV札幌テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>7 TVH<br>8 UHB | 1 HBC北海道放送<br>2 NHKEテレ帯広<br>3 NHK総合·帯広<br>5 STV札幌テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>7 TVH<br>8 UHB | 1 HBC北海道放送<br>2 NHKEテレ北見<br>3 NHK総合·北見<br>5 STV札幌テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>7 TVH<br>8 UHB |

| お住まいの地域 | 北海道（釧路） | 青森 | 秋田 | 山形 | 岩手 | 宮城 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 HBC北海道放送<br>2 NHKEテレ釧路<br>3 NHK総合·釧路<br>5 STV札幌テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>7 TVH<br>8 UHB | 1 RAB青森放送<br>2 NHKEテレ青森<br>3 NHK総合·青森<br>5 青森朝日放送<br>6 ATV青森テレビ<br>6 HTB北海道テレビ<br>8 UHB | 1 NHK総合·秋田<br>2 NHKEテレ秋田<br>4 ABS秋田放送<br>5 AAB秋田朝日放送<br>8 AKT秋田テレビ | 1 NHK総合·山形<br>2 NHKEテレ山形<br>4 YBC山形放送<br>5 YTS山形テレビ<br>6 テレビユー山形<br>8 さくらんぼテレビ | 1 NHK総合·盛岡<br>1 TBCテレビ<br>2 NHKEテレ盛岡<br>4 テレビ岩手<br>4 ミヤギテレビ<br>5 岩手朝日テレビ<br>5 KHB東日本放送<br>6 IBCテレビ<br>8 めんこいテレビ<br>8 仙台放送 | 1 TBCテレビ<br>2 NHKEテレ仙台<br>3 NHK総合·仙台<br>4 ミヤギテレビ<br>5 KHB東日本放送<br>8 仙台放送 |

| お住まいの地域 | 福島 | 群馬 | 埼玉 | 山梨 | 栃木 | 東京 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 NHK総合·福島<br>1 TBCテレビ<br>2 NHKEテレ福島<br>4 福島中央テレビ<br>4 ミヤギテレビ<br>5 KFB福島放送<br>5 KHB東日本放送<br>6 テレビユー福島<br>8 福島テレビ<br>8 仙台放送 | 1 NHK総合·東京<br>2 NHKEテレ東京<br>3 群馬テレビ<br>3 テレ玉<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン<br>12 放送大学 | 1 NHK総合·東京<br>2 NHKEテレ東京<br>3 テレ玉<br>3 群馬テレビ<br>3 チバテレビ<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン<br>9 TOKYO MX<br>12 放送大学 | 1 NHK総合·甲府<br>2 NHKEテレ甲府<br>4 YBS山梨放送<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 UTY<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン | 1 NHK総合·東京<br>2 NHKEテレ東京<br>3 とちぎテレビ<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン<br>12 放送大学 | 1 NHK総合·東京<br>2 NHKEテレ東京<br>3 tvk<br>3 チバテレビ<br>3 テレ玉<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン<br>9 TOKYO MX<br>12 放送大学 |

| お住まいの地域 | 神奈川 | 茨城 | 千葉 | 福井 | 石川 | 富山 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 NHK総合·東京<br>2 NHKEテレ東京<br>3 tvk<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン<br>9 TOKYO MX<br>12 放送大学 | 1 NHK総合·水戸<br>2 NHKEテレ東京<br>3 チバテレビ<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン<br>9 TOKYO MX<br>12 放送大学 | 1 NHK総合·東京<br>2 NHKEテレ東京<br>3 チバテレビ<br>3 tvk<br>3 テレ玉<br>4 日本テレビ<br>5 テレビ朝日<br>6 TBS<br>7 テレビ東京<br>8 フジテレビジョン<br>9 TOKYO MX<br>12 放送大学 | 1 NHK総合·福井<br>2 NHKEテレ福井<br>6 MRO<br>7 FBCテレビ<br>8 福井テレビ | 1 NHK総合·金沢<br>1 KNB北日本放送<br>2 NHKEテレ金沢<br>4 テレビ金沢<br>5 北陸朝日放送<br>6 MRO<br>8 石川テレビ<br>8 BBT富山テレビ | 1 KNB北日本放送<br>2 NHKEテレ富山<br>3 NHK総合·富山<br>6 チューリップテレビ<br>6 MRO<br>8 BBT富山テレビ<br>8 石川テレビ |

| お住まいの地域 | 新潟 | 長野 | 岐阜 | 三重 | 愛知 | 静岡 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 NHK総合·新潟<br>2 NHKEテレ新潟<br>4 TeNYテレビ新潟<br>5 新潟テレビ21<br>6 BSN<br>8 NST | 1 NHK総合·長野<br>2 NHKEテレ長野<br>4 テレビ信州<br>5 abn長野朝日放送<br>6 SBC信越放送<br>8 NBS長野放送 | 1 東海テレビ<br>2 NHKEテレ名古屋<br>3 NHK総合·岐阜<br>4 中京テレビ<br>5 CBC<br>6 メ～テレ<br>7 三重テレビ<br>8 ぎふチャン<br>10 テレビ愛知 | 1 東海テレビ<br>2 NHKEテレ名古屋<br>3 NHK総合·津<br>4 中京テレビ<br>4 MBS毎日放送<br>5 CBC<br>6 メ～テレ<br>6 ABCテレビ<br>7 三重テレビ<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ<br>10 テレビ愛知 | 1 東海テレビ<br>2 NHKEテレ名古屋<br>3 NHK総合·名古屋<br>4 中京テレビ<br>5 CBC<br>6 メ～テレ<br>7 三重テレビ<br>8 ぎふチャン<br>10 テレビ愛知 | 1 NHK総合·静岡<br>2 NHKEテレ静岡<br>4 だいいちテレビ<br>5 静岡朝日テレビ<br>6 SBS<br>8 テレビ静岡 |

| お住まいの地域 | 兵庫 | 京都 | 大阪 | 和歌山 | 滋賀 | 奈良 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 NHK総合·神戸<br>2 NHKEテレ大阪<br>3 サンテレビ<br>4 MBS毎日放送<br>6 ABCテレビ<br>7 テレビ大阪<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ | 1 NHK総合·京都<br>2 NHKEテレ大阪<br>3 サンテレビ<br>4 MBS毎日放送<br>5 KBS京都<br>6 ABCテレビ<br>7 テレビ大阪<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ | 1 NHK総合·大阪<br>2 NHKEテレ大阪<br>3 サンテレビ<br>4 MBS毎日放送<br>5 KBS京都<br>6 ABCテレビ<br>7 テレビ大阪<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ | 1 NHK総合·和歌山<br>2 NHKEテレ大阪<br>4 MBS毎日放送<br>5 テレビ和歌山<br>6 ABCテレビ<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ | 1 NHK総合·大津<br>2 NHKEテレ大阪<br>3 BBCびわ湖放送<br>4 MBS毎日放送<br>5 KBS京都<br>6 ABCテレビ<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ | 1 NHK総合·奈良<br>2 NHKEテレ大阪<br>3 サンテレビ<br>4 MBS毎日放送<br>5 KBS京都<br>6 ABCテレビ<br>7 テレビ大阪<br>8 関西テレビ<br>9 奈良テレビ<br>10 読売テレビ |

| お住まいの地域 | 愛媛 | 高知 | 香川 | 徳島 | 島根 | 山口 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 NHK総合·松山<br>2 NHKEテレ松山<br>4 南海放送<br>4 RNC西日本テレビ<br>4 広島テレビ<br>5 愛媛朝日<br>5 広島ホームテレビ<br>6 あいテレビ<br>6 RSKテレビ<br>7 TSCテレビせとうち<br>8 テレビ愛媛<br>8 TSS | 1 NHK総合·高知<br>2 NHKEテレ高知<br>4 高知放送<br>6 テレビ高知<br>8 さんさんテレビ | 1 NHK総合·高松<br>2 NHKEテレ高松<br>4 RNC西日本テレビ<br>4 MBS毎日放送<br>5 KSB瀬戸内海放送<br>6 RSKテレビ<br>6 ABCテレビ<br>7 TSCテレビせとうち<br>8 OHKテレビ<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ | 1 四国放送<br>2 NHKEテレ徳島<br>3 NHK総合·徳島<br>3 サンテレビ<br>4 MBS毎日放送<br>5 テレビ和歌山<br>6 ABCテレビ<br>7 テレビ大阪<br>8 関西テレビ<br>10 読売テレビ | 1 日本海テレビ<br>2 NHKEテレ松江<br>3 NHK総合·松江<br>6 BSSテレビ<br>8 山陰中央テレビ | 1 NHK総合·山口<br>1 KBC九州朝日放送<br>2 NHKEテレ山口<br>3 tysテレビ山口<br>3 OBS大分放送<br>4 KRY山口放送<br>4 RKB毎日放送<br>5 yab山口朝日<br>5 FBS福岡放送<br>7 TVQ九州放送<br>8 TNCテレビ西日本 |

| お住まいの地域 | 広島 | 鳥取 | 岡山 | 長崎 | 佐賀 | 熊本 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 NHK総合·広島<br>2 NHKEテレ広島<br>3 RCCテレビ<br>4 広島テレビ<br>5 広島ホームテレビ<br>8 TSS | 1 日本海テレビ<br>2 NHKEテレ鳥取<br>3 NHK総合·鳥取<br>6 BSSテレビ<br>8 山陰中央テレビ | 1 NHK総合·岡山<br>2 NHKEテレ岡山<br>4 RNC西日本テレビ<br>5 KSB瀬戸内海放送<br>6 RSKテレビ<br>7 TSCテレビせとうち<br>8 OHKテレビ | 1 NHK総合·長崎<br>1 KBC九州朝日放送<br>2 NHKEテレ長崎<br>3 NBC長崎放送<br>3 RKK熊本放送<br>4 NIB長崎国際テレビ<br>4 RKB毎日放送<br>4 KKTくまもと県民<br>5 NCC長崎文化放送<br>8 KTNテレビ長崎<br>8 TNCテレビ西日本<br>8 TKUテレビ熊本 | 1 NHK総合·佐賀<br>1 KBC九州朝日放送<br>2 NHKEテレ佐賀<br>3 STSサガテレビ<br>3 RKK熊本放送<br>3 NBC長崎放送<br>4 RKB毎日放送<br>5 FBS福岡放送<br>7 TVQ九州放送<br>8 TNCテレビ西日本<br>8 TKUテレビ熊本<br>8 KTNテレビ長崎 | 1 NHK総合·熊本<br>1 KBC九州朝日放送<br>2 NHKEテレ熊本<br>3 RKK熊本放送<br>3 STSサガテレビ<br>4 KKTくまもと県民<br>4 RKB毎日放送<br>5 KAB熊本朝日放送<br>7 TVQ九州放送<br>8 TKUテレビ熊本<br>8 KTNテレビ長崎 |

| お住まいの地域 | 福岡 | 大分 | 宮崎 | 鹿児島 | 沖縄 |
|---|---|---|---|---|---|
| 放送局名 | 1 KBC九州朝日放送<br>2 NHKEテレ福岡<br>2 NHKEテレ北九州<br>3 NHK総合·福岡<br>3 NHK総合·北九州<br>3 RKK熊本放送<br>3 STSサガテレビ<br>4 RKB毎日放送<br>5 FBS福岡放送<br>7 TVQ九州放送<br>8 TNCテレビ西日本 | 1 NHK総合·大分<br>1 KBC九州朝日放送<br>2 NHKEテレ大分<br>3 OBS大分放送<br>4 TOSテレビ大分<br>4 南海放送<br>4 RKB毎日放送<br>5 OAB大分朝日放送<br>5 FBS福岡放送<br>7 TVQ九州放送<br>8 TNCテレビ西日本 | 1 NHK総合·宮崎<br>1 MBC南日本放送<br>2 NHKEテレ宮崎<br>3 UMKテレビ宮崎<br>5 KKB鹿児島放送<br>6 MRT宮崎放送<br>8 KTS鹿児島テレビ | 1 MBC南日本放送<br>2 NHKEテレ鹿児島<br>3 NHK総合·鹿児島<br>3 UMKテレビ宮崎<br>4 KYT鹿児島読売TV<br>4 KKTくまもと県民<br>5 KKB鹿児島放送<br>5 KAB熊本朝日放送<br>6 MRT宮崎放送<br>8 KTS鹿児島テレビ<br>8 TKUテレビ熊本 | 1 NHK総合·沖縄<br>2 NHKEテレ沖縄<br>3 RBCテレビ<br>5 QAB琉球朝日放送<br>8 沖縄テレビ（OTV） |

# 地図ソフトについて

## 株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

「本機」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

### 重　要　!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

### 使　用　規　定

1．弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、お客様が管理使用する機器1台に限り本ソフトを使用する権利を許諾します。

2．弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。

3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。

（1）必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。

（2）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。

（1）本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。

（2）本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

（3）本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

（1）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

（2）第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡･レンタル･リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。

（3）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

（4）その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

## 安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください）

### ⚠ 警告

**運転者は、走行中に操作をしないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

**操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。**
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

**運転中は、画面を注視しないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

**常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。**
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

**一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。**
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

**本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。**
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

### 【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の５０万分の１地方図及び２万５千分の１地形図を使用しています。（承認番号 平23情使、第192-580号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料Ｈ・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量法第44条に基づく成果使用承認 11-080）
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2012年３月のものを使用しています。
- VICS® は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

## 地図ソフトについて

- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2012年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2012年1月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆ 3D交差点…… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
    （約1,770交差点、約5,680画像）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆ジャンクションビュー…… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
    （約4,070ヶ所、約8,150方面）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆方面看板…… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
    （全国の主要交差点）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2011年11月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ（2012年3月発行）をもとに作成しています。タウンページはNTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
  （予測データ提供元：NTTデータ　予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター）
  なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
  ※本ソフトの収録エリアには2012年10月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

## VICS に関するお問い合わせ

（財）道路交通情報通信システムセンター　サービスサポートセンター
**電話番号：**0570-00-8831
**電話受付時間：**9：30～17：45（土曜、日曜、祝日を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
**FAX：**03-3562-1719

## 【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2012年4月（高速・有料道路）／2012年1月（国道・都道府県道）
■交通規制※1：2012年3月　■住所検索　：2012年3月　■電話番号検索　：2012年3月
■個人宅電話番号検索：2012年2月　■郵便番号検索：2012年3月　■ジャンル検索　：2012年2月
■高速・有料道路料金※2：2012年4月　■市街地図　：2011年11月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。

## 【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2012年10月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

## 地図についてのお問い合わせ先

**株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター**
**フリーダイヤル 0120-210-616**
**受付時間 9:30～17:30　月～土（祝日・弊社指定休日は除く）**

※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

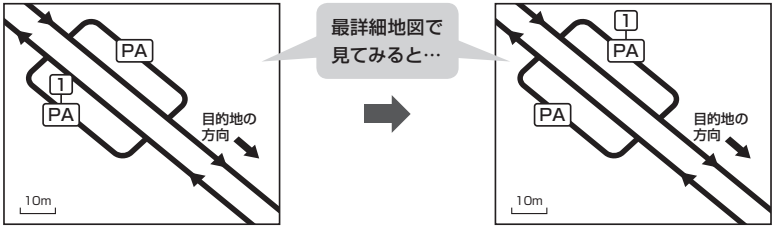
2012年10月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2011 財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2012 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

# 出発地・経由地・目的地の設定について

## 経由地、目的地の設定の注意点

通常周辺検索やジャンル検索などで経由地や目的地を設定しますが、地図で設定する場合は必ず最詳細地図で設定してください。
最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

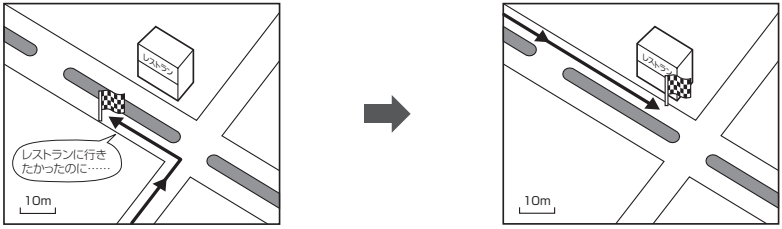
例）高速道路のPAに経由地を設定した場合




目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、目的地方向のPA内にある道路に設定してください。

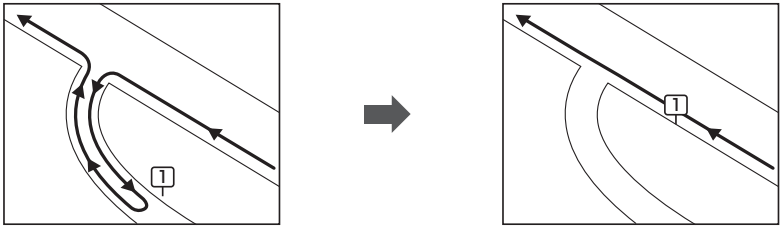
例）中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合




目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りのルートを設定することがあります。

詳細地図で、レストランと道路の境界付近に設定してください。

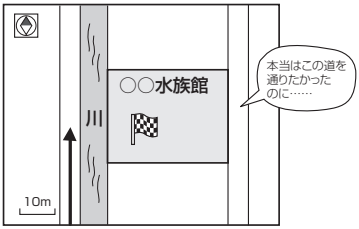
例）設定したい経由地付近に細街路がある場合



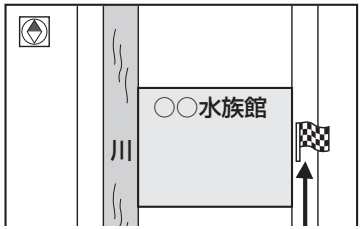

立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、通行したい道路により近い場所に設定してください。

例)「施設の名称で地点を探す」で“○○水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
（駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選択しなかった場合）




目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。




詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。

アドバイス
出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

# ルート案内時の注意点

●表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。

●道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

●ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。

●ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。

●目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探索するか、ルート削除したときにルートは消えます。

●再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。

●ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。

●距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。

●距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。

●道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

●経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。

- どれか1カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
- 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
- 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行ないません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 細街路から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。

●以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

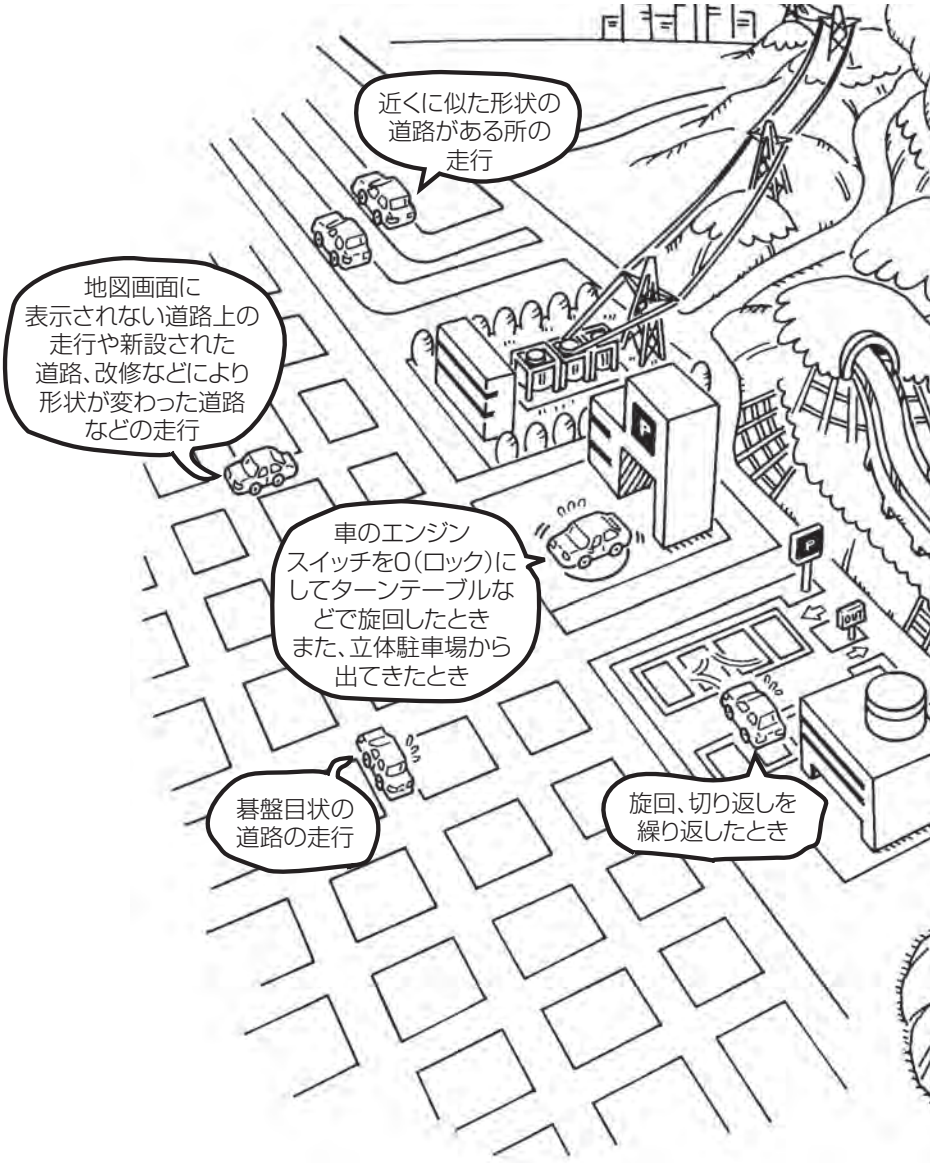
- 現在地と目的地が遠すぎる場合。
  この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
- 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
- 極度に迂回したルートしかない場合。
- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

●以下のようなルートが表示されることがあります。

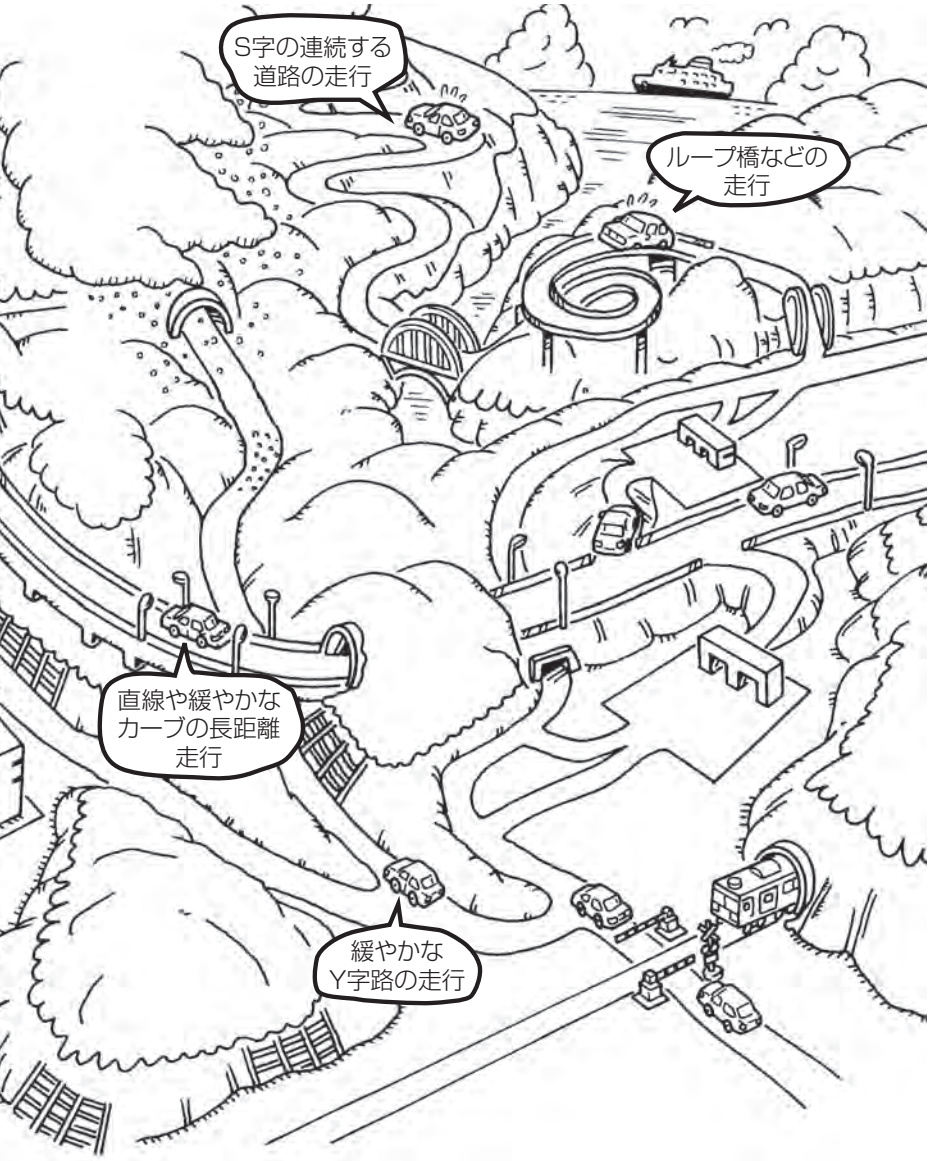
- ルート探索しても、自車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示することがあります。
  この場合は自車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自車マークが正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行なってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- 一般優先 に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
  ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや 探索条件 の設定でフェリーを優先“しない”に設定しても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行なってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

## 自車マークの表示誤差について

自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。
故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。



アドバイス
エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。



# 地図に表示される記号

## 地図表示記号(例)

- 都道府県庁舎(灰色)
- 市役所・特別区庁舎(灰色)
- 町村役場・政令指定都市区役所庁舎
- 官公署･市町村役場支所(出張所)
- 消防署(含む：分署・支署・出張所)
- 自衛隊
- 学校
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 図書館
- 海水浴場・(湖水、池)水泳場
- デパート・スーパー・ショッピング施設
- スーパーマーケット・その他ショップ
- ホテル・旅館・宿泊施設
- 史跡・旧跡、観光名所
- 神社
- 寺院(仏閣、地蔵)
- 教会
- 城跡
- 美術館
- 博物館
- 郵便局
- 銀行
- 飛行場・空港
- 港
- フェリーターミナル
- ファミリーレストラン
- 山頂
- 工場
- 一方通行記号
- 交差点
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- ジャンクション
- 料金所
- ランプ(出入口)
- ランプ(出口専用)
- 駐車場
- 運動施設
- サッカースタジアム
- 墓地
- 冬季通行止め
- その他目標施設
- JRA競馬場・ウィンズ
- ガソリンスタンド
- 展望タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 遊園地・テーマパーク
- テーマパークゲート
- キャンプ場
- スタジアム
- 公園
- マリーナ
- 盗難多発地点 ☞ F-21

### 道路の表示色

青色　：高速道路、有料道路
赤色　：国道
緑色　：主要地方道、県道
灰色　：一般道、細街路
青色(破線)：フェリー航路
※灰色(破線)はルート探索できません。

計画道路について

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。

アドバイス

道路色は“地図切り替え”で選択したボタンによって変わります。上記の色は“ノーマル”を選択したときの色を記載しています。
☞「地図の色を設定する」F-5

## 立体アイコン（例）

東京タワー

新宿センタービル

神宮球場

松江城

日本武道館

横浜ランド
マークタワー

東京都庁
（第一庁舎）

通天閣

原爆ドーム

JR 東京駅

# 市街地図(10m/25m/50m/100mスケール)の収録エリア

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域→ □、50%未満収録地域→

| | |
|---|---|
| 北海道 | 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町 |
| 青森県 | 三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町、田舎館村 |
| 岩手県 | 盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢村、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ヶ崎町、平泉町 |
| 宮城県 | 多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町 |
| 秋田県 | 秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町 |
| 山形県 | 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町 |
| 福島県 | 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町 |
| 茨城県 | 水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町 |
| 栃木県 | 宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、茂木町、岩舟町 |
| 群馬県 | 前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村 |
| 埼玉県 | 川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ケ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡町、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町 |

| | |
|---|---|
| 千葉県 | 千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市 |
| 東京都 | 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町 |
| 神奈川県 | 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村 |
| 新潟県 | 新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村 |
| 富山県 | 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町 |
| 石川県 | 内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町 |
| 福井県 | 福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町 |

| | |
|---|---|
| 山梨県 | 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町 |
| 長野県 | 松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村 |
| 岐阜県 | 岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町 |
| 静岡県 | 浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市 |
| 愛知県 | 名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市 |

# 市街地図(10m/25m/50m/100mスケール)の収録エリア

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域→ □、50%未満収録地域→ ■

| | |
|---|---|
| 三重県 | 津市、松阪市、いなべ市、東員町、菰野町、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町 |
| 滋賀県 | 近江八幡市、草津市、大津市、彦根市、長浜市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、米原市、高島市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町 |
| 京都府 | 城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、長岡京市、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、京丹後市、南丹市、大山崎町、伊根町、与謝野町 |
| 大阪府 | 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村 |
| 兵庫県 | 尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、福崎町、太子町、上郡町、神戸市、姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、たつの市、多可町、香美町、新温泉町、加東市、市川町、神河町 |
| 奈良県 | 奈良市、橿原市、桜井市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、宇陀市、三宅町、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村 |
| 和歌山県 | 和歌山市、海南市、岩出市、かつらぎ町、湯浅町、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、太地町、串本町 |
| 鳥取県 | 鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町、日吉津村、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町 |
| 島根県 | 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市 |
| 岡山県 | 岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市 |
| 広島県 | 呉市、尾道市、福山市、府中市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、三原市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市 |
| 山口県 | 下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、平生町、周防大島町、田布施町 |
| 徳島県 | 徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町 |
| 香川県 | 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、綾川町、宇多津町、まんのう町、琴平町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町 |
| 愛媛県 | 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、松前町、砥部町、伊方町、久万高原町、西予市、東温市、内子町 |

| | |
|---|---|
| 高知県 | 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町 |
| 福岡県 | 糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、苅田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町 |
| 佐賀県 | 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町 |
| 長崎県 | 佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町 |
| 熊本県 | 熊本市＊、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町<br>＊印…熊本市南区は50 %以上収録地域になります。 |
| 大分県 | 大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町 |
| 宮崎県 | 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町 |
| 鹿児島県 | 鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町 |
| 沖縄県 | 那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町 |

アドバイス

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2011年11月です。

# VICSについてのお問い合わせ

## VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。「***VICS***」および「VICS®」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

**〈概念〉**

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

**〈システム概要〉**

このシステムは、(財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*1から、FM多重放送*2を使ってリアルタイム*3に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

**本機では、FM多重放送のVICS情報を受信し、レベル1～3を表示します。**
※本書および画面表示では、VICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

＊1 (財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。
＊2 FM多重放送では広域情報を提供します。
＊3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

**〈サービスエリア〉**

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県で展開されています。(平成24年3月1日現在)

**〈情報提供時間〉**

FM多重放送……24時間(ただし、第1、第3日曜日の翌日の月曜日、
午前1時～午前5時までは放送を休止する場合があります。)
※VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

**〈情報の更新について〉**

おおむね、5分間隔で更新されます。

**〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉**

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICSリンクデータベースの著作権について〉

VICSリンクデータベースの著作権は(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICSリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICSリンクデータベース：VICSリンクと(財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

| 問い合わせ先 / 問い合わせ項目 | お買い上げのHonda販売店 | VICSセンター*(東京センター) |
|---|---|---|
| VICSの概念、計画 | | ○ |
| レベル1の表示内容 | | ○ |
| レベル2の表示内容 | | ○ |
| レベル3の表示内容 | ○ | |
| サービスエリア | ○ | |
| 受信可否 | ○ | |
| 車載機の調子、機能、使い方 | ○ | |

**＊印…VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。**

**＊印…VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは(財)VICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)**

**(財)VICSセンター**

**お問い合わせ窓口　サービス・サポート・センター**

電話番号　0570-00-8831
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間　平日9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
FAX番号　(03)3562-1719
FAX受付時間　24時間
URL　http://www.vics.or.jp/index1.html

＊お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。
※PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

# VICS情報有料放送サービス契約約款

## 第1章　総　　則

**（約款の適用）**

第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

**（約款の変更）**

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

**（用語の定義）**

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

## 第2章　サービスの種類等

**（VICSサービスの種類）**

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

**（VICSサービスの提供時間）**

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

## 第3章　契　　約

**（契約の単位）**

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

**（サービスの提供区域）**

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

**（契約の成立等）**

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

**（VICSサービスの種類の変更）**

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

**（契約上の地位の譲渡又は承継）**

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

**（加入者が行う契約の解除）**

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

**（当センターが行う契約の解除）**

第12条

（1）当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

（2）第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

## 第4章　料　　金

**（料金の支払い義務）**

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

## 第5章　保　　守

**（当センターの保守管理責任）**

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

**（利用の中止）**

第15条

（1）当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

（2）当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

## 第6章　雑　　則

**（利用に係る加入者の義務）**

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

**（免責）**

第17条

（1）当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

（2）VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

**〔別表〕視聴料金　315円（うち消費税15円）**
**ただし、車載機購入価格に含まれております。**

## VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位（以下、VICSリンクと称します）を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

# 故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

## 共　　通

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **音が出ない。** | 音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。 | ▼／▲（VOL）で調整してください。 | H-19 |
| | 音質・音量バランスが片方に寄っている。 | フェード・バランスを正しく調整してください。<br>※2スピーカーの場合はBALANCEとFADEを“0”に合わせます。 | H-31 |
| | 本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 | 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。 | – |
| **本機に登録されていた情報が消失している。** | ● 本機の使用を誤った<br>● ノイズの影響を受けた<br>● 修理を依頼した<br>などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。 | 消失したデータについては補償できません。 | – |
| **ディスクが出ない。**<br>**ディスクを読み込まない。** | ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。 | ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。<br>※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。 | A-20 |
| **タッチパネルが操作できない。** | タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。 | 保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。 | – |
| **音が勝手に大きくなる、または小さくなる。** | 車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。 | 車速連動音量をOFFに設定してください。 | H-33 |
| **ディスクを取り出したときディスクが熱い。** | 本機を長時間使用していた。<br>ディスクを長時間再生していた。 | 長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。 | – |

## モニター

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **映像が出ない。** | 走行している。 | 走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。 | — |
| | 明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。 | 明るさ／コントラストを調整してください。 | T-2 |
| | 画面が消えている。 | 画面をタッチして、画面を表示させてください。 | T-6 |
| | VTRモードになっている。 | 外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。（VTR未入力時は黒い画面になります。） | — |
| **表示が暗く見づらい。** | 車両側のオートライトが働いている。 | 画面の明るさはイルミに連動します。（トンネル内など画面が急に暗くなります。）オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないと画面は明るくなります。 | — |
| **画面が乱れる。** | 液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。 | 携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。 | — |
| **画面が曇る。** | 雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。 | まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。 | — |
| **DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。** | 調整がずれている。 | 明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。 | T-2 |
| **映像にはん点やしま模様が出る。** | ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。 | 妨害電波を受けない場所に移動してください。 | — |
| **液晶パネルに黒点や光る点がある。** | 液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。 | 故障ではありませんので、そのままご使用ください。 | — |
| **リア席モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。** | 音楽関連の画面は表示されません。 | 故障ではありません。<br>リア席モニターに表示されるのは映像関連（DVDやDigital TV、iPodビデオなど）となります。 | T-12 |

## ナビゲーション

### 自車マーク関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。** | 画面が煩雑（複雑）にならないよう、文字情報の間引き処理を行なっています。また道路や地名などを複数表示することもあります。 | 故障ではありません。 | – |
| **現在地が正しく表示されない。** | 走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。 | GPS衛星電波を受信してください。 | A-24 |
| **自車を移動させても地図がスクロールしない。** | 現在地表示になっていない。 | 現在地 をタッチしてください。 | – |
| **自車マークが表示されない。** | 現在地表示になっていない。 | 現在地 をタッチしてください。 | – |
| **走行すると道路が消える。** | 走行中は細街路を表示しません。 | 故障ではありません。 | A-5 |
| **地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。** | GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。 | アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。 | A-6 |
| | GPS衛星の受信感度が悪い。 | GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。 | A-24 |
| **自車位置精度が悪い。** | タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。 | しばらく（およそ30km/h以上の速度で30分程度）走行すると自動的に調整されます。 | B-7 |
| | GPS内蔵レーダー探知機を設置している。 | 本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。 | – |

# ナビゲーション

## 目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **再探索時、経由地を探索しない。** | すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。 | 通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行なってください。 | – |
| **ルート情報が表示されない。** | ルート探索を行なっていない。 | 目的地を設定し、ルート探索を行なってください。 | D-6、D-9 |
| | ルート案内が停止になっている。 | ルート案内を開始してください。 | B-21、D-18 |
| **ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。** | 自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示） | 探索されたルート上を走行してください。 | – |
| **自動再探索ができない。** | 道幅が3m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。 | 探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行ないます。 | D-19 |
| **経由地が設定できない。** | すでに経由地を５カ所設定している。 | 経由地は６カ所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行なってください。 | – |

## 音声案内関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **音声案内しない。** | 探索されたルートを外れている。 | 探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行なってください。 | D-6、D-9、D-19 |
| | ルート案内が停止になっている。 | ルート案内を開始してください。 | B-21、D-18 |
| | 消音 をタッチして音声を出なくしている。 | 消音 をタッチして解除してください。 | F-34 |
| **実際の道路と案内が異なる。** | 音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。 | 実際の交通ルールに従って走行してください。 | – |

# ナビゲーション

## ルート探索関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **探索されたルートが表示されない。** | 目的地の近くに道路がない。 | 目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。 | – |
| | 出発地と目的地が近い。 | 距離を離してください。 | – |
| **探索されたルートが途切れて表示される。** | 探索では、細街路※を使用しないエリアがあるため*、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。 | 故障ではありません。 | – |
| **遠回りな自動ルートを探索する。** | 探索では、細街路※を使用しないエリアがあるため*、遠回りなルートになることがあります。 | 基本道路（細街路以外の道路）に近づけて設定してください。 | – |
| | 出発地、目的地付近の道路に規制がある（一方通行など）ときに遠回りのルートを出すことがあります。 | 出発地や目的地を少しずらして設定してください。<br>または、通りたいルートに経由地を設定してください。 | – |
| | 細街路※を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地（経由地）付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。 | 故障ではありません。 | – |
| | 車の方向（矢印の向き）が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。 | 故障ではありません。 | – |
| **ランドマークの表示が実際と異なる。** | 地形データの不備や誤りにより起こることがあります。 | 地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。 | – |
| **出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。** | 地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。 | 近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。 | – |

※印…細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

＊印…政令指定都市、および県庁所在地以外（地図ソフトの更新により変わることがあります。）

# ナビゲーション

## ルート探索関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| 意図したルートとは違うルートが引かれる。 | 目的地の近くに探索可能な道路がない。 | 目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。 | T-24 |
| | 目的地を建物の中心に設定している。 | | |
| | 中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。 | 一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。 | T-24 |

## VICS関係

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| VICS情報(レベル1とレベル2)が表示されない。 | VICS情報を受信していない。 | 情報を受信していないときは、表示できません。 | – |
| | 交通情報番組(VICS) を選択していない。 | 交通情報番組(VICS) を選択してください。 | E-13 |
| VICS情報(レベル3)が表示されない。 | VICS情報を受信していない。 | 情報を受信していないときは、表示できません。 | – |
| | 交通情報番組(VICS) を選択していない。 | 交通情報番組(VICS) を選択してください。 | E-13 |
| | 地図の縮尺スケールが拡大されている。 | 地図の縮尺スケールを1km以下にしてください。 | B-14 |
| 一般情報が表示されない。 | 一般情報を受信していない。 | 情報を受信していないときは、表示できません。 | – |
| | 交通情報番組(VICS) を選択していない。 | 一般情報番組 を選択してください。 | E-13 |

## リアカメラシステム関係

| 症　　状 | 原　　因 | 処　　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **カメラ映像が出ない。** | セレクトレバーがRの位置になっていない。 | セレクトレバーがR(リバース)の位置になっているか確認してください。 | G-21 |
| **カメラ映像の映りが悪い。** | レンズカバーが汚れている。 | 水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。 | G-25 |
| **カメラ映像に白い光の縦線が入る。** | 太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。 | CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。 | – |
| | 車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。 | | |
| **リアカメラのガイド表示が出ない。** | ガイド表示が設定されていない。 | Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行なってください。 | – |
| | ガイド表示が“OFF”になっている。 | セレクトレバーがR(リバース)の位置になっている状態で画面をタッチし、ガイドON をタッチしてください。 | G-22 |
| **リアカメラのガイド表示が正しく合っていない。** | ガイド表示が正しく調整されていない。 | Honda販売店での調整が必要です。 | – |
| | 乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。 | 平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。 | – |

## パソコン連携(いつもNAVI)★

| 症　　状 | 原　　因 | 処　　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **SDカードから読み込んだ地点／ルート情報が表示できない。** | SDカード内にデータがない／データはあるがフォルダ名が違う／フォルダ名を全角で入力している。 | パソコンに半角で“DRIVE”という名前のフォルダを作成し、指定ホームページから地点／ルートをDRIVEフォルダにダウンロードしてSDカードに移動(ドラッグアンドドロップ)してください。 | A-28 |

★印…VXM-135VFNの場合

## ラジオ

| 症　　状 | 原　　因 | 処　　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **自動選局ができない。** | 強い電波の放送局がない。 | 手動で選局してください。 | J-4 |
| **“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。** | 放送局の電波が弱い。 | 他のチャンネルを選局してみてください。 | J-4 |
| | 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 | 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。 | – |
| **ラジオの入りが悪い。** | エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。 | 車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。 | – |
| | 本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 | 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。 | – |

## iPod

| 症　　状 | 原　　因 | 処　　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **正常に動作しない。** | 接続不良。 | USB接続ジャックに、iPod（と別売のiPod接続コード）を確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。 | N-4 |
| | 再生可能なデータがない。 | 再生可能なデータをiPod本体に転送してください。 | – |
| | iPodのソフトウェアバージョンが古い。 | iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。 | N-3 |
| | iPodが正常に動作していない。 | iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。 | – |
| **iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。** | iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。 | オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。 | H-9、N-4 |
| **ビデオ再生しない。（映像がでない。）** | ケーブルを正しく接続していない。またはiPod本体に付属のケーブルを使用している。 | 音声・映像を再生させる（出力させる）には、別売のiPod接続コードに別売のUSB接続ジャックとVTRコードを全て接続する必要があります。 | N-4 |
| **選択できないビデオがある。** | アーティスト名、アルバム名などのタイトルを登録していない。 | 本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。 | – |

## CD、MP3／WMA

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| CD、MP3／WMAモードに切り替わらない。 | ディスクが挿入されていない。 | ディスクを挿入してください。 | – |
| ● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。<br>● 音が飛んだり音質が悪い。 | ディスクの不良。 | 他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。 | – |
| | ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 | ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。 | A-20 |
| | ディスクにラベルが貼ってある。 | ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。 | – |
| | CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。 | 書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。 | – |
| ディスクが入らない。 | 結露している。 | ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。 | – |
| | すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。 | 入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。 | – |
| CD-RやCD-RWを再生できない。 | ディスクがファイナライズされていない。 | ディスクをファイナライズしてください。 | – |
| ディスクを取り出したときディスクが熱い。 | ● 本体を長時間使用していた。<br>● ディスクを長時間再生していた。 | 長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。 | – |

## CD、MP3／WMA

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **MP3／WMAファイルを再生できない。** | CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。 | CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。 | – |
| | MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 | MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。 | – |
| | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 | – |
| | 対応していないビットレートで記録されている。 | 対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。 | K–4、K–5 |
| **再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。** | MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 | ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。 | – |
| **再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。** | ファイルの形式と拡張子があっていない。 | ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。） | – |
| **聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。** | MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 | MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。 | – |
| **フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。** | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 | – |
| **ファイル再生が記録した順と異なる。** | MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。 | ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの取扱説明書でご確認ください。 | – |
| **CDのアーティスト名（タイトル名）などが異なって表示される。** | Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。（同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。） | カスタムアップデート（個別更新）をしてタイトル情報を更新してください。 | I–17 |

## Music Rack

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| CDを再生しても、自動で録音されない。 | 録音設定が“手動録音”に設定されている。 | 録音設定を“自動録音”に設定してください。 | I-4 |
| | MP3／WMAを再生している。 | MP3／WMAは録音できません。CDが挿入されているかご確認ください。 | ― |
| 録音できない。 | 録音中に車のエンジンスイッチを変更してエンジンを始動した。 | 音楽データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行なってください。 | I-11 |
| | 本機の容量が不足している。 | 使用状況を確認してください。録音済の曲(アルバムやトラック)を削除すると新たに録音できます。 | I-10、L-22、L-27、 |
| 録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。 | 再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✔)を消している。) | チェックマーク(✔)を付けてください。 | L-19 |
| 録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。 | 再生管理データが読み取れていません。 | 録音中のエンジン始動などでデータに異常が発生した可能性がありますので 音楽データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行なってください。 | I-11 |
| | 録音曲数が多い。 | 曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。 | ― |
| 現在地 をタッチしても現在地が表示されない。 | Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中。 | 更新後または初期化後にタッチしてください。 | ― |
| ジャケット写真を登録できない。 | 登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。 | ― |
| ジャケット写真が小さく表示される。 | 登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 | 200×200ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。 | ― |
| 間違ったジャケット写真が表示される。 | 同名(同じ日付に録音した)新規のアルバムにジャケット写真を登録した。 | Gracenoteデータベースでタイトルを取得してからジャケット写真を登録してください。 | ― |

## SD／USB

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **SDカードを初期化できない。** | 誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 | SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。 | — |
| **再生画面を表示しない。** | SDカード未挿入／USB機器未接続。 | SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。 | — |
| **再生が始まらない。** | SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。 | SDカードを本機で初期化（フォーマット）してからファイルを入れて再生させてください。 | G-28 |
| | 本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。 | 再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。 | B-4、M-5 |
| | | 対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AAC／JPEGファイルにしてください。 | K-3、O-4、T-13 |
| | 動作モードが間違っている。 | 再生させたい動作モードを選択してください。 | H-21 |
| | 結露している。 | SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。 | B-4 |
| **再生が始まるまでに時間がかかる。** | SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 | ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。 | — |
| **再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。** | ファイルの形式と拡張子があっていない。 | 拡張子を確認してください。 | K-3、O-4、T-13 |
| **ファイルを認識しない。** | フォルダ名、ファイル名が長すぎる。 | フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。 | — |
| **ファイル再生が記録したい順と異なる。** | SD／USB機器書き込み時（コピー時）にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。 | SD／USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む（コピーする）ことで並び順を正しく表示できる場合があります。 | — |
| **MP3／WMA／AACファイルを再生できない。** | 対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。 | K-3、O-4 |
| | 「音楽ファイル」モードになっていない。 | モード切替で「音楽ファイル」モードに切り替えてください。 | H-21 |

## SD／USB

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| JPEGファイルを再生できない。 | 対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルにしてください。 | T-13 |
| | 「画像ファイル」モードになっていない。 | モード切替で「画像ファイル」モードに切り替えてください。 | H-21 |
| AACファイルを再生できない。 | AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データが混在しているSDカードまたはUSB機器を再生しようとした。 | AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合AACファイルは再生できません。 | ― |
| MP3／WMA／AAC再生時にエラーメッセージが表示される。 | MacでファイルをSDカード／USBフラッシュメモリで再生している。 | Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると、再生時にエラーが発生します。使用するSDカード／USBフラッシュメモリから隠しファイルを削除してください。 | ― |
| ウォークマン®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない。 | ドラッグ＆ドロップ転送を行なっている。 | MP3／WMA／AACファイルはUSBフラッシュメモリを使用して再生させてください。 | ― |
| | | ウォークマン®で再生できるファイル形式はOMAのみです。ウォークマン®に付属のx-アプリまたはSonic Stageのアプリケーションを使用することでウォークマン®にMP3／WMA／AACファイルを転送することができます。x-アプリまたはSonic Stageのアプリケーションで転送することで自動的にOMAファイルへ変換され、再生することができます。 | ― |
| USB機器を認識していない。 | 対応していないUSB機器の可能性があります。 | 別のUSB機器でためしてください。 | ― |
| | | 本機で対応しているウォークマン®か確認してください。 | M-4 |
| | USB機器が正しく接続されていない。 | 正しく接続されているか確認してください。 | M-5 |
| | USB接続ジャックが正しく接続されていない。 | Honda販売店にお問い合せください。 | ― |

## SD／USB

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **ジャケット写真が表示できない。** | MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。 | iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。 | — |
| | 登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。 | 対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。 | — |
| | 登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 | MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。<br>小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。 | 0-4<br>＊印 |
| | 1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。 | 1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。 | — |
| **音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。** | 登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 | MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。<br>小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。 | — |
| **ジャケット写真が小さく表示される。** | 登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。 | 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。 | — |

● 対応ファイル形式につきましては☞「再生可能なデータについて」0-4／「画像ファイル(JPEG)について」T-13を参照してください。

## DVD

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **字幕が出ない。** | 再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。 | 字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。 | ― |
| | 字幕がオフになっている。 | 設定を変えてください。 | P-14、P-22 |
| **音声が出ない。** | 静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中。 | 静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。 | ― |
| **再生を始めない。** | ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。 | 印刷面を上にして、正しくセットしてください。 | ― |
| | ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 | ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 | A-20 |
| | ディスクにラベルが貼ってある。 | ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。 | ― |
| | 結露している。 | ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。 | ― |
| | 本機で再生できないディスクを入れている。 | 本機で再生できるディスクを入れてください。 | A-17 |
| | 本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。 | 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。 | P-2 |
| | 視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 | 初期設定の視聴制限レベルを確認してください。 | P-26 |
| **“⃠”(禁止マーク)を表示するだけで、操作ができない。** | 再生しているディスクがその操作を禁止している。<br>ディスクの構造上対応できない操作をしている。 | 再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。 | ― |
| **音声や映像が乱れる。** | ディスクに汚れ、キズがある。 | ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 | A-20 |
| | 振動の生じるところで使用している。 | 本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。 | ― |

## DVD

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **音声言語／字幕言語が切り替わらない。** | 再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。 | 故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。 | — |
| | 再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。 | 故障ではありません。言語を切り替えることはできません。 | — |
| **各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。** | 再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。 | ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。 | — |
| **字幕が消せない。** | 再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。 | 故障ではありません。字幕を消すことはできません。 | — |
| **各種設定で選んだアスペクト比にならない。** | 再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。 | ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。 | — |
| **アングルを切り替えることができない。** | 再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。 | 複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。 | — |
| | 再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。 | 故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。 | — |
| **タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。** | 視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 | 初期設定の視聴制限レベルを確認してください。 | P-26 |
| **視聴制限をしているのに、再生が制限されない。** | 再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。 | 故障ではありません。視聴制限をすることはできません。 | — |
| **視聴制限を解除できない。** | 暗証番号が間違っている。 | 正しい暗証番号を入力してください。 | P-27 |
| | 暗証番号を忘れてしまった。 | 「0000」と入力してください。 | P-27 |
| **DVDメニューが外国語で表示される。** | “メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。 | “メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。 | P-22 |
| **VRディスクを再生できない。** | ファイナライズしていない。 | ディスクのファイナライズ処理をしてください。 | — |

## Digital TV

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **映像が出ない。** | ● miniB-CASカードを挿入していない。<br>● miniB-CASカードが裏返しで挿入されている。 | miniB-CASカードを正しく挿入してください。 | H-8 |
| **文字スーパーが出ない。** | ● 文字スーパーのある番組を選局していない。<br>● 文字スーパー表示設定で“表示しない”にしている。<br>● 受信モードがワンセグである。 | 文字スーパー表示設定で言語を選択してください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。 | Q-37 |
| **字幕が出ない。** | 字幕のある番組を選局していない。 | 字幕のある番組を選局してください。 | Q-20 |
| | 字幕表示の設定がされていない。 | 字幕表示を設定してください。 | Q-38 |
| **受信できない。** | ● 走行地域が放送エリア外で、エリア変更が手動に設定されている。<br>● 放送エリア内にいない。 | 視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。 | Q-14 |
| | | 地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。お車の走行地域で放送が開始されているか確認してください。また、放送エリア内に移動してください。 | — |
| | アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。 | 本機に付属の地上デジタルTV用フィルムアンテナ以外を接続されている場合、お持ちの取扱説明書に従って正しく設定してください。 | — |
| **映像が止まったりモザイクがかかる。** | 受信モードを12セグ固定にしている。 | 自動切替に設定しておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。自動切替に設定してください。<br>※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行なっていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像が映らない場合があります。 | Q-7 |
| | 周りに障害物があるなど、電波状態が良くない。 | 受信状態が良くなると映像が止まりにくくなります。受信できる場所に移動してください。 | — |

## Digital TV

| 症　　状 | 原　　因 | 処　　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。** | データ取得中のためです。 | 多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。 | ― |
| **本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。** | ● 初期化を行なった<br>● 本機の使用を誤った<br>● ノイズの影響を受けた<br>● 修理を依頼した<br>などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。 | 消失したデータについては補償できません。 | ― |

## ハンズフリー

| 症　状 | 原　因 | 処　置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **ビルの谷間などで音声が乱れる。** | 電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。 | 妨害電波を受けない場所に移動してください。 | — |
| **鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。** | それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。 | | |
| **オーディオの音声にブーンというノイズが入る。** | 携帯電話からの電波が混入した。 | | |
| **発信できない。** | 電波が届きにくい場所にいる。 | | |
| **音が出ない。**<br>● **相手の声が聞こえない。**<br>● **着信音が聞こえない。** | 音量が最小になっている。 | 発着信音量、受話音量を調整してください。 | S-15 |
| | 携帯電話が本機より離れすぎている。 | 携帯電話を本機に近づけてください。 | — |
| | | 携帯電話の電波状態を確認してください。 | |
| **相手に声が伝わらない。** | 送話音量を下げているまたは音声を消している。（ミュート中） | 送話音量を上げるか、ミュートを解除してください。 | S-15、S-22 |
| **通話後、オーディオの声が聞こえない。** | 音量を下げているまたは音を消している。 | 音量を上げてください。 | H-19 |
| **携帯電話と接続できない。** | *Bluetooth*で携帯電話と通信できない状態になっている。 | 携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話の*Bluetooth*機能をONにするか、車のエンジンスイッチをO（ロック）→Ⅱ（ON）にしてください。 | — |
| | *Bluetooth*対応携帯電話機を使用していない。 | 対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。 | S-4 アドバイス |

# メッセージ表示について

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

## ナビゲーション

| メッセージ表示 | 原　　因 | 本機の動作および処置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“受信局が変化しました。情報を受信中です。”（FM多重）** | FM多重のVICS情報（レベル1／レベル2）表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。 | 表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。 | – |
| **“情報の受信中です。”（FM多重）** | FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。（受信感度は良い） | 受信できるまでしばらくお待ちください。 | – |
| **“サーチ中は登録できません。”（FM多重）** | 放送局のサーチ中に、未設定 を1.5秒以上タッチして登録しようとした。 | サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。 | E-24 |
| **“放送局は登録されていません。”（FM多重）** | 放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。 | あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。 | E-24 |
| **“情報を受信していません。”（FM多重）** | 受信エリア外に居る。 | 受信エリア外では、受信できません。 | – |
| | 受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。 | 場所を移動してみてください。 | – |
| | 放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。 | サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。 | – |
| | VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっている。<br>一般情報放送局を受信しているが、交通情報を受信する設定になっている。 | 交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。 | E-14 |
| | VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局（周波数）を受信している。 | 全てのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。 | E-14 |
| **“この情報は表示できません。”** | 走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。 | 安全な場所に車を止めてから操作をしてください。 | – |

## ナビゲーション

| メッセージ表示 | 原　　因 | 本機の動作および処置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“SDカード内に地点情報ファイルが見つかりません。”** | SDカード内に該当するデータがない。 | 指定のホームページからデータを書き込みしてください。 | A-28 |
| **“SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？”** | オーディオでSDカードを使用している。 | オーディオを終了してください。 | H-9 |
| **“SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。”** | SDカードが差し込まれていない。 | 車のエンジンスイッチを0(ロック)にし、SDカードを確実に差し込み、車のエンジンスイッチをⅡ(ON)にしてください。 | B-4 |
| | SDカードが挿入されていない。 | 指定のホームページから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。 | A-28 |
| | SDカードは挿入されているが、認識できていない。 | SDカードがこわれている可能性があります。別のSDカードを挿入してください。 | ― |

## オーディオモード

| メッセージ表示 | 原　　因 | 本機の動作および処置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| “リージョンが違います。” | リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。 | 本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。 | P-2 |
| “視聴制限により再生できません。” | 視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。 | 再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。 | P-26 |
| “入力されたパスワードが違います。” | 入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。 | パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。 | P-26 |
| “走行中は映りません。” | 走行中にDVD／Digital TV／VTR／iPodの映像を見ようとした。 | 安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。<br>安全な場所に車を停車させてから、操作してください。 | — |
| ● “録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。”<br>● “録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。” | 本機の容量が一杯になったため。 | 本機内のデータを削除してから、再度、各操作をしなおしてください。 | — |
| “再生可能なディスクを入れてください。” | ● 本機で再生できないディスクを入れている。<br>● ディスクが逆に挿入されている。<br>● ディスクに汚れ／異常がある。<br>● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。<br>● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。 | ● 本機で再生できるディスクを入れてください。<br>● ディスクを正しくセットしてください。<br>● ディスクの汚れを拭きとってください。<br>● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。<br>● 正しいディスクをセットしてください。<br>● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。 | — |
| “ディスクを入れてください。” | ディスクが入っていない。 | 本機で再生できるディスクを入れてください。 | — |
| ● “録音に失敗しました。もう一度録音してください。”<br>● “CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。” | CDに汚れ、傷がある。 | CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。 | A-20 |

## オーディオモード

| メッセージ表示 | 原　　因 | 本機の動作および処置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。”** | 音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。 | 自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままでお待ちください。 | — |
| **“再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データ初期化を行ってください。”** | オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。 | 車のエンジンスイッチを一旦0(ロック)にしてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)してください。それでもメッセージが表示されるときは、録音データの修復を行なってください。<br>※復帰しない場合に、初期化(出荷状態に戻す)をすると本機に録音した全てのデータが消えます。 | I-11、I-12 |
| **“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”** | iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。 | iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。 | — |
| **“iPodが接続されています。”** | iPod接続中にUSBモードを選択したとき。 | 別売のiPod接続コードを外し、別売のUSB接続ジャックにUSB機器を接続してください。 | M-5、N-4 |
| **“再生可能な曲がありません。”** | SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。 | 再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。 | B-4、O-4 |
| | USB機器に再生可能なMP3／WMA／AACファイルがないとき。 | 再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。 | M-2、M-5 |
| **“しばらくお待ちください。”** | ディスクを読み込み中です。 | 正常な動作ですので、そのままお待ちください。 | — |
| | ファイル数が多いSDカード／USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。 | 正常な動作ですので、そのままお待ちください。 | — |
| | メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。 | しばらく待ってから電源をオフにし、SDカード／USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。 | H-9、B-4、M-5 |
| **“SDカードを挿入してください。”** | SDカードが差し込まれていない。 | 再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。 | O-4、B-4、H-9 |
| | SDカードは差し込まれているが、認識できない。 | 電源をオフにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をオンにしてください。 | |

## オーディオモード

| メッセージ表示 | 原　　因 | 本機の動作および処置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“信号が受信できません。[202] 中継局を探しますか？”** | 放送エリア外にいる。 | 放送エリア外では受信できません。<br>放送エリア内に移動してください。 | — |
| | 地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。 | 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。<br>受信できる場所に移動してください。 | — |
| | アンテナの故障が考えられる。 | 停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。 | Q-40 |
| | 車の走行速度が速い。 | 法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。 | — |
| | パソコンや携帯電話などを使用している。 | 車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。 | — |
| | 放送エリア内にいるが、受信できない。 | 社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。<br>受信できる場所に移動してください。 | — |
| **“B-CASカードの交換が必要です。”** | miniB-CASカードの故障が考えられる。 | B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。 | Q-5 |
| **“このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。”** | ● miniB-CASカードの挿入方向が間違っている。<br>● miniB-CASカードではないカードを挿入している。 | miniB-CASカードを正しく挿入してください。 | H-8 |
| **“パスキーが一致していません。再度登録操作を行なってください。”** | 入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。 | 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。 | S-6、S-16、S-14 |
| **“登録できませんでした。”** | 他の*Bluetooth*機種からの登録が行なわれている。 | ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他の*Bluetooth*機器の電源はお切りください。 | — |
| **“使用できないSDカードが挿入されています。”** | 対応していないSDカードが挿入されている。 | 別のSDカードで試してください。 | — |
| | SDカードを正しくフォーマットしていない。 | 本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行なってください。 | G-28 |
| **“ビデオモードに対応していません。”** | ビデオモードに対応していないiPodを接続している。 | ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。 | — |

## オーディオモード

| メッセージ表示 | 原　　因 | 本機の動作および処置 | 参考ページ |
|---|---|---|---|
| **“USB機器を接続してください。”** | USB機器が接続されていないまたはiPodが接続されているとき。 | 本機が対応しているUSB機器を使用してください。 | M-2、M-3、M-4、M-5 |
| **“対応していない機器が接続されています。”** | 非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されているとき。 | | |
| **“携帯電話の接続が解除されました。”** | 携帯電話との接続が切れたとき。 | 携帯電話を本機に近づけてください。 | – |
| | | 対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。 | S-4 アドバイス |
| **“登録できませんでした。”** | 入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なるとき。 | 本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。 | S-14 |
| | 他の*Bluetooth*機種からの登録が行なわれているとき。 | ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他の*Bluetooth*機器の電源はお切りください。 | – |

# 用語説明

## AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

## ATRAC AD(アトラックエーディー)

ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン®などで採用されているメディアフォーマットです。x-アプリやBeat Jamといったアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

## ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができます。

## ATRAC3 plus

ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

## DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

## DTS：Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

## DTS2.0 Channel

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

## ID3タグ／WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

## Joliet(ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

## LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

## MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

## OpenMG(オープンエムジー)

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。(本機では再生中に OMA マークが表示されます。)

## SDHC(エスディーエイチシー)

SDカードアソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で、4 GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2 MB/s)」「CLASS4 (4 MB/s)」「CLASS6 (6 MB/s)」「CLASS10 (10 MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

## SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

## VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。
VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

## WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4：3(普通のテレビ)と16：9(ワイドテレビ)の2種類あります。

## エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

## エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

## 音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

## カスタマイズ

お客様の好み使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

## コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

## サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表す数値のことです。

## 視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。
※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

## 字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

## 受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。
受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

## セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)
セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

## タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。
また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

## 地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・**地上デジタルテレビ放送**
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。
くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、文字や画像などのデータ放送があります。
※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・**ワンセグ**
地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

## データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

## 著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

## ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行ないます。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

## デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス（12桁の英数字）です。パスキー入力を行なって接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

## トラック

CDに収録されている曲の区切り（1曲分）をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

## パスキー

*Bluetooth*接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。*Bluetooth*機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの数字（パスキー）を入力する必要があります。

## パラメーター

プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

## パン＆スキャン（P&S）

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4：3のテレビで表示します。

## ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

## ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

## マスストレージクラス

正式名称はUSBマスストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

## マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

## ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

## 1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

## 525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

## 750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

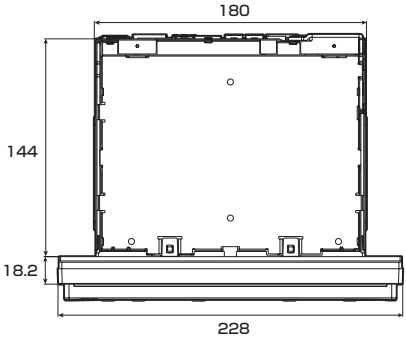
## 525p(480p)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

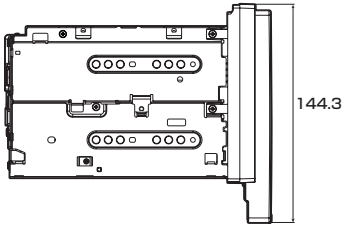
# 構成内容

## 外形寸法図(単位：mm)

### 本体

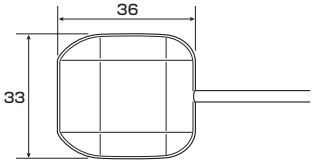



[平面図]

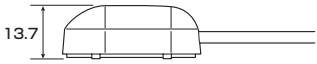



[左側面図]

### GPSアンテナ

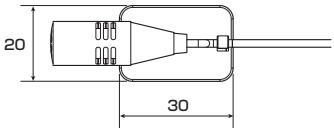



[平面図]

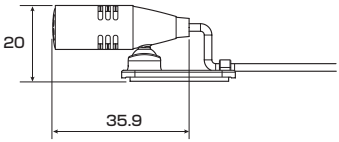



[側面図]

### マイク




[平面図]




[側面図]

# 主な仕様

## モニター部

| | |
|---|---|
| 種類 | 液晶カラーモニター |
| 駆動方式 | TFTアクティブマトリックス方式 |
| 画面サイズ | 9 V型 |
| 使用光源 | LED |

## 地上デジタルテレビ部

| | |
|---|---|
| 受信チャンネル | 000～999<br>UHF：13～62チャンネル |
| 放送方式 | 地上デジタル放送方式(日本)<br>12セグ／ワンセグ |
| アンテナ入力端子 | 専用端子 |

## ナビゲーション部

| | |
|---|---|
| GPSアンテナ | マイクロストリップ<br>平面アンテナ |
| 受信周波数 | 1575.42 MHz(C/Aコード) |
| 受信方式 | パラレル16チャンネル |
| 受信感度 | －142 dBm |
| 位置更新時間 | 0.25秒 |
| フォーマット | オリジナルメモリー<br>フォーマット |

## CD部

| | |
|---|---|
| 周波数特性 | 20～20,000 Hz |
| S／N比 | 75 dB以上 |
| 高調波ひずみ率 | 0.1 %以下(1 kHz) |

## ラジオ・チューナー部

| | |
|---|---|
| 回路方式 | AM／FM／MPX<br>ラジオPLL方式 |
| 受信周波数 | FM 76.0～90.0 MHz<br>AM 522～1629 kHz |
| 実用感度 | FM 15 dB(μV)<br>AM 32 dB(μV) |
| S／N比 | FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用)<br>AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用) |
| ステレオ<br>セパレーション | FM 30 dB(30 kHz L.P.F.使用) |
| 歪率 | FM 0.3 %<br>AM 0.5 % |

## DVD部

| | |
|---|---|
| 対応ディスク | 種類<br>DVDビデオ |
| 読み取り方式 | 非接触光学式読み取り<br>(半導体レーザー使用) |
| 周波数特性 | 20 Hz～20,000 Hz |
| S／N比 | 80 dB以上 |
| 高調波ひずみ率 | 0.1 %以下(1 kHz) |
| ダイナミック<br>レンジ | 80 dB以上 |

## 入出力端子

| | |
|---|---|
| 電源入力端子 | 24ピン専用コネクター |
| VTRコード接続端子 | 8ピン専用コネクター |
| リアモニター接続端子 | 7ピン専用コネクター |
| GPSアンテナ入力端子 | GPSコネクター |
| ラジオ入力端子<br>(VICS入力端子) | GT13専用コネクター<br>(ラジオ入力端子と共用) |
| ETC端子 | 5ピン専用コネクター |
| リアカメラ接続端子 | 8ピン専用コネクター |
| フロント／コーナーカメラ接続端子 | 7ピン専用コネクター |
| USB端子 | 4ピン専用コネクター |
| 車両信号入力端子 | 3ピン専用コネクター |
| 地上デジタルテレビアンテナ入力端子 | 2ピン専用コネクター |
| マイク入力端子 | ミニジャック |
| LUF入力端子☆ | 4ピン専用コネクター |

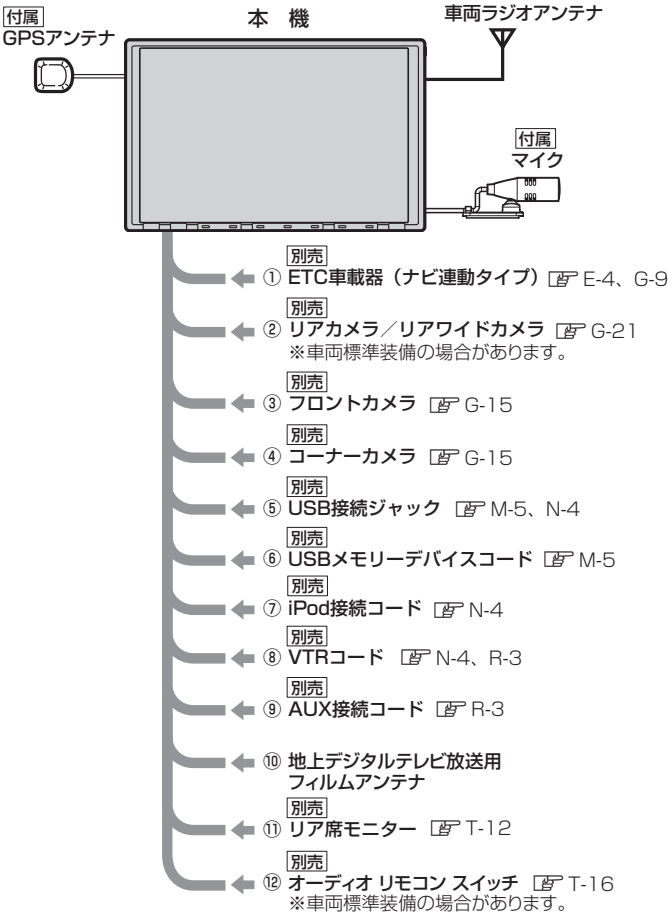
## その他

| | |
|---|---|
| 供給電源電圧 | DC12 V |
| 最大出力 | 50 W×4 ch(15.2 V) |
| 外形寸法 | 228×144.3×162.2 mm<br>(幅×高さ×奥行き)<br>※突起部は除く。 |
| 質量(本体のみ) | 2561 g☆<br>2556 g★ |

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
※モニター部の画面サイズのV型(9 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

☆印・・・VXM-135VFNiの場合
★印・・・VXM-135VFNの場合

# 別売品(システムアップ)について




**①ETC車載器(ナビ連動タイプ)**
**②リアカメラ**
**③フロントカメラ**
**④コーナーカメラ**
**⑤USB接続ジャック**
USB機器やiPodを再生する場合に必要です。
**⑥USBメモリーデバイスコード**
**⑦iPod接続コード**
iPodを再生させる場合に必要です。
**⑧VTRコード**
市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。
※iPodで映像を再生させる場合にも必要となります。

**⑨AUX接続コード**
市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。
**⑩地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ**
地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。
**⑪リア席モニター**
**⑫オーディオ リモコン スイッチ**

※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

# 保証／アフターサービスについて

## ■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

## ■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき … 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低６年間保有しています。



保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

# U

# さくいん



さくいん……U-2

# さくいん

## あ行


明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合いを調整……T-2
アフターサービス……T-73
案内音量……F-34
案内スタート……B-21, D-18
イコライザー設定……H-27
いつもNAVI……A-28
ウォークマン®……M-3, M-4, M-6
迂回探索……D-20
映像の表示について……H-6
エコドライブ
　グラフ表示……E-30
　設定する……E-29
　評価を開始する……E-28
　評価を止める……E-28
　右画面に表示する……B-30
　履歴を削除する……E-31
　履歴を見る……E-30
エラーメッセージ表示……T-59, T-60
エリア更新／エリア選局／エリア表示（FM／AMモード）……J-2, J-6
オーディオ リモコン スイッチ……T-16
オーディオをOFFする……H-9
大文字／小文字……B-35
オプションボタンの設定をする……G-3
主な仕様……T-71
音楽／画像の切り替え……H-21
音楽ファイル……M-6, O-4, O-6
音質（イコライザー調整）……H-27
音声案内について……A-26
音声案内の音量調整（ナビゲーション）……F-34
音声案内の詳細設定（ナビゲーション）……F-34
　高速走行時の音声切替……F-36
　合流案内／踏み切り案内……F-35
　専用レーン案内……F-35
　VICS案内……F-36
音声案内を止める（ナビゲーション）……F-34
音声はそのままで画面を消す……T-6
音声はそのままでナビゲーションを表示する……H-20
音場設定……H-24
音量調整（オーディオモード）……H-19


## か行


カーマーク設定……F-25
外形寸法……T-70
各部の名称とはたらき（表示部含む）
　オーディオ……H-2
　・CD／MP3／WMA……K-8
　・Digital TV……Q-6
　　DTVバナー表示……Q-10
　　DTVメニュー……Q-9
　・DVD……P-4
　・FM／AM……J-2
　・iPod……N-5
　・Music Rack……L-2
　・SD（音楽）……O-6
　・SD（画像）……O-8
　・USB（音楽）……M-6
　・USB（画像）……M-8
　・VTR……R-2
　ナビゲーション……B-2
画質調整……T-2
　・初期値に戻す……T-5
カスタムアップデート（個別更新）……I-13, I-15, I-17
画像ファイル……H-22
　・画像を回転させる／リストより画像を選択する……H-23
　・スライドショーを表示する……H-22
画像ファイル（JPEG）について……T-13
カメラ
　フロントカメラ／コーナーカメラ設定……G-15
　リアカメラ映像設定……G-21
画面の曇りについて……A-5
画面を消す……T-6
キー操作音設定……G-27
軌跡
　記録する……F-51
　記録を止める……F-51
　削除する……F-52
　表示／非表示……F-52
基本操作
　SDカードを入れる／取り出す……B-4, H-7
　映像の表示について……H-6
　オーディオをOFFする……H-9
　ディスクを入れる／取り出す……B-3, H-6
　モード選択……H-4
緊急放送（Digital TV）……Q-49
経由地
　経由地をスキップする……D-23
　地点の入れ替え……D-15
　追加……D-13
　変更／削除……D-15
現在地
　表示する……B-7

補正について……B-7
**現在地マーク**
位置を変更する……F-26
マークの種類を設定する……F-25
**高音質モード(録音)……I-7**
**構成内容……T-70**
**交通情報……J-10**
**コーナーカメラ映像を表示する……G-15**
**故障かな？と思ったら……T-40**
**個人情報の取り扱いについて……T-11**
**コピー防止機能付CD……A-18**

## さ行

**再生可能メディア……I-3, K-3**
**再生できるディスク……A-17**
**再探索……D-19**
**削除**
軌跡を削除……F-52
経由地の削除……D-15
現在のルートを削除……D-25
自宅を削除……F-46
登録地点を削除……F-46
ハンズフリー
・携帯電話を削除……S-8
・発着履歴を削除……S-34
評価履歴を削除……E-31
保存したルートの削除……D-27
目的地履歴の削除……C-27
**市街地図**
収録エリア……T-32
**自車マーク**
位置を変更する……F-26
種類を設定する……F-25
**システムアップ(別売品)……T-72**
**施設詳細……B-22**
**施設情報**
ジャンルから探す……C-12
周辺にある施設から探す……C-18
表示できる施設……C-21
名称で探す［名称50音］……C-2
**自宅……B-21**
位置を変更する……B-25
自宅周辺の地図を表示する……C-17
自宅までのルートを探索する……B-29
自宅を呼び出す……F-45
登録する……B-23
**自動録音……I-4**
**ジャケット写真表示……K-3, L-3, M-7, N-6, O-7**
**ジャケット写真を登録する……L-21**
**車速連動音量設定……H-33**
**渋滞地点を確認する……D-32**
**渋滞予測地図……E-2**
**渋滞予測ルート探索をする……D-28**
**周辺施設……B-21**
**縮尺スケール……B-14**
**受信モード切替(Digital TVの自動→12セグ→ワンセグの切り替え)……Q-7**
**出発地・経由地・目的地の設定について……T-24**
**出発地に設定……B-22**
**手動録音……I-4**
**仕様……T-71**
**詳細設定……F-34**
**初期化**
SDカードの初期化……G-28
画質調整を初期値に戻す……T-5
出荷状態に戻す……G-28
センサー学習結果の初期化……G-28
チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする……Q-26
登録データの初期化……G-28
ルート学習結果の初期化……G-28
**初期設定一覧……T-8**
**自律航法とマップマッチング……A-25**
**スクロール**
地図スクロール……B-11
微調整……B-13
**スピーカーの設定……H-29**
**スマートIC……D-5, F-29**
**設定**
DVDの初期設定について……P-20
ナビゲーション
・3D表示の角度調整……F-4
・AUDIO情報の表示設定をする……F-6
・ETCの各機能設定……G-9
・MAPCODEの表示設定をする……F-6
・VICS表示設定……F-32
・緯度・経度の表示設定をする……F-6
・キー操作音の設定をする……G-27
・現在地(自車)マークの種類を設定する……F-25
・現在地(自車)マークの位置を変更する……F-26
・車速連動音量設定……H-33
・地図情報の表示設定をする……F-6
・地図色を設定する……F-5
・登録地点の表示設定をする……F-6
・平均時速を設定する……F-37
・右画面設定……F-2
・メイン画面設定……F-2

・メンテナンス情報設定 …… G-4
・ランドマーク表示の設定をする …… F-23
・リアカメラ映像設定 …… G-21
・ルート案内画面の設定をする …… F-10
・ルート探索条件の設定をする …… F-28
ハンズフリー初期登録設定 …… S-5
**選局**
Digital TV …… Q-20
FM／AM …… J-4
VICS …… E-20
ワンセグ …… Q-20
**選曲**
CD／MP3／WMA …… K-11
iPod …… N-7
Music Rack …… L-4
SD …… O-9
USB …… M-9
標準キーのボタンで選曲する …… H-12
**全曲録音／選択曲録音 …… I-6**

## た行

**探索**
1ルート探索 …… D-6
迂回探索 …… D-20
現在地から自宅までのルート探索 …… B-29
現在地から目的地までのルート探索 …… B-28
再探索 …… D-19
探索条件の変更 …… D-17, F-28
複数ルート探索 …… D-9
**地域／路線 …… C-13**
**地図**
VICSレベル3(地図)表示 …… E-10
拡大／縮小 …… B-14
市街地図の収録エリア …… T-32
スクロール …… B-11
地図画面の表示について …… A-5
地図ソフトについて …… T-20
地図に表示される記号 …… T-30
地図の色を設定する …… F-5
テナント情報 …… A-10, B-14
表示する …… B-5, B-7
表示(方位)を切り替える …… B-10
見かた …… B-8
右画面に地図を表示する …… B-30
**地図周辺 …… C-13**
**地図スクロール(地図を動かす) …… B-11**
**地点**
削除する …… F-46
渋滞地点を確認する …… D-32
地点の入れ替え …… D-15
登録する …… B-26
並び替えをする …… F-43
編集 …… F-38
呼び出す …… F-45
**地点登録 …… B-22**
**地点編集 …… B-22**
**地点を探す**
緯度・経度から …… C-32
施設のジャンルから …… C-12
住所から …… C-8
周辺にある施設から …… C-18
地図から …… C-34
地名から …… C-29
電話番号から …… C-6
登録地点から …… C-24
マップコードから …… C-33
名称から …… C-2
目的地履歴から …… C-26
郵便番号から …… C-31
**チャンネル一覧 …… T-18**
**中継局／系列局サーチ(Digital TV) …… Q-12**
**昼夜切替 …… B-21, T-4**
**著作権について …… A-8**
**ディスクを入れる／取り出す …… B-3, H-6**
**ディスプレイ選択**
**(ノーマル／フル／ワイド／シネマ) …… T-4**
**データ管理**
Music Rackの機能／構成 …… I-8
音楽データの修復 …… I-11
音楽データの初期化 …… I-12
使用容量を確認 …… I-10
本体情報 …… E-34, I-10
録音設定／データ管理について …… I-2
**データベースについて(Gracenote) …… T-14**
**データを削除**
・Music Rack …… I-12
**データを初期化**
・Digital TV …… Q-44
・Music Rack …… I-12
・SDカード／登録データ／学習結果／
出荷状態に戻す …… G-28
・ハンズフリー(アドレス帳) …… S-32
**テナント情報 …… B-22**
**問い合わせ(miniB-CASカード) …… Q-5**
**動作モード(音楽／画像)切替 …… H-21**
**盗難多発地点案内 …… A-13, F-21**
**道路切替 …… B-21**
**登録**
携帯電話登録 …… S-5

経由地の追加 ……D-13
自宅を登録する……B-23
地点を登録する……B-26
登録地点の編集……F-38
並び替えをする……F-43
保存したルートの呼び出し ……D-26
**登録ルート ……D-26**
**時計表示……H-18**
**都道府県……C-13**

## な行

**ナビゲーション画面を表示する ……H-20**
**入力**
文字／数字の入力方法……B-35

## は行

**パーソナルHPと同期……F-50**
**ハイウェイモード……B-31, F-13**
**パソコン連携(いつもNAVI) ……A-28**
**バックライト(画面を消す) ……T-6**
**早戻し／早送り……H-13**
**ハンズフリー**
*Bluetooth* 情報を見る ……S-14
初期登録設定 ……S-5
・携帯電話登録……S-5
・携帯電話のメモリを本機に登録する……S-18
・携帯電話の割り当てを切り替える……S-10
・自動接続設定……S-11
・通話設定(音量の設定) ……S-15
・デバイス名／パスキー変更 ……S-16
・優先接続設定……S-13
通話中に地図画面を表示する ……S-35
電話を受ける ……S-20
・着信音量設定……S-20
・通話拒否(終了)……S-22
・通話切替(携帯↔ハンズフリー)……S-23
・電話に出る ……S-20
・トーン入力する……S-24
・保留にする ……S-21
・ミュートする……S-22
電話をかける ……S-25
・アドレス帳から……S-32
・電話番号から……S-25
・リダイヤルから……S-27
・履歴から ……S-28
登録した携帯電話の詳細情報を見る……S-8
登録した携帯電話を削除する ……S-8, S-9
発着履歴を削除する……S-34
ハンズフリーについて ……S-2
**微調整(スクロール)……B-13**
**表示項目**
MAPCODE／地図情報／AUDIO情報／
緯度・経度／登録地点表示 ……F-6
**表示できる施設……C-21**
**表示部**
CD／MP3／WMA……K-9
FM／AM ……J-3
iPod……N-6
SD ……O-6
USB……M-6
**標準キーの照明について ……T-7**
**標準モード(録音)……I-7**
**ファイル形式**
**(MP3／WMA／AAC／JPEG) ……I-3**
**フェード・バランス調整……H-31**
**複数探索 ……B-22**
**複数ルートを探索する……D-9**
**フロントカメラ映像を表示する ……G-15**
**平均時速設定 ……F-37**
**ページ送り／戻し……B-18**
**別売品(システムアップ)について……T-72**
**放送局**
VICS放送局……E-11
**保証／アフターサービスについて……T-73**
**保存**
現在のルートを保存……D-24
プリセット(保存)する……E-24
プリセット(保存)の上書きをする……E-26
**本機で再生できるディスク ……A-17**
**本体情報……E-34**

## ま行

**毎年通知……G-6**
**マップコード ……C-33**
**右画面**
3D表示の角度調整……F-4
地図／情報を表示する……B-30
方位／縮尺スケールを変える ……B-33
右画面の設定をする……F-2
**右画面AV ……F-6, F-10**
**右画面にオーディオ画面表示 ……B-30**
**右画面表示 ……B-21, T-8**
**未録音CDについて ……I-5**
**未録音CDを挿入すると・・・ ……K-10**
**メイン画面／右画面の設定をする……F-2**
**メッセージ表示について ……T-59**

**メニュー画面**
各メニュー項目について……B-16
表示させる……B-15
**メンテナンス情報の設定……G-4**
**モード選択……H-4**
**目的地……B-22**
SDカードで地点を探す……C-35
緯度・経度で地点を探す……C-32
施設のジャンルから地点を探す……C-12
自宅周辺の地図を表示する……C-17
住所で地点を探す……C-8
周辺にある施設から地点を探す……C-18
地図から地点を探す……C-34
地名から地点を探す……C-29
電話番号で地点を探す……C-6
登録地点で地点を探す……C-24
表示できる施設……C-21
マップコードで地点を探す……C-33
名称で地点を探す(名称50音)……C-2
目的地履歴の中から地点を探す……C-26
目的地履歴を削除する……C-27
郵便番号で地点を探す……C-31
**目的地周辺……C-13**
**目的地の追加……D-12**
**目的地の変更……D-10**
**目的地を設定してルート探索をする……B-34**
**文字／数字**
訂正する……B-37
入力方法……B-35

## や行

**用語説明……T-65**

## ら行

**ランドマーク表示設定……F-23**
**リアカメラ映像を設定する……G-21**
カメラ映像について……G-25
警告文の位置を下げる……G-23
リアカメラ映像を表示する……G-21
リアカメラガイドの見かた……G-24
リアカメラガイドを表示する……G-22
**リアカメラの次回表示ビュー設定……G-26**
**リア席モニターについて** 別売 **……T-12**
**立体アイコン……T-31**
**リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生……H-14**
**ルート案内時の注意点……T-26**
自車マークの表示誤差について……T-28
**ルート案内ストップ／スタート……D-18**
**ルート案内設定……F-10**
AV画面中の音声案内割り込み設定……F-19
ETCレーン表示……F-12
JCTビュー表示……F-15
交差点拡大図……F-16
交差点情報……F-11
全ルート表示……F-10
盗難多発地点案内……F-21
ハイウェイモード表示……F-13
方面看板表示……F-18
右画面AV中の案内割込み設定……F-20
目的地方向表示……F-22
リアル3D表示……F-17
ルート情報表示……F-13
ルート色……F-11
**ルート周辺……C-13**
**ルート情報……B-31, F-13**
**ルート沿い……C-13, C-18**
**ルート探索条件の設定……F-28**
**ルート編集**
現在のルートを削除……D-25
現在のルートを表示……D-21
現在のルートを保存……D-24
保存したルートの削除……D-27
保存したルートの呼び出し……D-26
**ルートを変更する……D-10**
**ローカル／カスタムアップデート……I-13, I-15**
**録音**
Music Rackの機能／構成……I-8
音楽データの修復……I-11
音楽データの初期化……I-12
自動／手動の選択……I-4
使用容量……I-10
全曲録音／選択曲録音の選択……I-6
録音可能曲数……I-8
録音時の注意点……I-9
録音設定／データ管理について……I-2
録音中止……I-5, K-10
録音方法／録音音質選択……I-6

## 数字・アルファベット


1ルート探索……D-6
3D地図……B-8, B-10
3D表示の角度調整……F-4
AACについて……O-4
ATRAC AD／ATRAC3／ATRAC3plus……M-2, M-3
AV MENU画面について……H-10
AV SOURCE画面……H-5
AV SOURCE画面のモードボタンについて…H-11
CD／MP3／WMA
MP3／WMAの規格について……K-3
MP3／WMAファイルについて……K-2
各部の名称とはたらき……K-8
再生／操作画面の見かた……K-9
トラックリストより再生……K-11
早戻し／早送りをする……H-13
標準キーのボタンで選曲する……H-12
フォルダ選択……K-10
未録音CDについて……I-5
未録音CDを挿入すると……K-10
リピート／ランダム／スキャン再生……H-14
CD-TEXT情報……K-9
CDの録音方法(自動／手動)の選択……I-4
CPRM対応……P-3
Digital TV(12セグ／ワンセグ)
Digital TV〔12セグ／ワンセグ〕を見る……Q-12
DTVメニューについて……Q-9
miniB-CASカードについて……Q-4
miniB-CASカードの問合せ先……Q-5
miniB-CASカードを入れる／取り出す……H-8
エラーコードについて……Q-50
緊急放送を見る……Q-49
視聴エリアの変更をする……Q-14
受信モード(自動／12セグ／ワンセグ)切替……Q-7
初期スキャン／再スキャン……Q-18
設定
・12セグ／ワンセグ自動切替……Q-31
・miniB-CASカードテスト……Q-42
・映像切替……Q-28
・音声切替……Q-29
・字幕切替……Q-38
・受信レベル確認……Q-40
・チャンネル設定……Q-34
・中継局・系列局サーチ設定……Q-32
・テレビ／データの設定(サービスの設定)……Q-33
・時計表示設定……Q-36
・文字スーパー切替……Q-37
・郵便番号設定……Q-30
設定を初期化する……Q-44
チャンネル一覧……T-18
チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする……Q-26
データ放送を利用する……Q-45
テレビについて……Q-2
バナー表示について……Q-10
番組表を見る……Q-16
番組名と記号……Q-10
プリセットボタンにメモリーする……Q-24
・エリア呼出／プリセット呼出……Q-25
放送局からの情報を見る……Q-43
リパックについて……Q-2
リレーサービスの番組を見る……Q-48
臨時サービスの番組を見る……Q-48
DSP(音場の設定)……H-24
dts-CD……A-18
DVD
DVDの初期設定について……P-20
・言語コード表……P-24
DVDビデオについて……P-2
・DVD再生ディスク対応一覧表……P-3
DVDプレーヤーを使う……P-6
・DVDメニューを使う……P-10
・VRモードディスクの再生……P-18
・アングルを切り替える……P-17
・音声言語／字幕言語を切り替える……P-14
・コマ戻し／コマ送りをする……P-9
・サーチ選択(好きな所から再生)……P-12
・再生一時停止……P-8
・再生停止……P-7
・時間表示切替……P-15
・スロー戻し／スロー送りをする……P-9
・タイトルメニューを使う……P-10
・チャプターを戻す／進める……P-8
・リピート再生……P-16
各部の名称とはたらき……P-4
再生可能ディスク……P-3
再生／操作画面の見かた……P-4
ディスクに表示されているマークについて……P-2
早戻し／早送りをする……H-13
ETC
ETC情報を見る……E-4
ETCについて……G-12
各機能を設定する……G-9
予告案内／警告表示について……G-14
料金所通過表示について……G-13
ETCレーン表示設定……F-12
FM／AM(ラジオ)
P1／P2(ユーザープリセット選局)……J-5

エリア選局 …… J-6
オートセレクト選局 …… J-7
各部の名称とはたらき …… J-2
交通情報 …… J-10
選局する …… J-4
バンド(FM／AM放送)を切り替える …… J-4
表示部について …… J-3
プリセットボタンにメモリーする …… J-8
GPS
GPS受信表示 …… B-5, B-9
GPSについて …… A-24
アンテナについて …… A-6
受信しにくい場所について …… A-24
受信するまでの時間について …… A-24
Gracenoteデータベース
初期化 …… I-20
データの書き出しをする …… I-17
データの取り込みをする …… I-19
データベースについて …… T-14
ローカル／カスタムアップデート …… I-13
internavi情報 …… E-33
internavi設定について …… F-53
internaviドライブ情報 …… E-33
iPod
iPodについて …… N-2
一時停止 …… N-13
映像データの再生(ビデオ再生) …… N-14
各部の名称とはたらき …… N-5
再生／操作画面の見かた …… N-6
接続する …… N-4
選曲モード選択 …… N-8
対応可能なiPod …… N-3
トラックリストより選曲する …… N-7
早戻し／早送りをする …… H-13
標準キーのボタンで選曲する …… H-12
モード切替 …… N-14
リピート／シャッフル再生 …… H-14, H-16
JPEG(画像ファイル) …… T-13
MCDB …… I-8, I-13, I-14
miniB-CASカードについて …… Q-4
miniB-CASカードを入れる／取り出す …… H-8
Music Rack
Music Rackモード イメージ図 …… L-6
アルバムリストの編集(曲管理) …… L-14
・アルバム削除 …… L-22
・アルバム情報保存 …… L-17
・再生選択(再生させたくない曲の選択) …… L-19
・ジャケット写真登録 …… L-21
・タイトル編集 …… L-15
・データベース再検索 …… L-18
・文字入力のしかた …… L-16
お気に入り管理 …… L-28
お気に入り登録 …… L-30
各部の名称とはたらき …… L-2
機能／構成について …… I-8
再生／操作画面の見かた …… L-3
ジャンル変更 …… L-32
使用容量を確認する …… I-10
選曲モード選択 …… L-7
・ジャンル一覧 …… L-10
・ミュージックエスコート一覧 …… L-12
トラックリストの編集(曲管理) …… L-23
・再生選択(再生させたくない曲の管理) …… L-26
・データベース再検索 …… L-25
・トラック削除 …… L-27
早戻し／早送りをする …… H-13
標準キーのボタンで選曲する …… H-12
ミュージックエスコート変更 …… L-33
未録音CDを挿入すると・・・ …… K-10
リストより再生 …… L-4
録音時の注意点 …… I-9
録音データの修復 …… I-11
録音データの初期化 …… I-12
録音方法(自動／手動)の選択 …… I-4
NAVI MENU画面について …… B-15
QQコール
表示する …… S-36
利用する …… S-36
Quick MENU …… B-19, B-20, B-21, D-19, T-8
Quick機能 …… B-21
SDカード …… B-4
SDHC …… O-2
SDカードについて …… O-2
SDカードの取り扱いかた …… A-23
SDカードを入れる／取り出す …… B-4
音楽再生／操作画面の見かた …… O-6
画像再生／操作画面の見かた …… O-8
画像ファイル(JPEG)について …… T-13
再生可能なデータ(ファイル)について
(音楽／画像) …… O-4, T-13
選曲モード選択 …… O-11
操作可能な機能と組み合わせ …… O-2
早戻し／早送りをする …… H-13
標準キーのボタンで選曲する …… H-12
フォーマット(初期化)について …… O-2
リストより再生 …… O-9
リピート／ランダム／スキャン再生 …… H-14
SDカードから地点を登録する …… F-48
SDカードからルート探索をする …… D-30
Sound(イコライザー設定) …… H-27

SRS CS Auto(サラウンドの設定)……H-25
USB
USB機器について……M-2
USB機器を接続する……M-5
ウォークマン®について……M-3
・対応可能なウォークマン®……M-4
音楽再生／操作画面の見かた……M-6
画像再生／操作画面の見かた……M-8
画像ファイル(JPEG)について……T-13
再生可能ファイル(音楽／画像)……M-2, M-3
接続をやめる……M-5
選曲モード選択……M-13, M-14
早戻し／早送りをする……H-13
標準キーのボタンで選曲する……H-12
リストより再生(ウォークマン®)……M-12
リストより再生(フラッシュメモリ)……M-9, M-10
リピート／ランダム／スキャン再生……H-14
VICS
VICS案内設定……F-36
VICS自動再探索設定……F-29
VICS情報の考慮設定……F-29
VICS情報の受信について……E-6
VICSタイムスタンプ……B-8, E-10
VICS放送局……E-11
エリア選局……E-23
概要／お問い合わせ……T-36
緊急情報を見る……E-18
契約約款……T-38
交通情報(図形情報)を見る……E-17
交通情報(文字情報)／一般情報を見る……E-15
自動選局……E-20
自動選局を止める……E-21
渋滞地点を確認する……D-32
受信する情報を選ぶ……E-14
手動選局……E-22
情報の消去について……E-13
情報表示を止める……F-33
表示設定……F-32
表示について……E-9
プリセット(保存)する……E-24
プリセット(保存)の上書き……E-26
プリセット(保存)の呼び出し……E-25
マーク一覧表……E-11
VRモードディスク……P-3
VTR
接続する……R-3

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

**株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」**

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間:**9時～12時、13時～17時**／
但し、土日・祝祭日、弊社指定休日は除く）


販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　パナソニック株式会社
オートモーティブシステムズ社　〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地



PART NO. 08A40-5R0-4020-8A
PART NO. YEFM0410364C

Printed in Japan